本校

令和7年度 高等部　1年（　Ⅱ課程　A類型①②グループ　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3	高等部1学年　20名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学･人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(高1段階ア(ｳ)) (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学･人)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。 (主学)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、読み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(高1段階ウ(ｳ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Cオ) (学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。 (主学) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・図書館オリエンテーション ・読書活動	・図書館オリエンテーションを通して、図書館の利用方法を確認する。(知及び技に関する内容) ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	12	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。(中1段階イ(ｱ)) (思判表力) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえることができる。(中2段階Cイ) (学・人) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解している。(中1段階イ(ｱ)) (思・判・表)) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえている。(中2段階Cイ) (主学) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。(高1段階)	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・ﾚｯﾂ･ﾁｬﾚﾝｼﾞ･NIE ・実習新聞作成	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) お礼状の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階B(ア)) (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「はがきを書こう」 ・お礼状の練習 ・季節の便り	・手紙やはがきの正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状や季節のお便りの定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	12	(知及技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。（高1段階ウ(ｲ)） (思判表力）相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階Ａエ) (学・人）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知及技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。（高1段階ウ(ｲ)） (思判表力）相手や目的に応じた話し方で話している。(中1段階Ａエ) (主学）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語	・丁寧語の使い方や身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書く家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。（思判表力に関する内容） ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。（学・人に関する内容）
	22	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。（中2段階イ(ｱ)） (思判表力）登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Ｃア) (学・人）読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。（中2段階イ(ｱ)） (思・判・表）登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えている。(高1段階Ｃア) (主学）読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・蜘蛛の糸 ・生きる	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。（知及び技に関すること） ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。（思判表力に関すること） ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）お礼状の書き方を理解することができる。（高1段階） （思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。（高1段階Ｂ（ア）） (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。（高1段階）	(知・技）お礼状の意義や書き方を理解して書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の練習 ・季節の便り	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。（学・人に関する内容）
3学期	5	(知及技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（中段2階ウ(ｳ)ⓐ） (思判表力）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（中２段階Ｂウ） (学・人）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。（高１段階）	(知・技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。（中2段階イ(ｱ)） (思判表力)語と語や文と文との関係を基に、必要な情報を抽出し、内容の大体を捉えることができる。(中2段階Ｃイ) (学・人）言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。（高1段階）	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表）語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。 (主学）言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「情報を読み取ろう」 ・手紙・案内文	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	10	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（高1段階(ウ)） （思・判表力）書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えることができる。（中2段階Ｂイ） （学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。（高1段階）	(知・技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 (思・判・表）書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えている。 (主学）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「手紙を書こう」 ・2年後の自分への手紙	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、伝えたい内容に関する文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容） ・この1年間で最も楽しかった出来事や思い出、感謝の気持ち、高等部を卒業する自分を想像して激励する言葉などを項目毎にメモでまとめ、手紙を作成する。（思判表力に関する内容） ・自分の思いや考えを、素直に文章で表現する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和７年度 高等部　１年（Ⅱ課程 A類型③④）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部１年　１５名		ゆっくり学ぶ子のための国語

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学･人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 表現するために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げることができる。(中2段階エ) (思判表力)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる。(中2段階Aイ) (学･人)言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めようとすることができる。(高１段階)	(知・技) 表現するために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。(中2段階エ) (思・判・表) 相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にしている。(中2段階Aイ) (主学) 言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めようとしている。(高１段階)	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シート ・季節の言葉（春・夏）	・季節にまつわる言葉や自分の好きな物にまつわる言葉を考える。季節行事の歴史について学習する。(知及び技に関する内容) ・春の風物詩として「入学式」「桜」「菜の花」「こいのぼり」「すいか」「風鈴」など具体的な言葉を挙げることができる。自分の好きなもの、文字やイラストで紹介することができる。(思判表力に関する内容) ・季節に関するいろいろな言葉を使って、季節の特徴や良さを考えることができる。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(高1段階ア(ｳ)) (思・判表力) 平和への思いや気持ちを言葉や絵などで表現することができる。(中2段階Aイ) (学・人) 自分の考えを文や文章で相手に伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。(高1段階ア(ｳ)) (思・判・表) 平和への思いや気持ちを言葉や絵などで表現している。(中2段階Aイ) (主学) 自分の考えを文や文章で相手に伝え合おうととしている。(高1段階)	単元名「表現力を高めよう」 ・平和へのメッセージ	・物語や映像などを通して沖縄戦について学ぶ。(知及び技に関すること) ・物語や映像の鑑賞から感じたことを、平和へのメッセージとして言葉や絵などで表現する。(思判表力に関する内容) ・平和へのメッセージとして、平和の大切さや戦争の悲惨さについての考えを伝える。(学・人に関すること)
	15	(知及技) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。(中1段階ア(ｴ)) (思判表力) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。(中2段階Bア) (学・人) 自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。(高1段階)	(知・技) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えている。 (主学) 自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「お礼の手紙を書こう」 ・お礼の手紙	・実習を振り返り、学んだことやお世話になった先生へ伝えたいことを考える。(知及び技に関すること) ・体験したことや相手との関わりの中で心に残った出来事や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼の手紙の中で、自分の気持ちや相手への思いを伝える。(学・人に関すること)
2学期	10	(知及技) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。(中2段階ウ（ｲ）) (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階Aエ) (学・人) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。(中2段階ウ（ｲ）) (思・判・表) 相手や目的に応じた話し方で話している。(中1段階Aエ) (主学) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	単元名「表現力を高めようⅡ」 ・しまくとぅば ・敬語	・沖縄の昔話や方言カルタを通して、うちなーぐちの挨拶やことわざを学習する。場面に応じた常体と敬体の使い分けを学習する。(知及び技に関する内容) ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。(思判表力に関する内容) ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。(学・人に関する内容)
	15	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。(中1段階ウ（エ）) (思判表力) 様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。(中2段階ｃア) (学人) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。(高1段階)	(知・技) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを理解している。(中1段階ウ（エ）) (思・判・表) 様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。(中2段階ｃア) (主学) 読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・てぶくろをかいに ・どきん ・のはらうた	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容) ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。(思判表力に関する内容)

	15	(知及技）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。（中1段階ア(Ⅰ)） (思判表力）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。（中2段階Ｂア） (学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。（高1段階）	(知・技）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。（中1段階ア(Ⅰ)） (思・判・表）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えている。（中2段階Ｂア） (主学）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。（高1段階）	単元名「お礼の手紙を書こう」 ・お礼の手紙 ・季節の言葉（秋・冬）	・実習を振り返り、学んだことやお世話になった先生へ伝えたいことを考える。（知及び技に関すること） ・体験したことや相手との関わりの中で心に残った出来事や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容） ・お礼の手紙の中で、自分の気持ちや相手への思いを伝える。（学・人に関すること）
3学期	5	(知及技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（中１段階ウ(ｳ)ア） (思判表力）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（中２段階Ｂウ） (学・人）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。（高１段階）	(知・技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。（中１段階ウ(ｳ)ア） (思・判・表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。（中２段階Ｂウ） (主学）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることしている。（高１段階）	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・カルタや福笑い、双六などの正月遊びに取り組む。文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。（中1段階ウ（Ⅰ）） (思判表力）様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。（中2段階ｃア） (学・人）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しもうとすることができる。（高1段階）	(知・技）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを理解している。（中1段階ウ（Ⅰ）） (思・判・表）様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像している。（中2段階ｃア） (主学）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しもうとしている。（高1段階）	単元名「物語を読もう」 ・かさじぞう ・どきん	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容） ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。（思判表力に関する内容）
	10	(知及技）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。（中1段階ア(Ⅰ)） (思判表力）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。（中2段階Ｂア） (学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。（高1段階）	(知・技）理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし使える範囲を広げている。（中1段階ア(Ⅰ)） (思・判・表）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えている。（中2段階Ｂア） (主学）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。（高1段階）	単元名「手紙を書こう」 ・２年後の自分へ	・一年を振り返り、親しい友人やお世話になった先生へ伝えたいことを考える。（知及び技に関すること） ・相手との関わりの中で最も楽しかった出来事や思い出や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容） ・お礼の手紙の中で、自分の気持ちや相手への思いを伝える。（学・人に関すること）
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和　6年度 高等部　1年（　　Ⅱ課程 B類型　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部１年９名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高１段階) (思判表力）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。　(高１段階) (学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）運筆のワークシートに取り組むことができる（中1段階：ア(エ)） (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。（小２段階：Bア） (学･人)身近なもののの名前に興味を持ち書こうとすることができる。（小３段階）	(知・技）直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができている。 (思･判･表)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができている。 (主学)身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。	単元１ 「運筆練習をしよう」 「なぞり書きをしよう」	・鉛筆やペン、クレヨン、チョークなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。（知及び技に関する内容） ・持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。（思判表力に関する内容） ・様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。（学・人に関する内容）
	12	(知及技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。（中2段階：ア(ア)） (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。（中１段階：Cア） (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。（中1段階）	(知・技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ①」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。（知及び技に関する内容） ・音を模倣したり身振りで表現したりする。（思判表力に関する内容） ・周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。（学・人に関する内容）
	11	(知及技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。（中2段階ア(イ)） (思判表力)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。（中2段階：A工） (学･人)授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。（中２段階）	(知・技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができている。 (思判表力)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができている。 (主学)教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。	単元３ 「友達に呼びかけてみよう」	・発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。（知及び技に関する内容） ・相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。 ・毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。（学・人に関する内容）
	12	(知及技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。（小2段階：ア(ウ)） (思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。（小3段階Cア） (学･人)いろいろな言葉にふれ、親しみを持って取り組むことができる。（中1段階）	(知・技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができている。 (主学)いろいろな言葉にふれ、親しみを持って取り組もうとしている。	単元１ 「身近なものの名前を知ろう」	・食べ物、乗り物、身体の部位、生活用品、など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。（知及び技に関する内容） ・学習した言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。（思判表力に関する内容） ・カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。（学・人に関する内容）

2学期	22	(知及技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中１段階：Cア) (学・人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中1段階)	(知・技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ②」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小２段階：Bイ) (学・人)文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技)姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができている。 (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができている。 (主学)文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元３ 「自分で選んでやってみよう」	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。(知及び技に関する内容) ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。(思判表力に関する内容) ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。(学・人に関する内容)
3学期	5	(知及技)様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小３段階Bウ) (学・人)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。(中1段階)	(知・技)筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。 (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができている。 (主学)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元１ 「道具を使って書いてみよう」	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。(知及び技に関する内容) ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。(思判表力に関する内容) ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。(学・人に関する内容)
	15	(知及技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりことができる。(高１段階：ウ（ウ）) (学・人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中2段階)	(知・技)日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきこうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ③」	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。(知及び技に関する内容) ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。(思判表力に関する内容) ・図書室で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。(学・人に関する内容)
	10	(知及技)短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階ウ(ア)) (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階Cエ) (学・人)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。(中2段階)	(知・技)短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができている。 (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができている。 (主学)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元３ 「やりとりを楽しもう」	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。(知及び技に関する内容) ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。(思判表力に関する内容) ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等	・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況を評価資料とする。				

令和　7　年度 高等部　1年（　Ⅱ課程A類型①②グループ）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高1年　20名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国土の様子と国民生活、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。（高1段階） (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。（高1段階） (学･人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願う日本人としての世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解することができる。（高2段階：オ（ア）㋐） (思判表力) 日本における沖縄県の位置や市町村の位置、地形の特色等を地図や視覚資料から選択することができる。（高2段階：オ（ア）㋑） (学･人) 自分の住んでいる市町村について調べようとしている。（中1段階：オ（ア）㋐）	(知・技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解している。 (思･判･表)日本における沖縄県の位置や市町村の位置、地形の特色等を地図や視覚資料から選択している。 (主学)自分の住んでいる市町村について調べている。	・国土と大陸	・六大陸と日本. ・日本と沖縄. ・沖縄と自分の住んでいる市町村 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㋑） (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑） (学･人) 戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。 （高2段階：カ（ア）㋐）	(知・技）戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解している。 (思･判･表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとしている。	・沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・移民の歴史 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㋐） (思判表力) ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㋑） (学･人) よりよいルールについて考えようとすることができる。（高2段階：イ（イ）㋑）	(知・技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解している。 (思･判･表)ルールの意義について考えている。 (主学）よりよいルールについて考えている。	・憲法と国民生活	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と第二次世界大戦 ・民主主義って？ ・単元を通して学んだこと
	10	（知及技） 沖縄や他地域の文化遺産をいくつか、挙げることができる。（中2段階：オ（イ）㋐） (思判表力) 沖縄や他地域の文化遺産を比較して、違いについて考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑） （学・人） 沖縄や他地域にどのような文化遺産があるか、調べることができる。（高2段階：オ（イ）㋑）	(知・技）沖縄や他地域の文化遺産をいくつか挙げている。 (思･判･表)沖縄や他地域の文化遺産を比較して、違いについて考えている。 (主学）沖縄や他地域にどのような文化遺産があるか調べている。	・地域の文化遺産を紹介しよう	・地域の文化遺産 ・他地域の文化遺産 ・沖縄とハワイのつながり ・単元を通して学んだこと

2学期	9	（知及技） 自分で作成したツアーにある観光地について、知ることができる（中2段階：オ（ア）㋐） （思判表力） ツアー作成を通して、沖縄の良さについて考えることができる。（中2段階：オ（ア）㋑） （学・人） グループでツアーを作成する際、活動に参加することができる。（中2段階：オ（ア）㋑）	（知・技）観光地について、用紙にまとめている。 (思･判･表)ツアー作成を通して、沖縄の良さについて考えている。 (主学）グループでツアーを作成する際、活動に参加している。	・沖縄観光ツアーをつくろう	・沖縄県と本土の違い ・沖縄県の魅力 ・ツアーをつくろう ・グループでツアーをつくろう ・単元を通して学んだこと
	9	（知及技） 多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） (思判表力） 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㋐） （学・人） 選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への興味をもつことができる。（高2段階：ア（ア）㋑）	（知・技）多数決の原理について理解している。 （思・判・表）模擬選挙の際、代表者を選択している。 （主学）政治参加への興味を示している。	・生徒会役員選挙に向けて	・多数決の原理 ・生徒会選挙 ・選挙 ・単元を通して学んだこと
3学期	9	（知及技） SDGsの項目をいくつか知ることができる。（高2段階：カ（ア）㋑） （思判表力） 関心のあるSDGsの目標を選択することができる。（高2段階：カ（ア）㋑） （学・人） 持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えることができる。（高2段階：カ（ア）㋑）	(知・技）SDGsの項目をいくつか挙げている。 (思･判･表)関心のあるSDGsの目標を選択している。 (主学）持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えている。	・SDGs	・SDGs17の目標とは。 ・興味関心のある目標は。 ・他の人と関心のある目標について伝え合おう ・持続可能な社会をつくるため ・単元を通して学んだこと
	9	（知及技） 避難経路を知ることができる。（中2段階：ウ（ア）㋐） （思判表力） 国土の環境、安全について、自分たちにできることを考えて表現できる。（高1段階：ウ（ア）㋐） （学・人） 自然災害の種類や対処について考えることができる。（高1段階：ウ（ア）㋐）	(知・技）地域のハザードマップから避難経路を読み取っている。 (思･判･表)国土の環境、安全について、自分たちにできることを考え、表現している。 (主学）自然災害の種類や対処を考えている。	・防災ポスターを作ろう	・津波や台風の発生しやすい地域を調べよう ・災害から身を守ろう ・単元を通して学んだこと
留意点 引継ぎ等	授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和　7　年度　　高等部　1年（　Ⅱ課程A類型③④グループ）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高1年 15 名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高1段階） (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身につけ、地域社会の一員として共に生きる大切さについての自覚を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解することができる。（高2段階：オ（ア）、中2段階：オ（ア）㋑） (思判表力) 日本における沖縄県の位置や市町村の位置、地形の特色等を地図や視覚資料から選択することができる。（中2段階：オ（ア）②） (学･人) 自分の住んでいる市町村について調べることができる。（中1段階：オ（ア）㋐）	(知・技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解している。 (思･判･表)日本における沖縄県の位置や市町村の位置、地形の特色等を地図や視覚資料から選択している。 (主学）自分の住んでいる市町村について調べようとしている。	・国土と大陸	・方位と地図 ・六大陸と日本 ・都道府県 ・世界の国々 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㋑） (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑） (学･人) 戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。 （高2段階：カ（ア）ア）	(知・技）視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できる。 (思･判･表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。 (主学）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。	・沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㋐） （思判表力） なりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㋑） （学・人） 自立へ向けて考えることができる。（高1段階：ア（ア）㋑）	（知・技）青年期の特徴について理解している。 （思判表力）なりたい自分について考え表現している。 （主学）自立へ向けて考える様子がみられる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題 ・単元を通して学んだこと

2学期	10	（知及技） 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㋐） (思判表力) ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㋑） (学･人) よりよいルールについて考えようとすることができる。（高2段階：イ（イ（㋑）））	(知・技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことを理解している。 (思･判･表)ルールの意義について考えている。 (主学）よりよいルールについて考えている。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と明治憲法 ・民主主義って？
	9	（知及技） 多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） (思判表力) 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㋐） （学・人） 選挙で代表を選ぶこと、国民の権利や意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる（高2段階：ア（ア）㋑）	（知・技）多数決の原理について理解している。 （思・判・表）模擬選挙の際、代表者を選択している。 （主学）選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解している。マニフェストを調べている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙 ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	（知及技） 修学旅行先の観光地について、知ることができる（中2段階：オ（ア）㋐） (思判表力) 修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えることができる。（中2段階：オ（ア）㋑） （学・人） グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中2段階：オ（ア）㋑）	(知・技）修学旅行先の観光地について、理解している。 (思･判･表)修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えている。 (主学）グループ活動（調べ学習）に参加している。	修学旅行にむけて	・修学旅行先ガイドマップをつくろう ・おすすめスポットの紹介
3学期	9	（知及技） 現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㋐）（高2段階：カ（ア）㋐） （思・判・表） 自分がどのようなかたちで社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑） （学・人） 現代社会の課題解決について考えようとすることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑）	（知・技）現代社会の特徴を理解している。 （思・判・表）自分がどのようなかたちで社会参加できるか、プリントにまとめたり発表している。 （主学）現代社会の課題解決について、プリントにまとめたり、発表している。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加･自立 ・これからの社会
	9	（知及技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （思判表力）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （学・人）時事問題を調べることができる。（高1段階：オ（イ）㋑）	（知・技）時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 （思・判・表）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 （主学）新聞や情報通信機器等を用いて時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和　7　年度 高等部　1年（Ⅱ課程B類型）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高1年　6名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力)社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。（高１段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) あいさつができ、横断歩道を教師と一緒にわたることができる。（小3段階：イ（イ））（小3段階：ケ（イ）） (思判表力)横断歩道歩行の際、安全を確認できる。ロッカー整理を自分でできる。（小学部：3段階イ（ア））（小学部：3段階ケ（ア）） (学･人) あいさつや交通ルールを守ろうとするよう心がけることができる。（知及技）（小学部：3段階イ（ア））（小学部：3段階ケ（ア））	(知・技）シミュレーションで挨拶している。校内の横断歩道を教師と渡っている。 (思･判･表）左右確認している。ロッカー整理や清掃している。 (主学)あいさつやルールを守ろうとする姿勢が見られる。	【社会参加ときまり】 ・交通ルール ・あいさつ ・一人でやってみよう	・挨拶、返事、身だしなみ ・ルールやマナー、きまり ・手洗い ・ロッカー整理
	10	（知及技）戦争当時の様子や戦後までの経過を知ることができる。（中２段階：オ（イ）㋐） （思判表力）当時の人々の生活の様子や思いを共感的に捉え、表現することができる。（中２段階：オ（イ）㋑） （学・人）作業において分担された個人の役割を教師と一緒に行うことができる。（小生２段階：カ（ア））	(知・技）戦後の写真や戦争の写真に着目している。 (思･判･表）戦後や戦争の写真を見て、質問に答えたり、反応している。 (主学)友達と一緒に活動し、教師と一緒に簡単な役割を行っている。	【我が国の地理や歴史】 ・復帰記念日、慰霊の日	・復帰記念日の歴史的背景 ・慰霊の日の歴史的背景 ・募金箱づくり ・平和の鳩
	8	（知及技）教師と避難経路を通ることができる。（小2段階：イ（ア）） （思判表力）避難経路や火災の写真をみて、どのようにすれば良いのか、考え表現できる。（小2段階：イ（ア）） （学・人）火災が危険だと知ることができる。（小2段階：イ（ア））	(知・技）教師と一緒に落ち着いて避難場所まで移動している。 (思･判･表）写真をみて、危険回避できるような反応がある。 (主学)火災の写真をみて、「危ない」など危険と認識している反応がある。	【地域の安全】 ・防災学習（火災）	・火災避難訓練事前学習
	10	（知及技）どのような公共施設なのか知ることができる。（小1段階：コ（イ）） （思判表力）どのようなときにどの公共施設を利用できるのか、考えることができる。（小1段階：コ（イ）） （学・人）利用できる、したい公共施設を見つけることができる。（小1段階：コ（イ））	(知・技）公共施設に関する写真を見て、正しく答えている。 (思･判･表）場面を想定した質問に対して、正しく答えている。 (主学)公共施設の説明を聞こうとしている。	【公共施設と制度】 ・公共施設の役割	・教室や各特別教室の役割 ・公共施設の役割

2学期	8	（知及技） 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行うことができる。(小生２段階:カ(イ)) （思判表力） 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告することができる。(小生２段階:カ(ア)) （学・人）集団参加の中で簡単な役割を果たそうとすることができる。 (小生３段階:カ(イ))	（知及技） 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行っている。 （思判表力） 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告している。 （学・人）集団参加の中で簡単な役割を果たしている。	【役割】 ・一緒にやってみよう ・自分の役割に取り組もう	・制作 ・簡単なお仕事
	6	（知及技）教師と避難経路を通ることができる。教師と一緒にあるいは自分で、模擬選挙の代表者を選ぶことができる（小2段階：イ（ア））（小1段階：コ（イ）） （思判表力）避難経路や火災の写真をみて、どのようにすれば良いのか、考え表現できる。代表者を選ぶ理由がある。（小2段階：イ（ア））（小1段階：コ（イ）） （学・人）地震津波、火災が危険と言うことが分かる。選挙に対して前向きな気持ちを持てる。（小2段階：イ（ア））（小1段階：コ（イ））	（知・技）教師と一緒に落ち着いて避難場所まで移動している。模擬選挙で代表者を選んでいる。 (思･判･表）写真をみて、危険回避できるような反応がある。模擬選挙の代表者を選ぶ様子が見られる。 (主学)地震津波、火災の写真をみて、危険と言う反応をしている。選挙についての説明を聞いている。	【地域の安全】 ・防災学習（地震、津波） 【社会参加ときまり】 ・選挙について（主権者教育）	・地震、津波、火災避難訓練事前学習 ・模擬投票 ・生徒会役員選挙
3学期	8	（知及技）世界の食べ物や生活、人に関する写真をみて正しく答えることができる。（中1段階：カ（ア）㋐） （思判表力）世界の食べ物や生活、人に関する写真に興味を持てる。（中1段階：カ（ア）㋐） （学・人）世界の食べ物や生活、人に関する写真に興味を持てる。（中1段階：カ（ア）㋐）	（知・技）視聴覚教材をみて反応がある。プリントに正しく答えている。 (思･判･表）世界の食べ物や生活、人に関する写真に着目している。 (主学)世界の食べ物や生活、人に関する質問に答えている。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界	・世界の人々と文化
	10	（知及技）良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、どのように過ごした方が良いのか知ることができる。（小3段階：ア（ア）） （思判表力）良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、どのように過ごした方が良いのか、考えることができる。（小3段階：ア（ア）） （主学）良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、前向きな姿勢になれる。（小3段階：ア（ア））	（知・技）良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごしたりするために、どのように過ごした方が良いのか理解している 。 (思･判･表）良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、どのように過ごした方が良いのか、考えている。 (主学)良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、前向きな姿勢になっている。	【社会参加ときまり】 ・次年度に向けて	・学校での過ごし方 ・余暇時間の過ごし方
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程A類型①グループ）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒について	担当者	教科書／副教材
３時間	１学年11名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階） (学･人）数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	15	（知及技）万の単位や１億までの整数について知り、十進法や４桁区切りによる万数法を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考えることができる。(高１段階Ａアイエ） （思判表力）整数の表し方について数学的表現を用いて考えることができる。（高１段階Ａアイエ） （学・人）学習の過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）万の単位や１億までの整数を知り、十進位取りについての理解を深めるとともに、１０倍、１００倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。 (思･判･表)数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。 (主学)１億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の表し方 ・整数及び小数の表し方 ・整数の加法と減法	○数と計算 ・億、兆までの数 ・10倍の数、100の数、１/10の数 ・足し算・引き算
	15	（知及技）概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。(高１段階Ａウ） （思判表力）数学的表現を適切に活用し、目的にあった数の処理の仕方を考えることができる。（高１段階Ａウ） （学・人）概数を用いて考えた過程を振り返り、その良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。(高１段階）	(知・技）概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。 (思･判･表)日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理する良さについて考え、説明している。 (主学)日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【A数と計算】 ・およその数の表し方 ・概数を使った計算	○数と計算 ・1000円で買えるものを考えよう ・学校の生徒数や人口について、概数で表す仕方を考える。 ・3人の目的に応じた代金の見当のつけ方を考える。

	6	（知及技）簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる２つの数量やそれらの関係を表を用いて考えることができる。（高１段Ｃア） （思判表力）伴って変わる２つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えることができる。（高１段階Ｃア） （学・人）考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見出すことができる。 (思･判･表)伴って変わる２つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係をとらえ、比例の関係を使った問題解決の仕方を考え、説明している。 (主学)簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量	○変化と関係 ・比例をくわしく調べてみよう
2学期	12	（知及技）平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解することができる。（高１段階Ｂア㋐㋑㋒） （思判表力）図形を構成する要素に着目してとらえることができる。（高１段階Ｂア） （学・人）図形を構成する要素をとらえる力を今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。 (思･判･表)辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出し、説明している。 (主学)身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【B図形】 ・平面図形 ・ものの位置	○図形 ・同じ種類の四角形を探してみよう ・自分の位置から相手を見つけよう
	21	（知及技）面積に関する単位について理解し、正方形や長方形の面積を計算して求められるようにすることができる。（高１段階Ｂイウエ） （思判表力）数学的表現を適切に活用して面積の求め方や単位について考えることができる。（高１段階Ｂイウエ） （学・人）普遍単位の個数を基に考察した過程を振り返り、その良さに気づき今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間の関係を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。 (思･判･表)量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。 (主学)面積を数値化して表すことの良さや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【B図形】 ・平面図形の面積 ・立体図形	○図形 ・四角形の面積/三角形の面積 ・展開図から立体を考えてみよう

	9	（知及技）異種の2量の割合としてとらえられる数量について，速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解することができる。(高１段階Ｃイ) （思判表力）単位量当たりの大きさを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考えることができる。（高１段階Ｃイ） （学・人）単位量当たりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技）異種の2量の割合としてとらえられる数量について，速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し，速さや単位量当たりの大きさを求めたり，比べたりすることができる。 (思･判･表)異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し，目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。 (主学)速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方を，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量	○変化と関係 ・速さの比べ方を考えてみよう ～いろんな乗り物の速さ比べ～
3学期	15	（知及技）日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができる。(高１段階Ｄアイ) （思判表力）数学的表現を適切に活用して、表やグラフから見出したことを考察することができる。（高１段階Ｄアイ） （学・人）データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。 (思･判･表)目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。 (主学)データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。	【Dデータの活用】 ・データの収集とその分析 ・測定した結果を平均する方法	○データの活用 ・わかりやすく整理して表そう ～棒グラフと表～ ・ならした大きさ（平均）を考えよう 平均を使ってみよう
	12	（知及技）2つの数量の関係について，割合で比べる場合があることや，百分率による割合の表し方を理解することができる。(高１段階Ｃウ) （思判表力）割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考えることができる。（高１段階Ｃウ） （学・人）多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技）2つの数量の関係について，割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し，割合を用いて比べたり，割合や百分率を求めたりすることができる。 (思･判･表)2つの数量の関係に着目し，倍の意味を基に，割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。 (主学)2つの数量の関係の比べ方や表し方などを，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・二つの数量の関係	○変化と関係 ・割合の表し方を考えよう
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程A類型②グループ）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒について	担当者	教科書／副教材
3/105	1学年9名		なし

99^@

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階) (学･人）数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。 職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	15	（知及技）万の単位や１億までの整数について知り、十進法や４桁区切りによる万数法を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考えることができる。(高１段階アイエ） （思判表力）整数の表し方について数学的表現を用いて考えることができる。（高１段階アイエ） （学・人）学習の過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）万の単位や１億までの整数を知り、十進位取りについての理解を深めるとともに、１０倍、１００倍、1/10にした数や、数や式の相等、大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。 (思･判･表)数の構成や仕組みに着目し、万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ、説明している。 (主学)１億までの数の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の表し方 ・整数及び小数の表し方 ・整数の加法と減法	○数と計算 ・億、兆までの数 ・10倍の数、100の数、１/10の数 ・足し算・引き算
	15	（知及技）概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。(高１段階Ａウ） （思判表力）数学的表現を適切に活用し、目的にあった数の処理の仕方を考えることができる。（高１段階Ａウ） （学・人）概数を用いて考えた過程を振り返り、その良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。 (思･判･表)日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理する良さについて考え、説明している。 (主学)日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【A数と計算】 ・およその数の表し方 ・概数を使った計算	○数と計算 ・1000円で買えるものを考えよう ・学校の生徒数や人口について、概数で表す仕方を考える。 ・3人の目的に応じた代金の見当のつけ方を考える。

	6	（知及技）簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる２つの数量やそれらの関係を表を用いて考えることができる。(高１段階Ｃア) （思判表力）伴って変わる２つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えることができる。（高１段階Ｃア） （学・人）考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見出すことができる。 (思･判･表)伴って変わる２つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係をとらえ、比例の関係を使った問題解決の仕方を考え、説明している。 (主学)簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量	○変化と関係 ・比例をくわしく調べてみよう
2学期	12	（知及技）平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解することができる。(高１段階Ｂア㋐㋑㋒) （思判表力）図形を構成する要素に着目してとらえることができる。（高１段階Ｂア） （学・人）図形を構成する要素をとらえる力を今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。 (思･判･表)辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見射出し、説明している。 (主学)身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【B図形】 ・平面図形 ・ものの位置	○図形 ・同じ種類の四角形を探してみよう ・自分の位置から相手を見つけよう
	21	（知及技）面積に関する単位について理解し、正方形や長方形の面積を計算して求められるようにすることができる。(高１段階Ｂイウエ) （思判表力）数学的表現を適切に活用して面積の求め方や単位について考えることができる。（高１段階Ｂイウエ） （学・人）普遍単位の個数を基に考察した過程を振り返り、その良さに気づき今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間の関係を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。 (思･判･表)量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。 (主学)面積を数値化して表すことの良さや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学の良さに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【B図形】 ・平面図形の面積 ・立体図形	○図形 ・四角形の面積/三角形の面積 ・展開図から立体を考えてみよう

	9	（知及技）異種の2量の割合としてとらえられる数量について，速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解することができる。(高１段階Ｃイ） （思判表力）単位量当たりの大きさを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考えることができる。（高１段階Ｃイ） （学・人）単位量当たりの大きさの意味や表し方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）異種の2量の割合としてとらえられる数量について，速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し，速さや単位量当たりの大きさを求めたり，比べたりすることができる。 (思･判･表)異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し，目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。 (主学)速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方を，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量	○変化と関係 イ速さの比べ方を考えてみよう ～いろんな乗り物の速さ比べ～
３学期	15	（知及技）日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができる。(高１段階Ｄアイ） （思判表力）数学的表現を適切に活用して、表やグラフから見出したことを考察することができる。（高１段階Ｄアイ） （学・人）データを整理し考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。 (思･判･表)目的に応じてデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりする方法について考え、説明している。 (主学)データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。	【Dデータの活用】 ・データの収集とその分析 ・測定した結果を平均する方法	○データの活用 ・わかりやすく整理して表そう ～棒グラフと表～ ・ならした大きさ（平均）を考えよう 平均を使ってみよう
	12	（知及技）2つの数量の関係について，割合で比べる場合があることや，百分率による割合の表し方を理解することができる。(高１段階Ｃウ） （思判表力）割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考えることができる。（高１段階Ｃウ） （学・人）多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技）2つの数量の関係について，割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し，割合を用いて比べたり，割合や百分率を求めたりすることができる。 (思･判･表)2つの数量の関係に着目し，倍の意味を基に，割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。 (主学)2つの数量の関係の比べ方や表し方などを，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・二つの数量の関係	○変化と関係 ・割合の表し方を考えよう
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程A類型　③④グループ　）数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部1年　15名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) 億や兆までの整数を表すことができる。(高1段階Aア) (思判表力)数のまとまりに着目し、大きな数の大きさを比べたり、数えることができる。(高1段階Aア) (学･人)億や兆の仕組みや表し方について理解し、生活や学習に活用することができる。(高1段階Aア)	(知･技)億や兆までの整数を知り、理解することができている。 (思･判･表)大きな数の大きさを比べたり、数えることができている。 (主学)億や兆の仕組みや表し方について理解し、生活や学習に活用することができている。	【A数と計算】 ア整数の表し方	・「億」や「兆」の意味を知る。 ・整数の位取りの仕組みをまとめる。
		(知及技) 概数や四捨五入の意味を理解することができる。（高1段階Aイウ） (思判表力) 四捨五入する位に着目して、概数にする方法を考えることができる。（高1段階Aイウ） (学･人) 目的に応じて計算の見積ができる。（高1段階Aイウ）	(知･技) 概数や四捨五入の意味について理解している。 (思･判･表) 四捨五入する位に着目して、概数にする方法を理解している。 (主学) 目的に応じて計算の見積ができている。	【A数と計算】 イ概数 ウ四捨五入	・「がい数」の意味や概数を「約」を用いて表すことを知る。 ・「四捨五入」の意味や方法を知る。 ・見積を出して、1000円で買える物を考える。
		(知及技) 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができる。（中2段階Aイ） (思判表力) 数量の関係に着目し、数の適用範囲を広げ、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見出すことができる。（中2段階Aイ） (学･人) 既習の筆算の仕方を基に、3～4位数の加減法の筆算の仕方を考えることができる。（高1段階Aエ）	(知･技) 4位数までの加減法が筆算でできている。 (思･判･表) 3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて表現できている。 (主学) 3～4位数の加減法の筆算の仕方を考えることができている。	【A数と計算】 エ　整数の加法及び減法	・筆算の仕方をまとめる。 ・場面をとらえ、図を基に式を立てる。
		(知及技)変化の様子を表や式を用いて表したり、変化の特徴を読み取ることができる。（中2段階Cア） (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化の特徴に気づくことができる。（中2段階Cア） (学･人)二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができる。（高1段階Cア）	(知･技)伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて調べることができている。 (思･判･表)伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考えることができている。 (主学)二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができている。	【C変化と関係】 ア伴って変わる二つの数量	・表を用いて数量の変化について調べる。 ・比例について詳しく調べる。

2学期	42	(知及技)基本的な図形が分かり、その図形を書いたり、簡単な図表を作ったりすることができる。(中1段階Bア) (思判表力)図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見いだし、身の回りの物の形を図形として捉えることができる。(中1段階Bア) (学・人)身の回りにあるものの形の中から直角を見つけることができる。	(知・技)基本的な図形が分かり、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図することができている。 (思・判・表)辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見出すことができている。 (主学)身の回りにあるものの形の中から直角を見つけようとしている。	【B図形】 ア図形	・基本的な図形の意味や性質を理解する。 ・用語「辺」「頂点」を知る。 ・格子点を直線で結んで。三角形や四角形などの基本図形を構成する。 ・身の回りから三角形や四角形を探す。 ・紙を折って直角を作る。 ・長方形の紙を折ってはみ出した部分を切り取って正方形を作る。
		(知及技) ものの位置の表し方について理解することができる。(高1段階Bウ) (思判表力) 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現することができる。(高1段階Bウ) (学・人) 平面上の位置の表し方をもとに，空間の位置の表し方を考えることができる。(高1段階Bウ)	(知・技) ものの位置の表し方について理解することができている。 (思・判・表) 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現することができている。 (主学) 平面上の位置の表し方をもとに，空間の位置の表し方を考えることができている。	【B図形】 ウものの位置	・自分の位置から相手を見つける。 ・前後、左右、上下を知る。
		(知及技)面積の単位【平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)平方キロメートル(㎢)】について知り、測定の意味について理解することができる。(中2段階Bイ) (思判表力)面積の単位に着目し、図形の面積について、求め方を考えたり、計算して表すことができる。(中2段階Bイ) (学・人)図を分割したり補ったりして面積を求めることができる。(中2段階Bイ)	(知・技)面積の意味や面積の単位【平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)平方キロメートル(㎢)】について理解している。 (思・判・表)正方形、長方形の特徴や1㎠のますの数に着目して、長方形や正方形の面積を求める公式を考えることができている。 (主学)図を分割したり補ったりして面積を求めることができている。	【B図形】 イ面積	・「面積」の意味や面積の単位【平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)平方キロメートル(㎢)】について知る。 ・長方形、正方形の面積を計算で求める方法を考える。 ・長方形を組み合わせた図形の面積を、分割したり、補ったりするなどのいろいろな考えで求める。
		(知及技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。(小3段階Cア) (思判表力)身の回りの物の長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現することができる。(小3段階Cア) (学・人)身の回りにあるものの特徴などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考えることができる。(小3段階Cア)	(知・技)長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができている。 (思・判・表)身の回りの物の長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現することができている。 (主学)身の回りにあるものの特徴などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考えることができる。	【C変化と関係】 【測定】 ア身の回りのものの量と単位と測定	・身の回りにあるものの測定をする。 ・目盛りを読む。 ・長さ、広さ、かさの単位を知る。
3学期	27	(知及技)身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ることができる。(中1段階Dア) (思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、簡単な表やグラフを用いながら読み取ることができる。(中1段階Dア) (学・人)身の回りの事象について考察した過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に生かすことができる。(中1段階Dア)	(知・技)日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができている。 (思・判・表)目的に応じてデータを整理し、身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察することができている。 (主学)身の回りの事象について考察した過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に生かすことができている。	【Dデータの活用】 アデータの収集とその分析	・「正」の字を使って数量を整理する。 ・「合計」の意味を知る。 ・「棒グラフ」について理解する。 ・表と棒グラフを比較し、どんなことがわかりやすくなったか考える。 ・棒グラフの長さに着目して、棒グラフの特徴をまとめる。
		(知及技)簡単な場合について、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知ることができる。(中2段階Cイ) (思判表力)日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができる。(中2段階Cイ) (学・人)二つの数量の関係を表で調べることのよさに気付くことができる。(中2段階Cイ)	(知・技)二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いることができている。 (思・判・表)日常生活における数量の関係に着目し、図や式を用いて、二つの数量の関係を考察することができている。 (主学)二つの数量の関係を表で調べることのよさに気付くことができている。	【C変化と関係】 イ二つの数量の関係	・割合の表し方を考える。 ・二つの数量の関係を表に表したり，式に表したりして，規則性について考察する。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１年（Ⅱ課程B類型）　　数学科年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3単位 105時間	1学年Ⅱ課程B類型（６人）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、 職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）ものの集まりや数詞と対応して数字がわかる。【小２段階Ａ数と計算】 (思判表力)数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方を考える。【小２段階Ａ数と計算】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高１段階】	(知・技）１０までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したりしている。【小２段階Ａ数と計算】 (思･判･表)数の数え方や数の大小比較、数の合成や分解の仕方を磁石・シールや数字カード等の具体物を使って表現している。【小２段階Ａ数と計算】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	【Ａ数と計算】 １０までの数の数え方や表し方、構成【小２段階Ａ数と計算ア】	○数と計算 ・「配ってみよう」 数唱しながら物を取ったり配ったりする。また、物を対応させて配る。色や形、位置が変わっても、数は変わらないことに気づく。 ・「並べてみよう・並んでみよう」 数の系列が分かり、順序や位置を表すのに数を用いる。 ・「あわせていくつ？いくつといくつ？」 1つの数を２つの数に分けたり、２つの数を１つにまとめたりして表す。
	18	(知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較する。【小３段階Ｃ測定】 (思判表力)身の回りのもの長さ・広さ及びかさについて、その単位に着目し大小を比較したり、表現したりする。【小３段階Ｃ測定】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高１段階】	(知・技）長さについて、比較物と端を揃えてまっすぐに並べている。広さについて、比較物と２辺を揃えて並べている。かさについて、同じ大きさの空のカップを使ってくらべている。【小３段階Ｃ測定】 (思･判･表)長さ・かさについて、色板等を使い２つの比較物の「○個分」から、長い方（短い方）・広い方（狭い方）を選択している。かさについて、カップ「○個分」と表現している【小３段階Ｃ測定】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	【Ｃ測定】 身の回りのものの量の単位と測定【小３段階Ｃ測定ア】	○測定 ・「○個分で長さを比べよう」 長さや高さなどの量の大きさを知る。２つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べる。長い・短い、高い・低いを判断する。 ・「○個分で広さを比べよう」 広い・狭いの用語を知る。２つの量の大きさについて、一方を基準にして相対的に比べる。広い・狭いを判断する。
2学期	20	(知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉える。【小３段階Ｂ図形】 (思判表力)身の回りにあるものから、いろいろな形を見つけたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする。【小３段階Ｂ図形】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高１段階】	(知・技）丸、三角、四角がそれぞれどのような形であるかを理解し、弁別している。【小３段階Ｂ図形】 (思･判･表)色板・棒・積み木を組み合わせ、三角形・四角形、家やロケット等を作っている。【小３段階Ｂ図形】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	【Ｂ図形】 身の回りにあるものの形【小３段階Ｂ図形ア】	○図形 ・「同じ形に分けよう」 丸、三角、四角の特徴を知り、形の弁別をする。ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴をとらえ、形をわける。 ・「形をつくろう（見本構成）」 丸、三角、四角の形を使って、具体物をつくる。

	22	(知及技）時間の単位（日、午前、午後、時、分）について知り、それらの関係を理解する。【小３段階Ｃ測定】 (思判表力)実際の生活の場面で、午前・午後を判断することができる。【小３段階Ｃ測定】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高１段階】	(知・技）今日の日付を表現したり、カレンダーから選んだりしている。正時を理解し、時刻を読んだり、絵カード等を選ぶことができる。【小３段階Ｃ測定】 (思･判･表)絵カード等を使って、実際の生活の場面で、午前・午後を判断している。【小３段階Ｃ測定】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	【Ｃ測定】 時刻や時間【小３段階Ｃ測定ア】	○測定 ・「午前・午後」 時間の単位（日、午前、午後）について知る。日常生活の中で、午前・午後の判断をする。 ・「時間」 時間の単位（時、分）について知る。
３学期	27	(知及技）身近なものを目的、用途、機能に着目して分類する。【小２段階Ｄデータの活用】 (思判表力)身の回りにあるものの個数に着目して、絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。【小２段階Ｄデータの活用】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【高１段階】	(知・技）設定されたテーマに合う・合わないの選択をしている。また、テーマに属するのか絵カードを分類している。【小２段階Ｄデータの活用】 (思･判･表)ゲームの結果を磁石、シール等で表に表している。また「多い」「少ない」に気付くことができている。【小２段階Ｄデータの活用】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	【Ｄデータの活用】 ものの分類、同等と多少、○×を用いた表【小２段階Ｄデータの活用ア】	○データの活用 ・「わけてみよう」 身近なものを目的、用途、機能に着目して分類する。共通点や相違点を考える。 ・「勝敗を決めよう」 ものとものを対応させることで、ものの同等や多少を知る。身近にあるものの個数に着目して絵グラフなどに表し、多少を読み取って表現する。 ・「○×を用いた表」 身の回りの出来事を捉え、○×を用いた簡単な表を作成する。「○×」の意味を知る。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程　A類型①②　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	20名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということがわかる。【中２段階】 (思判表力)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中２段階】	(知・技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということを理解している。 (思･判･表)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高２段階】 (学･人)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることを理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思･判･表)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと働き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと働きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	4	(知及技）人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高１段階】 (思判表力)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高１段階】 (学･人)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思･判･表)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2学期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。【中１段階】 (思判表力)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思･判･表)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高１段階】 (思判表力)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思･判･表)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかなどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3学期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高２段階】 (思判表力)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高２段階】 (学･人)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高２段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思･判･表)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察			

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程　A類型③④　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	15名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということがわかる。【中２段階】 (思判表力)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中２段階】	(知・技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということを理解している。 (思･判･表)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高２段階】 (学･人)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることを理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思･判･表)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと働き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと働きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	4	(知及技）人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高１段階】 (思判表力)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高１段階】 (学･人)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思･判･表)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2学期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。【中１段階】 (思判表力)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思･判･表)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高１段階】 (思判表力)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思･判･表)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかなどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3学期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高２段階】 (思判表力)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高２段階】 (学･人)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高２段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思･判･表)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察			

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程　B類型　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	6名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということがわかる。【中２段階】 (思判表力)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中２段階】	(知・技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということを理解している。 (思･判･表)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高２段階】 (学･人)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることを理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思･判･表)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと働き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと働きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	4	(知及技）人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高１段階】 (思判表力)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高１段階】 (学･人)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思･判･表)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2学期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。【中１段階】 (思判表力)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思･判･表)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高１段階】 (思判表力)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思･判･表)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかなどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3学期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高２段階】 (思判表力)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高２段階】 (学･人)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高２段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思･判･表)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察			

令和7年度 高学部　1年（Ⅱ課程A類型　グループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年　A①　A②		MOUSA①

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「姿勢や呼吸を意識して歌おう」 〔器楽〕 「リズムの変化を感じながら演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴から情景を創造しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐範唱を聴いたり，ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能。 ㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐範奏を聴いたり，ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する 〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わり (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㋑設定した条件に基づいて，様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する B鑑賞 (知識) (イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「音の強弱や歌詞の意味を感じて歌おう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔創作〕 「簡単な旋律やリズムを作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	
3学期	18	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「曲想を感じ、仲間とともに合唱しよう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 〔鑑賞〕 「日本や諸外国の特徴を感じて、その魅力を味わおう」	

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する

令和　7　年度 高学部　1年（Ⅱ課程A類型　グループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年　A③④グループ		mousa 1

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部1段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部1段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部1段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部1段階） 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部1段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「姿勢や呼吸を意識して歌おう」 〔器楽〕 「リズムの特徴を感じながら演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて動きを真似してみよう」 〔鑑賞〕 「メロディーや音色などから、曲の雰囲気を感じ取ろう」	**A表現**〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する 〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する **B鑑賞** (知識) (イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く
2学期	28	〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部1段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部1段階） **B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。（高等部1段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部1段階）	〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部1段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部1段階） **B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部1段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「速度や音の強弱に気をつけて歌おう」 〔器楽〕 「強弱や音色の違いを感じて演奏しよう」 〔創作〕 「リズムをつなげてみよう」 〔鑑賞〕 「音やリズムなど自分の好きなところを見つけよう」	
3学期	18	**A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部1段階）	**A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部1段階）	〔歌唱〕 「曲名と曲のイメージを考えながら歌おう」 〔身体表現〕 「歌詞や曲名のイメージを体で表現しよう」 〔鑑賞〕 「リズムの変化や音の移り変わりを感じよう」	

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する

令和7年度 高学部１年（Ⅱ課程A類型Bグループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年　Bグループ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） **B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。後半カット（高等部１段階） (思判表力) 前半カット　音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） **B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「正しい声の出し方を意識して歌おう」 〔器楽〕 「楽器の鳴らし方を学ぼう」 〔身体表現〕 「音楽に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「平和に関する曲の歴史を知ろう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 ㋑声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ㋒互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける ㋒各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する ㋑音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㋒友達と動きを組み合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
2学期	28			〔歌唱〕 「曲に合わせて歌おう」 〔器楽〕 「曲に合わせて演奏しよう」 〔創作〕 「リズム遊びをしよう」 〔鑑賞〕 「楽器の音色を聴いてみよう」 「季節の音楽を聴こう」	
3学期	18			〔歌唱〕 「曲想を感じ、思いを込めて歌おう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 〔鑑賞〕 「世界各国の音楽を聴いてみよう」	

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する

令和　7年度 高等部　1年（　Ⅱ課程A類型　①②グループ　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1学年　２０名		高校生の美術１（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高等部１段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして表す。（高１段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：Ｂ鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技）形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして表している。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近なものを描く	身近なものや愛着のある物を観察して、形や色、構造などの良さや面白さを見つけて描く。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞したりする。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩の基礎	生活の中の色 色光と色料の三原色 色の三属性
	10	(知及技）形や色、質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりする。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品	○身近な素材と立体表現(基本)	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（中２段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたりする。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す（基本の技法）	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）思いや感じ取ったことを基にして、メディア機器の機能や効果を用いて表す。（高１段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)メディアの機能を使って画像表現を工夫する。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)） (学･人)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：Ａ表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。 (思・判・表)メディアの機能を使って画像表現効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫してする学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○映像メディア表現（簡単なアプリを使った画像）	表現効果を考えて、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成を創意工夫して画像を制作する。

3学期	8	(知及技）共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)）	(知・技）共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。 (思･判･表)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。 (主学)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。 【評価資料】活動の様子観察、作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。（中２段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。 (思･判･表)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○鑑賞 （身近な美術）	生活の中にある身近な作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　1年（　Ⅱ課程A類型　③④グループ　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1学年　15名		高校生の美術1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部1段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高等部1段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かして表している。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近なものを描く	身近なものや愛着のある物を観察して、形や色、構造などの良さや面白さを見つけて描く。
	10	(知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞したりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩の基礎	生活の中の色 色光と色料の三原色 色の三属性
	10	(知及技) 形や色、質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 形や色、質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品	○身近な素材と立体表現(基本)	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（中2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えたりする。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す（基本の技法）	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技) 思いや感じ取ったことを基にして、メディア機器の機能や効果を用いて表す。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)メディアの機能を使って画像表現を工夫する。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫する学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。 (思・判・表)メディアの機能を使って画像表現効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫してする学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○映像メディア表現（簡単なアプリを使った画像）	表現効果を考えて、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成を創意工夫して画像を制作する。
3学期	8	(知及技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。（高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)）	(知・技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。 (思･判･表)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。 (主学)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。 【評価資料】活動の様子観察、作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。（中2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。 (思･判･表)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○鑑賞（身近な美術）	生活の中にある身近な作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点引継ぎ等					

令和７年度　高等部　１年（　Ⅱ課程　Ｂ類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	１学年６名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）造形的な視点について気づき、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫することができる。（中１段階） （思判表力）造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。（中１段階） （学･人）美術の活動に楽しく取り組んで創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情や心豊かな生活を営む態度を身につけることができる。（中１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使う。（中１段階：表現（イ）） （思判表力）材料や想像したこと思ったことから描きたいものを思い付き、色や形をもとにイメージする。（小３段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）好きなものを生き生きと表現する。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使おうとする。（中１段階：表現（イ）） （思･判･表）材料や想像したこと思ったことから描きたいものを思い付き、色や形をもとにイメージしようとする。（小３段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）好きなものを生き生きと表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○好きなものを描こう	・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知及技に関する活動） ・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。（思判表力に関する活動） ・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。（主学）
	8	(知及技）素材や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知る。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） (思判表力)材料や想像したこと思ったことから表したいことを思いつく。（小３段階：表現（ア）） (学･人)楽しく表現活動に取り組むことができる。	(知・技）素材や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知ろうとする。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） (思･判･表)材料や想像したこと思ったことから表したいことを発想しようとする。（小３段階：表現（ア）） (主学)楽しく表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう。 ～のり絵の具を使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、色が混ざると変化することを知る。（知及技に関する活動） ・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。（思判表力に関する活動） ・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。（主学）
	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使う。（中１段階：表現（イ）） （思判表力）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。（小３段階：表現（ア）） （学・人）経験したことを思い出して描く。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使おうとする。（中１段階：表現（イ）） （思･判･表）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつこうとする。（小３段階：表現（ア）） （主学）経験したことを思い出して表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○校内実習で経験したことを思い出して描こう	・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。（知及技に関する活動） ・写真や動画を見て経験したことを思い出し、自分の作業の様子を描いたり写真を貼ったりして絵に表す。（思判表力に関する活動） ・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。（主学）
2学期	10	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。（中１段階：表現（イ）） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことや表したいことを思いつく。（小３段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな表現方法を楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。（中１段階：表現（イ）） （思･判･表）材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことや表し太鼓とを思いつく。（小３段階：表現（ア）） （主学）いろいろな表現方法を楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○スチレン版画でおもしろい模様を表現しよう	・スチレンボードを引っ掻いたり型押ししたりして、原画を作り、刷りまでの工程を理解する。インクをつけて刷ると違う作品に変化する様子を見る。（知・技に関する活動） ・線や形を組み合わせたり好きなものを並べたりして、おもしろい模様になるように考える。（思･判･表に関する活動） ・版画のおもしろさを味わう。（主学）

期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。（小３段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思･判･表）材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。（小３段階：表現（ア）） （主学）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な材料で張り子のお面を作ろう	・丸い型に習字紙やお花紙をのりで張り、自分の顔の目・鼻・口の配置を確認して形を作る。いろいろな材料で髪の毛や飾りを付ける。（知・技に関する活動） ・目・鼻・口の形を考えて作ったり、タックシールを張ったりして自分らしい顔を表現する。（思･判･表に関する活動） ・おもしろい飾りを付けたり、友達の作品と見比べたりしながら創作活動を楽しむ。（主学）
３学期	10	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使って表したり、形や色などの特徴を知る。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、思ったことから表したいことを思いつく。（小３段階：表現（ア）） （学・人）皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使って表したり、形や色などの特徴を知ろうとする。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思･判･表）材料や感じたこと、想像したこと、思ったことから表したいことを考える。（小３段階：表現（ア）） （主学）皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう	・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせて、テーマに合った形を表現する。（知・技に関する活動） ・卒業式の意味やテーマについて知り、３年生をお祝いしたり応援する気持ちを表す。（思･判･表に関する活動） ・（主学）一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。
	8	（知及技）形や色などの特徴について知る。（中１段階：共通（ア）） （思判表力）自分たちの作品や生活の中にあるものの形や色、面白さについて感じ取り、形や色の感じをもとに自分のイメージをもつ。（小３段階：鑑賞（ア）共通（イ）） （学・人）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。	（知・技）形や色などの特徴について知ろうとする。（中１段階：共通（ア）） （思･判･表）自分たちの作品や生活の中にあるものの形や色、面白さについて感じ取り、形や色の感じをもとに自分のイメージを持とうとする。（小３段階：鑑賞（ア）共通（イ）） （主学）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持とうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○自分や友達の作品を見てみよう ○身の回りの沖縄の工芸品を見てみよう ～自分のオリジナルシーサーに好きな色を塗ると～ ～お店みたいにお皿やシーサーを並べてみよう～	・自分や友達の作品を見比べて、色や形、表現の違いに気づく。身近にある沖縄の工芸品を見たり触ったりして、形や色の感じについて話し合う。（知・技に関する活動） ・自分の作品の色や形の面白さを理解し、身近にある沖縄の工芸品の形や色などをよく見たり触ったりして感じ取る。（思･判･表に関する活動） ・シーサーや沖縄の焼き物をぬりえやコラージュで楽しむ。（主学）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程・A類型　①②グループ　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	１学年１８名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高２段階) (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、礼） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整列、「前ならえ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス） ②体力を高める運動（2分時間走のセット、縄跳び） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ	①ストリームラインの習得 ②バタ足、手の掻き方 ②ストリームラインの習得 ②手足の動き ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング）
2学期	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ②バトンパス（オーバーハンドパス） ③ペース配分の習得。自己に適したペースでゆっくり長く走る。 ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック）
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高２段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法、中段突き、上段突き、中段蹴り、中段受け、上段受け、下段受けの基本動作の習得。簡易な形動作の習得。 ①基本的な動作から相対しての簡易な攻防の仕方の習得。
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高２段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①創作ダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き ②ボックスステップ等のダンスの基本的な動作を覚え、興味関心のある曲や動画から簡易なダンスを楽しんで踊る。

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に安全に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①健康の考え方 ②健康の保持増進と疾病の予防 ③精神の健康 ④交通安全	①健康の考え方、健康の成り立ちと取り組み、私たちの健康の姿 ②生活習慣病の予防、食事、運動、休養 ③欲求と適応機制、心の健康 ④交通事故を防ぐために
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程・A類型　③④グループ　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	1学年　１７名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高２段階) (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、礼） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整列、「前ならえ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス） ②体力を高める運動（インターバル走） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①水慣れ、蹴伸び、浮き ②クロール ③平泳ぎ ④背泳ぎ ⑤バタフライ	①水中歩行、ジャンプ、顔付け、壁キック、浮く ②手と足（バタ足）の動き ②呼吸法 ③手（両手で水を掻く）と足（カエル足）の動き ③呼吸法 ④手（後ろに回転）と足の動き ④呼吸法 ⑤手（両手を同時に肩から前に回す）と足（ドルフィンキック）の動き ⑤呼吸法
2学期	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ②バトンパス（オーバーハンドパス） ③ペース配分の習得。自己に適したペースでゆっくり長く走る。 ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック）
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。(高２段階) (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法、中段突き、上段突き、中段蹴り、中段受け、上段受け、下段受けの基本動作の習得。簡易な形動作の習得。 ①普及型１・２の習得。 ①基本的な動作から相対しての簡易な攻防の仕方の習得。
	12	(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。(高２段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる。 ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き。 ①ボックスステップ等のダンスの基本的な動作を覚え、興味関心のある曲や動画から簡易なダンスを楽しんで踊る。

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に安全に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。（高２段階）	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①健康の考え方 ②健康の保持増進と疾病の予防 ③精神の健康 ④交通安全	①健康の考え方、健康の成り立ちと取り組み、私たちの健康の姿 ②生活習慣病の予防、食事、運動、休養 ③欲求と適応機制、心の健康 ④交通事故を防ぐために
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程・Ｂ類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	１学年6名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階） (学･人)　各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	18	(知及技)　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。（高１段階） (思判表力）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。（高１段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えてい、。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔にー開け」、「〇〇基準ーもとの位置にー集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えるている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「水泳」 ①歩く、走る ②潜る ③けのび、バタ足 ④クロール	①手と足（バタ足）の動き ①呼吸法 ②手（両手で水を掻く）と足（カエル足）の動き ②呼吸法 ③手（後ろに回転）と足の動き ③呼吸法 ④手（両手を同時に肩から前に回す）と足（ドルフィンキック）の動き ④呼吸法
２学期	18	(知及技)　陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①腕のスイング動作 ②足のキック動作 ②バトンパス ③自己に適したペースで走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走・踏み切り動作 ④ルールの確認 ⑤助走・（はさみ跳び、ベリーロール） ⑤ルールの確認
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。（高１段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①型の模倣
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすることができる。（高１段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに，技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①音楽に合わせて身体を動かす ①個の動き

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。（高１段階） (思判表力）球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践 ②フォアハンドの基本操作 ②サービスやラリー ②簡易ゲーム実践 ③ボールを投げる、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践
	9	(知及技） 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階）	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、ＡＥＤの使い方
留意点 引継ぎ等	・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。				

令和７年度 高等部　１～３年（Ⅱ課程・A類型）　職業（木工）科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年 8名　2学年 10名　3学年 6名		私たちの進路／Ipad（アプリ等）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階)
	(思判表力）将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。（高１段階）
	(学･人)将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技)勤労の意義を理解することができる。（高１段階職業生活ア(ア)） (思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、他者や役割について考えることができる。（高１段階職業生活ア(イ)） （学・人）作業や実習に達成感を得て、主体的に取り組むことができる。（高１段階）	（知・技）生活等から働く意味や意義を理解することができる。 （思・判・表）社会の仕組みや他者との関わりを考えることができる。 （主学）成功体験から、自分ですすんで行動ができる。	・仕事とは（生活や社会について） ・社会の成り立ちやつながり	・教科書や動画教材等やワークシートを活用して職業生活に必要な力について学習する ・職業の心得の理解 ・清掃活動 ・人との距離感 ・余暇活動 ・面接や履歴書について
	72	(知及技)木工具の名称や使用方法を理解することができる。（高１段階職業生活イ(ｱ)㋐） (思判表力)工具を正しく使用し安全に作業に取り組むことができる。（高１段階職業生活イ(ｲ)㋑） (学・人)工具類の使用について技術の向上を図ることができる。（高1段階）	（知・技）基本的な工具の名称と、使用手順を理解することができる。 （思・判・表）工具・機械の扱い方や危険度を理解し使用することができる。 （主学）正しい使用方法や材料の仕上がりを意識して取り組むことができる。	・製品製作 ・販売学習	・工具類の名称や使用方法を正しく理解し取り扱うことができる ・さしがね、のこぎり等の手動工具や、インパクトドライバーや糸鋸等の電動工具を使用して、木材の加工や製品の組立を行う ・ベンチ、スマホホルダー、小物等の製作
	8	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知ることができる。（高１段階情報機器の活用ア） (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。（高１段階情報機器の活用ア） (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。（高1段階）	（知・技）情報に関することについて、利便性や危険性を知ることができる。 （思・判・表）情報機器の使い方を知り、目的に合った使用ができる。 （主学）学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・スマホやiPad等の使用について ・情報モラル	・iPadを使用して製品を検索したり、作業の様子をまとめる ・余暇活動等でのスマホ使用の注意点
2学期	18	(知及技)iPad等のアプリについて知ることができる。（高１段階情報機器の活用ア） (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。（高１段階情報機器の活用ア） (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。（高1段階）	（知・技）アプリの特性や操作を知ることができる。 （思・判・表）情報機器やアプリの使い方を知り、目的に合った使用ができる。 （主学）学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・製品のデザインや管理	・iPadを活用して製品開発やデザインを考える ・ICT機器を活用して作業の様子を記録したり発表を行う ・木工班の紹介用に動画やポスターの作成
	94	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性について理解することができる。（高１段階職業生活イ(ｱ)㋒） (思判表力)作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え改善を図ることができる。（高１段階職業生活イ(ｲ)㋒） (学・人)作業効率を考え取り組むことができる。（高1段階）	（知・技）作業の確実性等と、製品や材料価格との関係を理解することができる。 （思・判・表）効率化を意識して取り組むことができる。 （主学）効率化を目指して工夫することができる。	・製品製作（効率化と協働） ・職場の仕組みや環境	・作業に応じて必要な工具類を準備する。 ・製品製作の工程分担を理解し、効率化を意識しながら作業に取り組む ・協力して製品を組み立てる ・仕事の態度や姿勢について考える
3学期	64	(知及技)社会の仕組み等について理解することができる。（高１段階職業生活ｲ(ｱ)ｲ） （思判表力）接客など販売等に関わる技術について考えることができる。（高１段階職業生活ｲ(ｲ)㋑） （学・人）接客方法等についての知識を実践することができる。（高１段階）	（知・技）販売や給料を理解することができる。 （思・判・表）場に応じた言葉遣いや態度を考えることができる。 （主学）お客を相手に丁寧な言葉遣い等で対応することができる。	・販売学習 ・余暇活動	・販売会場のレイアウト計画、設営 ・接客態度の学習、練習 ・製品の販売 ・技能検定の練習等 ・仕事と給料についての学習と余暇活動
	8	(知及技)成果や他者との関わりについて理解を深めることができる。（高１段階職業生活ア(ｲ)） （思判表力）成長や課題についてまとめ、発表することができる。（高１段階職業生活ｲ(ｲ)ｱ） （学・人）将来の自分を前向きな態度や考えで捉えることができる。（高１段階）	（知・技）成果等についての要因を考えることができる。 （思・判・表）自分の考えをまとめ、発表することができる。 （主学）具体的に将来をイメージし、目的意識をもつことができる。	・年間のまとめ（課題解決）	・製品の反省と改善 ・1年間の成長と反省、改善 ・発表
留意点引継ぎ等					

令和７年度　高等部　１～３年（　Ⅱ課程　A類型　）職業(窯業班)　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	１年生９名 ２年生５名 ３年生４名		ひとりだちするための進路学習 ―あしたへのステップ―

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 陶土や釉薬の扱い方および陶器づくりに関する知識について理解を深めることができる。(高１段階) 作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。(高１段階) (思判表力) 作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫して取り組むことができる。(高１段階) 将来の職業生活を見据え、自らの成長や課題について評価･改善する意識を養うことができる。(高１段階) 自ら体調を管理することができる。(高１段階) (学･人) 他者と協働して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。(高１段階) 自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技)(思判表力) 粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。(高１段階) 皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(高１段階) 使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(高１段階) (思判表力)(学･人) 年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(高１段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高１段階) (思判表力)(学･人) 働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(高１段階) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)(高１段階)	(知・技) 土砕きを適正に行えている。 泥水を適正に作れている。 篩作業が適正に行えている。 脱水作業が適正に行えている。 土練りが適正に行えている。 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 機械を安全に扱えている。 (思･判･表) 次に行うことが何なのか理解できている。 わからないことをわからないままにせず尋ねている、尋ねようとしている。 物怖じせずに発表できている、しようとしている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。	粘土作り 陶器作り(皿、小鉢、箸置きなど) 機械の安全な取り扱いについて 授業開き 職業について 勤労と協働 １年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 １学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業 (すいひ作業・土練り・成型・焼成) タタラ機や土錬機、機械ろくろなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。 １年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 身なりを整えることや時間を守ることの大切さなど、７つある職業の目標を知り理解する。 仕事の意義を理解し、作業を通じて協働作業の大切さを学ぶ。 １学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
2学期	112	(知及技)(思判表力) さまざまな陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行うことができる。(高１段階) 釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(高１段階) (思判表力)(知及技) 受注した商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品をつくることができる。(高１段階) (思判表力) 客が購入したいと思う商品を考えることができる。(高１段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高１段階) (学･人)(知及技) 日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(高１段階)	(知・技) 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 丁寧に作業できている。 完成度を上げている、上げようとしている。 (思・判・表) 納期の把握ができている。 マーケティング活動が適正に行えている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	粘土作り 陶器作り(皿、シーサー、マグカップなど) 陶器作り(注文商品、コラボ商品) 行事に向けた陶器作り 用具の手入れ ２学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業 (すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成) 商品づくり(各種コラボ商品、注文商品) 陶製品づくり(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り) 日頃使用している道具の手入れなどを行う。 ２学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
		(知及技)(思判表力) 接客の仕方が理解でき、実践できる。(高１段階) お金の計算ができる。(高１段階) 行事の意義を理解し、習得した知識や技能を活用して、相手が喜ぶ陶製品をつくることができる。(高１段階)	(知・技)(思・判・表) 接客ができる。やろうとしている。 お金の計算ができる。やろうとしている。 陶製品づくりに真摯に取り組める。取り組もうとしている。 学年を振り返り、発表することができる。やろうとしている。	接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習 陶製品作り 用具の手入れ	接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ 習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。 日頃使用している用具の手入れ。 作業場の整理整頓。 清掃活動。

3 学 期	72	学年を振り返り自己の反省点を発表することができる。（高１段階） （学･人）（知及技） 日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。（人間性）（高１段階）	(主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	３学期のまとめ １年間のまとめ	３学期を振り返り自己の反省点を発表する。 １年間の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１～３年（職業　トータルサービス班　）普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	１学年　名　：**２学年　１１名**　：３学年　名		実生活に役立つ特別支援教育 「ひとりだちするための進路学習」 ～あしたへのステップ～

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学･人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知・技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定に向けて（校内） ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） iPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
2学期	112	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 （知及技） ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【高1Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】	（知・技） ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 （知・技） ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 （知・技） ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 （知・技） ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる。 （知・技） ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・２学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの基本的な動作を確認する。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・２学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。

3 学 期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋓】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (知及技) ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐）】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる (知・技) ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 ・１年を振り返り、成長と課題点を確認する。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・３学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・３学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１・３年（　Ⅱ課程　A類型　）職業（家庭班）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
８／280	１学年　９人 ３学年　７人		「ひとりだちするための進路学習」 「くらしに役立つソーシャルスキル」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業生活に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい将来の生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高1段階：職業生活ア（ア）） (思判表力）職業生活に必要な健康管理について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋑） (学･人)作業や実習などに達成感を得ることができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）先輩や周りの大人が社会の中ではたらく様子を知ることができる。 (思･判･表)職業生活に必要な健康管理について考え発表することができる。 (主学)振り返りのなかで、目標の達成度を教師と一緒に確認することができる。	はたらくとは	・はたらく意義や将来の目標を考える。（思考力・判断力・表現力等に関する内容） ・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。（知識・技能に関する内容）
	68	(知及技）実習で使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく使うことができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋑） (思判表力)作業における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋐） (学･人)活動に見通しを持ち、自ら準備や片付けに取り組む意欲を持つ。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）道具の名称や使用方法を守って使用することができる。 (思･判･表)作業を振り返り、自分の成長や課題について考えて発表することができる。 (主学)活動に見通しを持ち、自分から準備や片付けに取り組もうとする。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り。（知識・技能に関する内容） ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。（知識・技能に関する内容） ・学習の振り返り（自己の反省点や改善点から次の目標を確認する）（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
	4	(知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知る（高1段階：情報機器の活用ア） (思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルについて考えることができる（高1段階：情報機器の活用イ） (学･人)情報セキュリティや情報モラルを守れるよう生活を工夫することができる。	(知・技）パソコンや携帯利用時の情報セキュリティやモラルについて理解している。 (思･判･表)情報セキュリティ及び情報モラルについて考えたことを発表することができる。 (主学)情報セキュリティや情報モラルを守れるよう生活を工夫しようとする。	情報機器の活用	・コンピュータや携帯の便利さや危うさを実例で学ぶ。（知識・技能に関する内容） ・対策方法を考え発表する。（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
	80	(知及技）作業の持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋑） (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋒） (学･人)作業の目標を達成することで達成感をえることができる。 目標達成に向けて自ら活動に取り組むことができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）集中して作業したり、丁寧に作品を仕上げることができる。 (思･判･表)危険な場所や状況に注意を払いながら作業を行う事ができる。機械の故障や不衛生な状況に気付いたら知らせたり、適切な行動を取ったりすることができる。 (主学)目標達成に向けて活動に自ら取り組もうとする。 目標を達成することで達成感を味わい次の作業に意欲を持つことができる。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り（知識・技能に関する内容） ・オーブンを用いた焼き菓子作り（知識・技能に関する内容） ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。（知識・技能に関する内容） ・学習の振り返り（自己の反省点や改善点から次の目標を確認する）（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）

2学期	28	（知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解する。（高1段階：産業現場等における実習ア） (思判表力）実習での成果と課題や解決策を考えて発表することができる。（高1段階：産業現場等における実習イ） (思判表力）職業生活に必要な余暇の過ごし方について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋓） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現に向けて生活を工夫しようとする。	(知・技）職業現場で必要となることについて理解することができる。 (思･判･表)実習の振り返りを行い、成果や次の実習での目標を立て発表することができる。 (主学)卒業後の余暇の過ごし方に関心を持つ事ができる。	はたらくとは	・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・就労の場で必要な決まりの遵守、責任、協力、健康管理、安全、衛生について。 ・実習の振り返りと発表 ・卒業後の余暇の過ごし方
	4	(知及技）表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱う事ができる。（高1段階：情報機器の活用ア） (思判表力）コンピュータ等の情報機器を使い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。（高1段階：情報機器の活用イ） (学･人)必要なことが相手に伝わるように工夫することができる。	(知・技）パソコンで文字や写真を使って作品の紹介ポスターを作ることができる。 (思･判･表)作成したポスターを用いて作品を紹介をすることができる。 (主学)作品の良さが相手に伝わるように文字や写真を工夫しようとする。	販売会に向けた取り組み 販売会のポスターやメニュー表を作ってみよう	・パソコンを用いてポスターやメニュー表を作成（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
3学期	72	(知及技）職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋐） (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現することができる。（高1段階：勤労の） (学･人)販売会準備に主体的に取り組み、工夫しようとする。	(知・技）接客で必要な言葉使いを知り、練習することができる。 (思･判･表)販売の時の役割を知り、自分と他者との役割について考え、協力できることを発表することができる。 (主学)販売会の準備に主体的に取り組み、自分なりに工夫しようとしている。	販売会に向けた取り組み	・接客練習（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・ラッピング（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・買い物学習（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・一年のまとめ（思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性に関する内容）
留意点 引継ぎ等		評価資料：学習の様子、自己評価シート、作品			

令和7年度 高等部　1～3年（　Ⅱ課程　B類型 ）　職業（チャレンジ班）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	高等部１～3年（ ２４名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を体験し、身に付けることができる(高1段階) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階) (学･人)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考えることができる。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や情報収集を行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、ビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付け等を行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
2学期	84	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、アイロンビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・学習発表会に向けた製品作り

3 学 期	54	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙や布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・販売会に向けた製品作り
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　1～3年（Ⅱ課程A類型）職業（　農業班　）普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年9名　2学年9名　3学年4名		「私たちの進路」 「ソーシャルスキル」

年間目標	(知及技)　（高1段階） ・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深めることができる。 ・作業の持続性、巧緻性を高めることができる。 (思判表力)　（高1段階） ・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。 (学･人)　（高1段階） 作業上の安全や作業の効率について考え、社会や他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(高１段階ア) (思判表力) ・職業の心得を理解する(高１段階イ) （学・人） ・勤労と協働【職業生活高１段階（ア）】	（知・技） ・職業の目的を理解し、服装を整えてミーティングに参加することができる。 (思・判・表) ・職業の目標を大きな声で読み合わせできる。 （主学） ・終わりのミーティングでは、本日の頑張りを自分の言葉で表現できる。	・授業開き ・職業について ・勤労と協働	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 ・身なりや時間を守ることの大切さ等７つある作業学習の目標について理解する。 ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
		(知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(高１段階) (思判表力) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ(高１段階) （主・力） ・情報機器の操作をすることができる。（高１段階ＢＡ） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（思考・表現）（高１段階）	（知・技） ・収穫や調整、販売学習などの実体験を通して野菜や草花を教材として学ぶことができる。 (思・判・表) ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について調べることができる。 ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・1学期のまとめ	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 ・情報機器の基本的な操作を興味を持って学ぶことができる。 ・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
2学期	112	（知及技） ・季節の野菜や草花を知り栽培を行う（高１段階） （思判表力） ・野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる（高１段階） （主・力） ・各行事の意義を理解し学びを取り入れた栽培を行う（高１段階）	（知・技） ・２学期に栽培する野菜や草花について教材として触れることができる。 (思・判・表) ・重さや個数など定められた分量を理解し、授業内容に沿った行動をとることができる。 （主学） ・行事の目的を理解し、目的達成に向けて準備を進めることができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 ・みさき市、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。
		（知及技） ・情報機器の操作を応用することができる。（高１段階ＢＡ） （主・力） ・日頃使用している農機具を丁寧に洗い手入れを行うことができる。（（高１段階） （思判表力） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高１段階）	（知・技） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の仲間や栽培方法について調べることができる。 （主学） ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 (思・判・表) ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・情報機器の活用 ・農機具の手入れ ・２学期のまとめ	・栽培する作物について、タブレット端末を用いて調べることができる。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・２学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。

3 学 期	72	（知及技） ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ（高１段階） （思判表力） ・次年度栽培する作物の播種・畑の整備を通して職業として準備することの重要性に気付く。（人間性）（高１段階） （主・力） ・情報機器の操作を応用することができる。（高１段階Ｂア） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高１段階）	（知・技） ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉使いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えることができる。 (思・判・表) ・１年間関わった農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動することができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について協力して調べ、伝え合うことができる。 ・自身の感想と卒業や進級など今後の見通しを自分の言葉で表現することができる。	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・情報機器の活用 ・１年間のまとめ	・接客用語など言葉使いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 ・野菜や草花の播種や鉢上げ、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 ・タブレット端末を用いて調べたことを相手に伝えることができる。 ・１年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部　１年（Ⅱ課程A類型①②グループ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年　Ⅱ課程・A類型①11名 1年　Ⅱ課程・A類型②9名		Survive!!（教育図書）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	【家族・家庭生活】 (知及技）自分の成長と家族や家庭生活等との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力、地域の人々との関わりによって営まれていることに気付くことができる。（高1段階：家族・家庭生活ア（ア）） (思判表力)自分の家庭生活に関心を持ち、よりよい生活について考えることができる。（高1段階：家族・家庭生活ア（イ）） (学･人)家族と地域の人々とのよいよい関わり方について考え、実践することができる。（高1段階：家族・家庭生活イ（イ））	【家族・家庭生活】 (知・技）自分の成長や生活は、家族や家庭生活に支えられていることを理解することができる。また家庭生活が地域の人々の支えや協力によって成り立っていることに気付くことができる。 (思･判･表)家庭生活での課題を見つけ、改善策について考えることができる。 (主学)家族や地域と協力して、生活の充実に向けての関わり方について実践しようとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・自分の成長と家族 ・家庭生活での役割と地域との関わり	【家族・家庭生活】 ・自分のこれまで成長してきた過程を振り返り、自分の成長や生活が家族や家庭生活に支えられてきたことを確認する。(知及技に関する内容 ） ・家事の種類や家事の分担についての確認をする。自分のできる役割について考える。(思判表力に関する内容) ・家族や地域との関わり方について問題を考え、ふれあいや団らんの時間を楽しくする方法や地域の為に自分が協力できることについて考え、発表しお互いの意見を発表する。（学・人に関する活動）
		【衣食住の生活】 (知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（高１段階：衣食住の生活ア（ア）） (思判表力)健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。（高１段階：衣食住の生活ア（イ）） (学･人)食生活と健康について，課題に取り組んだり，改善したりして，自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。（高１段階：衣食住の生活ア（イ））	【衣食住の生活】 (知・技)食事を共にすることは、自身の栄養バランスを整え、人間関係を深めるのによい影響があることを知ることができる。 (思･判･表)栄養バランスの良い献立を考える、１食分の食事を計画することができる。 (主学)自分の食習慣の課題の中から、健康の観点で課題を改善するための工夫をすることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・生活の中で食事が果たす役割 ・栄養バランスのよい献立を考えよう ・健康に良い食習慣について考えよう	【衣食住の生活】 ・食品の写真を、五大栄養素ごとに分類する。 ・五大栄養素の働きを確認する。 ・琉球料理や沖縄の食文化について知る。 ・食事の果たす役割について確認する。 (知及技に関する内容) ・栄養バランスの良い献立を計画する。 ・自分の食習慣の課題を考える。 (思判表力に関する内容) ・自分自身の食習慣について振り返る。 ・健康的な食習慣にするための工夫を話し合い、発表する。 (学・人に関する活動)

2学期	14	【衣食住の生活】 (知及技)食品に応じた加熱調理の仕方を理解することができる。（高１段階：衣食住の生活イ（ア）） (思判表力)基礎的な日常食の調理計画を考えることができる。（高１段階：衣食住の生活ア（イ）） (学･人)食品や調理器具等の安全と衛生を意識した行動ができる。(高１段階：衣食住の生活イ(ア))	【衣食住の生活】 (知・技)食品に応じた、様々な加熱調理の仕方と特徴を理解できる。 (思･判･表)調理に必要な材料、作業手順を考えて、まとめることができる。 (主学)身支度、手洗い、食材洗い、食器洗い等、調理をする上で安全と衛生を意識した行動ができている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・様々な加熱調理の方法と特徴について理解しよう。 ・基礎的な日常食を計画しよう ・安全と衛生を意識した調理について考えよう ・調理実習（焼く）	【衣食住の生活】 ・料理の写真を見て、様々な調理法か確認する。 ・野菜、肉・魚、卵等、食品に応じた加熱による変化を確認する。 ・調理に必要な道具とその扱い方を確認する。 (知及技に関する内容) ・グループで調理に必要な材料、作業手順を考えることができる。 ・ﾜｰｸｼｰﾄに作業手順をまとめることができる。 (思判表力に関する内容) ・調理実習をする上で、安全面、衛生面で意識することをグループでまとめ発表できる。 (学・人に関する活動)
		【衣食住の生活】 (知及技)住居の基本的な機能と現代の住まい方の特徴について理解することができる。（高１段階：衣食住の生活オ（ア）） (思判表力)自分や家族の安全を守るために、家庭内の危険や、防犯・災害時の行動について考え、状況に応じた住居の工夫ができるようになる（高１段階：衣食住の生活オ（イ）） (学･人)自分や家族が心地よく過ごせる住まいについて関心を持ち、理想の住まいを自分なりの方法で表現する。(高１段階：衣食住の生活オ(ア))	【衣食住の生活】 (知及技)家族の生活と住空間との関わりや、住居の基本的な機能について理解できる。 (思判表力)住まいの安全を整える工夫とその対策について考えたり、災害時にできる家庭内での工夫をまとめることができる。 (学･人)自分や家族が心地よく過ごせる住まいについて関心を持ち、活動に意欲的に取り組みながら、自分なりの方法で理想の住まいを表現しようとする姿勢が見られる(高１段階：衣食住の生活オ(イ)) （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・住まいの機能について ・家庭内事故への対策を考えよう ・防犯・防災への対策を考え追う ・理想の住まいについて考えよう	【衣食住の生活】 ・住生活を振り返り、住まいの機能や現代の住まい方について確認する。 ・家族の生活と住空間との関わりについて確認する。 （知及技に関する内容） ・家庭内事故が起こる原因とその対策について考える。 ・防犯、防災への対策を考える。 （思判表力に関する内容） ・グループで住まいの安全、快適さなど理想的な住空間の整え方を話し合い、発表することができる。 ・自分の理想の住まいを表現する (学・人に関する活動)
		【衣食住の生活】 (知及技）縫い方の違いや目的に応じて適した縫い方をすることができる。（高1段階：衣食住の生活エ（ア）） (思判表力)目的に応じた着用、個性を生かす着用について考えることができる。(高1段階：衣食住の生活ウ（ア）） (学･人)目的に応じた縫い方について考え工夫する事ができる。（高1段階：衣食住の生活エ（イ））	【衣食住の生活】 (知・技）手縫いやミシン縫いのそれぞれ特徴を理解し、目的に応じて適した縫い方を選び、実践できる。 (思･判･表)着用の目的（例：活動内容・季節・TPO）に合わせて、適切な服装を選ぶ理由を考え、説明することができる。 (主学)縫う部分について考え、よりよい仕上がりになるよう工夫し実践する事ができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 ・衣服と社会生活の関わり ・布を用いた製作	【衣食住の生活】 ・目的に応じた着用（活動内容・季節・TPO等）を理解する。 ・目的に応じた着用（活動内容・季節・TPO等）や個性を生かす着用がどのような印象を与えるかお互いの考えを発表する。 ・手縫いとミシン縫いの特徴を確認し、縫う部分や目的に応じて適した方法を選ぶ必要があるを理解する。 ・裁縫道具やミシンの使い方、安全な取り扱い方について理解する。(知及技に関する内容 ） ・「基礎縫い」（なみ縫い、返し縫い、かがり縫い等の練習） ・縫う部分について考え、「ふきんづくり」を行う。（学・人に関する活動）
3学期	9	【消費生活・環境】 (知及技）売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。（高1段階：消費生活・環境ア（ア）㋐) (思判表力)様々な購入方法や支払い方法の特徴が分かり、生活の中で計画的な金銭管理をする工夫を考えることができる。（高1段階：消費生活・環境ア（イ）㋑) (学･人)様々な購入方法や支払い方法について、将来の生活から考え、メリット・デメリットに気付きながら、計画的な金銭管理の工夫を自分なりに見つけようとする態度を育てる（高1段階：消費生活・環境ア（イ）㋑)	【消費生活・環境】 (知・技）18歳からできる契約について学び、責任ある消費行動が取れるよう，契約の重要性について理解する。 (思･判･表)様々な購入方法や支払い方法のメリット・デメリットに気付き、計画的な金銭管理の工夫について考えることができる。 (主学)購入方法や支払い方法の学習に関心をもち、自分の生活にあった方法を選び、計画的な金銭管理の方法について工夫しようとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【消費生活・環境】 ・契約と18歳成人について ・様々な支払い方法の特徴について ・計画的な金銭管理の工夫を考えよう	【消費生活・環境】 ・生活の中の「契約」について確認し、１８歳成人以降の契約は法的な拘束力があることを理解する。 ・自分の生活を振り返り、様々な購入方法や支払い方法があることを確認する。 （知及技に関する内容） ・様々な購入方法や支払い方法のメリット・デメリットについて考え、グループで話し合いをする。 ・自分の生活合う購入方法や支払い方法をまとめる。 （思判表力に関する内容） ・計画的な金銭管理をするために自分にできる工夫を考え、発表する。 ・「契約」で気を付けるべきことを考え、発表することができる。 （学・人に関する活動）
留意点 引継ぎ等		.			

令和7年度　高等部１年（　Ⅱ課程　A類型③④グループ　）家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年　Ⅱ課程・A類型③７名 1年　Ⅱ課程・A類型④8名		survive!!(教育図書)

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づくこと（家族・家庭生活ア(ア)） (思判表力) 家族とのより良い関わり方について考え、表現すること　（家族・家庭生活ア(イ)） (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫すること（家族・家庭生活ア(ア)（イ））	(知・技) 自分の成長を振り返り、家族の協力や家庭生活の営みの中で支えられていることが理解できる (思・判・表) 自分の成長を振り返り、家庭生活のなかで1人でできるようになったことをまとめることができる (主学) 家庭生活について、工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、宿題の提出、振り返りシートの記入、iPadの操作方法	第1章　家族と暮らし 1家族と家庭生活 (1) 家族や家庭の役割	第1次～第3次 「幼い頃のエピソードをふりかえる」 自分の生まれた時の家族との関わり方を家族から聞き取りワークシートへ記入する (知及技に関する内容) 1日の活動を表にまとめ、iPadなどを活用し発表する(思判表力に関する内容) 「幼い頃と今の比較」 生まれた時と高校生の生活時間の比較をし、見直せるところを見つけ、工夫の方法を考える (学・人に関する内容)
	3	(知及技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと（家族・家庭生活イ(ア)） (思判表力) 家族と地域の人々のよりよい関わり方について考え、表現すること（家族・家庭生活イ(イ)） (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫すること（家族・家庭生活イ(ア)（イ））	(知及技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと Aイ(ア) (思判表力) 家族と地域の人々のよりよい関わり方について考え、表現すること Aイ(イ) (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫すること	(知及技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと　Aイ(ア) (思判表力) 家族と地域の人々のよりよい関わり方について考え、表現すること Aイ(イ) (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫すること	第4次～第6次 「沖縄のいいところ探し」 生活の中から「ユイマール」を自分の経験と結びつけて気づくことができ、発表できる。 （知及技、思判表力に関する内容） 家庭で自分が担えそうなことを、他の人の様子を参考にして工夫の方法を考える （学・人に関する内容）
	6	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解する（衣食住の生活ア(ア)） (思判表力) 健康によい食習慣について考え工夫すること（衣食住の生活ア(イ)） (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫すること（衣食住の生活ア(ア)（イ））	(知・技) 生活の中で食事が果たす役割について理解している (思・判・表) 1日3食を規則正しくバランスよく摂ることが大切であるということを表現できる (主学) より良い食生活に向けて自分の食生活について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入	第2章　食事と健康 1元気な体を作る食事 (1)食事の役割	第1次～第3次 「早寝・早起き・朝ごはん」 朝ごはんを食べると入る「3つのスイッチ」をワークシートで確認できる （知及技に関する内容 ） 第4次～第6次 「うっかりミスを防ごう」 朝ごはんを食べなかったらどうなるか、発表できる （思判表力に関する内容） 『家族と家庭生活』で記入した「1日の活動」を元に、食習慣を見直し工夫点を考える （学・人に関する内容）

2学期	9	(知及技) 日常食と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること（衣食住の生活イ(ア)） (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること（衣食住の生活イ(イ)） (学・人) 家庭生活をよりよく工夫すること（衣食住の生活イ(ア)（イ））	(知・技) 目的、栄養、価格、調理の能率を考えて選択することが大切であることを理解できる 調理実習に用いる食品や調理用具を安全と衛生に留意した取扱い方を理解できる (思・判・表) 日常食の調理の仕方や調理計画について考えて表現できる (主学) 日常食の調理について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、調理実習の身支度の様子、調理活動の様子	第2章　食事と健康 1元気な体を作る食事 (2)栄養と食品の関係 (3)食事の計画を立てよう 2調理を始める前に (1)調理の流れ (2)調理器具の使い方 (3)基礎的な調理の仕方 (4)あと片付けの仕方 2非常食・災害食	第1次～第2次 「調理実習室の使い方」 身支度の仕方を確認する 衛生の留意点を確認する 調理器具の取り扱い方と安全面に留意する 食品の保管や保存の方法がわかる （知及技に関する内容 ） 第3次～第4次 「料理の組み合わせを考えよう」 5大栄養素について主な働きがわかる 5大栄養素が含まれる食品を分けることができる 6つの食品群別摂取量の目安がわかる （知及技に関する内容 ） 第6次～第9次 「料理しましょう」 ・「ご飯の炊き方」 ・「卵の調理」（知及技に関する内容） ・「ポリ袋クッキング」 （思判表力に関する内容） 材料の調理上の性質を理解して調理できる(思判
	3	(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くこと（消費生活ア(ア)㋐） (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること（消費生活ア(イ)） (学・人) 家庭生活をよりよくするために工夫すること（消費生活ア(ア)㋐（イ））	(知・技) 物資・サービスについて理解している 購入方法や支払い方法の特徴を理解できる 計画的な金銭管理の必要性について理解できる (思・判・表) 物資のサービスの選択、購入方法、支払い方法等について考え、表現できる (主学) 消費生活について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入	第5章　ライフスタイルと環境 1家庭の経済生活 (1) 仕事とお金 (2) 家庭のお金の出入り (3) お金と物・サービス 2計画的な消費生活 (1) 商品を選ぶ	第1次～第3次 「賢い消費者になるために」 『社会への扉』※消費者庁教材より 買物・契約の基本がわかる 商品の選び方がわかる （知及技、思判表力に関する内容） お金の上手なやりくりを考え工夫できる （学・人に関する内容）
	2	(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について理解し、適切にできること（衣食住の生活エ(ア)） (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫すること（衣食住の生活エ(イ)） (学・人) 家庭生活をよりよくするために工夫すること（衣食住の生活エ(ア)（イ））	(知・技) 手縫いでは、縫い方を理解している 縫う部分や目的に応じて適した縫い方を理解できる (思・判・表) 縫い方にはそれぞれ特徴があり、縫う部分や目的に応じて、適した手縫いをい考えて工夫できる (主学) 布を用いた製作を通して工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、被服実習の様子、活動の様子	第3章　被服 5衣服の補修	第1次～第2次 「手ぬぐいをリメイクしよう」 玉結び、玉止めができる 手縫いで印通り直線縫いができる(知及技及び思判表力に関する内容) 家庭内の布製品でリメイクできそうなものを考えることができる(学・人に関する内容)
3学期	9	知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くこと Cア(ア) ア (思判表力) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること Cア(イ) (学・人) 家庭生活をよりよくするために工夫すること	(知・技) インターネットを介した通信販売などの無店舗販売などの購入方法を理解できる 支払い時期(前払い、即時払い、後払い)の特徴を理解できる 多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性があることに気づく (思・判・表) 物資のサービスの選択、購入方法、支払い方法等について考え、表現できる (主学) 消費生活について、工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入	第5章　ライフスタイルと環境 1家庭の経済生活 (4) 仕事とお金 (5) 家庭のお金の出入り (6) お金と物・サービス 2計画的な消費生活 (2) 商品を選ぶ (3) 購入方法を知る (4) 支払い方法を知る	第1次～第9次 「賢い消費者になるために」 『社会への扉』※消費者庁教材より ネットショッピングについて便利さと危険性がわかる いろいろな支払い方法がわかる スマホやネットでのトラブルがわかる 契約トラブルの対策と対処法がわかる （知及技、思判表力に関する内容） 私生活で必要なお金を考える （学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部１年（　Ⅱ課程　B類型　）家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1学年B類型6人		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	【家族・家庭生活】(知及技）自分の成長と家族と家庭生活との関わりを知る。（高1段階：家族・家庭生活ア(ア)） (思判表力)家庭生活が家族や地域の人々との協力によって営まれている事に気づくことができる。（高1段階：家族・家庭生活イ(ア)） (学･人)家族や地域の人々とのよりよい関わり方を表現することができる。（高1段階：家族・家庭生活イ(イ)）	【家族・家庭生活】 (知・技）家庭生活は家族に支えられていることを確認する。また、家庭生活は地域の人々に支えられていること確認する。 (思･判･表)家族や地域の人々が家庭生活を支えていることに気づき、協力の大切さを自分なりに考え、活動や作品を通してその思いや気づきを表すことができる。 (主学)家族や地域の人々との関わりに興味をもち、自分から活動に取り組んだり、思いや考えを表そうとする姿が見られる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【家族・家庭生活】 〇自分の成長と家族 ・自分でできること ・家庭生活の中での役割 〇家庭生活と地域 ・家庭生活と地域の関わり	【家族・家庭生活】 ・自分の成長を振り返る ・家事の種類や家事の分担を確認する。 ・地域の人々の関わりについて確認する。 （知及技に関する内容） ・家庭生活で自分のできる役割について考える。 ・清掃、食器洗い、洗濯物たたみ等、家庭生活の一員としてできる活動に取り組む。 （思判表力に関する内容） ・家族に感謝のメッセージカードを書く。 ・自分ができるようになりたいこと発表する。 （学・人に関する内容）
	8	【衣食住の生活】 （知及技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。（中１段階：衣食住の生活ア(ア)） （思判表）健康に良い食習慣について考え、改善することができる。（中１段階：衣食住の生活ア(イ)） (学･人)食生活の中で食事が果たす役割について関心を持つ。（中１段階：衣食住の生活ア(イ)）	【衣食住の生活】 (知・技）給食の献立をもとに食事が果たす役割について理解することができる。 (思･判･表)自分がよく食べるものを知り、先生や友だちと一緒に、体に良い食習慣について話すことができる。 (主学)食事が果たす役割について関心を持ち、工夫しようとする。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 〇食事の役割 ・健康な生活と食事 ・給食の献立に使われている栄養素をチェックしよう ・自分の食事内容をチェックしてみよう ・１食分のメニューを考えよう ・食事とｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	【衣食住の生活】 ・食事は健康を保ち、体の成長や活動の源になることを確認する。 ・給食の献立を３つの栄養素に分類する。 （知及技に関する内容） ・誰かと一緒に食事をする時の気持ちを考え、表現する。 ・写真やイラストを使って、自分が元気になれそうな食べ物を選び、1食分のメニューを考える。 （思判表力に関する内容） ・好きな調理法の献立を選ぶ活動に参加する。 ・地域の食文化や行事に関心をもち、自分なりに感じたことを表そうとする （学・人に関する内容）
	3	【衣食住の生活】 （知及技）調理用具の正しい使い方や安全で衛生的な管理方法を知ることができる。（高１段階：衣食住の生活イ） （思判表）簡単な調理計画について考えることができる。(中1段階イ(イ)） （学・人）簡単な調理に意欲的に参加する事ができる。(中1段階イ(イ)）	【衣食住の生活】 (知・技）調理器具を正しいつ買い方で安全な管理方法を知ることができる。 (思･判･表)準備から片付けまでの調理工程についてまとめる。 (主学)実習の様子をまとめ、自分なりに発表する事ができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 〇簡単な調理 ・調理器具の使い方 ・衛生な調理方法 ・「おにぎり」の作り方 ・調理実習 ①準備②実習③振り返り	【衣食住の生活】 ・調理器具の名前と用途を確認する。 ・調理実習「おにぎり」の手順を確認する。 ・調理実習における衛生面の注意点を確認する。 ・ごはんの炊き方を確認する。 （知及技に関する内容） ・おにぎりに使う具材を選ぶ。 ・おにぎりの作り方の調理計画をまとめる。 （思判表力に関する内容） ・調理実習の振り返りシートをまとめる。 ・調理実習で頑張ったことを発表する。 （学・人に関する学習）

2学期	7	【衣食住の生活】 （知及技）縫い方の違いや目的に応じて適した縫い方をすることができる。（高1段階：衣食住の生活エ） （思判表）場面や気候に合わせた衣服の着方ができる。 （高1段階：衣食住の生活ウ） (学・人)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択ができるよう工夫しようとする。（高１段階：衣食住の生活ウ）	【衣食住の生活】 (知・技）布巾作りを通して、手縫い(玉結び、なみ縫い、玉どめ)やミシンの直線縫いができる。 (思･判･表)場面や気候に合わせた衣服の着脱を工夫しようとする。 (主学)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択ができるよう工夫しようとする。（高１段階：衣食住の生活ウ） （評価資料）授業の様子、ワークシート、作品	【衣食住の生活】 〇衣服の選択について ・TPO ・個性を生かす着方 ・服の与える印象 〇布を用いた製作 ・ふきんづくり	【衣食住の生活】 ・目的や個性を生かす着用について確認をする。 ・手縫いとミシン縫いの特徴を確認する。 ・裁縫道具の名前と用途、安全な取り扱い方について確認をする。 ・ふきんを完成させる。 （知及技に関する内容） ・季節や場面に応じて、どんな着用をすればよいか選ぶ。 ・衣服が人に与える印象について考える （思判表力に関する内容） ・場面に応じた衣服の選択理由を発表する。 ・安全に気を付けてふきん作りに参加する。 （学・人に関する学習）
	4	【衣食住の生活】 (知及技)住まいの主な働きや整理整頓仕方について知る。(中1段階:衣食住の生活エ(ア)) (思判表)自分の生活や教室の様子をふりかえり、どのように整理整頓すれば快適に過ごせるかを考え、工夫しようとする。(中1段階:衣食住の生活エ(ア)) (学･人)季節ごとの快適な住まい方について考え、自分なりに考え実践しようとする。(中1段階:衣食住の生活エ(イ))	【衣食住の生活】 (知･技)住まいの主な働き(安全･安心･快適など)や、整理整頓の基本的な方法について理解している。 (思･判･表)快適に過ごすための工夫(片づけ方、収納の仕方など)を自分なりに考えている。 (主学)季節の変化に関心をもち、快適に過ごすための住まいの工夫を自分なりに考え、生活の中で取り入れようとする。 (評価資料)授業の様子、ワークシー	【衣食住の生活】 〇住居の基本的な機能 〇整理整頓･清掃について	【衣食住の生活】 ･住まいの主な働きを確認する。 ･清掃･整理整頓の仕方について確認する。 ･季節の変化による住まいの変化を確認する。 (知及技に関する内容) ･快適な空間について考え、選択することができる。　･快適な空間にするための工夫を考える。　(思判表力に関する内容) ･季節ごとの住まいの工夫を体験する。(扇風機を使う、すだれを使う、窓をあけるなど) ･季節ごとの住まいの工夫で、自分が実際にやってみたい事を選ぶ。 (学･人に関する学習)
3学期	6	【消費生活・環境】 （知及技）生活に必要な物の購入方法や支払い方法が分かる。（中1段階：身近な消費生活ア(ア)） （思判表）生活に必要な品物を考え、選ぶことができる。（中１段階：身近な消費生活ア(ア)） (学･人)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。（中１段階：身近な消費生活ア(イ)）	【消費生活・環境】 (知・技）商品の購入方法や支払い方法が分かる。 (思･判･表)買い物の目的を理解し、必要な物を考え選ぼうとうする。 (主学)ごみの分別や再利用の工夫を通してごみの量を減らすことの大切さに気づく。また、身の回りの物を大切に使う意識を育む。、 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【消費生活・環境】 〇買い物の流れ ・商品を買う場所 ・商品の選び方 ・レジでの手順 〇ごみの分別について ・再利用しよう ・物を大切にするためにできること	【消費生活・環境】 ・買いもの一連の手順を確認する。 ・商品を買える場所の確認をする。 ・レジでの一連の手順を確認する。 ・買い物の目的を確認し、必要な物を教師や友達を確認する （知及技に関する内容） ・必要な物を選択した理由を考え、発表する。 ・模擬店を設置し、買い物の場面を設定して、買い物体験に参加する。 （思判表力に関する内容） ・ごみの量を減らすために、自分にできることを見つけ、考えを発表する。 （学・人に関する学習）
	3	【衣食住の生活】 （知及技）電子レンジやオーブントースターのような身近な加熱用調理器具を使うことができる。 （中1段階：調理の基礎イ （ア）） （思判表）加熱後の食材の変化を見て、自分なりの感想や気づきを表現することができる。（中1段階：調理の基礎イ（イ）） (学･人)電子レンジやオーブントースターなどの加熱用調理器具に関心をもち、食材の変化や調理の楽しさを実感できる（中1段階：調理の基礎イ（イ））	【衣食住の生活】 (知・技）電子レンジやオーブントースターが食べ物を温めたり焼いたりする道具であることを知る。 (思･判･表)食材の変化や調理器具の使い方に関心をもち、自分なりの方法で気づきや好みを表そうとする (主学)加熱用調理器具に対して関心をもち、食材の変化や調理の楽しさを自分なりに感じ取っている （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 〇簡単な調理 ・ピザトーストの栄養素 ・ピザトーストの作り方 ・オーブントースターの使い方 ・調理実習 ・調理実習の振り返り	【衣食住の生活】 ・ピザトーストに使用されている材料を３色食品群に分類する。 ・オーブントースターの使い方を確認する。 ・電子レンジの使い方を確認する。 ・ピザトーストの作り方を確認する。 （知及技に関する内容） ・焼く前と焼いた後の食材の変化を観察する ・調理実習をした感想をまとめ、発表することができる。 （思判表力に関する内容） ・役割分担しながら調理実習に参加する。 ・加熱調理による食材の変化気づき、自分の好みを伝える。（学・人に関する学習）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程A類型①②グループ）　外国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部1年 Ⅱ課程A類型　①グループ 11名、②グループ 9名		プリント教材など

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。　（高１段階） (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高１段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア(ア）㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） (学･人)言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知・技）英語の音声を聞いて発音の練習をしたり、意味を考えながら丁寧に綴りを書くことができる。 （思・判・表）学んだ英語表現を用いて自分に関することを伝えようとしている。 （主学）場面に即した簡単な質問をしようとすることができる。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元１：あいさつ Greeting ・自己紹介	・初めて会った時や日常のあいさつを確認する。 ・定型文を用いて自己紹介カードを作成し、交換をしながら自己紹介のやり取りをする。 （名前、出身中学校名など） ・他者の自己紹介を聞く。
				単元２：数 Numbers	・数字の読み方(1～20)や数を尋ねる表現“How many ～?”に慣れる。 ・ビンゴ活動で数を聞いたり伝えたりする。 ・インタビューゲームを通して数を尋ねる。
				単元３：家族 Family	・絵カードを活用し、家族メンバーの表現に親しむ。 ・絵を用いて、”This is ～”の表現を使い家族を紹介をする。 ・定型文を用いて家族の人数を伝える。
				単元４：色 Colors	・折り紙を使ったビンゴ活動などで色表現を理解する。 ・〝I like ～. / I don’t like ～.”の表現を用いて自分の好きな色を伝える。
2学期	14	（知及技） 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア(ア）㋐） （思判表力）身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技） 形や食べ物、文化等に関する語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表） 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、自分に関することを書いたり、表現しようとしている。 (主学） 外国語を使おうとしたり、外国と自国の文化の違いをを理解しようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元５：夏休みについて Summer Vacation	・定型文を参考に、簡単な語句を使って夏休みに行った場所や見たものなどについて発表する。 ・夏に関する簡単な単語に慣れる。
				単元６：形 What shape is this?	・曲や動画で形の表現を確認したり、絵カードを活用して表現に慣れる。 ・形の表現を聞いて理解する。 ・形を問う質問をする。
				単元７： オータムフェスティバル Autumn Festival	・外国で行われているハロウィンの様子を知り、外国の行事の様子と日本の行事の様子の違いを学ぶ。 ・ハロウィンに関する語句や表現に触れる。
				単元８：食べもの What would you like?	・歌やチャンツなどを使い、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ・〝I want to eat / drink/ have～.”の表現を使い、食べたいものや飲みたいものを伝える。 ・〝What would you like?”〝I’d like ～.”などの丁寧な表現に慣れる。 ・外国から来る食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。
				単元９：ホリデイシーズン Holiday Season	・外国の年末年始の過ごし方を知り、クリスマスカードづくりを行う。 ・メッセージの意味を理解しながら文字を綴る。
3学期	9	（知及技） 英語の音声や文字も，事物の内容を表したり，要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。（高１段階：英語の特徴ア(ア）㋑） （思判表力） 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。（高１段階：イ（イ）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技） 新年や干支等をはじめ、各単元で学ぶ語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表） 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、感謝の気持ちを書き綴ろうとしている。 (主学） 外国語を使おうとしたり、外国の文化の理解を深めようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元10:ハッピーニューイヤー Happy New Year ・動物	・外国の新年の挨拶や、過ごし方について学ぶ。 ・新年の干支（Zodiac animals)や動物について、絵カードやクイズを通して知る。 ・“What is this year’s eto?”の質問に、”It is ～.”の表現を使って答える。 ・年号の伝え方を知り、理解する。
				単元11:バレンタインデー Valentine’s day	・クイズを通して、外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。
				単元12:１年間のまとめ	・既習語句・表現のふりかえり ・Thank you cardを作成し、友人やお世話になった方へ感謝の気持ちを表す。 ・送る相手に適した表現を知る。
留意点 引継ぎ等		※指導内容（思判表力）のウ①言語活動に関する事項の（ア）～（オ）（五つの領域）に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和７年度 高等部　１年（　Ⅱ課程A類型③④グループ）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部1年 A類型③グループ 7名、④グループ 8名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。　（高１段階） (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高１段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	（知及技） 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。 （高１段階：英語の特徴ア（ア）㋐） （思判表力） 身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。 （高１段階：イ（ア）） （学・人） 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知・技）英語の音声を聞いて発音の練習をしたり、意味を考えながら丁寧に綴りをなぞったりすることができる。 （思・判・表）学んだ表現を用いて自分に関することを伝えようとしている。 （主学）場面に即した簡単な質問に答えようとしたり、他者の発言を関心を持って聞こうとすることができる。	単元１：あいさつ Greeting ・自己紹介	・初めて会った時や日常の挨拶を確認する。 ・定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。（名前、学校名など） ・他者の自己紹介を聞く。
				単元２：数 Numbers	・数字の読み方(1～10)や数を尋ねる表現“How many ～?”に慣れる。 ・ビンゴ活動で数を聞いたり伝えたりする。 ・インタビューゲームを通して数を尋ねる。
				単元３：家族 Family	・絵カードを活用し、家族メンバーの表現に親しむ。 ・絵を用いて、”This is ～”の表現を使い家族を紹介をする。
				単元４：色 Colors	・折り紙を使ったビンゴ活動などで色表現に親しむ。 ・〝I like ～. / I don't like ～.”の表現を用いて自分の好きな色を伝える。
２学期	14	（知及技） 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア（ア）㋐） （思判表力） 身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技) 形や食べ物、文化等に関する語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、綴りをなぞり書きしたりして、自分のことについて表現をしようとしている。 (主学) 外国語を使おうとしたり、外国と自国の文化の違いを理解しようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元５：夏休みについて Summer Vacation	・定型文を参考に、簡単な語句を使って夏休みに行った場所や見たものなどについて発表する。 ・夏に関する簡単な単語に慣れる。
				単元６：形 What shape is this?	・曲や動画で形の表現を確認したり、絵カードを活用して表現に慣れる。 ・形の表現を聞いて理解する。
				単元７：オータムフェスティバル　Autumn Festival	・外国で行われているハロウィンの様子を知り、外国の行事と日本の行事の様子の違いを学ぶ。 ・ハロウィンに関する語句や表現に触れる。
				単元８：食べもの What would you like?	・歌やチャンツなどを使い、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ・〝I want to eat / drink/ have～.”の表現を使い、食べたいものや飲みたいものを伝える。 ・外国から来る食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。
				単元９：ホリデイシーズン Holiday Season	・外国の年末年始の過ごし方を知り、クリスマスカードづくりを行う。
３学期	9	（知及技） 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア（ア）㋐） （思判表力） 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。（高１段階：イ（イ）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技) 新年や干支等をはじめ、各単元で学ぶ語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、感謝の気持ちの表現を写し書きしている。 (主学) 外国語を使おうとしたり、外国の文化の理解を深めようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元10:ハッピーニューイヤー Happy New Year	・外国の新年の挨拶や、過ごし方について学ぶ。 ・新年の干支（Zodiac animals)や動物について、絵カードやクイズを通して知る。 ・”What is this year's eto?”の質問を理解し、答える。 ・年号の伝え方を知る。
				単元11:バレンタインデー Valentine's day	・クイズを通して、外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。
				単元12:１年間のまとめ	・既習語句・表現のふりかえり ・Thank you cardを作成し、友人やお世話になった方へ感謝の気持ちを表す。
留意点 引継ぎ等		※指導内容（思判表力）のウ①言語活動に関する事項の（ア）～（オ）（五つの領域）に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和７年度 高等部　１年（Ⅱ課程B類型）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部1年 Ⅱ課程Ｂ類型 6名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高１段階) (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア(ア)㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） (学･人)言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知・技) ①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりすることができる。英語を聞いて、その内容を示すものを選択することができる。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目することができる。 （思・判・表） ①場面に応じたあいさつができる。自分の希望するものを選ぶなどの意思表示ができる。②教師の声掛けに対して、発音や表情の変化に応答しようとしている。 （主学） ①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。 評価資料：活動の様子	自己紹介、あいさつ 天気 家族 数 方向 名詞（学校にあるもの）	自己紹介 ・呼名に応じよう。 ・名前のつづりを確認しよう。 あいさつ ・"How are you?"に答えよう。 ・ジェスチャーも使ってみよう。 天気 ・"How is the weather today?"に答えよう。 学校にある名詞 ・教室や学校にある英語を聞いてみよう。 数を数えよう ・１to５（7-10） 家族の名称 ・Finger Family, Mother's(Father's day) 〇英語の歌のリズムを通して、それぞれの単元を指導する。 〇英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して、身近な語彙の定着を図る。
2学期	14	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア(ア)㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） (学･人)外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	（知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりすることができる。英語を聞いて、その内容を示すものを選択することができる。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目する。 （思・判・表）①場面に応じたあいさつができる。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示ができる。②教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。 （主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。 評価資料：活動の様子	食べ物 ハロウィン 色、形 名詞（家にあるもの） クリスマス	あいさつ ・自分（他者）の名前を伝えよう。 ・呼名に応じよう。 ・"How are you?"に答えよう。 ・ジェスチャーも使ってみよう。 天気 ・"How is the weather today?"に答えよう。 色、形 ・"What is your favorite color?"に答えよう。 家にある名詞 ・家にある英語を聞いてみよう。 食べ物 ・"What is your favorite food?に答えよう。 校外学習の英語 ・乗り物やお店、施設の名前 他 異文化理解（ハロウィン、クリスマス） 〇英語の歌のリズムを通して、それぞれの単元を指導する。 〇英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して、身近な語彙の定着を図る。
3学期	9	（知及技） 英語の音声や文字も，事物の内容を表したり，要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。（高１段階：英語の特徴（ア）㋑） （思判表力） 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。（高１段階：イ（イ）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	（知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりすることができる。英語を聞いて、その内容を示すものを選択することができる。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目する。 （思・判・表）①場面に応じたあいさつができる。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示ができる。②教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。 （主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。 評価資料：活動の様子	ハッピーニューイヤー 動物（干支） バレンタインズデー １年間のまとめ	お正月の英語 ・新年のあいさつ ・お正月の英語（名詞） ・今年の干支や、動物を英語で言ってみよう。 福笑いをしよう ・Facial parts(顔の名詞) ・Up,down(上下) バレンタインデーの英語（名詞） 感謝の気持ちを伝えよう。 別れのことばを伝えよう。 〇英語の歌のリズムを通して、それぞれの単元を指導する。 〇英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して、身近な語彙の定着を図る。
留意点 引継ぎ等	※単元及び学習内容については、生徒の興味関心や学校行事などに応じて順序を入れ替えたり、組み合わせたりするなど工夫する。 ※指導内容（思判表力）のウ①言語活動に関する事項の（ア）～（オ）（五つの領域）に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和　　7年度 高等部　1年（　Ⅱ課程A類型①②③④グループ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1学年　36名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高１段階）

(思判表力）　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高１段階）

(学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途，操作方法及び仕組みを知り，情報と情報技術を活用して問題を知り，問題を解決する方法を身に付けることができる。（高1段階Aア（ア））	(知・技) ・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作（電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。	情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 情報の偏りと評価 ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価（情報操作、信憑性）についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー（情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力）について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。（電源のオンオフ、各種アプリの操作） ・検索エンジンの利用
	6	(思判表力) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ））	(思･判･表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。
		(学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・夏のポストカード作成	・「夏」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
2学期	7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について，その変遷を踏まえて知ることができる。（高1段階　Bア（ア））	(知･技) ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。	・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報	・CMCでは個人を特定する情報を隠すことが可能…匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法（誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。）
	7	(思判表力) ・ 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高1段階　Bイ（ア））	(思･判･表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。	・ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト（SNS、動画共有サイト等）	・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。 ・コンピュータグラフィクス、バーチャルリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。
		(学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・クリスマスカード作成	・「クリスマス」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
3学期	5	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。（高1段階　Cア（ア））	(知･技) ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。	・不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」：；記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー（企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等）
	4	(思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。（高1段階　Cイ（ア））	(思･判･表) ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。	・情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証	・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知る。犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。
		(学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成 ・卒業生へ送るメッセージカード作成	・オリジナルの名刺を作成し、先生や友達、お家の人に渡して意見を聞いてみよう。 ・卒業する3年生にメッセージカード作成しよう。印刷したカードは3年生が見られるよう廊下に掲示する。

留意点	

令和　7年度 高等部　1年（Ⅱ課程B類型）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年　6名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（1段階）

(思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（1段階）

(学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思･判･表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1 撮った写真を活用しよう ・テーマを決めてカードを作ろう	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。 ・自分だけのテーマを決めて、自分で撮った写真を使ったカード作成
2学期	7 7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。（高1段階 B ア（ア）） (思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。（高1段階 B イ（ア）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知･技) ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。 (主学) 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	メディアの発達 ・手紙と電話 ・携帯電話とインターネット 誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報２ ・ネット依存２ 写真加工に挑戦 ・クリスマスカードを作ろう	・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。（動画視聴 NHKforschool） ・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表（情報発信）を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。 ・写真やシールを貼り付け簡単なクリスマスカードの作成をし、廊下に掲示してみよう。
3学期	5 4	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 ※活動の様子で評価。 (思･判･表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3 ・オリジナル名刺作成	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。 ・シールやイラストで飾り付けをしたオリジナルの名刺を作成しよう。

留意点 引継ぎ等	メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。

令和　7　年度 高等部　　1年（　Ⅱ　課程　A類型　）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年1組　6名　1年2組　6名 1年3組　6名　1年4組　6名 1年5組　6名　1年6組　5名		小学どうとく　ゆたかな心　3年

年間目標	(A：自分自身に関する事)　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事)　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事)　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和　7　年度 高等部　　1年（　Ⅱ　課程　B類型　）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年7組3名 1年8組3名		

年間目標	(A：自分自身に関する事）　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事）　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事）　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり）　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。 ・絵を見ながら様々な場面でどういう挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをすることができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持って ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良くし、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度　高等部　1年（Ⅱ課程 A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位（35時間）	1年　Ⅱ課程　Aグループ（ 35名）		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 就業体験事前・事後学習や体験的な学習活動を通して、それぞれの職業班で必要な知識や技能を身につける。 (思判表力) 就業体験や学習的な体験活動を通して、学んだことをまとめ、発表活動を行うことができる。 (学・人) 就業体験や学習的な体験活動を通して、集団の中で話し合い、課題を解決する力や能力を身につける。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校内)事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校内)事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 販売学習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、みさき市や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。

留意点 引継ぎ等	

令和7年度　高等部　1年（Ⅱ課程 Bグループ）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位（35時間）	1年　Ⅱ課程　Bグループ（6名）		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 就業体験などの学習活動を通して、課題解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 (思判表力) 就業体験などの学習活動を通して、自分の役割や成果と課題等を振り返ることができる。 (学･人) 課題解決や探求活動に主体的・協働的に取り組む態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 〇自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	〇前期就業体験(校内)事前学習 事後学習	〇動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 〇就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 〇各自の目標に対する自己評価を行う。 〇報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。
2学期	14	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 〇自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	〇後期就業体験(校内)事前学習 事後学習 〇卒業生講話	〇動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 〇就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 〇各自の目標に対する自己評価を行う。 〇報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。 〇卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 販売学習の内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 販売学習を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 〇自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	〇生産物販売学習 事前学習 事後学習 〇進路学習	〇動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 〇販売学習における約束事を確認し、目標を設定する。 〇各自の目標に対する自己評価を行う。

留意点 引継ぎ等	

令和７年度　高等学部　１年（　　Ⅱ課程　Aグループ　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年1組6名　1年2組6名　1年3組6名 1年4組6名　1年5組6名　1年6組5名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○入学式・終業式	○入学式、終業式への参加。
		○健全な発達や健康の維持を目指す。	○身体測定	○身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査等の検査結果を受け、自身の生活習慣について考える。
		○生徒同士協力して学校生活の充実と後方に向けての意識を持つ。	○新入生歓迎会 ○生徒総会	○新入生歓迎会や生徒総会に参加し、生徒会の一員であることを確認する。
		○防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。	○火災避難訓練	○火災避難訓練に参加し、避難する際の注意事項について考える。
		○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深める。	○学校間交流	○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換を通して交流に参加する。
2学期	14	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○始業式・終業式	○始業式、終業式への参加。
		○災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。	○地震津波避難訓練	○地震津波避難訓練に参加し、避難する際の注意事項や防災について考える。
		○健全な発達や健康維持を目指す。	○校内陸上大会	○校内陸上大会で自分の種目に精一杯参加する。
		○学校の代表として一生懸命頑張る生徒を応援することができる。	○特体連体育大会	○公共交通機関の利用について学び、特体連体育大会に出場する選手を応援する。
		○公共でのマナーやルールを学ぶ。	○校外学習	○校外学習に参加し公共施設や集団行動のマナーやルールについて学ぶ。
		○性に対する正しい知識を学習し、知識を深める。	○性に関すること	○世界エイズデーを通して性について学習する。
3学期	9	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○始業式・修了式	○始業式、修了式への参加。
		○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。	○生徒会役員選挙	○選挙について学ぶ。
		○一生懸命練習してきた選手をみんなで応援することができる。	○特体連駅伝大会（校外学習）	○公共交通機関の利用について学び、特体連駅伝大会に出場する選手を応援する。
		○公共のマナーやルールを守り、買い物することができる。	○買い物学習（校外学習）	○現金を利用した買い物学習を通して、社会のマナーやルールを学ぶ。
		○支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。	○3年生を送る会	○3年生を送る会に参加し、卒業生の門出を祝う。

留意点 引継ぎ等	○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。

令和７年度　高等部1年（　Ⅱ課程　B類型　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年７組　３名　　1年８組　３名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。 (学･人)自主的，実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，主体的に集団や社会に参画し，生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○儀式への参加を通して、新しい環境への心構えを確認する。	○入学式、終業式	○進級の喜びを感じ、これからの生活への意欲を持つ。
		○健全な発達や健康の維持について関心をもつことができる。	○身体測定	○身体測定等の結果より、自己の生活習慣の見直し、及び自分の健康に関心を持つ。
		○生徒会の一員として、皆と協力して活動することができる。	○新入生歓迎会 ○生徒総会	○生徒会の一員としての役割を持ち、活動する。
		○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。	○火災避難訓練	○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。
		○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深める。	○学校間交流	○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換をする。
2学期	14	○儀式への参加を通して、学校生活を送るための、心構えを確認する。	○始業式、終業式	○学期ごとの具体的な目標を持って生活する。
		○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。	○地震津波避難訓練	○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。
		○健全な発達や健康維持を目指す。	○体育祭	○大会の各種目への参加。自分の目標に向かって、努力する力を身につける。
		○性に対する正しい知識を学習し、知識を深める。	○性教育	○世界エイズデーについての学習する。
		○公共でのマナーやルールを学ぶ。	○校外学習	○公共の場での行動の仕方を身につける。
		○学校の代表として一生懸命頑張る生徒を応援することができる。	○特体連体育大会（校外学習）	○公共交通機関を利用して応援に行くことができる。
3学期	9	○儀式への参加を通して、学校生活を送るための心構えを確認する。	○始業式、修了式	○始業式への参加。その場にふさわしい行動ができるようにする。
		○一生懸命練習してきた選手をみんなで応援することができる。	○特体連駅伝大会（校外学習）	○日頃の学習成果を発表する。
		○公共でのマナーやルールを守って買い物ができる。	○買い物学習（校外学習）	○公共交通機関を利用して応援に行くことができる。 ○現金を利用し、必要な物を買うことができる。
		○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。	○生徒会役員選挙	○生徒会役員選挙を通して、選挙の意義や具体的な仕組みを体験し、選挙人としての自覚を持つ。
		○支えてくれた先輩へ感謝の気持ちを込めて、皆と協力して活動することができる。	○３年生を送る会	○先輩の姿を見て、2年後の自分を想像し、社会への希望を持つ。
通年を通して行う		○学級活動で自分の意見や意志を示し、他者の意見を聞くことができる。	○ホームルーム活動	○学級活動やルールなどについての話し合う。
		○毎学期の始めと終わりに、学期の目標を立てたり、振り返ったりすることができる。		○キャリアパスポートを活用し、教師と一緒に目標設定や振り返りを行う。
		○高校生になったことを確認（自覚）する。	○1学年集会	○高校生として自覚を持って行動する。
留意点引継ぎ等				

令和 7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程A類型 ①②グループ　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年　18名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高２段階)

(思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め､自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高２段階）

(学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技）相手を見て話したり、聞いたりするとともに､他者の話を簡単にまとめることができる。【高１段階ア（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高１段階Ｂア】 (学･人)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高2段階】	(知・技）相手を見て話したり、聞くことができ、他者の話をまとめている。 (思･判･表)自分についての情報を書き出し、言葉にしている。 (主学)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしてる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。（知及び技に関する内容） ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容） ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1段階ウ（ウ）】 (思判表力)文章を読んで理解したことにい基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高２段階Ｃ（オ）】 (学･人)幅広く読書に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。 (主学)幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・読書活動	・公共施設として図書館を正しく利用することができる。(知及び技に関する内容） ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。（思判表力に関する内容） ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。（学・人に関する内容）
	9	(知及技）日常よく使われる丁寧語、敬語を理解し使うことができる。【高1段階ア（カ）】 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階ＡエＡエ】 (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）日常でよく使われる丁寧語や敬語を理解し使うことができている。 (思･判･表)正しい丁寧語を用いて、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝えようとしている。	単元名「敬語をつかおうⅠ」 ・敬語をつかおう ・電話を利用しよう ・実習先でのやり取りを考える ・メモの取り方	・丁寧語を理解し、それを活用して電話でのやりとりができる。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手へ言葉で伝えることができる。（思判表力に関する内容） ・丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、活用することができる。（学・人に関する内容）
	6	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。【中２段階イ（ア）】 (思判表力)読んで感じたことやわかったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。【中２段階Ｃオ】 (学･人)言葉のよさを認識し、新聞に親しみながら、思いや考えを伝えることができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思･判･表)読んで感じたことを発表し、他者の感じ方の違いに気づくことができている。 (主学)言葉がもつよさに気づき、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・ﾚｯﾂ･ﾁｬﾚﾝｼﾞ･NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容） ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。（思判表力に関する内容） ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。（学・人に関する内容）

	8	(知及技）お礼状の書き方を理解することができる。【高1段階】 （思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Ｂ（ア）】 (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技）お礼状の書き方を理解している。 (思･判･表)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。 (主学)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・就業体験や校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。（学・人に関する内容）
２学期	12	(知及技）生活に身近な方言や地域のことわざ（黄金言葉）の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。【高１段階ウ（ア）】 (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【高１段階Aエ】 (学･人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができている。 (思･判･表)相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おうⅡ	・身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。（知及び技に関する内容） ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。（思判表力に関する内容） ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。（学・人に関する内容）
	22	(知及技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高１段階ア（キ）】 (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。【高１段階Cア】 (学･人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができている。 (思･判･表)登場人物の行動や心情について叙述を基に捉えている。 (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれ、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・注文の多い料理店 ・蜘蛛の糸	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。（知及び技に関すること） ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。（思判表力に関すること） ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）お礼状の意義や書き方を理解することができる。【中１段階ウ（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えることができる。【高１段階Bエ】 (学･人)言葉がもつよさを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高１段階】	(知・技）お礼状の意義や書き方を理解し、年賀状を書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「お礼状を書こう」 ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。（学・人に関する内容）
３学期	5	(知及技）目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高２段階ウ（ウ）イ】 (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高１段階Bウ】 (学･人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。【高１段階】	(知・技）目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができている。 (思･判･表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高１段階イ（ア）】 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高１段階Cオ】 (学･人)国語を大切にして、思いや考えを伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (主学)国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「説明的な文章を読もう」	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	10	(知及技）話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。【高１段階A（ウ）】 (思判表力)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【高１段階Bウ】 (学･人)自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。【高１段階】	(知・技）話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができている。 (思･判･表)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「挨拶文を考えよう」 ・場面に応じた挨拶	・一年間を振り返り様々な行事を仮定し、場面に応じた挨拶文を考える。（知及び技に関する内容） ・自分の考えと事例との関係を明確にし、挨拶文の書き方を工夫する。（思判表力に関する内容） ・考えた挨拶を工夫して発表する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等	・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。				

令和７年度 高等部　２年（　　Ⅱ課程A類型　③④⑤グループ　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部2年　17名		ゆっくり学ぶ子のための国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高１段階) (思判表力)　筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高１段階) (学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 表現するために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。【中2段階ア(エ)】 (思判表力) 相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる。【中2段階Aイ】 (学･人) 言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めることができる。【高１段階】	(知及技) 表現するために必要な語句の量を増やし文や文章に取り入れることができている。【中2段階ア(エ)】 (思判表力) 相手や目的に応じて、自分の伝えたいことをイラストや文字で表現することができている。【中2段階Aイ】 (学･人) 言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めようとしている。【高１段階】	「自己紹介をしよう」 ・季節の言葉（春）（夏） ・自己紹介シートを作ろう	・季節にまつわる言葉や自分の好きな物にまつわる言葉をワークシートに書き出す。季節に関連する行事について学習する。（知及び技に関する内容） ・春や夏の風物詩として「桜」「菜の花」「花火」「海水浴」など具体的な言葉をワークシートに書く。その中から、自分の好きなものについて文字やイラスト等を交えて紹介する文章を書く。（思判表力に関する内容） ・季節の特徴や良さを感じたことを発表し合う。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができている。【高1段階ア(ウ）】 （思・判表力）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階Cア】 （学・人）自分の考えを文や文章で相手に伝えることができる。【高1段階】	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができている。【高1段階ア(ウ）】 （思・判表力）簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中1段階Cア】 （学・人）自分の考えを文や文章で相手に伝えようとしている。【高1段階】	「表現力を高めようⅠ」 ・平和へのメッセージ	・物語や映像などを通して沖縄戦について学ぶ。（知及び技に関すること） ・物語や映像の鑑賞から感じたことを、平和へのメッセージとして言葉や絵などで表現する。（思判表力に関する内容） ・戦争の悲惨さや平和の大切さなど、学習を通して気づいたことや感じたことを話し合う。（学・人に関すること）
	15	(知・技）お礼状の意義や書き方を理解する。【中1段階ウ(ｲ）】 （思判表力）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。【中1段階Bア】 （学人）自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えることができる。【高1段階】	（知・技）お礼状の意義や書き方を理解している。【中1段階ウ(ｲ）】 （思判表力）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができている。【中1段階Bア】 （学人）自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えようとしている。【高1段階】	「手紙を書こう」 ・季節のことば（夏） ・お礼状を書こう	・日誌や写真等を見ながら実習を振り返り、経験したことや学んだこと、お世話になった方へ伝えたいことをワークシートに書き出す。（知及び技に関すること） ・書き出したことを整理し、お礼文の定型に沿って文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・実習でお世話になったことを振り返り、感謝の気持ちを自分の言葉で伝える。（学・人に関すること）
2	10	（知・技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。【中2段階ア(イ）】 （思判表力）相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【中1段階Ａエ】 （学人）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しむことができる。【高1段階】	（知・技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができている。【中2段階ア(イ）】 （思判表力）相手や目的に応じた話し方で話すことができている。【中1段階Ａエ】 （学人）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。【高1段階】	「表現力を高めようⅡ」 ・しまくとぅば ・敬語	・沖縄の昔話や方言カルタを通して、うちなーぐちの挨拶やことわざを学習する。（知及び技に関する内容） ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って、場面を設定して話す練習に取り組む。（思判表力に関する内容） ・方言独特の発音やイントネーション、リズム等に親しむことができる。（学・人に関する内容）

学期	15	〈知技〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。【中1段階ウ（エ）】 〈思判表力〉様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階Cア】 〈学人〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。【高1段階】	〈知技〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り読むことができている。【中1段階ウ(エ)】 〈思判表力〉様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができている。【中2段階Cア】 〈学人〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しもうとしている。【高1段階】	「物語を読もう」	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の心情や情景を考える。(思判表力に関する内容) ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。（思判表力に関する内容）
	15	〈知・技〉お礼状の意義や書き方を理解する。【中1段階ウ(ｲ)】 〈思判表力〉相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。【中2段階Bア】 〈学人〉自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えることができる。【高1段階】	〈知・技〉お礼状の意義や書き方を理解している。【中1段階ウ(ｲ)】 〈思判表力〉相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができている。（中2段階Bア】 〈学人〉自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えようとしている。【高1段階】	「手紙を書こう」 ・季節のことば（秋・冬） ・お礼状を書こう	・「おしょうがつ」「クリスマス」など冬に関する身近な言葉を集め、文字を書いたりなぞったりする。 ・手紙の書き方のワークシートを活用し、お礼状の作成をする。
3学期	5	〈知技〉姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。【中１段階ウ(ｳ)〉ア】 〈思判表力〉書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【中２段階Bウ】 〈学人〉正月あそびや書き初め体験を+C30通して、日本文化に親しむことができる。【高１段階】	〈知技〉姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができている。【中１段階ウ(ｳ)〉ア】 〈思判表力〉書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができている。【中２段階Bウ】 〈学人〉正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。【高１段階】	「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・カルタや福笑い、双六などの正月遊びに取り組む。文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆や筆ペンを用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	〈知技〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(エ）】 〈思判表力〉様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階Cア】 〈学人〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。【高1段階】	〈知技〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。【中1段階ウ(エ）】 〈思判表力〉様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。【中2段階Cア】 〈学人〉読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。【高1段階】	「物語を読もう」	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容) ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。（思判表力に関する内容）
	10	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。【高1段階ア(ウ）】 （思・判表力）未来の自分に向けて、現在の自分の思いや考えを言葉や絵などで表現することができる。【中2段階Aイ】 （学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。【高1段階】	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができている。【高1段階ア(ウ）】 （思・判表力）未来の自分に向けて、現在の自分の思いや考えを言葉や絵などで表現することができている。【中2段階Aイ】 （学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。【高1段階】	「手紙を書こう」 ・１年後の自分へ	・1年間を振り返り、頑張ったことや今後の目標などをまとめる。 ・3年生になった自分を想像し、未来の自分に向けた応援メッセージを手紙に書く。 ・１年間を振り返り、頑張ったことや今後の目標など３年生になった自分をイメージして応援の気持ちや伝えたいことを考える。（知及び技に関すること） ・未来の自分を想像し、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・自分の気持ちや考えを手紙で伝えることができる。（学・人に関すること）
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和　7年度 高等部　2年（　　Ⅱ課程B類型　グループ　）国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部２年　９名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高１段階) (思判表力）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。　(高１段階) (学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(知及技）なぞり書きのワークシートに取り組むことができる（中1段階：ア(エ)） (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小２段階：Bイ) (学･人)身近な物の名前や簡単な文章を書こうとすることができる。(小３段階)	(知・技）直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができている。 (思･判･表)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができている。 (主学)身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。	単元１ 「なぞり書きの練習をしよう」 ・季節の言葉 ・家族の日のメッセージ	・鉛筆やペン、クレヨン、チョークなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。(知及び技に関する内容) ・持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。(思判表力に関する内容) ・様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。(学・人に関する内容)
		(知及技）日常生活の中で周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づき、適切な表現を使うことができる。(中2段階：ア(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中１段階：Cア) (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中1段階)	(知・技）日常生活の中で周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づき、適切な表現を使うことができる。 (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ①」 ・季節行事の絵本 ・働くことの絵本	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。(学・人に関する内容)
		(知及技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。(中2段階ア(イ)) (思判表力)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。(中2段階：Aエ) (学･人)授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。(中２段階)	(知・技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができている。 (思判表力)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができている。 (主学)教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。	単元３ 「友達に呼びかけてみよう」 ・実習に向けてあいさつ、返事の練習	・発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。(知及び技に関する内容) ・相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。(思判表力に関する内容) ・毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。(学・人に関する内容)
		(知及技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。(小2段階：ア(ウ)) (思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。(小3段階Cア) (学･人)いろいろな言葉にふれ、親しみを持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができている。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができている。 (主学)いろいろな言葉にふれ、親しみを持って取り組もうとしている。	単元１ 「身近なものの名前を知ろう」 ・物の名前でビンゴ ・修学旅行に向けて	・食べ物、乗り物、身体の部位、生活用品、など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。(知及び技に関する内容) ・学習した言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。(思判表力に関する内容) ・カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。(学・人に関する内容)

2学期		(知及技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。（中2段階ア(ア)） (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。（中１段階：Cア） (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。（中1段階）	(知・技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ②」 ・避難訓練の本 ・季節の絵本	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。（知及び技に関する内容） ・音を模倣したり身振りで表現したりする。（思判表力に関する内容） ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。（学・人に関する内容）
		(知及技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（中1段階ウ(ウ)） (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。（小２段階：Bイ） (学･人)文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。（中1段階）	(知・技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができている。 (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができている。 (主学)文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元３ 「自分で選んでやってみよう」 ・すくすくプラス ・なぞり書きの練習	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。（知及び技に関する内容） ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。（思判表力に関する内容） ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。（学・人に関する内容）
3学期		(知及技）様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。（中1段階ウ(ウ)） (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。（小３段階Bウ） (学･人)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。（中1段階）	(知・技）筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。 (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができている。 (主学)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元１ 「道具を使って書いてみよう」 ・年賀状 ・書き初め	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。（知及び技に関する内容） ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。（思判表力に関する内容） ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。（学・人に関する内容）
		(知及技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。（中2段階ア(ア)） (思判表力)自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりことができる。（高１段階：ウ（ｳ）） (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。（中2段階）	(知・技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思判表力)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきこうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ③」 ・季節行事の絵本	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。（知及び技に関する内容） ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。（思判表力に関する内容） (主学)図書室で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。
		(知及技）短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。（中2段階ウ(ア)） (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。（小2段階Cエ） (学･人)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。（中2段階）	(知・技）短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができている。 (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができている。 (主学)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元３ 「やりとりを楽しもう」 ・カルタ ・ひらがなカード	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。（知及び技に関する内容） ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。（思判表力に関する内容） ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等		･全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況を評価資料とする。			

令和　7　年度 高等部　2年（Ⅱ課程A類型①②グループ）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高2年　３５名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高２段階） (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高２段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解することができる。（高2段階：オ（ア）㋐）、中2段階：オ（ア）㋑） (思判表力) 家の作りから、本土と沖縄の気候について考えることができる。（高1段階：オ（ア）㋑） (学･人) 自分の住んでいる市町村について調べることができる。（中1段階：オ（ア）㋐）	(知・技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解している。 (思･判･表)家の作りから、本土と沖縄の気候について考えている。 (主学）自分の住んでいる市町村について調べようとしている。	・国土と大陸	・方位と地図 ・六大陸と日本 ・都道府県 ・世界の国々 ・単元を通して学んだこと
	8	(知及技) 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㋑） (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑） (学･人) 戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。 （高2段階：カ（ア）ア）	(知・技）視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できる。 (思･判･表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。 (主学）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。	・沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㋐） （思判表力） なりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㋑） （学・人） 自立へ向けて考えることができる。（高1段階：ア（ア）㋑）	（知・技）青年期の特徴について理解している。 （思判表力）なりたい自分について考え表現している。 （主学）自立へ向けて考える様子がみられる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題 ・単元を通して学んだこと
	10	（知及技） 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㋐） (思判表力) ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㋑） (学･人) よりよいルールについて考えようとすることができる。（高2段階：イ（イ（㋑）））	(知・技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことがを理解している。 (思･判･表)ルールの意義について考えている。 (主学）よりよいルールについて考えている。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と明治憲法 ・民主主義って？

2学期	9	（知及技） 多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） (思判表力) 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㋐） （学・人） 選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる（高2段階：ア（ア）㋑）	（知・技）多数決の原理について理解している。 （思・判・表）模擬選挙の際、代表者を選択している。 （主学）選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解している。マニフェストを調べている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙 ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	（知及技） 修学旅行先の観光地について、知ることができる（中2段階：オ（ア）㋐） (思判表力) 修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えることができる。（中2段階：オ（ア）㋑） （学・人） グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中2段階：オ（ア）㋑）	(知・技）修学旅行先の観光地について、理解している。 (思･判･表)修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えている。 (主学）グループ活動（調べ学習）に参加している。	修学旅行にむけて	・修学旅行先ガイドマップをつくろう ・おすすめスポットの紹介
3学期	8	（知及技） 現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㋐）（高2段階：カ（ア）㋐） （思・判・表） 自分がどのようなかたちで社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑） （学・人） 現代社会の課題解決について考えようとすることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑）	（知・技）現代社会の特徴を知理解している。 （思・判・表）自分がどのようなかたちで社会参加できるか、プリントにまとめたり発表している。 （主学）現代社会の課題解決について、プリントにまとめたり、発表している。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加･自立 ・これからの社会
	6	（知及技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （思判表力）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （学・人）時事問題を調べることができる。（高1段階：オ（イ）㋑）	（知・技）時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 （思・判・表）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 （主学）新聞や情報通信機器等を用いて時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等	授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和　7　年度 高等部　2年（Ⅱ課程A類型③④⑤グループ）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高２年　１７名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国土の様子と国民生活、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。（高２段階） (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。（高２段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解することができる。(高2段階：オ（ア）㋐)、中2段階：オ（ア）㋑) (思判表力)家の作りから、本土と沖縄の気候について考えることができる。（高1段階：オ（ア）㋑) (学･人)自分の住んでいる市町村について調べようとしている。（中1段階：オ（ア）㋐)	(知・技）我が国と沖縄県が地球上のどこに位置しているかを理解している。 (思･判･表)家の作りから、本土と沖縄の気候について考える様子が見られる。 (主学）自分の住んでいる市町村について調べている。	・国土と大陸	・方位と地図 ・六大陸と日本 ・都道府県 ・世界の国々 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技）戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を知ることができる。（中2段階：オ（イ）㋑) (思判表力)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑) (学･人)戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。（高2段階：カ（ア）ア）	(知・技）戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解している。 (思･判･表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとしている。	・沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・移民の歴史 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技）エゴグラムで出た自分について、青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㋐) （思判表力）なりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㋑) （学・人）自立へ向けて考える様子がみられる。（高1段階：ア（ア）㋑)	（知・技）エゴグラムの結果、青年期の特徴をプリントにまとめている。 （思判表力）なりたい自分について、プリントにまとめている。 （主学）自立できるために、考える様子が見られる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題 ・単元を通して学んだこと
	10	（知及技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㋐) (思判表力)ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㋑) (学･人)よりよいルールについて考えようとすることができる。（高2段階：イ（イ）㋑)	(知・技）教師の説明や視聴覚教材に着目している。または復習テストで正解できる。 (思･判･表)視聴覚教材をみて考えている様子がある。 (主学）動画を見て新しいルールについて考えている様子がある。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と明治憲法 ・民主主義って？

2学期	9	（知及技）多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） (思判表力)模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㋐） （学・人）選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる（高2段階：ア（ア）㋑）	（知・技）数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 （思・判・表）代表者を選択する理由がある。 （主学）プリントに自分の考えをまとめている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙 ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	（知及技）修学旅行先の観光地について、知ることができる（中2段階：オ（ア）㋐） (思判表力)修学旅行先を地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えることができる。（中2段階：オ（ア）㋑） （学・人）グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中2段階：オ（ア）㋑）	(知・技）修学旅行先の特徴を用紙にまとめている。 (思･判･表)修学旅行先と沖縄の違いを考え、用紙にまとめている。 (主学）アイデアを出したり、記入などグループ活動に参加している。	修学旅行にむけて	・修学旅行先ガイドマップをつくろう ・おすすめスポットの紹介
3学期	8	（知及技）現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㋐）（高2段階：カ（ア）㋐） （思・判・表）自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑） （学・人）現代社会の課題解決について考えようとすることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑）	（知・技）現代社会の特徴について、プリントにまとめている。 （思・判・表）自分がどのような形で社会参加できるか、プリントにまとめたり発表している。 （主学）現代社会の課題解決について、プリントにまとめたり、発表している。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加･自立 ・ウチナーンチュのネットワーク ・これからの社会
	6	（知及技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （思判表力）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （学・人）時事問題を調べることができる。（高1段階：オ（イ）㋑）	（知・技）時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 （思・判・表）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 （主学）新聞や情報通信機器等を用いて時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和　7　年度 高等部　2年（Ⅱ課程B類型）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高２年Bグループ　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力)社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。（高１段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さを知ることができる。（中１段階：ア（イ）㋐） (思判表力)社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。 （中１段階：ア（イ）㋑） (学･人) 学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。 （高１段階）	(知・技）あいさつや交通ルール等の大切さを知り、質問に対し答えている。 (思･判･表）家庭や学校でのきまりで学んだことを実際に行っている。 (主学)あいさつやルール、マナー等、守ろうとする姿勢が見られる。	【社会参加ときまり】 ・交通ルール ・あいさつ ・一人でやってみよう	・挨拶、返事、身だしなみ ・ルールやマナー、きまり ・手洗い ・ロッカー整理
	8	（知及技）戦争当時の様子や戦後までの経過を知ることができる。（中２段階：オ（イ）㋐） （思判表力）当時の人々の生活の様子や思いを共感的に捉え、表現することができる。（中２段階：オ（イ）㋑） （学・人）作業において分担された個人の役割を教師と一緒に行うことができる。（小生２段階：カ（ア））	(知・技）戦後の写真や戦争の写真等、視聴覚教材に着目している。 (思･判･表）戦後や戦争の写真を見て、質問に答えたり、反応したりしている。 (主学)友達と一緒に活動し、教師と一緒に簡単な役割を行っている。	【我が国の地理や歴史】 ・平和学習	・復帰記念日の歴史的背景 ・慰霊の日の歴史的背景 ・募金箱づくり ・平和の鳩
	8	（知及技）地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることを知ることができる。（中１段階：ウ（ア）㋐） （思判表力）地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを考え、表現することができる。（中１段階：ウ（ア）㋑） （学・人）地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）視聴覚教材等から、火災に対応している消防署や消防団がいることを理解している。 (思･判･表）学校にある防災器具を見つけることができる。避難場所まで落ち着いて移動している。 (主学)火災が起こらないように、火を扱う際のルールや注意事項を守っている。	【地域の安全】 ・防災学習（火災）	・消防の役割 ・火災避難訓練事前学習
	10	（知及技）身近な公共施設や公共物の役割を知ることができる。（中１段階：イ（ア）㋐） （思判表力）公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。（中１段階：イ（ア）㋑） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）公共施設や公共物に関する写真を見て、正しく答えている。 (思･判･表）身近な公共施設や公共物の利用の仕方を理解している。 (主学)公共施設の正しい利用方法を理解している。	【公共施設の役割と制度】 ・公共施設の役割	・教室や各特別教室の役割と利用 ・公共物の役割と使い方 ・公共施設の役割

2学期	4	（知及技） 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行うことができる。(小生２段階:カ(イ)) （思判表力） 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告することができる。(小生２段階:カ(ア)) （学・人）集団参加の中で簡単な役割を果たそうとすることができる。 (小生３段階:カ(イ))	（知及技） 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行っている。 （思判表力） 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告している。 （学・人）集団参加の中で簡単な役割を果たしている。	【役割】 ・一緒にやってみよう ・自分の役割に取り組もう	・制作 ・簡単なお仕事
	6	(知及技）生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを知ることができる。（中１段階：エ（ア）㋐） (思判表力)仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。（中１段階：エ（ア）㋑） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 (思・判・表)興味のある仕事を選択している。 (主学)仕事に前向きな態度を示している。	【産業と生活】 ・生産の仕事	・生産の仕事 ・仕事の種類や工程
	8	（知及技）文化や風習の特徴や違いを知ることができる。（中1段階：カ（ア）㋐） （思判表力）そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現することができる。（中1段階：カ（ア）㋑） （学・人）国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）文化や風習の特徴や違いを理解している。 (思･判･表）世界の食べ物や生活、人に関する写真に着目し、日本の文化との違いを表現している。 (主学)国内や世界の人々と共に生きることの大切さを理解している。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界	・世界の人々と文化
3学期	8	（知及技）社会に関する基本的な制度について理解することができる。（中２段階：イ（イ）㋐） （思判表力）社会に関する基本的な制度について調べ、それらの意味を考え、表現することができる。（中２段階：イ（イ）㋑） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）選挙の方法を理解している。 (思･判･表）社会に関する基本的な制度について調べている。 (主学)授業で学んだことを生かし、生徒会選挙で投票している。	【公共施設の役割と制度】 ・選挙について（主権者教育）	・模擬投票 ・生徒会役員選挙
	10	（知及技）学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。（中１段階：ア（ア）㋐） （思判表力）集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現することができる。（中１段階：ア（ア）㋑） （主学）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）話をする・聞く等の集団生活の中で必要な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表）集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現している。 (主学)良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごしたりするために、前向きな姿勢になれる。	【社会参加ときまり】 ・次年度に向けて	・学校での過ごし方 ・余暇時間の過ごし方
留意点 引継ぎ等	授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和７年度 高等部　２年（　Ⅱ課程A類型①②グループ）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒について	担当者	教科書／副教材
３単位 １０５	２学年１８名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高２段階） (学･人）数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技）３～４位数の加減法の筆算の仕方を理解し計算することができる。(高１段階Ａエ) （思判表力）数の構成や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考えることができる。（高１段階Ａエ） （学・人）筆算の仕方をまとめた過程を振り返り既習と統合的にとらえようとしたり今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高１段階）	(知・技）３～４位数の加減法の筆算は、２位数などの基本的な加減法の筆算の仕方を基に考えればよいことを理解し、それらの計算をすることができる。 (思･判･表)数の構成に着目し、２～３位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。 (主学)３～４位数の加減法の筆算の仕方を、既習の筆算の仕方や、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の加法と減法	○数と計算 ・足し算と引き算
	9	（知及技）乗法や除法の意味や計算の仕方について理解することができる。(高１段階Ａオカ) （思判表力）乗法や除法計算の仕方を図や式を用いて考える力ことができる。（高１段階Ａオカ） （学・人）乗法や除法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）乗法や除法が用いられる場合や除法と乗法との関係について知り、計算をすることができる。 (思･判･表)数量の関係に着目し、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え、表現している。 (主学)計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の乗法 ・整数の除法	○数と計算 ・簡単に計算できる方法を考えよう ・割り算の計算
	9	（知及技）数量の関係や倍の意味について理解し、比較量や基準量、割合を求めることができる。(高２段階Ａア) （思判表力）数学的表現を適切に活用して倍の意味を図や式を用いて考えることができる。（高２段階Ａア） （学・人）二つの数量の関係を考察した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高２段階）	(知・技）数量の関係や倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や□を使った式などを用いながら、答えを求めることができる。 (思･判･表)問題場面や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。 (主学)問題場面や数量の関係、倍の意味について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の性質及び整数の構成	○数と計算 ・偶数と奇数の性質を考えよう ・約数と倍数の性質を考えよう

	6	（知及技）簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる２つの数量やそれらの関係を表を用いて考えることができる。(高１段階Ｃア) （思判表力）伴って変わる２つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えることができる。（高１段階Ｃア） （学・人）考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知・技）簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見出すことができる。 (思･判･表)伴って変わる２つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係をとらえ、比例の関係を使った問題解決の仕方を考え、説明している。 (主学)簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量	○変化と関係 ・比例をくわしく調べてみよう
２学期	12	（知及技）対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解することができる。(高２段階Ｂア) （思判表力）図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりすることができる。（高２段階Ｂア） （学・人）図形を対称という観点で考察した過程を振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高２段階）	(知・技）線対称，点対称な図形の意味や性質について理解し，線対称，点対称な図形をかくことができる。 (思･判･表)図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し，対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し，図形に対する見方を深めている。 (主学)対称な図形について，数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【B図形】 ・平面図形 ～つり合いのとれた図形～	○図形 ・形の特徴を調べよう ・対称な図形を考えよう
	21	（知及技）円の面積の計算による求め方について理解することができる。(高２段階Ｂウ) （思判表力）図形を構成する要素などに着目し，図形の面積について考えることができる。（高２段階Ｂウ） （学・人）円の面積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高２段階）	(知・技）円の面積について，求め方や計算で求められることを理解し，円の面積を求める公式を用いて円などの面積を求めることができる。 (思･判･表)図形を構成する要素などに着目し，円などの面積の求め方を図や式を用いて考え，説明している。 (主学)円の面積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【B図形】 ・平面図形の面積	○図形 ・円周の長さ ・円の面積
	9	（知及技）2つの数量の割合を表す方法として，比について理解することができる。(高２段階Ｃアイ) （思判表力）数量の関係の比べ方を考えることができる。（高２段階Ｃアイ） （学・人）日常の事象を目的に応じて比でとらえることや数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高２段階）	(知・技）比の意味や表し方，比の相等の意味を理解し，2つの数量の関係を調べて比で表したり，等しい比をつくったりすることができる。 (思･判･表)日常の事象における数量の関係に着目し，比を用いた関係の比べ方を既習の割合と関連づけて統合的にとらえ，割合の適用場面で考え方を工夫している。 (主学)日常の事象を目的に応じて比でとらえたことや数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【C変化と関係】 ・二つの数量の関係	○変化と関係 ・比の性質を用いて問題を解決しよう ・比の意味や表し方

3 学 期	27	（知及技）代表値の意味や求め方，度数分布表や柱状グラフ（ヒストグラム），統計的な問題解決の方法について理解することができる。(高２段階Ｄア） （思判表力）目的に応じてデータを集めて分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，代表値などを用いて問題の結論について判断したり，その妥当性について考察したりすることができる。（高２段階Ｄア） （学・人）統計的な問題解決の過程について，数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に粘り強く考えたり，今後の生活や学習に活用しようとしたりすることができる。（高２段階）	(知・技）代表値の意味や求め方，度数分布表や柱状グラフ（ヒストグラム），目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解している。 (思･判･表)目的に応じてデータを集めて分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに，その妥当性について批判的に考察している。 (主学)統計的な問題解決の過程について，数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【Dデータの活用】 ・データの収集とその分析	○データの活用 ・データやグラフから特徴を読み取ろう ・代表値と度数分布 ・グラフを読み解き、説明しよう
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　２年（　Ⅱ課程A類型　③④⑤グループ　）数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	高等部２年　17名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) ３～４位数の加減法を筆算を用いて計算することができる。(高1段階Aエ) (思判表力)３～４位数の加減法の筆算について、数の構成に着目し、２位数の加減法の筆算から類推することができる。(高1段階Aエ) (学･人)３～４位数の加減法の筆算の仕方や式から、考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用することができる。(高1段階Aエ)	(知･技)４位数の加減法を筆算を用いて計算している。 (思･判･表)２位数の加減法の筆算から計算方法を類推している。 (主学)３～４位数の加減法の筆算の仕方や式から、考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の加法と減法	○数と計算 （整数の加法と減法） ・３位数の加減法の筆算。 ・３位数の加法について、繰り上がりの計算を考える。 ・３位数の減法について、繰り下がりの計算を考える。 ・４位数の加減法について考える。
		(知及技)かけ算九九の計算ができる。九九を用いて、２位数×１位数の計算ができる。 （高1段階Aオ） (思判表力)乗法に関する性質や決まりから、２位数×１位数の計算について考えることができる。 （高1段階Aオ） (学･人)日常の問題解決にむけて乗法の性質やきまりを活用することができる。 （高1段階Aオ）	(知・技)かけ算九九の計算をしようとしている。九九を用いて、２位数×１位数の計算をしている。 (思・判・表)乗法に関する性質や決まりから、２位数×１位数の計算について考えている。 (主学)日常の問題解決にむけて乗法の性質やきまりを活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の乗法 ・整数の性質及び整数の構成	○数と計算 （整数の乗法）（整数の性質及び整数の構成） ・かけ算九九 ・乗法について図を用いて考える。 ・10の段を考える。 ・２位数×１位数の計算を考える。 ・簡単に計算できる方法を考える。 ・倍数の性質について考える。
		(知及技)端数部分の大きさを小数を用いて表すことができる。「小数」、「小数点」、「整数」について理解することができる。 （高1段階Aキ） (思判表力)数直線を用いて、整数の大小関係同様に、小数の大小関係を考え、説明することができる。（高1段階Aキ） (学･人)身近な場面で活用されている「小数」に気付き、学習した内容を生かすことができる。 （高1段階Aキ）	(知・技)端数部分の大きさを小数を用いて表している。「小数」、「小数点」、「整数」について理解している。 (思・判・表)数直線を用いて、整数の大小関係同様に、小数の大小関係を考え、説明している。 (主学)身近な場面で活用されている「小数」に気付き、学習した内容を生かそうとしている。	【A数と計算】 ・小数とその計算	○数と計算 (小数とその計算) ・水を１Lの升で量ったときの。１Lに満たない端のかさの表し方を考える。 ・紙テープの長さを小数で表す。 ・数直線を活用して小数の大小関係について考える。 ・小数第一位どうしの加減法の計算。 ・小数第一位までの加減法の筆算。
		(知及技) 伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて変化の特徴を調べることができる。（高1段階Cア） (思判表力) 伴って変わる二つの数量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考えることができる。（高1段階Cア） (学･人) 二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができる。 （高1段階Cア）	(知･技) 伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて調べることができている。 (思･判･表) 伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考えることができている。 (主学) 二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量	○変化と関係 （伴って変わる二つの数量） ・表を用いて数量の変化について調べる。 ・比例について詳しく調べる。

2学期	42	(知及技)縮図や拡大図について理解することができる。対象な図形について理解することができる。（高2段階Bア） (思判表力)図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えることができる。（高2段階Bア） (学･人)図形の性質を元に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かすことができる。（高2段階Bア）	(知･技)縮図や拡大図について理解している。対象な図形について理解している。 (思･判･表)図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えようとしている。 (主学)図形の性質を元に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かそうとしている。	【B図形】 ・平面図形 ・縮図や拡大図	○図形 （平面図形）（縮図や拡大図） ・同じ形で大きさが違う図形について、対応する辺の長さの比や書くの大きさを調べる。 ・縮図や拡大図の性質を調べる。 ・縮図や拡大図の書き方を考える。 ・直接計れないものを縮図をかいて求める。
		(知及技)身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。（高2段階Bイ） (思判表力)図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考えることができる。（高2段階Bイ） (学･人)概形の捉え方や面積などの求め方を学び、日常生活に生かすことができる。（高2段階Bイ）	(知・技)身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めている。 (思・判・表)図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考えている。 (主学)概形の捉え方や面積などの求め方を学び、日常生活に生かそうとしている。	【B図形】 ・身の回りにある形の概形やおよその面積など	○図形 （身の回りにある形の概形やおよその面積など） ・身の回りの形について、概形を取らえる。 ・身の回りにある色々なもののおよその面積を求める。 ・地図を使って、都道府県や市町村のおよその面積を求める。
		(知及技)比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。（高2段階Cイ） (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。（高2段階Cイ） (学･人)数量の関係の比べ方を学び、日常生活に生かすことができる。（高2段階Cイ）	(知･技)比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。 (思･判･表)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。 (主学)数量の関係の比べ方を学び、日常生活に生かすことができる。	【C変化と関係】 ・二つの数量の関係	○変化と関係 （二つの数量の関係） ・比の意味と表し方。 ・線分図で比を表す。 ・同じ味のソースを作るために必要なことを考える。 ・比の値と等しい比の意味を考える。 ・簡単な比で表す。 ・小数や分数で表された比を簡単な比で表す。
3学期	27	(知及技)代表値の意味や求め方を理解することができる。度数分布表や柱状グラフの特徴及び、それらを用い方を理解することができる。（高2段階Dア） (思判表力)目的に応じてデータを集め、分類整理し、データの特徴や傾向に着目することができる。代表値を求めて問題の結論について判断することができる。（高2段階Dア） (学･人)代表値や表やグラフを学び、日常生活の問題解決に生かすことができる。（高2段階Dア）	(知･技)代表値の意味や求め方を理解している。度数分布表や柱状グラフの特徴及び、それらを用い方を理解している。 (思･判･表)目的に応じてデータを集め、分類整理し、データの特徴や傾向に着目して考えている。代表値を求めて問題の結論についてまとめている。 (主学)代表値や表やグラフを学び、日常生活の問題解決に生かそうとしている。	【Dデータの活用】 ・データの収集とその分析	○データの活用 （データの収集とその分析） ・代表値（平均値、最頻値、中央値）の意味をしり、求める。 ・度数分布表、柱状グラフの読み方、書き方について学ぶ。 ・資料を度数分布表に整理する。 ・度数分布表から柱状グラフを作成する。 ・いろいろなグラフの特徴や読み方について考える。 ・一部の資料から全体の傾向を調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　２年（Ⅱ課程B類型グループ）　数学科年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3単位 105時間	２学年　　９人		

目標：（知及技）知識及び技能　　（思判表力）思考力、判断力、表現力等　　（学･人）学びに向かう力･人間性等
評価：（知・技）知識・技能　　（思･判･表）思考･判断・表現　　（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	（知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高１段階） （思判表力）日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表す力を身に付けるようにする。（高１段階） （学･人）数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	（知及技）数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりする。（小３段階Ａ数と計算） （思判表力）数の大きさの比べ方、表し方を考える。（小３段階Ａ数と計算） （学･人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）	（知・技）２０までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べたりしている。 （思･判･表）相手が出したカードと比べてどちらが大きいのか判断している。また、どちらの商品が安いか判断している。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ａ数と計算ア】 １００までの数の表し方	○「２０までの数を比べてみよう。」 ２０までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の大小を比べる。 ○「どちらの商品が安い？」 ２０円までの数が書かれたカードを使って、どちらが安いか判断する。
	18	（知及技）加法と減法の意味について理解し、簡単な計算ができる。（小３段階Ａ数と計算） （思判表力）日常生活の中で加法と減法が必要な場面を見つけ出し、その内容を言葉や具体物で表現できる。（小３段階Ａ数と計算） （学･人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）	（知・技）加法が用いられる合併や増加等の場合について理解し、１位数同士の加法の計算をしている。減法の意味（求残・求差）を理解し、1位数同士の減法の計算をしている。 （思･判･表）日常生活の中から加法と減法の必要な場面をみつけ、言葉や磁石、絵カード等を使って式に表している。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ａ数と計算イ】 整数の加法及び減法	○足し算（１位数同士）「あわせていくつ」「ふえるといくつ」「ぜんぶでいくつ」 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解し、１位数同士の加法の計算をする。 ○引き算（１位数同士）「残りはいくつ？（求残）」「違いはいくつ？（求差）」 減法の意味（求残・求差）を理解し、1位数同士の減法の計算をする。
2学期	18	（知及技）傾斜を作ると角ができることを理解する。（小３段階Ｂ図形） （思判表力）傾斜が変化したときの傾斜と側面の作り出す開き具合について、大きい小さいを表現する。（小３段階Ｂ図形） （学･人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）	（知・技）傾斜ができると、具体物がそれに沿って動くことに着目している。 （思･判･表）底面と斜面によってできた角について、大きい、小さいと表現している。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ｂ図形イ】 角の大きさ	○「ボールを転がしてみよう」 傾斜ができると具体物が動くことを知り、傾斜をつくると角ができることを理解する。傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現する。
	12	（知及技）前後・左右・上下等方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表す。（小３段階Ｂ図形） （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見つけたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする。（小３段階Ｂ図形） （学･人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）	（知・技）方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて、体を動かしたり具体物を操作したりしている。 （思･判･表）色板・棒・積み木を組み合わせ、三角形・四角形、家やロケット等を作っている。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ｂ図形ア】 身の回りにあるものの形	○「形をつくろう（見本構成）」 丸、三角、四角の形を組み合わせて、具体物をくつる。 ○位置を表す言葉「前後、左右、上下」 方向・位置に関する言葉「前後・左右・上下」を聞いて、体を動かしたり具体物を操作する。 （小３段階Ｂ図形ア）

	12	（知及技）長針と短針が示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることができる。（小３段階Ｃ測定） （思判表力）一日の流れを時刻をもとに順に並べ、時計が示す時刻と生活の流れを結び付けることができる。（小３段階Ｃ測定） （学･人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）	（知・技）長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることができている。また、時と分の関係（もうちょっとで／もう〇時）を理解している。 （思･判･表）１日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付けている。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ｃ測定イ】 時刻や時間	〇「時計を読もう」 時間の単位（時、分）について知る。長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることる。１日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付ける。
３学期	15	（知及技）ものとものとの対応や物の個数について、簡単な絵や図に表して整理することができる。（小３段階Ｄデータの活用） （思判表力）一覧表をみて多少を比べながら、順位を考えたり並び替えたりすることができる。（小３段階Ｄデータの活用） （学･人）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組むことができる。（高１段階）	（知・技）「Ａ数と計算」に関連させ、得点を数え、得点のシールや磁石を使って一覧表で表している。 （思･判･表）一覧表をみて、友達の作成した表と比べ、「同じ」や「違い」「多い」「少ない」に気付き、順位をつけたり提示された順番に並び替えたりしている。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ｄデータの活用ア】 身の回りにある事象を簡単な絵や図、記号に置き換えること	〇「ゲームをしよう～得点を数えよう～」 「Ａ数と計算」に関連させ、得点を数え、得点のシールや磁石を使って一覧表で表す。一覧表をみて、友達の作成した表と比べ、「同じ」や「違い」「多い」「少ない」に気付き、順位をつけたり提示された順番に並び替える。
	12	（知及技）長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較する。（小３段階Ｃ測定） （思判表力）身の回りのもの長さ・広さ及びかさについて、その単位に着目し大小を比較したり、表現したりする。（小３段階Ｃ測定） （学･人）数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高１段階）	（知・技）長さについて、比較物と端を揃えてまっすぐに並べている。広さについて、比較物と２辺を揃えて並べている。かさについて、同じ大きさの空のカップを使ってくらべている。 （思･判･表）長さ・広さについて、色板等を使い２つの比較物の「〇個分」から、長い方（短い方）・広い方（狭い方）を選択している。かさについて、カップ「〇個分」と表現している。 （主学）数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。	【小３段階Ｃ測定ア】 身の回りのものの量の単位と測定	〇「〇個分で長さ・広さ・かさを比べよう」 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで長さ・広さ・かさの大きさを比較する。 （小３段階Ｃ測定ア）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　２年（　Ⅱ課程　A類型①②　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	18名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階、高２段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階、高２段階】 (学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階、高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	6	(知及技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中２段階】 (思判表力)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学・人)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で，見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思・判・表)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で，見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と星	○月や星についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高２段階】 (思判表力)月の形の見え方について調べる中で，月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学・人)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 (思・判・表)月の形の見え方について調べる中で，月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と太陽	○月と太陽についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
２学期	7	(知及技）流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることがわかる。【高１段階】 (思判表力)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学・人)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思・判・表)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	7	(知及技）土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することがわかる。【高２段階】 (思判表力)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学・人)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）土地は礫・砂・泥・火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思・判・表)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
３学期	4	(知及技）天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中２段階】 (思判表力)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学・人)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思・判・表)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技）天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高１段階】 (思判表力)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学・人)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思・判・表)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

通年を通して指導	単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察

令和７年度 高等部　２年（　Ⅱ課程　A類型③④⑤　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	17名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階、高２段階】 （思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階、高２段階】 （学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階、高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中２段階】 (思判表力)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思･判･表)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と星	○月や星についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高２段階】 (思判表力)月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 (思･判･表)月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と太陽	○月と太陽についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	7	(知及技）流れる水には土地を侵食したりれき や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることがわかる。【高１段階】 (思判表力)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）流れる水には土地を侵食したりれき や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思･判･表)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	7	(知及技）土地は礫･砂･泥･火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することがわかる。【高２段階】 (思判表力)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）土地は礫･砂･泥･火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
3学期	4	(知及技）天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中２段階】 (思判表力)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思･判･表)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技）天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高１段階】 (思判表力)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思･判･表)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

通年を通して指導	単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察

令和７年度 高等部　２年（　Ⅱ課程　B類型　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	９名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階、高２段階】 （思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階、高２段階】 （学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階、高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	6	(知及技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中２段階】 (思判表力)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で，見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思･判･表)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と星	○月や星についての動画を視聴する。 ○ｉPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高２段階】 (思判表力)月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 (思･判･表)月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と太陽	○月と太陽についての動画を視聴する。 ○ｉPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
２学期	7	(知及技）流れる水には土地を侵食したりれき や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることがわかる。【高１段階】 (思判表力)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）流れる水には土地を侵食したりれき や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思･判･表)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○ｉPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	7	(知及技）土地は礫･砂･泥･火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することがわかる。【高２段階】 (思判表力)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）土地は礫･砂･泥･火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○ｉPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
３学期	4	(知及技）天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中２段階】 (思判表力)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思･判･表)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○ｉPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技）天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高１段階】 (思判表力)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思･判･表)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○ｉPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

通年を通して指導	単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察

令和7年度 高学部　2年（Ⅱ課程A類型　グループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年①②グループ		MOUSA 1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「発音を意識しながら発声しよう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴から情景を想像しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ㋒互いの歌声や副次的な旋律，伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㋑多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 ㋒各声部の楽器の音や伴奏を聴いて，音を合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） **B鑑賞**	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） **B鑑賞**	〔歌唱〕 「曲の構成や歌詞の意味を理解して歌おう」 〔器楽〕 「音色や響きを感じて合奏しよう」 〔創作〕 「フレーズや和音を意識して楽曲を作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 ㋑音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㋒友達と動きを組み合わせて表現をする技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫す

3 学 期	18	(知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）	(知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「互いの声を響かせて合唱しよう」 〔器楽〕 「互いの音を聴き合いながら合奏しよう」 〔身体表現〕 「互いの動きを感じながら体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽を形作っている要素を理解して聴こう」	る B鑑賞 (知識) (イ）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する			

令和7年度 高学部　2年（Ⅱ課程A類型③④⑤グループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	２学年　A③④⑤グループ		MOUSA 1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「呼吸や発音を意識して歌おう」 〔器楽〕 「強弱や音色の違いを感じて演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて動きを真似してみよう」 〔鑑賞〕 「メロディーや音色などから、曲の雰囲気を感じ取ろう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ))㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㋑多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「音の強弱、リズムに気をつけて歌おう」 〔器楽〕 「簡単なリズム譜や楽譜を見て演奏しよう」 〔創作〕 「リズムをつなげてみよう」 〔鑑賞〕 「音やリズムなど自分の好きなところを見つけよう」	〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。
3学期	18	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「曲名と曲のイメージを考えながら歌おう」 〔身体表現〕 「歌詞や曲名のイメージを体で表現しよう」 〔鑑賞〕 「リズムの変化や音の移り変わりを感じよう」	B鑑賞 (知識) (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する

令和7年度 高学部２年（Ⅱ課程A類型Bグループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	２学年　Bグループ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、 身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （高等部１段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして 生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。 （高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。 （高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「正しい声の出し方を意識して歌おう」 〔器楽〕 「拍に合わせて演奏しよう」 〔身体表現〕 「リズムを感じて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「平和に関する曲の歴史を知ろう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 ㋑声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ㋒互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける ㋒各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する ㋑音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㋒友達と動きを組み合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。 （高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「みんなと一緒に歌おう」 〔器楽〕 「三線に挑戦しよう」 「曲に合わせて演奏しよう」 〔創作〕 「音を選んだりつなげてみよう」 〔鑑賞〕 「楽器や音色の特徴に気づいて鑑賞しよう」 〔歌唱〕 「曲想を感じ、思いを込めて歌おう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 「手話表現を体験しよう」 〔鑑賞〕 「世界各国の音楽を聴いてみよう」	
3学期	18	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。後半カット（高等部１段階） (思判表力) 前半カット　音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 （高等部１段階）	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部１段階）		

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、表現や鑑賞への取り組み、自己の振り返り等で評価する

令和　7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程A類型　①②グループ　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70／2	2学年　18名		高校生の美術1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)風景の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)風景画を表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫している。 (思･判･表)風景の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (主学)自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○風景を描く	身近な風景や写真、空想などを基に、構図などの効果を考え、構想を練ったりするとともに、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び、効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩の工夫	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現の工夫	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す（技法の工夫）	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。

学期	12	(知及技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学･人)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表している。 (思･判･表)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりしている。 (主学)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○映像メディア表現(写真・アニメーション)	iPadのアプリを使って写真やコマ撮りアニメなどの作品を制作する。映像メディア機器の機能や効果を生かした作品作り
3学期	8	(知及技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。(高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学･人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：A表現ア(ア))	(知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。 (思・判・表)メディアの機能を使って画像表現効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫してする学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、美術文化の継承と想像について考える。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学･人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉ている。 (思･判･表)作品のよさや美しさ、表現の特質、さまざまな美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞 (世界の美術)	美術作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程A類型　③④⑤グループ　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70／2	2学年10名		高校生の美術１（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)描きたいものの印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)好きなものを描き表現する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫している。 (思･判･表)描きたいものの印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。 (主学)自己や他者の内面や好きなものを画に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○自分の描きたいものを描く	身近な風景や写真、空想などを基に、構図などの効果を考え、構想を練ったりするとともに、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び、効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩の工夫	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現の工夫	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す（技法の工夫）	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、iPadのカメラ機能の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図や陰影や色彩編集などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、iPadのカメラ機能の特性を生かして表している。 (思･判･表)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図や陰影や色彩編集などのなどの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりしている。 (主学)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○映像メディア表現（写真・アニメーション）	iPadのカメラ機能やアプリを使って写真やコマ撮りアニメなどの作品を制作する。映像メディア機器の機能や効果を生かした作品作り
3学期	8	(知及技）共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)）	(知・技）思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。 (思・判・表)メディアの機能を使って画像表現効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現を創意工夫してする学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、美術文化の継承と想像について考える。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉えている。 (思･判･表)作品のよさや美しさ、表現の特質、さまざまな美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞 (世界の美術)	美術作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程　B類型　）美術科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	２－６　５名 ２－７　４名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫することができる。(高１段階) (思判表力)　造形的なよさや美しさ、表現の意図や工夫などについて考え、美術に対する見方や感じ方を広げる。(高１段階) (学･人)　楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を楽しむ態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 材料や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使い、形や色の特徴を知る。(中１段階：表現（イ）共通（ア）) (思判表力) 経験したことや思ったこと材料をもとに、描きたいものを考え、色や形のイメージを持つ。(中１段階：表現（ア）共通（イ）) (学・人) 好きなものをのびのびと表現する。	(知・技) 材料や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、形や色の特徴を知ろうとする。(中１段階：表現（イ）共通（ア）) (思･判･表) 経験したことや思ったこと材料をもとに、描きたいものを考え、色や形のイメージを持つ。(中１段階：表現（ア）共通（イ）) (主学) 好きなものをのびのびと表現しようとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○好きなものを描こう ～描いたり張ったりしてみる～	・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。(知及技に関する活動) ・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。(思判表力に関する活動) ・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。(主学)
	8	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材用や用具を選んで使い、色や材料の特徴を知る。(中１段階：表現（イ）) (思判表力)造形的な特徴などからイメージをもつ。(中１段階：共通（イ）) (学･人)楽しく表現活動に取り組むことができる。	(知・技) 素材や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材用や用具を選んで使い、色や材料の特徴を知ろうとする。(中１段階：表現（イ）) (思･判･表)造形的な特徴などからイメージをもとうとする。(中１段階：共通（イ）) (主学)楽しく表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう ～のり絵の具を使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、赤青黄色の絵の具が混ざると色が変わることを知る。(知・技に関する活動) ・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。(主学)
	8	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使う。(中１段階：表現（イ）) (思判表力) 経験したことや思ったことをもとに、表したいことや表し方を考えて発想や構想をする。(中１段階：表現（ア）) (学・人) 心に残ったことや頑張ったことを思い出して描く。	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使おうとする。(中１段階：表現（イ）) (思･判･表) 経験したことや思ったことをもとに、表したいことや表し方を考えて発想や構想をする。(中１段階：表現（ア）) (主学) 心に残ったことや頑張ったことを表現しようとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○現場実習で経験したことを思い出して描こう	・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。(知・技に関する活動) ・写真や動画を見て経験したことを思い出し、写真を貼ったり描いたりして表す。(思・判・表に関する活動) ・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。(主学)
2学	10	(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。(中１段階：表現（イ）) (思判表力) 材料などをもとに表したいことや表し方を考えて発想する。(中Ｉ段階：表現（ア）) (学・人) いろいろな表現方法を楽しむ。	(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。(中１段階：表現（イ）) (思･判･表) 材料などをもとに表したいことや表し方を考えて発想しようとする。(中Ｉ段階：表現（ア）) (主学) いろいろな表現方法を楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○紙版画でおもしろい模様を表現しよう	・いろいろな形の紙を切り貼りしたりシールやテープを貼って原画を作り、刷りまでの工程を理解する。インクをつけて刷ると作品の雰囲気が変化する様子を見る。(知・技に関する活動) ・線や形を組み合わせたり好きなものを並べたりして、おもしろい模様になるように考える。(思･判･表に関する活動) ・版画のおもしろさを味わう。(主学)

学期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。（中Ⅰ段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）経験したことや思ったこと、材料をもとに表し方を考え発想して造形的な特徴からイメージをもつ。（中Ⅰ段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。（中Ⅰ段階：表現（イ）共通（ア）） （思･判･表）経験したことや思ったこと、材料をもとに表し方を考え発想して造形的な特徴からイメージをもとうとする。（中Ⅰ段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○身近な材料で修学旅行の乗り物を作ろう	・身近にある空き箱や段ボールを組み合わせて、飛行機やバスの形を捉えて作り、テープを正しく使って接着する。（知・技に関する活動） ・修学旅行のことを想像しながら、色や形を自由に表現する。（思･判･表に関する活動） ・おもしろい飾りを付けたり、友達の作品と見比べたりしながら創作活動を楽しむ。（主学）
３学期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知る。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）思ったことや材料などをもとに表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージをもつ。（中１段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知ろうとする。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思･判･表）思ったことや材料などをもとに表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージをもとうとする。（中１段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう	・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせて、テーマに合った形を表現する。（知・技に関する活動） ・卒業式の意味やテーマについて理解し、３年生をお祝いしたり応援する気持ちを表す。（思･判･表に関する活動） ・（主学）一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。
	10	（知及技）形や色、材料の特徴について知る。（中１段階：共通（ア）） （思判表力）自分たちの作品や身近にあるもののよさや面白さに気づき、造形的な特徴からイメージをもつ。（中１段階：鑑賞（ア）共通（イ）） （学・人）自分たちの作品や身の回りのもののよさや面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。	（知・技）形や色、材料と特徴について知ろうとする。（中１段階：共通（ア）） （思･判･表）自分たちの作品や生活の中にあるもののよさや面白さに気づき、造形的な特徴からイメージをもとうとする。（中１段階：鑑賞（ア）共通（イ）） （主学）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持とうとする。 【評価資料】活動の様子、提出作品で評価する。	○自分たちの作品を見てみよう ○日本の美術作品を見てみよう ～美術作品に色を塗ったら～	・これまでの自分たちの作品を振り返り、色や形、表現の違いをよく見る。日本の美術作品を写真で鑑賞し、描かれているものや色や形をよく見る。（知・技に関する活動） ・自分たちの作品や日本の美術作品を鑑賞し、良さや面白さに気づく。（思･判･表に関する活動） ・印刷した美術作品に自分のイメージで色を塗って楽しみ、本物の写真や友達と見比べてみる。（主学）
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程・A類型　①②グループ　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年　18名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高２段階） (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向け－右（左）」、「回れ－右」 ①集合、整頓「前へ－ならえ」、「〇〇基準－両手間隔に－開け」、「〇〇基準－もとの位置に－集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ ⑤水慣れ	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ⑤顔付け、潜り、水中ジャンプ、壁キック、けのび
2学期	9	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（オーバーハンドパス） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③自己に適したペースで走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び）
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高２段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）

		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高２段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き
	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール･ティーボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①仲間との連携プレイ（ゴール前への進入などから攻防） ①ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空いている場所を狙う（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、周囲の人々に与える影響、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、性的成熟、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、ＡＥＤの使い方
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程・A類型　③④⑤グループ　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年　18名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高２段階） (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向け－右（左）」、「回れ－右」 ①集合、整頓「前へ－ならえ」、「○○基準－両手間隔に－開け」、「○○基準－もとの位置に－集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ ⑤水慣れ	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ⑤顔付け、潜り、水中ジャンプ、壁キック、けのび
2学期	9	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（オーバーハンドパス） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③自己に適したペースで走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び）
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高２段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）

		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高２段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き
	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール･ティーボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①仲間との連携プレイ（ゴール前への進入などから攻防） ①ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空いている場所を狙う（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、周囲の人々に与える影響、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、性的成熟、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、ＡＥＤの使い方
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和７年度 高等部　2年（　Ⅱ課程・Ｂ類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年 9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階） (学･人)　各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技)　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。（高１段階） (思判表力）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。（高１段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えてい、。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①集合、整頓「前へーならえ」、「〇〇基準ー両手間隔にー開け」、「〇〇基準ーもとの位置にー集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えるている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「水泳」 ①歩く、走る ②潜る ③けのび、バタ足 ④クロール	①手と足（バタ足）の動き ①呼吸法 ②手（両手で水を掻く）と足（カエル足）の動き ②呼吸法 ③手（後ろに回転）と足の動き ③呼吸法 ④手（両手を同時に肩から前に回す）と足（ドルフィンキック）の動き ④呼吸法
2学期	18	(知及技)　陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①腕のスイング動作 ②足のキック動作 ②バトンパス ③自己に適したペースで走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走・踏み切り動作 ④ルールの確認 ⑤助走・（はさみ跳び、ベリーロール） ⑤ルールの確認
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。（高１段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①型の模倣
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすることができる。（高１段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに，技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①音楽に合わせて身体を動かす ①個の動き

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。（高１段階） (思判表力）球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践 ②フォアハンドの基本操作 ②サービスやラリー ②簡易ゲーム実践 ③ボールを投げる、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践
	9	(知及技） 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階）	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、ＡＥＤの使い方
留意点 引継ぎ等	・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。				

令和７年度　高等部　１～３年（　Ⅱ課程　A類型　）職業(窯業班)　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	１年生９名 ２年生５名 ３年生４名		ひとりだちするための進路学習 ―あしたへのステップ―

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 陶土や釉薬の扱い方および陶器づくりに関する知識について理解を深めることができる。(高１段階) 作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。(高１段階) (思判表力) 作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫して取り組むことができる。(高１段階) 将来の職業生活を見据え、自らの成長や課題について評価･改善する意識を養うことができる。(高１段階) 自ら体調を管理することができる。(高１段階) (学･人) 他者と協働して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。(高１段階) 自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技)(思判表力) 粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。(高１段階) 皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(高１段階) 使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(高１段階) (思判表力)(学･人) 年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(高１段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高１段階) (思判表力)(学･人) 働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(高１段階) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)(高１段階)	(知・技) 土砕きを適正に行えている。 泥水を適正に作れている。 篩作業が適正に行えている。 脱水作業が適正に行えている。 土練りが適正に行えている。 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 機械を安全に扱えている。 (思･判･表) 次に行うことが何なのか理解できている。 わからないことをわからないままにせず尋ねている、尋ねようとしている。 物怖じせずに発表できている、しようとしている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。	粘土作り 陶器作り(皿、小鉢、箸置きなど) 機械の安全な取り扱いについて 授業開き 職業について 勤労と協働 １年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 １学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業 (すいひ作業・土練り・成型・焼成) タタラ機や土錬機、機械ろくろなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。 １年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 身なりを整えることや時間を守ることの大切さなど、７つある職業の目標を知り理解する。 仕事の意義を理解し、作業を通じて協働作業の大切さを学ぶ。 １学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
2学期	112	(知及技)(思判表力) さまざまな陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行うことができる。(高１段階) 釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(高１段階) (思判表力)(知及技) 受注した商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品をつくることができる。(高１段階) (思判表力) 客が購入したいと思う商品を考えることができる。(高１段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高１段階) (学･人)(知及技) 日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(高１段階)	(知・技) 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 丁寧に作業できている。 完成度を上げている、上げようとしている。 (思・判・表) 納期の把握ができている。 マーケティング活動が適正に行えている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	粘土作り 陶器作り(皿、シーサー、マグカップなど) 陶器作り(注文商品、コラボ商品) 行事に向けた陶器作り 用具の手入れ ２学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業 (すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成) 商品づくり(各種コラボ商品、注文商品) 陶製品づくり(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り) 日頃使用している道具の手入れなどを行う。 ２学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
		(知及技)(思判表力) 接客の仕方が理解でき、実践できる。(高１段階) お金の計算ができる。(高１段階) 行事の意義を理解し、習得した知識や技能を活用して、相手が喜ぶ陶製品をつくることができる。(高１段階)	(知・技)(思・判・表) 接客ができる。やろうとしている。 お金の計算ができる。やろうとしている。 陶製品づくりに真摯に取り組める。取り組もうとしている。 学年を振り返り、発表することができる。やろうとしている。	接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習 陶製品作り 用具の手入れ	接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ 習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。 日頃使用している用具の手入れ。 作業場の整理整頓。 清掃活動。

3 学 期	72	学年を振り返り自己の反省点を発表することができる。（高１段階） （学･人）（知及技） 日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。（人間性）（高１段階）	(主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	３学期のまとめ １年間のまとめ	３学期を振り返り自己の反省点を発表する。 １年間の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１～３年（職業　トータルサービス班　）普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	１学年　名　：**２学年　１１名**　：３学年　名		実生活に役立つ特別支援教育 「ひとりだちするための進路学習」 ～あしたへのステップ～

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学･人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知・技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定に向けて（校内） ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） iPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
2学期	112	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 （知及技） ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【高1Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】	（知・技） ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 （知・技） ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 （知・技） ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 （知・技） ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる。 （知・技） ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・２学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの基本的な動作を確認する。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・２学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。

3 学 期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋓】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (知及技) ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐）】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる (知・技) ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 ・１年を振り返り、成長と課題点を確認する。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・３学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・３学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１・３年（　Ⅱ課程　A類型　）職業（家庭班）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
８／280	１学年　９人 ３学年　７人		「ひとりだちするための進路学習」 「くらしに役立つソーシャルスキル」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業生活に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい将来の生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高1段階：職業生活ア（ア）） (思判表力）職業生活に必要な健康管理について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋑） (学･人)作業や実習などに達成感を得ることができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）先輩や周りの大人が社会の中ではたらく様子を知ることができる。 (思･判･表)職業生活に必要な健康管理について考え発表することができる。 (主学)振り返りのなかで、目標の達成度を教師と一緒に確認することができる。	はたらくとは	・はたらく意義や将来の目標を考える。（思考力・判断力・表現力等に関する内容） ・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。（知識・技能に関する内容）
	68	(知及技）実習で使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく使うことができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋑） (思判表力)作業における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋐） (学･人)活動に見通しを持ち、自ら準備や片付けに取り組む意欲を持つ。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）道具の名称や使用方法を守って使用することができる。 (思･判･表)作業を振り返り、自分の成長や課題について考えて発表することができる。 (主学)活動に見通しを持ち、自分から準備や片付けに取り組もうとする。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り。（知識・技能に関する内容） ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。（知識・技能に関する内容） ・学習の振り返り（自己の反省点や改善点から次の目標を確認する）（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
	4	(知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知る（高1段階：情報機器の活用ア） (思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルについて考えることができる（高1段階：情報機器の活用イ） (学･人)情報セキュリティや情報モラルを守れるよう生活を工夫することができる。	(知・技）パソコンや携帯利用時の情報セキュリティやモラルについて理解している。 (思･判･表)情報セキュリティ及び情報モラルについて考えたことを発表することができる。 (主学)情報セキュリティや情報モラルを守れるよう生活を工夫しようとする。	情報機器の活用	・コンピュータや携帯の便利さや危うさを実例で学ぶ。（知識・技能に関する内容） ・対策方法を考え発表する。（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
	80	(知及技）作業の持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋑） (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋒） (学･人)作業の目標を達成することで達成感をえることができる。 目標達成に向けて自ら活動に取り組むことができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）集中して作業したり、丁寧に作品を仕上げることができる。 (思･判･表)危険な場所や状況に注意を払いながら作業を行う事ができる。機械の故障や不衛生な状況に気付いたら知らせたり、適切な行動を取ったりすることができる。 (主学)目標達成に向けて活動に自ら取り組もうとする。 目標を達成することで達成感を味わい次の作業に意欲を持つことができる。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り（知識・技能に関する内容） ・オーブンを用いた焼き菓子作り（知識・技能に関する内容） ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。（知識・技能に関する内容） ・学習の振り返り（自己の反省点や改善点から次の目標を確認する）（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）

2学期	28	（知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解する。（高1段階：産業現場等における実習ア） (思判表力）実習での成果と課題や解決策を考えて発表することができる。（高1段階：産業現場等における実習イ） (思判表力）職業生活に必要な余暇の過ごし方について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋓） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現に向けて生活を工夫しようとする。	(知・技）職業現場で必要となることについて理解することができる。 (思･判･表)実習の振り返りを行い、成果や次の実習での目標を立て発表することができる。 (主学)卒業後の余暇の過ごし方に関心を持つ事ができる。	はたらくとは	・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・就労の場で必要な決まりの遵守、責任、協力、健康管理、安全、衛生について。 ・実習の振り返りと発表 ・卒業後の余暇の過ごし方
	4	(知及技）表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱う事ができる。（高1段階：情報機器の活用ア） (思判表力）コンピュータ等の情報機器を使い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。（高1段階：情報機器の活用イ） (学･人)必要なことが相手に伝わるように工夫することができる。	(知・技）パソコンで文字や写真を使って作品の紹介ポスターを作ることができる。 (思･判･表)作成したポスターを用いて作品を紹介をすることができる。 (主学)作品の良さが相手に伝わるように文字や写真を工夫しようとする。	販売会に向けた取り組み 販売会のポスターやメニュー表を作ってみよう	・パソコンを用いてポスターやメニュー表を作成（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
3学期	72	(知及技）職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋐） (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現することができる。（高1段階：勤労の） (学･人)販売会準備に主体的に取り組み、工夫しようとする。	(知・技）接客で必要な言葉使いを知り、練習することができる。 (思･判･表)販売の時の役割を知り、自分と他者との役割について考え、協力できることを発表することができる。 (主学)販売会の準備に主体的に取り組み、自分なりに工夫しようとしている。	販売会に向けた取り組み	・接客練習（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・ラッピング（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・買い物学習（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・一年のまとめ（思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性に関する内容）
留意点 引継ぎ等		評価資料：学習の様子、自己評価シート、作品			

令和7年度 高等部　1～3年（　Ⅱ課程　B類型 ）　職業（チャレンジ班）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	高等部１～3年（ ２４名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を体験し、身に付けることができる(高1段階) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階) (学･人)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考えることができる。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や情報収集を行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、ビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付け等を行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
2学期	84	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、アイロンビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・学習発表会に向けた製品作り

3 学 期	54	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙や布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・販売会に向けた製品作り
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　1～3年（Ⅱ課程A類型）職業（　農業班　）普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年9名　2学年9名　3学年4名		「私たちの進路」 「ソーシャルスキル」

年間目標	(知及技)　（高1段階） ・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深めることができる。 ・作業の持続性、巧緻性を高めることができる。 (思判表力)　（高1段階） ・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。 (学･人)　（高1段階） 作業上の安全や作業の効率について考え、社会や他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(高１段階ア) (思判表力) ・職業の心得を理解する(高１段階イ) （学・人） ・勤労と協働【職業生活高１段階（ア）】	（知・技） ・職業の目的を理解し、服装を整えてミーティングに参加することができる。 (思・判・表) ・職業の目標を大きな声で読み合わせできる。 （主学） ・終わりのミーティングでは、本日の頑張りを自分の言葉で表現できる。	・授業開き ・職業について ・勤労と協働	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 ・身なりや時間を守ることの大切さ等７つある作業学習の目標について理解する。 ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
		(知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(高１段階) (思判表力) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ(高１段階) （主・力） ・情報機器の操作をすることができる。（高１段階ＢＡ） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（思考・表現）（高１段階）	（知・技） ・収穫や調整、販売学習などの実体験を通して野菜や草花を教材として学ぶことができる。 (思・判・表) ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について調べることができる。 ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・1学期のまとめ	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 ・情報機器の基本的な操作を興味を持って学ぶことができる。 ・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
2学期	112	（知及技） ・季節の野菜や草花を知り栽培を行う（高１段階） （思判表力） ・野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる（高１段階） （主・力） ・各行事の意義を理解し学びを取り入れた栽培を行う（高１段階）	（知・技） ・２学期に栽培する野菜や草花について教材として触れることができる。 (思・判・表) ・重さや個数など定められた分量を理解し、授業内容に沿った行動をとることができる。 （主学） ・行事の目的を理解し、目的達成に向けて準備を進めることができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 ・みさき市、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。
		（知及技） ・情報機器の操作を応用することができる。（高１段階ＢＡ） （主・力） ・日頃使用している農機具を丁寧に洗い手入れを行うことができる。（（高１段階） （思判表力） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高１段階）	（知・技） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の仲間や栽培方法について調べることができる。 （主学） ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 (思・判・表) ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・情報機器の活用 ・農機具の手入れ ・２学期のまとめ	・栽培する作物について、タブレット端末を用いて調べることができる。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・２学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。

3 学 期	72	（知及技） ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ（高１段階） （思判表力） ・次年度栽培する作物の播種・畑の整備を通して職業として準備することの重要性に気付く。（人間性）（高１段階） （主・力） ・情報機器の操作を応用することができる。（高１段階Ｂア） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高１段階）	（知・技） ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉使いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えることができる。 (思・判・表) ・１年間関わった農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動することができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について協力して調べ、伝え合うことができる。 ・自身の感想と卒業や進級など今後の見通しを自分の言葉で表現することができる。	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・情報機器の活用 ・１年間のまとめ	・接客用語など言葉使いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 ・野菜や草花の播種や鉢上げ、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 ・タブレット端末を用いて調べたことを相手に伝えることができる。 ・１年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１～３年（Ⅱ課程・A類型）　職業（木工）科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年 8名　2学年 10名　3学年 6名		私たちの進路／Ipad（アプリ等）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階)
	(思判表力）将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。（高１段階）
	(学･人)将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技)勤労の意義を理解することができる。（高１段階職業生活ア(ア)） (思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、他者や役割について考えることができる。（高１段階職業生活ア(イ)） （学・人）作業や実習に達成感を得て、主体的に取り組むことができる。（高１段階）	（知・技）生活等から働く意味や意義を理解することができる。 （思・判・表）社会の仕組みや他者との関わりを考えることができる。 （主学）成功体験から、自分ですすんで行動ができる。	・仕事とは（生活や社会について） ・社会の成り立ちやつながり	・教科書や動画教材等やワークシートを活用して職業生活に必要な力について学習する ・職業の心得の理解 ・清掃活動 ・人との距離感 ・余暇活動 ・面接や履歴書について
	72	(知及技)木工具の名称や使用方法を理解することができる。（高１段階職業生活イ(ｱ)㋐） (思判表力)工具を正しく使用し安全に作業に取り組むことができる。（高１段階職業生活イ(ｲ)㋑） (学・人)工具類の使用について技術の向上を図ることができる。（高1段階）	（知・技）基本的な工具の名称と、使用手順を理解することができる。 （思・判・表）工具・機械の扱い方や危険度を理解し使用することができる。 （主学）正しい使用方法や材料の仕上がりを意識して取り組むことができる。	・製品製作 ・販売学習	・工具類の名称や使用方法を正しく理解し取り扱うことができる ・さしがね、のこぎり等の手動工具や、インパクトドライバーや糸鋸等の電動工具を使用して、木材の加工や製品の組立を行う ・ベンチ、スマホホルダー、小物等の製作
	8	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知ることができる。（高１段階情報機器の活用ア） (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。（高１段階情報機器の活用ア） (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。（高1段階）	（知・技）情報に関することについて、利便性や危険性を知ることができる。 （思・判・表）情報機器の使い方を知り、目的に合った使用ができる。 （主学）学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・スマホやiPad等の使用について ・情報モラル	・iPadを使用して製品を検索したり、作業の様子をまとめる ・余暇活動等でのスマホ使用の注意点
2学期	18	(知及技)iPad等のアプリについて知ることができる。（高１段階情報機器の活用ア） (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。（高１段階情報機器の活用ア） (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。（高1段階）	（知・技）アプリの特性や操作を知ることができる。 （思・判・表）情報機器やアプリの使い方を知り、目的に合った使用ができる。 （主学）学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・製品のデザインや管理	・iPadを活用して製品開発やデザインを考える ・ICT機器を活用して作業の様子を記録したり発表を行う ・木工班の紹介用に動画やポスターの作成
	94	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性について理解することができる。（高１段階職業生活イ(ｱ)㋒） (思判表力)作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え改善を図ることができる。（高１段階職業生活イ(ｲ)㋒） (学・人)作業効率を考え取り組むことができる。（高1段階）	（知・技）作業の確実性等と、製品や材料価格との関係を理解することができる。 （思・判・表）効率化を意識して取り組むことができる。 （主学）効率化を目指して工夫することができる。	・製品製作（効率化と協働） ・職場の仕組みや環境	・作業に応じて必要な工具類を準備する。 ・製品製作の工程分担を理解し、効率化を意識しながら作業に取り組む ・協力して製品を組み立てる ・仕事の態度や姿勢について考える
3学期	64	(知及技)社会の仕組み等について理解することができる。（高１段階職業生活ｲ(ｱ)ｲ） （思判表力）接客など販売等に関わる技術について考えることができる。（高１段階職業生活ｲ(ｲ)㋑） （学・人）接客方法等についての知識を実践することができる。（高１段階）	（知・技）販売や給料を理解することができる。 （思・判・表）場に応じた言葉遣いや態度を考えることができる。 （主学）お客を相手に丁寧な言葉遣い等で対応することができる。	・販売学習 ・余暇活動	・販売会場のレイアウト計画、設営 ・接客態度の学習、練習 ・製品の販売 ・技能検定の練習等 ・仕事と給料についての学習と余暇活動
	8	(知及技)成果や他者との関わりについて理解を深めることができる。（高１段階職業生活ア(ｲ)） （思判表力）成長や課題についてまとめ、発表することができる。（高１段階職業生活ｲ(ｲ)ｱ） （学・人）将来の自分を前向きな態度や考えで捉えることができる。（高１段階）	（知・技）成果等についての要因を考えることができる。 （思・判・表）自分の考えをまとめ、発表することができる。 （主学）具体的に将来をイメージし、目的意識をもつことができる。	・年間のまとめ（課題解決）	・製品の反省と改善 ・1年間の成長と反省、改善 ・発表
留意点引継ぎ等					

令和7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程A類型①②グループ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	2学年A①9名 2学年A②9名		Survive!!（教育図書）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。　（ 高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。　（高１段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	【家族・家庭生活】 (知及技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解することができる。（高1段階：A家族・家庭生活ウ（ア）） (思判表力) 生活を充実させる余暇の過ごし方について考え、表現することができる。（高１段階：A家族・家庭生活ウ（イ）） (学･人) 望ましい生活環境や健康管理について考え、実践することができる。（高1段階：A家族・家庭生活ウ（ア）） 【衣食住の生活】 (知及技)身近な生鮮食品の鮮度のや品質の見分け方、加工食品の原材料、期限、保存方法など表示を理解し、用途に応じた選択ができる。（高１段階：衣食住の生活イ（ア）） (思判表力)食品や調理方法に応じて、安全・衛生に配慮した調理の手順や方法を自分なりに考え、選び、実行することができる。（高１段階：衣食住の生活ア（イ）） (学･人)食品や調理器具等の安全と衛生を意識した行動ができる。(高１段階：衣食住の生活イ(ア))	【家族・家庭生活】 (知・技）家庭での日常生活が健康への影響がある事を知ることができる。 (思･判･表)生活を充実させる余暇の有効な過ごし方について考え、まとめることができる。 (主学)自分の日常生活を振り返り、望ましい健康管理や余暇の有効な過ごし方を実践しようとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート 【衣食住の生活】 (知・技)身近な生鮮食品の鮮度やや加工食品の取り扱い方や保存方法などの表示を理解し、調理や目的に応じて適切な食品を選ぶことができる。 (思･判･表)食品の種類や調理方法に応じて、洗い方や切り方の違いに気づき、安全・衛生な方法を選んで調理することができる。 (主学)食品や調理器具の衛生状態や安全性に気づき、調理中も安全・衛生を意識した行動をとることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・健康に良い日常生活とは ・余暇の過ごし方 ・朝ごはんの役割とは ・朝ごはんを計画しよう ・朝ごはんを作ろう （調理実習） ・朝ごはんづくりの振り返り 【衣食住の生活】 ・生鮮食品の品質の見分け方、保存方法 ・加工食品の特徴について ・食中毒を予防するために ・調理器具の扱い方 ・調理に応じた野菜の切り方 ・調理実習（蒸す） ・調理実習の振り返り	【家族・家庭生活】 ・自分の日常生活（食事、睡眠、生活習慣、生活リズム等）を書き出し、生活内容を確認する。 ・日常生活が健康へ与える影響を理解する。 ・朝ごはんの役割を理解する。 ・朝ご飯づくり（調理実習）を行う。 ①計量　②加熱調理「炒める」③後片付け (知及技に関する内容) ・自分の日常生活を振り返り、課題をまとめることができる。 ・日常生活の課題についてグループで話し合い、発表する。 （思判表力に関する内容） ・自分の日常生活を振り返り、健康の為にこれから実践したいことまとめる。 ・グループで協力して朝ごはんづくりに取り組む。 (学・人に関する内容) 【衣食住の生活】 ・身近な生鮮食品の写真を見て、鮮度の確認の仕方、保存方法を確認する。 ・加工食品の表示の見方、その特徴について確認する。 ・調理に応じた野菜の切り方を確認する。 ・調理に必要な道具とその扱い方を確認する。 ・調理実習（蒸す） ①計量　②加熱調理「蒸す」③後片付け (知及技に関する内容) ・生鮮食品の適切な保存方法を考えまとめる。 ・加工食品の保存法や品質確認の方法を選ぶ。 ・グループで調理に必要な材料、作業手順を考えることができる。 ・ﾜｰｸｼｰﾄに作業手順をまとめることができる。 (思判表力に関する内容) ・食品を選ぶ基準や、保存方法について自分の考えを発表する。 ・調理実習をする上で、安全面、衛生面で意識することをグループでまとめ発表できる。 (学・人に関する活動)
		【衣食住の生活】 (知及技) 衣服を選択する際の確認ポイントや、洗濯や手入れ等の取り扱い方ついて理解することができる。（高1段階：衣食住の生活ウ（ア）） (思判表力)衣服を選択する際のポイントについて考え、工夫することができる。(高1段階：衣食住の生活ウ（イ）） (学･人)目的に応じた縫い方について考え、実践することができる。（高1段階：衣食住の生活エ（イ））	【家族・家庭生活】 (知・技) 衣服の様々な種類、取り扱い表示の見方や手入れ方法について理解することができる。 (思･判･表)季節や着用目的に応じた衣服の選択や購入について、素材や取り扱い表示の視点から、工夫するポイントをまとめることができる。 (主学)ポケットティッシュケースをミシン縫いで最後まで完成させることができる。 (評価資料) 授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・衣服の素材について ・取り扱い表示について ・衣服の手入れについて ・衣服の選択をしてみよう（購入、組み合わせ） ・ミシン縫いをしよう（ポケットティッシュケース・その他作品）	【衣食住の生活】 ・衣服には様々な素材（天然繊維、化学繊維）があることを確認する。 ・実際の衣服を見ながら、取り扱い表示の見方を理解する。 ・洗濯方法や、繕いの方法について確認する。 ・ポケットティッシュケースの縫い方の確認。 (知及技に関する内容) ・季節に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、まとめる。 ・着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、まとめる。 (思判表力に関する内容) ・季節や着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法をグループで話し合い、発表する。 ・ポケットティッシュケース製作のまとめ。 (学・人に関する活動)

2学期	14	【消費生活・環境】 (知及技) 消費者トラブルの種類とその対応策について理解することができる。（高1段階：消費生活・環境ア（ア）(ア) (思判表力)自分の生活に必要な物資やサービスを選択する際に、価格・品質・表示・口コミなどの情報を活用しながら、友達や教師と話し合いを通じて選択する力を育てる。（高1段階：消費生活・環境ア（イ）(イ) (学･人)消費者トラブルの場面を知り、自分だったらどうするかを考えながら、相談する・断る・確認するなどの対応策を、自分なりの方法で伝えようとする力を育てる。（高1段階：消費生活・環境ア（ア）(イ)	【消費生活・環境】 (知・技) 消費者トラブルの種類（例：契約トラブル、詐欺、返品問題等）と、それぞれの対応策を理解している。 (思･判･表)いくつかの情報を見て、自分に合ったものを選ぶ理由を話し合いの中で表現することができる。 (主学)トラブルの場面を見て、自分だったらどうするかを考え、対応策を理由とともに伝えようとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【消費生活・環境】 ・消費者トラブルについて ・消費者トラブルの対応策について知ろう ・自分に必要な商品を選択してみよう ・計画的な金銭管理 ・１８歳成人について	【消費生活・環境】 ・様々な消費者トラブルを知る。 ・高校生や１８歳成人に多い消費者トラブルについて知る。 ・消費者トラブルの対応策（相談窓口、返品方法、断る方法など）について確認をする。 ・商品を選択する為の生活情報の活用の仕方を確認する。 （知及技に関する内容） ・グループで消費者トラブルの対応策について考える。 ・生活情報の活用の仕方についてグループで話し合い考える。 ・計画的な金銭管理の方法について考える。 （思判表力に関する内容） ・生活情報を活用する事の大切さについて自分の考えを発表する。 ・消費者ﾄﾗﾌﾞﾙの対応策について考え発表する。 ・計画的な金銭管理のポイントについて自分の考えを発表する。 （学・人に関する活動）

3 学 期	9	【衣食住の生活】 (知及技)住まいの衛生や安全に関する基本的なしくみや工夫について理解し、快適に暮らすために必要なことを知る。（高１段階：衣食住の生活オ（イ）） (思判表力)住まいの手入れや維持管理に関する方法や工夫について、自分の生活と関連づけながら考え適切な方法を考えることができる。（高１段階：衣食住の生活オ（イ）） (学･人)沖縄の伝統的な住宅の特徴や地域に根ざした工夫について学び、地域の文化や暮らしへの関心をもち学習に取り組むことができる(高１段階：衣食住の生活オ(イ))	【衣食住の生活】 (知及技)住まいの衛生や安全に関する基本的なしくみや工夫について理解している。 (思判表力)自分の生活に照らしながら、自分ができる住まいの手入れや維持管理の方法や適切な工夫について考えている。 (学･人)沖縄の伝統的な住宅について友達と意見を交わしながら学び、地域の暮らしや工夫に関心をもって活動に取り組んでいる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・快適で衛生的な住まいを保つために大切なこと(清掃、室温、採光、喚起、騒音) ・沖縄の伝統的な住まいについて	【衣食住の生活】 ・住まいの手入れ方法や維持管理方法について確認する。 ・沖縄の伝統的な住宅の特徴や工夫を確認する （知及技に関する内容） ・住まいの手入れや維持管理の必要性について考える。 ・家族にとって快適な住まいの条件を考える。 （思判表力に関する内容） ・住まいの手入れや維持管理で、自分ができることをまとめる。 ・家族が快適に過ごせるための工夫をまとめる。 ・沖縄の伝統的な住宅の工夫について気づき、自分の考えをまとめる。 (学・人に関する活動)
留意点 引継ぎ等					

令和　7　年度 高等部　2年（Ⅱ課程　A類型③④⑤グループ　）家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年　Ⅱ課程・A類型③7名 2年　Ⅱ課程・A類型④5名 2年　Ⅱ課程・A類型⑤5名		Survive!!（教育図書）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技)健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践することができる（家族・家庭生活ウ(ア)） (思判表力)健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる（家族・家庭生活ウ(イ)） (学・人)家庭生活をより良くするために工夫することができる（家族・家庭生活ウ(ア)（イ））	(知・技) 家庭での食事、睡眠、生活習慣、生活リズム等の日常生活が健康に影響を及ぼすことを理解する スポーツや音楽鑑賞、ペットの飼育、植物の栽培などを行うことなどにより、生活を楽しむことができる 親戚や友達の家を訪問したり、来客の対応をしたりして過ごすことができる (思・判・表) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について解決策を考えて表現できる (主学) 余暇の過ごし方を工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入	第5章　ライフスタイルと環境 4余暇の過ごし方 (1) 余暇を楽しく過ごす (2) 人との付き合い方 (3) 療育手帳による割引	第1次～第3次 ・給食の献立と栄養 ・栄養素（３つの働き） ・献立を考える （思判表力に関する内容） 「早寝早起き朝ごはん」を振り返る 朝ごはんを食べると入る「3つのスイッチ」をもとに生活リズムについて振り返ることができる （知及技に関する内容 ） 自分のライフスタイルと結びつけて考えて健康管理とさまざまな余暇の過ごし方を考えて発表できる （思判表力に関する内容） 卒業後を想定して、生活リズムを工夫することを考える （学・人に関する内容）
	3	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる（衣食住の生活ア(ア) (思判表力)健康によい食習慣について考え工夫することができる（衣食住の生活ア(イ) (学・人)家庭生活をより良くするために工夫することができる（衣食住の生活ア(ア)（イ））	(知・技) 食事を共にすることが人間関係を深めたり、偏食を改善し、栄養のバランスのよい食事にもつながることが理解できる 楽しく食べるための工夫が必要であることに気付く (思・判・表) 欠食や偏食を避け栄養のバランスが良い食事をとる 健康保持増進のためには運動や休養も重要な要素であることが分かる よりよい食習慣について考え工夫する (主学) 食生活について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入	第2章　食事と健康 1元気な体を作る食事 (3)食事の計画を立てよう (4)食品の選び方	第1次～第3次 「どのように食べていますか」 ・朝ごはんのメニューを振り返ることができる （知及技に関する内容 ） ・私の朝ごはんの献立を考えることができる （思判表力に関する内容） ・自分の調理経験と結びつけて献立を立てる （学・人に関する内容）
	6	(知及技)日常食と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること（衣食住の生活イ(ア)） (思判表力)基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること （衣食住の生活ア(イ)） (学・人)家庭生活をより良くするために工夫すること （衣食住の生活ア(ア)（イ））	(知・技) 野菜は、生食できること、食塩や加熱で組織が柔らかくなること、切り方や加熱のしすぎで色が悪くなり、それを防止する方法などを知る 野菜は加熱によってかさが減り、食べやすくなることを知る (思・判・表) 健康・安全の視点から、食品の選択の仕方や調理の仕方、調理計画を考え、表現する (主学) 日常食の調理について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、調理実習の身支度の様子、調理活動の様子	第2章　食事と健康 1元気な体を作る食事 (2)栄養と食品の関係 (3)食事の計画を立てよう 2調理を始める前に (1)調理の流れ (2)調理器具の使い方 (3)基礎的な調理の仕方 (4)あと片付けの仕方	第1次～第2次 「野菜をおいしく食べよう」 ・1日の野菜の摂取量がわかる ・野菜の性質を知り、食べやすい野菜の調理方法がわかる （知及技に関する内容 ） 第3次～6次 ・「料理しましょう」 調理法（炒める） ・　　（茹でる・蒸す）　（学・人に関する内容） ・材料の調理上の性質を理解して調理できる （思判表力に関する内容） 「振り返り」 ・試食を振り返り、家庭でやるならどんな工夫をするかを考えるこ とができる （学・人に関する内容）
2学	6	(知及技) 日常食と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること　Bイ(ア) (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること Bイ(イ) (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫すること	(知・技) 直火焼き、フライパンやオーブンなどを用いた間接焼きなどそれぞれ特徴があることを知る (思・判・表) 健康・安全の視点から、食品の選択の仕方や調理の仕方、調理計画を考え、表現する (主学) 日常食の調理について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、調理実習の身支度の様子、調理活動の様子	第2章　食事と健康 1元気な体を作る食事 (2)栄養と食品の関係 (3)食事の計画を立てよう 2調理を始める前に (1)調理の流れ (2)調理器具の使い方 (3)基礎的な調理の仕方 (4)あと片付けの仕方 ３非常食・災害食	第1次～第2次 「フライパン料理とオーブン料理」 ・加熱調理の種類と特徴がわかる ・火を使わない加熱調理器具がわかる （知及技に関する内容 ） 第3次～6次 ・「料理しましょう」 ・「魚のホイル包み焼き」「お好み焼き」 ・材料の調理上の性質を理解して調理できる （思判表力に関する内容） ・「ポリ袋クッキング」 （思判表力に関する内容） 「振り返り」 ・試食を振り返り、家庭でやるならどんな工夫をするかを考えることができる （学・人に関する内容）

学期		(知及技) 衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解することができる（衣食住の生活ウ(ア)） (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫することができる（衣食住の生活ウ(イ) (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫することができる（衣食住の生活ウ(ア)（イ））	(知・技) 所属や職業を表したり、行事によって衣服や着方に決まりがることが分かる 学校生活や行事、訪問などの目的に応じたそれぞれの場にふさわしい着方があることを理解する 既製服での組成表示、取り扱い表示、サイズ表示などの意味を理解する 衣服の購入には縫い方、ボタン付などの縫製の良否、手入れの仕方、手持ちの衣服との組み合わせ、価格などに留意し衣服を選択する (思・判・表) 健康・快適などの視点から衣服の選択について考え、工夫することができる (主学) 衣生活について、工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、発表の様子、被服実習活動の様子	第3章　被服 1季節や場面に合わせた服装 (1) 季節の変化に応じた服装 (2) TPOに合わせた服装 4衣服の洗たくと保管 (1) 衣服を洗たくする目的 (2) 基礎的な選択の手順 (3) 洗たくに使う洗剤について (4) 衣類の表示について	第1次～第2次 「私の洋服の変化について」 生まれてから現在までの洋服の変化が分かる 既製服のサイズ表示が分かる(知及技に関する内容) 既製服の取り扱い表示を見て洗たく機を操作できる (思判表力に関する内容) 第3次～第4次 「ディズニーランドへ行く時の服装について」 気候や目的、時間やサイズについて考えることができる (学・人に関する内容)
	4	(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱について理解し、適切にできること（衣食住の生活エ(ア)） (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる（衣食住の生活エ(イ)） (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫することができる（衣食住の生活エ(ア)（イ））	(知・技) ミシン縫いでは、丈夫で速く縫えるというと特徴や使い方がわかり、直線縫いを主としたミシン縫ができる (思・判・表) 縫い方にはそれぞれ特徴があり、縫う部分や目的に応じて、適したミシン縫いを考えて工夫できる (主学) 布を用いた製作を通して工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、被服実習の様子、活動の様子	第3章　被服 5衣服の補修	第1次～第4次 「タオルをリメイクしよう」 ・ミシンの特徴がわかる ・ミシン縫いで印通り直線縫いができる （知及技、思判表力に関する内容） ・家庭内の布製品でリメイクできそうなものを考えることができる （学・人に関する内容）
3学期	5	(知及技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くことができる（消費生活・環境イ(ア)） (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる （消費生活・環境イ(イ)） (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫することができる （消費生活・環境イ(ア)（イ））	(知・技) 消費者基本法の基本的な権利と責任に気づく 購入した物資・サービスの不具合や、被害にあった場合、適切に主張し行動することが消費者被害の拡大を防ぐことに気づく (思・判・表) 自分や家族の消費行動が環境に与える負荷を軽減させることを考え表現できる (主学) 消費行動について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入	第5章　ライフスタイルと環境 2計画的な消費生活 (5) クーリングオフ制度 (6) 消費生活センター 3環境に配慮した生活 (1) 環境を考えて生活しよう	第1次～第3次 「買った服のサイズが合わなかったらどうする」 ・消費者基本法があることが分かる ・クーリングオフ制度がわかる ・困ったら相談する機関があることがわかる （知及技に関する内容 ） 第4次～第5次 ・ゴミを減らすためにできることを発表できる （思判表力に関する内容） ・消費する前に本当に必要か考えることができる （学・人に関する内容）
	4	(知及技) 日常食と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる（衣食住の生活イ(ア)） (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる（衣食住の生活イ(イ)） (学・人) 家庭生活をより良くするために工夫することができる（衣食住の生活イ(ア)（イ））	(知・技) 材料の種類や切り方などによって煮方が異なることなどを知る 水蒸気で加熱する蒸し料理の特徴を知る (思・判・表) 健康・安全の視点から、食品の選択の仕方や調理の仕方、調理計画を考え、表現する (主学) 日常食の調理について工夫しようとしている (評価資料) ワークシート、振り返りシートの記入、調理実習の身支度の様子、調理活動の様子	第2章　食事と健康 1元気な体を作る食事 (2)栄養と食品の関係 (3)食事の計画を立てよう 2調理を始める前に (1)調理の流れ (2)調理器具の使い方 (3)基礎的な調理の仕方 (4)あと片付けの仕方	第1次～第２次 「料理でおもてなししよう」 ・加熱調理の種類と特徴がわかる （知及技に関する内容 ） 第３次～第４次 ・「料理しましょう」 ・「ムーチー」「ハンバーグ」 ・材料の調理上の性質を理解して調理できる （思判表力に関する内容） 「振り返り」 ・試食を振り返り、家庭でやるならどんな工夫をするかを考えるこ とができる （学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部　２年（Ⅱ課程B類型）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	２学年Ⅱ課程B類型9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。　（ 高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。　（高１段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。　（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	7	【家族・家庭生活】 (知及技）日常生活(食事、睡眠、生活習慣、余暇の過ごし方など）の過ごし方が健康と関わっていることを知る。（中1段階：A家族・家庭生活ウ（ア）） (思判表力）自分が心地よいと感じる生活の過ごし方（好きな食べ物、落ち着く場所など）を選んだり、表現したりする。（中1段階：A家族・家庭生活ウ（イ）） (学･人)健康に関わる食事の調理活動に関心をもち、食事の大切さを理解しながら、意欲的に参加しようとする姿勢を育む。（中1段階：A家族・家庭生活ウ（イ））	【家族・家庭生活】 (知・技）食事、睡眠、余暇などの生活習慣が心身の健康に関係していることを、活動を通して理解する。 (思･判･表)自分が心地よいと感じる生活の過ごし方について、好きな食べ物や落ち着く場所などを活動の中で選択し表現しようとしている。 (主学)食事の調理活動において、材料や道具に自ら関わろうとする姿勢や、活動に前向きに参加している。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【家族・家庭生活】 ○日常生活と健康 ○余暇の過ごし方 ○朝ごはんをつくろう（調理実習）	【家族・家庭生活】 ・自分の日常生活（食事、睡眠、生活習慣、余暇活動）を振り返る。 ・日常生活の過ごし方が、健康が関わっていることを確認する。 ・調理実習に使う道具の名称と用途を知る。 （知及技に関する内容） ・自分の好きな余暇の過ごし方を選ぶ。 ・自分の好きな余暇の過ごし方の理由を考え、発表する。 （思判表に関する内容） ・健康の面から、朝ごはんを食べる大切さについて自分の考えを発表できる。 ・卒業後を想定して、生活リズムを工夫することを考える (学・人に関する内容）
	5	【衣食住の生活】 (知及技）生活の中で食事が果たす役割について理解することができる（中1段階：衣食住の生活ア(ア) (思判表力)健康に良い食習慣について考え工夫することができる（中1段階:衣食住の生活ア(イ)） (学・人)健康に良い食習慣について、自分なりに関心をもち、活動に意欲的に取り組もうとする。（衣食住の生活ア(ア)（イ））	【衣食住の生活】 (知・技)食事を共にすることが人間関係を深めたり、偏食を改善し、栄養のバランスのよい食事にもつながることが理解できる。 (思･判･表)食事の工夫（例：野菜を加える、バランスを考える）について、絵カードや実物を使って表現できる。 (主学)健康に良い食習慣に関する選択肢の中から、自分の好みや理解に基づいて積極的に選ぼうとする姿勢が見られる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○食事の役割 ○食事の工夫を考えよう	【衣食住の生活】 ・欠食や偏食を避け栄養のバランスが良い食事をとる。 ・健康保持増進のためには運動や休養も重要な要素であることを確認する。 （知及技に関する内容） ・楽しく食べるための工夫が必要であることに気付き、自分の考えをまとめる。 ・献立例を見て栄養バランスを整える工夫を考え、表現する。 （思判表に関する内容） ・栄養バランスを整える為の工夫を、発表する。 ・健康に良い生活習慣にする為に、どんなことができるか考え、発表する。 (学・人に関する内容）
2学	7	【衣食住の生活】 (知及技）衣服を選択する際の確認ポイントや、洗濯や手入れ等の取り扱い方ついて理解することができる。（高1段階：衣食住の生活ウ（ア）） (思判表力)衣服を選択する際のポイントについて考え、工夫することができる。(高1段階：衣食住の生活ウ（イ）） (学･人)目的に応じた縫い方について考え、実践することができる。（高1段階：衣食住の生活エ（イ））	【衣食住の生活】 (知・技）衣服の様々な種類、手入れ方法について確認することができる。 (思･判･表)季節や着用目的に応じた衣服の選択や購入について、工夫を選ぶことができる。 (主学)ポケットティッシュケースをミシン縫いで最後まで完成させることができる。 (評価資料)授業の様子、ワークシート、作品	【衣食住の生活】 ・衣服の素材について ・衣服の手入れについて ・衣服の選択をしてみよう（購入、組み合わせ） ・ミシン縫いをしよう（ポケットティッシュケース）	【衣食住の生活】 ・衣服には様々な素材（天然繊維、化学繊維）があることを確認する。 ・洗濯方法や、繕いの方法について確認する。 ・ポケットティッシュケースの縫い方の確認。 (知及技に関する内容） ・季節に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、絵や写真から選び、表現する。 ・着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法を工夫し、絵や写真から選び表現する。 (思判表力に関する内容） ・季節や着用目的に応じた衣服の組み合わせや選択方法をグループで話し合い、発表する。 ・ポケットティッシュケース製作のまとめ。 (学・人に関する活動）

期	7	【消費生活・環境】 （知及技）生活に必要な物の購入方法や支払い方法が分かる。（中1段階：身近な消費生活ア(ア)） （思判表）生活に必要な品物を考え、選ぶことができる。（中１段階：身近な消費生活ア(ア)） (学･人)身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。（中１段階：身近な消費生活ア（イ)）	【消費生活・環境】 (知・技）購入に必要な手順（選ぶ→支払う→受け取る）を、支援や提示を受けながらも自分で進めようとする様子が見られる。 (思･判･表)生活場面（例：食事、掃除、外出など）を想定しながら、必要な品物を考え、選ぼうとする姿勢が見られる。 (主学)環境にやさしい選び方や使い方について、自分の考えをもって選択しようとする姿勢が見られる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【消費生活・環境】 ○買い物の流れ ・商品を買う場所 ・商品の選び方 ・レジでの手順 ○環境に優しい買い物 ・環境に優しい商品とは ・環境に優しい使い方とは	【消費生活・環境】 ・買いもの一連の手順を確認する。 ・商品を買える場所の確認をする。 ・レジでの一連の手順を確認する。 ・買い物の目的を確認し、必要な物を教師や友達を確認する （知及技に関する内容） ・必要な物を選択した理由を考え、発表する。 ・模擬店を設置し、買い物の場面を設定して、買い物体験に参加する。 （思判表力に関する内容） ・環境にやさしい選び方や使い方について、自分の言葉で伝える。 （学・人に関する学習）
3学期	5	【衣食住の生活】 （知及技）住まいの主な働きや整理整頓・清掃の大切さについて知る。（中１段階：衣食住の生活エ（ア）） （思判表）自分の生活や教室の様子をふりかえり、どのように整理整頓すれば快適に過ごせるかを考え、工夫しようとする。（中１段階：衣食住の生活エ(ア)） (学･人)家庭生活、学校生活を振り返り、健康で快適に過ごす為の工夫を考える態度を育む。（中１段階：衣食住の生活エ(イ)）	【衣食住の生活】 (知・技）生活を振り返り住まいの主な働きを確認し、快適に過ごす為には整理整頓や清掃が大切であることを確認する。 (思･判･表)自分の生活や教室の様子をふりかえり、整理整頓によって快適に過ごすための方法を考え、工夫しようとしている。 (主学)季節に応じた工夫、明るさ、換気など、健康で快適に過ごすための工夫について関心をもち、学習活動に意欲的に参加している。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○住居の基本的な機能 ○快適に過ごす① ・教室を清掃する ・ロッカーを整理する ・机を拭く ○快適に過ごす② ・カーテンをつける ・換気をする ・照明器具を使う ○自分の部屋を快適に過ごすためにできる工夫を考えよう。	【衣食住の生活】 ・住まいの主な働きを確認する。 ・清掃・整理整頓の仕方について確認する。 ・快適に過ごす為のを工夫を確認する。 （知及技に関する内容） ・教室を快適に過ごす為にできる事を考え、実践する。（清掃、ロッカー整理、机拭きなど） ・家庭内で自分ができそうな整理整頓を考える。 （思判表力に関する内容） ・季節ごとの住まいの工夫を体験する。（扇風機を使う、すだれを使う、窓をあけるなど） ・季節に応じた工夫、明るさ、換気など、健康で快適に過ごす為に自分が実際にやってみたい事を選ぶ。 （学・人に関する学習）
	4	【衣食住の生活】 （知及技）電子レンジやオーブントースターのような身近な加熱用調理器具を使うことができる。（中1段階：調理の基礎イ（ア）） （思判表）加熱後の食材の変化を見て、自分なりの感想や気づきを表現することができる。（中1段階：調理の基礎イ（イ）） (学･人)簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。(中1段階：調理の基礎イ（ア）)	【衣食住の生活】 (知・技）電子レンジやオーブントースターが食べ物を温めたり焼いたりする道具であることを知る。 (思･判･表)食材の変化や調理器具の使い方に関心をもち、自分なりの方法で気づきや好みを表そうとする (主学)蒸しパン作りの実習の中で、出来上がった時の反応を表現し、活動を楽しむことができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート	【衣食住の生活】 ○様々な加熱調理の方法 ・電子レンジの扱い方 ・調理実習「蒸しパン」	【衣食住の生活】 ・蒸しパンの作り方を確認する。 ・電子レンジの使い方を確認する。 （知及技に関する内容） ・電子レンジ加熱による食材の変化に気付き、感想をまとめる。 ・調理実習をした感想をまとめ、発表する （思判表力に関する内容） ・加熱調理器具を使った感想を発表する。 （学・人に関する学習）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　２年（Ⅱ課程Ａ類型①②グループ）　外国語科　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	２年（Ⅱ課程Ａ類型①グループ 9名、②グループ 9名）		プリント教材、カード、学習アプリ他

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高２段階） (学･人）外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高２段階ア(ｱ)㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階イ(ｱ)） (学･人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階）	(知・技）音声を模倣して発音したり、英語を聞いて、その内容を示すものを選択したりしている。語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。 (思･判･表)使用場面に応じた応答をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、尋ねたりしている。 (主学)聞き手を意識して話している、または、読み手を意識して書いている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元1「This is Me!」 自己紹介 あいさつ 日常生活 Daily Activity	・定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。 （名前/学校名/年齢/通学方法など） ・定型文を用いて他者の紹介をする。 ・他者の発表を聞く。 ・朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。
				単元2「Birthday 誕生日」 数の数え方（序数） １２の月の数え方	カレンダーや絵カード等を利用しながら、 ・1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称を学ぶ。 ・誕生日を英語で聞いて理解する。 ・自分や身近な人の誕生日を伝える。 ・有名人の誕生日を調べて報告する。 ・疑問詞“When”を使って質問する。
				単元3「これは何ですか？ What's this?」 Whatを使った表現 身の回りの物	・文房具や教室にある物などを英語で聞いたり発音したりする。 ・"What's this?"の質問を理解する。 ・"It's a ～."と答える。 ・クイズを楽しんだり、作ったりする。
				単元4「～できますか？Canを使った表現」 What I am good at(can) ～.	絵カードを利用しながら“can”“can't”を用いて、 ・場所や動物などの情報を伝える。 ・自分の得意なことや不得意なことを伝える。 ・“Can you ～?”を用いて質問したり、依頼したりする。 ・“Yes, I(you) can.”“No,I(you) can't.”を用いて応答したり、承諾したり、断ったりする。
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア(ｱ)㋑) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高１段階イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技）英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択する。語句や表現の意味を理解しながら、他者に伝えている。 (思･判･表)質問内容や使用場面に応じた返答をしている。調べたことや経験したことを英語で話したり書いたりして発表している。 (主学)生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元5「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方	チャンツやクイズなどを通して、 ・～時、半、10分単位の時間の聞いて理解する。 ・“What time”を使い、時間を尋ねる。 ・“It's ～.”を使い、時間を伝える。 ・様々な時間の表現を使いながら、夏休みの過ごし方について報告する。
				単元6「Shopping」	・商品の英語を聞いたり発音して、日本語と英語の違いを学ぶ。 ・“Can I get ～?”を使って食べ物や飲み物を注文し、買い物の流れを学ぶ。 ・“How much～?”を使って値段の聞き方を学ぶ。
				単元7「衣類・身の回りの英語」	・修学旅行に向けた調べ学習を取り入れながら身近な英語に触れる。(Winter Clothes,Hotel Ammenity) ・英語と日本語の違いに気づく。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・英語表示から必要とする情報を読み取る。
				単元8「ホリデーシーズン」	クリスマスカードを作りを通して、 ・季節のあいさつを送り合う習慣に触れる。 ・メッセージを送る相手を意識したカード作りをする。 ・メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア(ｱ)㋑) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。（高２段階イ(ｲ)） (学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。(高２段階)	(知・技）英語を聞いたり読んだりして、意味を理解している、それを示すものを選択している。英語の指示を聞いて行動している。 (思･判･表)使用場面に応じたあいさつをしている。簡易な表現を用いて感謝の気持ちを綴っている。また、リストの中から自分の気持ちに沿ったメッセージを選んでいる。 (主学)外国発祥の文化と自国の文化の違いを述べている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元9「新年を祝おう」	・外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・年号の伝え方を知り、理解する。 ・冬休みの思い出を伝える。 ・絵カードやクイズを通して、干支の表現を学ぶ。 ・福笑いを通して、顔のパーツや方向に関する表現を学ぶ。 ・「I will ～」などの表現を使って新年の目標を伝える。
				単元10「バレンタインデー」	動画やスライドを通して ・バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・外国の習慣を知り、比較する。 ・疑問詞“Who”や“What”を用いて質問する。 ・疑問詞“Who”や“What”を用いた質問に応答する。
				単元11「感謝の気持ちを伝えよう」	Thank you card作りを通して ・感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・送る相手に適した表現を知る。 ・メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和７年度　　高等部　２年（Ⅱ課程Ａ類型③④⑤グループ）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	２年（Ⅱ課程Ａ類型③グループ７名、④グループ５名）		プリント教材、カード、学習アプリ他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高１段階) (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高１段階ア(ｱ)㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階イ(ｱ)） (学･人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階）	(知・技）音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。 (思･判･表)使用場面に応じたあいさつをしている。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。 (主学)質問に対して応答しようとしている、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元1「自己紹介」 あいさつ 日常生活 Daily Activity	・定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。 （名前/学校名/年齢/通学方法など） ・定型文を用いて他者の紹介をする。 ・他者の発表を聞く。 ・朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。
				単元2「Birthday 誕生日」 数の数え方（序数） １２の月の数え方	カレンダーや絵カードなどを利用しながら、 ・1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称に親しむ。 ・誕生日を英語で聞いて理解する。 ・自分や身近な人の誕生月を伝える。 ・“When is your birthday?”を聞いて理解する。
				単元3「これは何ですか？ What's this?」 Whatを使った表現 身の回りの物	・文房具や教室にある物などを英語で聞いたり発音したりする。 ・”What's this?”の質問を理解する。 ・”It's a ～.”と答える。 ・クイズを楽しんだり、作ったりする。
				単元4「～できますか？Canを使った表現」	絵カードを利用しながら“can”“can't”を用いて、 ・動物などの情報を伝える。 ・自分の得意なことや不得意なことを伝える。 ・“Can you ～?”を用いた質問を聞いて理解する。 ・“Yes.”“No.”を用いて応答する。
2学期	14	(知及技)簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高１段階ア(ｱ)㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階イ(ｱ)） (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技）英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択している。語句や表現の意味を理解しながら、文字を綴っている。 (思･判･表)定型句を用いて使用場面に応じた質疑、または応答をしている。 (主学)生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元5「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方	チャンツやクイズなどを通して、 ・１時間単位の時刻の伝え方に親しむ。 ・“What time”を使い、時間を尋ねる。 ・“It's ～.”を使い、時間を伝える。 ・時間の表現を取り入れながら、夏休みの過ごし方について報告する。
				単元6「Shopping」	・商品の英語を聞いたり発音して、日本語と英語の違いを学ぶ。 ・“Can I get ～?”を使って食べ物や飲み物を注文し、買い物の流れを学ぶ。
				単元7「衣類・身の回りの英語」	・修学旅行に向け、身近な英語に触れる。 (Winter Clothes,Hotel Ammenity) ・英語と日本語の違いに気づく。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・英語表示から必要とする情報を読み取る。
				単元8「ホリデーシーズン」	クリスマスカードを作りを通して、 ・季節のあいさつを送り合う習慣に触れる。 ・メッセージを送る相手を意識したカード作りをする。 ・メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア(ｱ)㋑) (思判表力)身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。（高１段階イ(ｲ)） (学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。(高２段階)	(知・技）英語を聞いたり読んだりして、意味を理解している、それを示すものを選択している。模倣して発音している。 (思･判･表)使用場面に応じたあいさつをしている。リストの中から自分の気持ちに沿ったメッセージを選んでいる。 (主学)外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元9「新年を祝おう」	・外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・年号の伝え方に親しむ。 ・冬休みの思い出を伝える。 ・絵カードやクイズを通して、干支の表現を学ぶ。 ・福笑いを通して顔のパーツや方向に関する表現に親しむ。 ・「I will ～」などの表現を使って新年の目標を伝える。
				単元10「バレンタインデー」	動画やスライドを通して ・バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・外国の習慣を知り、比較する。 ・“Who”や“What”を用いて、質問したり、答えたりする。
				単元11「感謝の気持ちを伝えよう」	Thank you card作りを通して ・感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・送る相手に適した表現を知る。 ・メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和７年度 高等部　２年（Ⅱ課程Ｂ類型）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	２年（Ⅱ課程Ｂ類型９名）		カード、プリント教材他 歌絵本

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高１段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高１段階) (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高１段階ア(ｱ)④) (思判表力)簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高１段階イ(ｱ)) (学･人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高１段階)	(知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。 (思・判・表）①場面に応じたあいさつをしている。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。②教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。 (主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。 評価資料：活動の様子	自己紹介、あいさつ 天気 学校にあるもの（名詞） 数の数え方 家族 防災訓練 季節の英語（名詞）	自己紹介 ・自分(他者)の名前を伝えよう、呼名に応じよう ・名前のつづりを確認しよう あいさつ“How are you?”に答えよう 天気　“How's the weather today?”に答えよう 学校にある名詞　教室や学校にある英語を言ってみよう 数を数えよう　1 to 5(7/10) 家族の名称　Finger Family, Mother's(Father's) Day 防災訓練 Vocabulary of Fire Safety 夏に関する名詞　Swimming/Summer Clothes/Insects Ice cream Twinkle Twinkle Little Star 英語の歌のリズムを通して、それぞれの単元を指導する。 英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等
2学期	14	(知及技）英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高１段階ア(ｱ)④) (思判表力)簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高１段階イ(ｱ)) (学･人)言語活動を通して、身近にある外国の文化を理解することができる。(高１段階)	(知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。 (思・判・表）①場面に応じたあいさつをする。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。②教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。 (主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。 評価資料：活動の様子	あいさつ、天気 色、形 家・地域にあるもの（名詞） 食べ物 ハロウィン 修学旅行 クリスマス	あいさつ ・自分(他者)の名前を伝えよう、呼名に応じよう ・“How are you?”に答えよう 天気　“How's the weather today?”に答えよう 色、形 ・“What is your favorite color?”に答えよう ・Matching Cards 食べ物　“What is your favorite food?”に答えよう 修学旅行の英語　冬の衣服、ホテルアメニティ、場所や乗り物他 異文化理解（ハロウィン、クリスマス） 英語の歌のリズムを通して、それぞれの単元を指導する。 英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して、身近な語彙の定着を図る。
3学期	9	(知及技）英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高１段階ア(ｱ)④) (思判表力)簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高１段階イ(ｱ)) (学･人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高１段階)	(知・技）①音声を模倣して発音したり、単語の意味を認識しながら文字をなぞったりしている。英語を聞いて、その内容を示すものを選択している。②英語を聞いて、対象物や教師の動作に注目している。 (思・判・表）①場面に応じたあいさつをしている。自分の希望するもの選ぶ、などの意思表示をしている。②教師の声掛けに対して、発声や表情の変化で応答しようとしている。 (主学）①質問に対して応答しようとしたり、他の生徒の答えを関心を持って聞く様子がある。②発声したり、手をたたいたりするなど、期待や要求の表情が見られる。 評価資料：活動の様子	新年を祝おう 干支の動物 名詞（顔・からだ） 福笑い（顔・方向） バレンタインデー お礼のことば、別れのことば	あいさつ ・自分(他者)の名前を伝えよう、呼名に応じよう ・“How are you?”に答えよう ・新年のあいさつをしよう、お正月の英語（名詞） 天気　“How's the weather today?”に答えよう 干支を英語で言ってみよう　Zodiac Animals 福笑いをしよう　Facial parts & up, down, right, left バレンタインデーの英語（名詞） 感謝の気持ちを伝えよう、別れのことばを伝えよう 英語の歌のリズムを通して、それぞれの単元を指導する。 英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して、身近な語彙の定着を図る。
留意点 引継ぎ等	※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。 ※単元及び活動内容については、生徒の興味関心や学校行事などに応じて順序を入れ替えたり、組み合わせたりするなど工夫する。				

令和　7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程A類型①②③④⑤グループ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2学年44名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。【高１段階】

(思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。【高１段階】

(学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度，情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。（高1段階Aア（イ）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ））	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。 (思･判･表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクス禁止法） ・自分の情報は自分で守る 情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・動画視聴（文科省　情報モラル⑪パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。
	6	(学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・夏のポストカード作成	・「夏」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
2学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。（高1段階　Bア（イ）） (思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて，必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。（高1段階　Bイ（イ））	(知･技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。 (思･判･表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進 ・クリスマスカード作成 ・年賀状作成 ・ポスター作成	・身近なユニバーサルデザインを再確認（シャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。 ・テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
	7	(学･人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物		
3学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積，管理，提供する基本的な方法，情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。（高1段階　〔ア（イ）） (思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。（高1段階　〔イ（イ））	(知･技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。 (思･判･表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング ・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。 ・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
	4	(学･人) ･身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成 ・卒業生へ送るメッセージカード作成	・オリジナルの名刺を作成し、先生や友達、お家の人に渡して意見を聞いてみよう。 ・卒業する3年生にメッセージカード作成しよう。印刷したカードは3年生が見られるよう廊下に掲示する。
留意点					

令和　7年度 高等部　2年（Ⅱ課程B類型）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（1段階）

(思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（1段階）

(学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア）） （思判表力） ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ）） （学･人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思･判･表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1 撮った写真を活用しよう ・テーマを決めてカードを作ろう	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。 ・自分だけのテーマを決めて、自分で撮った写真を使ったカード作成
2学期	7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。（高1段階 B ア（ア）） （思判表力） ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。（高1段階 B イ（ア）） （学･人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知･技) ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。 (主学) 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	メディアの発達 ・手紙と電話 ・携帯電話とインターネット 誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報2 ・ネット依存2 写真加工に挑戦 ・クリスマスカードを作ろう	・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。（動画視聴 NHKforschool） ・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表（情報発信）を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。 ・写真やシールを貼り付け簡単なクリスマスカードの作成をし、廊下に掲示してみよう。
3学期	5	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア）） （思判表力） ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ）） （学･人） ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思･判･表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3 ・オリジナル名刺作成	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。 ・シールやイラストで飾り付けをしたオリジナルの名刺を作成しよう。
4					

留意点引継ぎ等	メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。

令和　7　年度 高等部　　2年（　Ⅱ　課程　A類型　）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年1組 7名 2年2組 7名 2年3組 7名 2年4組 7名 2年5組 7名		小学道徳 ゆたかな心 4年 プリント教材他

年間目標	(A:自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・修学旅行に向けて、集団行動の大切さを考え、自分たちの楽しみが他の人に迷惑になっていないかを気づかせる。
		・①自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解しし、相手のことを考える。
3学期	9	・②自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化 ○性とどう向き合うか	・性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
		・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和 7　年度 高等部 2年（　Ⅱ課程　B類型　）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年4組 4人 2年5組 5人		小学 どうとく ゆたかな心 4年

年間目標	（A:自分自身に関する事）望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 （B:人との関わりに関する事）礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 （C:集団や社会との関わりに関する事）法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 （D:生命や自然、崇高な物との関わり）自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。 ・絵を見ながら様々な場面でどういう挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをすることができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持って ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ。 ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良くし、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。

留意点 引継ぎ等	

令和7年度　高等部　２年（Ⅱ課程 A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
１単位（３５時間）	２年　35名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学･人) 体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校外)　事前学習 事後学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の就業体験について、自己評価する。
２学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 就業体験での反省点を踏まえながら後期就業体験を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 前期就業体験での反省点を踏まえながら、後期就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の就業体験について、自己評価する。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。

3 学 期	9	(知及技) 就労の意義を理解することができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味のある仕事分野について考えることができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知･技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」など多義的であることを理解しようとしている。 (思･判･表) 自分の進路や興味のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、学習発表会の準備をする。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。 ○就労について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部　２年（Ⅱ課程　B類型）総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
１単位（３５時間）	２年　９名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 課題解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりの中で、課題について振り返り、表現することができる。 (学･人) 探究に主体的・共同的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、よりよい関係性を築くことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知及技） 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 （思判表力） 就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか振り返ってまとめて、発表することができる。 （学・人） 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	（知･技） 就業体験について理解しようとし、見通しをもって取り組もうとしている。 （思･判･表） 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかをまとめ、発表しようとしている。 （主学） 働くことに興味をもち、職員や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期就業体験(校外)　事前学習 事後学習	○仕事内容、持ち物などの確認。 ○就業体験中の目標の設定。 ○同じ班のメンバーを確認し、親睦を深める。 ○就業体験の振り返りを行う。 ○目標の自己評価を行う。 ○自分や友人の就業体験先の体験発表を通し、具体的な仕事内容について学ぶ。
2学期	14	（知及技） 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 （思判表力） 就業体験での反省点などを踏まえながら、後期就業体験を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか振り返ってまとめて、発表することができる。 （学・人） 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	（知･技） 就業体験について理解しようとし、見通しをもって取り組もうとしている。 （思･判･表） 就業体験での反省点を踏まえながら、就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかをまとめ、発表しようとしている。 （主学） 働くことに興味をもち、職員や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○後期就業体験(校外)　事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○仕事内容、持ち物などの確認。 ○就業体験中の目標の設定。 ○同じ班のメンバーを確認し、親睦を深める。 ○就業体験の振り返りを行う。 ○目標の自己評価を行う。 ○自分や友人の就業体験先の体験発表を通し、具体的な仕事内容について学ぶ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。

3 学 期	9	（知及技） 生産や販売の流れについて理解することができる。 （思判表力） 販売学習を振り返り、自己評価をすることができる。 （学･人） 仲間と協力しながら、興味をもって取り組むことができる。	（知･技） 生産や販売の流れについて理解しようとしている。 （思･判･表） 販売学習を振り返って自己評価をしようとしている。 （主学） 働くことに興味をもち、職員や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○販売学習の準備をする。 ○仕事の分担や係の確認をする。 ○販売学習の成果の確認をする。 ○自己評価を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部　2年（　Ⅱ課程 A類型　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年 35 名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・服装容儀を整え式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。 ・生徒会について知り、皆と協力して活動することができる。 ・自分自身の健康状態への理解を深めることができる。 ・必要な物を選定し購入することができる。 ・災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。 ・夏休みの過ごし方を確認できる。 ・性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。	・始業式・終業式 ・生徒総会 ・身体測定 ・買い物学習（校外学習） ・火災訓練 ・夏休みの過ごし方について ・性教育	・始業式、終業式に積極的に参加する。 ・生徒会の仕事を理解し、生徒会の一員であることを確認する。 ・身体測定等の結果を受け、自己の生活習慣を見直す。 ・避難する際に気を付ける点について考える。 ・必要な物を現金で購入する体験を通し、社会のルールやマナー、公共機関等の利用について学習する。 ・健康管理、自己管理を心がけ、楽しく充実した夏休みを過ごす心構えをもつ。 ・「虹の輪」を使って人と人の距離感を確認する。また、健康診断データを元に、自分の健康状態を確認する。
2学期	14	・服装容儀を整え式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。 ・もてる力を発揮して、一生懸命取り組むことができる。 ・災害時の知識を学び、安全に気を付けて避難することができる。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・体育大会の日程やねらいを知り、関心を高め意欲的に取り組むことができる。 ・生徒会活動の意義を知り、選挙への参加、投票をすることができる。 ・性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。 ・将来の生活の場について考えることができる。	・始業式、終業式 ・校内陸上大会 ・地震避難訓練 ・修学旅行（校外学習） ・特別支援学校体育大会（校外学習） ・買い物学習（校外学習） ・生徒会役員選挙 ・性教育 ・施設見学（校外学習）	・始業式、終業式に積極的に参加する。 ・競技に参加する。 ・避難する際に気を付ける点について考える。 ・事前学習や係活動、集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・美咲の生徒や他校の生徒を応援する。 ・必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ・校内及び現場実習に対する態度と心得を学ぶ。 ・候補者の立会演説を聞き、投票する。 ・プライベートゾーンについて考える。 ・施設について調べ、公共機関等を利用し見学する。
3学期	9	・服装容儀を整え式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。 ・一生懸命練習してきた選手をみんなで応援することができる。 ・卒業式の意義を理解し、場に相応しい礼儀正しさで祝うことができる。	・始業式、終了式 ・特体連駅伝大会（校外学習） ・買い物学習（校外学習） ・卒業式に向けて（３年生を送る会）	・始業式、終了式に積極的に参加する。 ・美咲の生徒や他校の生徒を応援する。 ・必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ・卒業式についての話を聞いたり、歌の練習をしたりする。学年からの出し物について話し合ったり、準備したりする。

留意点 引継ぎ等	○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考○判断○表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。

令和7年度 高等部　2年（　　Ⅱ課程　B類型　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位/35時間	2学年　生徒　9　名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）多様な他者と協働する様々な集団活動を通して意義を理解し、行動の仕方を身につける。 （思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定することができる。 （学・人）・自主的、実践的な集団活動を通して主体的に集団や社会に参加し、生活および人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方について深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○進級の喜びを味わい、新しい環境への心構えをもつことができる。（始業式） ○身体測定を通して、自分の体の発育に関心を持つことができる。（身体測定） ○新入生と積極的に交流し、仲良く過ごすことができる。（新入生歓迎会） ○生徒会の一員として皆と協力して活動することができる。（生徒総会） ○命、平和の尊さについて発表し合うことができる。（平和集会） ○必要な物を選定し購入することができる。 ○災害時における身の守り方を知り、安全に、迅速に避難するこができる。（火災避難訓練） ○１学期頑張ったことを振り返り、2学期に向けての心構えをもつことができる。（終業式） ○性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。	○始業式 ○身体測定 ○新入生歓迎会 ○生徒総会 ○平和集会 ○買い物学習（校外学習） ○施設見学 ○火災避難訓練 ○終業式 ○性教育	○校歌斉唱、校長あいさつ、学級担任紹介。 ○身長、体重、視力等の測定。生活習慣の見直し。 ○新入生との交流（入場、歓迎の挨拶、レク）。 ○生徒会役員・活動紹介。生徒会行事について。 ○平和パネル展の見学、図書資料・視聴覚機器での視聴、講話参加。振り返り。 ○必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルールやマナー、公共機関などの利用について学習する。 ○火災避難訓練（安全確保、避難時の留意点）。校長講話、事後学習。 ○校歌斉唱、校長あいさつ、１学期の思い出発表、夏休みの過ごし方。 ○「虹の輪」を使って人と人の距離感を確認する。また、健康診断データを元に、自分の健康状態を確認する。
2学期	14	○２学期を迎え、規則正しく学校生活を送るための、心構えをもつことができる。（始業式） ○運動に親しみ、団結して最後まで仲間と取り組むことができる。（運動会） ○災害時における身の守り方を知り、安全に、迅速に避難するこができる。（地震、津波避難訓練） ○出場する競技に、精一杯取り組むことができる。（特体連体育大会） ○集団生活での自身の役割を果たし、普段と異なる自然や文化を仲間と共に楽しむことができる。（修学旅行） ○選挙の仕組みを知り、投票することができる。（生徒会役員選挙） ○体験を通して公共でのマナーやルールを学び、将来の生活の場について考えることができる。（施設見学） ○2学期頑張ったことを振り返り、3学期に向けての心構えをもつことができる。（終業式） ○性に対する正しい知識を学習し、今後の生活に役立てる。	○始業式 ○校内陸上大会 ○地震、津波避難訓練 ○特体連体育大会（校外学習） ○買い物学習（校外学習） ○修学旅行 ○生徒会役員選挙 ○施設見学（校外学習） ○終業式 ○性教育	○校歌斉唱、校長あいさつ、2学期を迎えての決意の言葉。 ○入場行進、開会式、競技、閉会式。 ○避難訓練（安全確保、避難時の留意点）、校長講話、事後指導。 ○特体連体育大会競技への参加、応援。 ○必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ○事前学習、集団行動、係活動、見学・体験、公共施設利用のルールとマナーを学ぶ。 ○立ち合い演説会（立候補者・推薦人）、投票、開票、開票結果発表。 ○施設について調べ、公共機関を利用し見学する。 ○校歌斉唱、校長あいさつ、２学期の思い出発表、冬休みの過ごし方。 ○プライベートゾーンについて考える。
3学期	9	○３学期を迎え、規則正しく学校生活を送るための、心構えをもつことができる。（始業式） ○学習の成果を披露し、協力して販売ができる。（みさき市） ○先輩方の卒業を祝い、卒業への自覚を高める。（３年生を送る会） ○卒業の喜びを共に味わい、式に参加し、場に相応しい礼儀正しさで祝うことができる。（卒業式） ○１年間の頑張ったことを振り返り、新年度に向けた心構えをもつことができる。（修了式）	○始業式 ○特体連駅伝大会（校外学習） ○買い物学習（校外学習） ○３年生を送る会 ○卒業式 ○修了式	○校歌斉唱、校長先生の挨拶、新年を迎えての決意の言葉。 ○美咲の生徒や他校の生徒を応援する。 ○必要な物を現金で購入する体験を通し社会のルール、マナーを学習する。 ○卒業生を送る言葉、プレゼント贈呈、祝いのダンス。 ○校歌斉唱、送辞・答辞、卒業の歌。 ○校歌斉唱、校長あいさつ、３学期の思い出発表、春休みの過ごし方。

留意点 引継ぎ等	

令和7年度 高等部　3年（Ⅱ課程A類型　①②グループ　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年　7名		くらしに役立つ 国語

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。【高１段階】 (思判表力)筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。【高１段階】 (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。【高１段階：ア（ｲ）】 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高１段階：Ｂア】 (学･人)自分の言葉で自己紹介することを通して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。【高１段階】	(知・技）相手に注目し聞き取りやすいように、声量やテンポを工夫し、最後まで発表しようとしている。【高１段階：ア（ｲ）】 （思・判・表）相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確に表現しようとしている。【高１段階：Ｂア】 (主学)自分自身について、自分の言葉でまとめ、相手に伝えようとしている。【高１段階】	単元１「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シート作成	・文章で伝わるように自己紹介シートを作成する。（知及び技に関する内容） ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容） ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。（学・人に関する内容）
	12	(知及技）日常でよく使われる敬語を理解し使うことができる。【高１段階：ア（ｶ）】 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高１段階：Ａエ】 (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい敬語を用いて伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）日常でよく使われる敬語を理解し使うことができている。【高１段階：ア（ｶ）】 (思･判･表)正しい敬語を用いて、相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。【高１段階：Ａエ】 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい敬語を用いて伝え合おうとしている。【高１段階】	単元２「敬語を使おう」 ・敬語を使おう ・電話の受け答え方	・ワークシートで敬語の種類や違いなどを理解する。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書いたり、丁寧語を意識して言葉で伝えたりする。（思判表力に関する内容） ・適切な敬語を使って会話をしたり、文章を作成したりすることで敬語に親しむ。（学・人に関する内容）
	10	(知及技）考えとそれらを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高１段階：イ（ｱ）】 (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれらを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。【高１段階：Ｃイ】 (学･人)言葉の良さを認識し、幅広く新聞に親しむことができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれらを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。【高１段階：イ（ｱ）】 (思･判･表)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれらを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。【高１段階：Ｃイ】 (主学)言葉の良さを認識し、幅広く新聞に親しもうとしている。	単元３「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・NIEの活用	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容） ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。（思判表力に関する内容） ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。（学・人に関する内容）
	6	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文章を書くことができる。【高１段階：ア（ウ）】 (思判表力)書く内容の中心を決め、伝えたい内容について、文章の構成を考えることができる。【高１段階：Ｂイ】 (学･人)履歴書を通して、相手に働きたい気持ちを伝える大切さに気づくことができる。【高１段階】	(知・技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文章を書くことができている。【高１段階：ア（ウ）】 (思･判･表)相手や目的を意識して、伝えたい内容について、文章の構成を考えようとしている。【高１段階：Ｂイ】 (主学)履歴書を通して、相手に働きたい気持ちを伝える大切さに気づこうとしている。【高１段階】	単元４「履歴書を書こう」 ・履歴書の作成	・履歴書の正しい書き方を理解し、漢字や仮名を正しい記述で書く。（知及び技に関する内容） ・実習で学んだことや仕事に対する考え、将来の希望などを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・正しい履歴書の書き方を参考に、文章を作成することで、自分の考えや今後の目標を明らかしたり、感謝の気持ちを伝え合う。（学・人に関する内容）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	12	(知及技) 生活に身近な方言や地域のことわざ（黄金言葉）の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。【高１段階：ウ（ｱ）】 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高１段階：Ａエ】 (学･人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとする。【高１段階】	(知・技) 生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができている。【高１段階：ウ（ｱ）】 (思･判･表)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫しようとしている。【高１段階：Ａエ】 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。【高１段階】	単元１「方言に親しもう」 ・方言カルタのをしよう ・黄金言葉を調べよう ・しまくとぅばを話そう	・身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。（知及び技に関する内容） ・家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。（思判表力に関する内容） ・身近な方言を使って会話をしたり、方言カルタを楽しむことで、方言に親しむ。（学・人に関する内容）
	22	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高１段階：ア（ｷ）】 (思判表力)言葉の意味や文の意味を理解しながら、登場人物の心情の変化を場面に沿って捉えることができる。【高１段階：Ｃア】 (学･人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとする。【高１段階】	(知・技) 文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができている。 (思･判･表)言葉の意味や文の意味を理解しながら、登場人物の心情の変化を場面に沿って捉えようとしている。 (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。	単元２「物語を読もう」 ・少年の日の思い出 ・小さな手袋	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。（知及び技に関すること） ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考えて文でまとめたりする。（思判表力に関すること） ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、楽しく読書をする。（学・人に関する内容）
	10	(知及技) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。【中２段階ウ（ｱ）】 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表すことができる。【高１段階Ｂア】 (学･人)自分の思いや考えを言葉で素直に表現しようとすることができる。【高１段階】	(知・技) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり、暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表そうとしている。 (主学)季節の移ろいや行事の思い出などを、言葉で素直に表現しようとしている。	単元３「俳句・短歌を作ろう」 ・俳句・短歌作成 ・俳句・短歌鑑賞会	・韻文の種類や俳句・短歌の形式など、基本的な特徴について理解する。(知及び技に関する内容） ・一年を振り返り、楽しかったことや心に残っていること、感謝の気持ちなどを言葉を精選し、俳句・短歌の形式に基づいて書く。（思判表力に関する内容） ・気持ちを表す言葉の表現を楽しんだり、自分の思いや考えを素直に俳句・短歌で表現したりして表現を楽しむ。（学・人に関する内容）
3学期	5	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。【高１段階ウ（ｳ）ｱ】 (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高１段階：Ｂウ】 (学･人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。【高１段階ウ（ｳ）ｱ】 (思･判･表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。【高１段階：Ｂウ】 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。【高１段階】	単元１「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。【中２段階：イ（ｱ）】 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高１段階：Ｃオ】 (学･人)言葉がもつ良さを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができている。【高１段階】	(知・技) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解して、問題に取り組むことができている。【中２段階：イ（ｱ）】 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを述べようとしている。【高１段階：Ｃオ】 (主学)言葉がもつ良さを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。【高１段階】	単元２「説明的文章を読もう」 ・案内文 ・取扱説明書	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現したりする。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	8	(知及技) 手紙の意義や書き方を理解することができる。【中１段階ウ（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高１段階：Ｂエ】 (学･人)相手への思いや感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高１段階】	(知・技) 手紙の書き方を理解し、お礼状を書くことができている。【中１段階ウ（イ）】 (思･判･表)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。【高１段階：Ｂエ】 (主学)手紙の作成を通して、相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。【高１段階】	単元３「感謝の手紙を書こう」 ・手紙の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・手紙を受けとる相手への感謝の気持ちや実習を通して学んだことなどを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかしたり、感謝の気持ちを伝え合う。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和6年度 高等部　3年（　　Ⅱ課程A類型　③④グループ　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部３年 14名		ゆっくり学ぶ子ための国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。（高１段階） (思判表力）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高１段階） (学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）表現するために必要な語句の量を増やし使える範囲をひろげることができる。（中2段階(エ)） (思判表力)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすることができる。（中2段階Aイ） (学･人)言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めることができる。（高１段階）	(知及技）表現するために必要な語句の量を増やし文や文章に取り入れることができている。（中2段階(エ)） (思判表力)相手や目的に応じて、自分の伝えたいことをイラストや文字で表現することができている。（中2段階Aイ） (主学)言葉がもつよさを感じ、言語感覚を高めようとしている。（高１段階）	「自己紹介をしよう」 ・季節の言葉（春） ・自己紹介シートを作ろう	・季節にまつわる言葉や自分の好きな物にまつわる言葉を考える。季節行事の由来や歴史について学習する。（知及び技に関する内容） ・春の風物詩として「入学式」「桜」「菜の花」「こいのぼり」など具体的な言葉を挙げることができる。自分の好きなもの、文字やイラストで表現することができる。（思判表力に関する内容） ・季節に関するいろいろな言葉を使って、季節の特徴や良さを考えることができる。（学・人に関する内容）
	12	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（高1段階（ウ）） （思判表力）平和への思いや気持ちを言葉や絵などで表現することができる。（中2段階Aイ） （学・人）自分の考えを文や文章で相手に伝えることができる。（高1段階）	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができている。（高1段階（ウ）） （思判表力）平和への思いや気持ちを言葉や絵などで表現することができている。（中2段階Aイ） （主学）自分の考えを文や文章で相手に伝えようとしている。（高1段階）	「表現力を高めよう」 ・平和へのメッセージ ・漢字の練習	・物語や映像などを通して沖縄戦について学ぶ。（知及び技に関すること） ・物語や映像の鑑賞から感じたことを、平和へのメッセージとして言葉や絵などで表現する。（思判表力に関する内容） ・平和へのメッセージとして、平和の大切や戦争の悲惨さなどについて考えをまとめ発表する。（学・人に関すること）
	11	（知及技）お礼状の意義や書き方を理解する。（中1段階ウ（ｲ）） （思判表力）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。（中2段階Ｂア） （学・人）自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えることができる。（高1段階）	（知・技）お礼状の意義や書き方を理解している。（中1段階ウ（ｲ）） （思・判・表）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができている。（中2段階Ｂア） （主学）自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えようとしている。（高1段階）	「手紙を書こう」 ・季節のことば（夏） ・お礼状を書こう	・手紙文の構成や時候のあいさつ、結びの言葉など、手紙の書き方の基本的なルールについて学ぶ。（知及び技に関すること） ・相手との関わりの中で心に残った出来事や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容） ・お礼状作成を通して、自分の気持ちや相手への思いを手紙で伝えることができる。（学・人に関すること）
2学期	12	（知及技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。（中2段階（イ）） （思判表力）相手や目的に応じた話し方で話すことができる。（中1段階Ａエ） （学・人）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しむことができる。（高1段階）	（知・技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができている。（中2段階（イ）） （思・判・表）相手や目的に応じた話し方で話すことができている。（中1段階Ａエ） （主学）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。（高1段階）	「表現力を高めようⅡ」 ・しまくとぅば ・敬語	・沖縄の昔話や方言カルタを通して、うちなーぐちの挨拶やことわざを学習する。場面に応じた常体と敬体の使い分けを学習する。（知及び技に関する内容） ・家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。敬語を使用する場面において、敬体を用いて話すことができる。（思判表力に関する内容） ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。（学・人に関する内容）
	22	（知及技）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。（中1段階ウ（エ）） （思判表力）様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。（中2段階ｃア） （学・人）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。（高1段階）	（知・技）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り読むことができている。（中1段階ウ（エ）） （思・判・表）様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができている。（中2段階ｃア） （主学）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しもうとしている。（高1段階）	「物語を読もう」 ・よだかの星 ・坊ちゃん	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容） ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。（思判表力に関する内容）
	8	（知及技）お礼状の意義や書き方を理解する。（中1段階ウ（ｲ）） （思判表力）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができる。（中2段階Ｂア） （学・人）自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えることができる。（高1段階）	（知・技）お礼状の意義や書き方を理解している。（中1段階ウ（ｲ）） （思・判・表）相手や目的を意識して、見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えることができている。（中2段階Ｂア） （主学）自分の考えや伝えたいことを文や文章で相手に伝えようとしている。（高1段階）	「手紙を書こう」 ・季節のことば（秋・冬） ・お礼状を書こう	・手紙文の構成や時候のあいさつ、結びの言葉など、手紙の書き方の基本的なルールについて学ぶ。（知及び技に関すること） ・相手との関わりの中で心に残った出来事や感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容） ・お礼状作成を通して、自分の気持ちや相手への思いを手紙で伝えることができる。（学・人に関すること）

3学期	5	（知及技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（中１段階ウ〈ｳ〉ア） （思判表力）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（中２段階Ｂウ） （学・人）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。（高１段階）	（知・技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができている。（中１段階ウ〈ｳ〉ア） （思・判・表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができている。（中２段階Ｂウ） （主学）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。（高１段階）	「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・カルタや福笑い、双六などの正月遊びに取り組む。文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。（思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	（知及技）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。（中1段階ウ（エ）） （思判表力）様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。（中2段階ｃア） （学・人）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。（高1段階）	（知・技）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知ることができる。（中1段階ウ（エ）） （思・判・表）様々な読み物を読み情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。（中2段階ｃア） （主学）読書に親しみ、簡単な物語や詩などがあることを知り、楽しむことができる。（高1段階）	「物語を読もう」 ・雨ニモマケズ ・寿限無（落語）	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・登場人物の行動や会話、様子などの叙述を結びつけ、登場人物の性格や考え方について考える。(思判表力に関する内容) ・音読を通して、文章のリズムを味わうとともに、好きな言葉やおもしろい表現について発表し合う。（思判表力に関する内容）
	10	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（高1段階（ウ）） （思判表力）未来の自分に向けて、現在の自分の思いや考えを言葉や絵などで表現することができる。（中2段階Ａイ） （学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。（高1段階）	(知・技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができている。（高1段階（ウ）） （思・判・表未来の自分に向けて、現在の自分の思いや考えを言葉や絵などで表現することができている。（中2段階Ａイ） （主学）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。（高1段階）	「手紙を書こう」 ・感謝の手紙	・高等部3年間を振り返り、お世話になった先生や保護者にあてて、感謝の気持ちや伝えたいことを考える。（知及び技に関すること） ・相手との関わりの中で最も楽しかった出来事や思い出、感謝の気持ちを、例文や見本を参考に文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・感謝状作成を通して、自分の気持ちや相手への思いを手紙で伝えることができる。（学・人に関すること）
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和6年度 高等部　3年（　　Ⅱ課程B類型　グループ　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部３年　９名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高１段階) (思判表力）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。　(高１段階) (学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(知及技）運筆のワークシートに取り組むことができる（小３段階：ウ(ウ)イ) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小２段階：Bア) (学･人)身近なものの名前に興味を持ち書こうとすることができる。(小３段階)	(知・技）直線や曲線などの形を意識しながら線をなぞることができている。 (思･判･表)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができている。 (主学)身近なものの名前に興味を持ち書こうとしている。	単元１ 「運筆練習をしよう」	・鉛筆やペン、クレヨン、チョークなど、各々に適した筆記用具を見つけ、線をなぞる。(知及び技に関する内容) ・持ちやすい筆記用具を見つけ、形を意識しながらなぞり書きをする。(思判表力に関する内容) ・様々な線や形を楽しみながら、なぞり書きをする。(学・人に関する内容)
		(知及技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階：ア(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中１段階：Cア) (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中1段階)	(知・技）日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思・判・表)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ①」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・周りの人とのやり取りを通して興味関心をもち、読書に親しむ。(学・人に関する内容)
		(知及技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができる。(中2段階ア(イ)) (思判表力)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができる。(中2段階：A工) (学･人)授業の流れを把握し、授業へ主体的に参加する意欲を育む。(中２段階)	(知・技）発声や発音に気をつけたり、声の大きさを調節したりして話すことができている。 (思・判・表)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気をつけて話したり、話し方を工夫したりすることができている。 (主学)教師の呼びかけに反応し、質問や課題に取り組もうとしている。	単元３ 「友達に呼びかけてみよう」	・発声や発音、声の大きさなどをカードや実際の動きで確認する。(知及び技に関する内容) ・相手に伝わるようにするには、どうすればいいかロールプレイで確認する。(思判表力に関する内容) ・毎時の基本的な授業の流れや始まりや終わりの挨拶等を、教師と一緒に発声しながら確認する。(学・人に関する内容)
		(知及技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができる。(小2段階：ア(ウ)) (思判表力）絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができる。(小3段階Cア) (学･人)いろいろな言葉にふれ、親しみを持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技）身近な人とのやり取りを通して物の名前や動作などいろいろな言葉の種類にふれることができている。 (思・判・表)絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結びつけて想像することができている。 (主学)いろいろな言葉にふれ、親しみを持って取り組もうとしている。	単元１ 「身近なものの名前を知ろう」	・食べ物、乗り物、身体の部位、生活用品、など身近なものの名前を聞いて絵カードを選択する。(知及び技に関する内容) ・学習した言葉を、絵本や挿絵などから探して文字とマッチングさせる。(思判表力に関する内容) ・カードや絵本など自分で好きな学習教材を選択する。(学・人に関する内容)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期		(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)絵本の読み聞かせを聞くことができる。(中１段階：Cア) (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中1段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思・判・表)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞くことができている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持って聞こうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ②」	・周りの人とのやり取りの中で言葉の持つ働きについて知る。(知及び技に関する内容) ・音を模倣したり身振りで表現したりする。(思判表力に関する内容) ・季節に合った内容の絵本や短い話など複数の中から自分で選択する。(学・人に関する内容)
		(知及技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができる。(小２段階：Bイ) (学･人)文字や形を書くことに興味を持って取り組むことができる。(中1段階)	(知・技) 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができている。 (思・判・表)自分の名前や物の名前を文字でなぞったり、書いたりすることができている。 (主学)文字や形を書くことに興味を持って取り組もうとしている。	単元３ 「自分で選んでやってみよう」	・姿勢や筆記用具の持ち方などを意識して書く。(知及び技に関する内容) ・書きやすい筆記用具を選択し、線引きや自分の名前のなぞり、模写などの練習に繰り返し取り組む。(思判表力に関する内容) ・線や曲線、文字など複数の課題から、自ら選択し取り組む。(学・人に関する内容)
3学期		(知及技) 様々な筆記用具があることを知り、それらを活用して書くことができる。(中1段階ウ(ウ)) (思判表力)簡単な語句や形を毛筆で書くことができる。(小３段階Bウ) (学･人)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しむことができる。(中1段階)	(知・技) 筆記用具を選択し、道具の特徴をいかして書こうとしている。 (思・判・表)簡単な語句や形を毛筆で書くことができている。 (主学)様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうとしている。	単元１ 「道具を使って書いてみよう」	・普段使用しない筆記用具の筆や筆ペンなどを使用し、習字紙などに書く。(知及び技に関する内容) ・筆や筆ペンなどの感触を楽しみ、好きな文字を書いたり線を引いたりする。(思判表力に関する内容) ・様々な筆記用具に興味を持ち、感触を楽しもうと自由に取り組む。(学・人に関する内容)
		(知及技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができる。(中2段階ア(ア)) (思判表力)自分で選択した絵本を自身で読んだり、読み聞かせを楽しんだりことができる。(中２段階：C（ア）) (学･人)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきくことができる。(中2段階)	(知・技) 日常生活の中で、周りの人とのやり取りを通し、言葉には考えや思いを表す働きがあることに気づくことができている。 (思・判・表)好きな絵本を選択し、話の内容に興味を持って聞いたり、伝えようとしている。 (主学)読み聞かせを通して、言葉の響きやリズムに親しみを持ってきこうとしている。	単元２ 「絵本の読み聞かせ③」	・読み聞かせを通して、様々な言葉を学習し語彙を増やす。(知及び技に関する内容) ・絵本や簡単な表現を声に出して読む。(思判表力に関する内容) (主学)図書室で様々な本に触れ自分で選択する楽しさを感じる。
		(知及技) 短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(中2段階ウ(ア)) (思判表力)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができる。(小2段階Cエ) (学･人)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しむことができる。(中2段階)	(知・技) 短い文や詩などを音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができている。 (思・判・表)短い文や詩などを読んだり、聞いたりして好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりすることができている。 (主学)友達や教師と一緒に、挨拶や呼びかけなどを表現し、相手とのやり取りを楽しもうとしている。	単元３ 「やりとりを楽しもう」	・短い文や詩などを暗唱し言葉の響きやリズムに親しむ。(知及び技に関する内容) ・気に入った言葉や音を読んだり聞いたりして、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣する。(思判表力に関する内容) ・音やリズムをつけながら繰り返し挨拶したり模倣したりして、表情や身振り、簡単な話し言葉で交流する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等		・全ての単元において、提出物、発表、課題への取り組み状況を評価資料とする。			

令和　7　年度 高等部　3年（Ⅱ課程A類型①②グループ）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高3年 7 名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高２段階） (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高２段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	（知及技） 現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㋐） （高2段階：カ（ア）㋐） （思・判・表） 自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㋑） （高2段階：カ（ア）㋑） （学・人） 現代社会の課題解決について考えようとすることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑）	（知・技）現代社会の特徴を理解している。 （思・判・表）自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現している。 （主学）現代社会の課題解決について考えようとしている。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加･自立 ・これからの社会
	8	（知及技） 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㋑） (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑） (学･人) 戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。 （高2段階：カ（ア）ア）	(知・技）戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解している。 (思･判･表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学）戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとしている。	沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㋐） （思判表力）なりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㋑） （学・人）自立へ向けて考えることができる。（高1段階：ア（ア）㋑）	（知・技）青年期の特徴について理解している。 （思判表力）なりたい自分について考え表現している。 （主学）自立できるために、考える様子が見られる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題 ・単元を通して学んだこと
	10	（知及技） 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㋐） (思判表力) ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㋑） (学･人) よりよいルールについて考えようとすることができる。（高2段階：イ（イ（㋑）））	(知・技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことを理解している。 (思･判･表)ルールの意義について考えている。 (主学）よりよいルールについて考えようとしている。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの？ ・日本国憲法と明治憲法 ・民主主義って？

2学期	9	（知及技） 多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） (思判表力) 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㋐） （学・人） 選挙で代表を選ぶこと、国民の権利や意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）	（知・技）多数決の原理について理解している。 （思・判・表）模擬選挙の際、代表者を選択している。 （主学）マニフェストを調べている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙 ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	(知及技)公共施設や公共交通機関の利用の仕方を知ることができる。(高1段階：イ(ア)㋐) （思判表力）目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択することができる。(高1段階：イ（ア)㋑) （学・人）公共施設や公共交通機関の利用方法について調べることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技）公共施設や公共交通機関の利用の仕方を理解している。 (思･判･表)目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択している。 (主学）公共施設や公共交通機関の利用方法について調べている。	公共交通機関	・公共施設とは ・公共施設の利用方法 ・公共交通機関とは ・公共交通機関の利用方法
3学期	8	(知及技)社会参加するためのきまりや公共施設の役割･制度などを卒業後の生活と関連付けて理解することができる。(高1段階：ア(ア)㋐) （思判表力）自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択･判断するすることができる。(高1段階：ア(イ)㋑) （学・人）卒業後の生活がどのように変わるのか考えることができる。(高1段階：ア(ウ))	(知・技）社会参加するためのきまりや公共施設の役割･制度などを卒業後の生活と関連付けて理解している。 (思･判･表)自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択･判断している。 (主学）卒業後の生活がどのように変わるのか考えようとしている。	卒業後の生活	･一日のスケジュールの違い ･交通手段や交通費 ･一日に必要なお金
	6	（知及技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （思判表力）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （学・人）時事問題を調べることができる。（高1段階：オ（イ）㋑）	（知・技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解している。 （思・判・表）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表している。 （主学）時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等	授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和　7　年度 高等部　3年（Ⅱ課程A類型③④グループ）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	高３年14名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高２段階） (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高２段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	（知及技） 現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㋐）（高2段階：カ（ア）㋐） （思・判・表） 自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑） （学・人） 現代社会の課題解決について考えようとすることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）（高2段階：カ（ア）㋑）	（知・技）視聴覚教材に注目している。また復習テストで正解できる。 （思・判・表）視聴覚教材を見ながら、発問について考え表現している。 （主学）現代社会の課題解決についてのクイズに答えたり、考えたりしている。	現代社会と私たち	・私たちの生活の変化 ・社会参加･自立 ・これからの社会
	8	（知及技） 戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報から戦争までの経過や戦争の様子、戦争が人々に及ぼした影響を理解できる。（中2段階：オ（イ）㋑） (思判表力) 戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高2段階：オ（イ）㋑） (学･人) 戦争や紛争がなくならない国際社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割を知った上で、よりよい平和な社会を実現しようとすることができる。 （高2段階：カ（ア）ア）	(知・技）戦時下の国民生活などに関する映像や資料から得た情報をもとに戦争までの経過や様子、人々に与えた影響について考えようとしている。 (思･判･表)戦中戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学）戦争や紛争がなくならない現代社会において、平和の尊さと日本の果たすべき役割やよりよい社会の実現を考えようとしている。	沖縄の歴史と文化	・先史時代・古琉球時代 ・琉球王国・近代 ・第二次世界大戦 ・戦時下の国民の暮らし ・沖縄戦・戦後の沖縄 ・慰霊の日・基地問題 ・単元を通して学んだこと
	8	（知及技） 青年期の特徴について理解することができる。（高1段階：ア（ア）㋐） （思判表力）なりたい自分について考え表現できる。（高1段階：ア（ア）㋑） （学・人）自立へ向けて考えることができる。（高1段階：ア（ア）㋑）	（知・技）教師の説明や視聴覚教材に着目し、青年期の特徴についての復習テストに答えることができる。 （思判表力）視聴覚教材をみて、自らの現状やなりたい自分について考えている様子がある。 （主学）視聴覚教材を見て、自立するためにどうすればいいのか考える様子が見られる。	青年期	・「おとな」とは？ ・自分を知ろう ・見る自分、見られる自分 ・青年期の課題 ・単元を通して学んだこと

2学期	10	（知及技） 日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高1段階：イ（イ）㋐） （思判表力） ルールの意義について考えることができる。（高2段階：イ（イ）㋑） （学･人） よりよいルールについて考えようとすることができる。（高2段階：イ（イ（㋑）））	（知・技）教師の説明や視聴覚教材に着目している。または復習テストで正解できる。 （思･判･表）視聴覚教材をみて考えている様子がある。 （主学）視聴覚教材を見て新しいルールについて考えている様子がある。	憲法と民主主義	・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と明治憲法 ・民主主義って？
	9	（知及技） 多数決の原理について理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） （思判表力） 模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中1段階：ア（ア）㋐） （学・人） 選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。マニフェストを調べることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）	（知・技）数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 （思・判・表）代表者を選択する理由がある。 （主学）プリントに自分の考えをまとめている。	選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙 ・立候補者一覧表を作ろう ・マニフェストを調べよう
	9	(知及技)公共施設や公共交通機関の利用の仕方を知ることができる。(高1段階：イ(ア)㋐) （思判表力）目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択することができる。(高1段階：イ（ア)㋑) （学・人）公共施設や公共交通機関の利用方法について調べることができる。(高1段階イ(イ))	(知・技）公共施設や公共交通機関の利用の仕方を理解している。 (思･判･表)目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択している。 (主学）公共施設や公共交通機関の利用方法について調べている。	公共交通機関	・公共施設とは ・公共施設の利用方法 ・公共交通機関とは ・公共交通機関の利用方法
3学期	8	(知及技)社会参加するためのきまりや公共施設の役割･制度などを卒業後の生活と関連付けて理解することができる。(高1段階：ア(ア)㋐) （思判表力）自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択･判断するすることができる。(高1段階：ア(イ)㋑) （学・人）卒業後の生活がどのように変わるのか考えることができる。(高1段階：ア(ウ))	(知・技）社会参加するためのきまりや公共施設の役割･制度などを卒業後の生活と関連付けて理解している。 (思･判･表)自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択･判断している。 (主学）卒業後の生活がどのように変わるのか考えようとしている。	卒業後の生活	･一日のスケジュールの違い ･交通手段や交通費 ･一日に必要なお金
	6	（知及技）時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （思判表力）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高1段階：オ（イ）㋑） （学・人）時事問題を調べることができる。（高1段階：オ（イ）㋑）	（知・技）時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 （思・判・表）着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 （主学）新聞や情報通信機器などを用いて時事問題を調べている。	新聞を読もう	・新聞切り抜き ・コメント発表 ・気になる発表を選ぼう
留意点 引継ぎ等	授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和　7　年度 高等部　3年（Ⅱ課程B類型）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高3年 9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度等社会生活との関連を踏まえて理解するとともに情報を適切に調べてまとめる技能を身につけるようにする。（高１段階） (思判表力)社会的事象を自分の生活と結びつけて考える力、社会との関わり方を選択・判断する力、表現する力を養う。（高１段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解することができる。（中２段階：ア（イ）㋐） (思判表力)社会生活に必要なきまりの意義について考え、表現することができる。 （中１段階：ア（イ）㋑） (学･人) 学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。 （高１段階）	(知・技）地域社会を送る上であいさつや交通ルール等が大切だと知り、質問に対し答えている。 (思･判･表）家庭や学校でのきまりで学んだことを実際に行っている。 (主学)あいさつやルール、マナー等、守ろうとする姿勢が見られる。	【社会参加ときまり】 ・交通ルール ・あいさつ ・一人でやってみよう	・挨拶、返事、身だしなみ ・ルールやマナー、きまり ・手洗い ・ロッカー整理
	8	（知及技）戦争当時の様子や戦後までの経過を知ることができる。（中２段階：オ（イ）㋐） （思判表力）当時の人々の生活の様子や思いを共感的に捉え、表現することができる。（中２段階：オ（イ）㋑） （学・人）作業において分担された個人の役割を教師と一緒に行うことができる。（小生２段階：カ（ア））	（知・技）戦後の写真や戦争の写真等、視聴覚教材に着目している。 (思･判･表）戦後や戦争の写真を見て、質問に答えたり、反応したりしている。 (主学)友達と一緒に活動し、教師と一緒に簡単な役割を行っている。	【我が国の地理や歴史】 ・平和学習	・復帰記念日 ・慰霊の日 ・募金箱づくり ・平和の鳩
	8	（知及技）地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解することができる。（中２段階：ウ（ア）㋐） （思判表力）過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現することができる。（中２段階：ウ（ア）㋑） （学・人）地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	（知・技）地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に様々な備えをしていることを理解している。 (思･判･表）学校にある防災器具を見つけたり、地域の防災施設や関係機関を探したりすることができる。避難場所まで落ち着いて移動している。 (主学)火災が起こらないように、火を扱う際のルールや注意事項を守っている。	【地域の安全】 ・防災学習（火災）	・消防の役割 ・火災避難訓練事前学習
	10	（知及技）身近な公共施設や公共物の役割を知ることができる。 （中１段階：イ（ア）㋐） （思判表力）公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。（中１段階：イ（ア）㋑） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。 （高１段階）	（知・技）身近な公共施設や公共物の役割を理解している。 (思･判･表））公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現している。 (主学)）マナーを守って公共施設を利用しようとしている。	【公共施設の役割と制度】 ・公共施設の役割	・教室や各特別教室の役割と利用 ・公共物の役割と使い方 ・公共施設の役割

2学期	4	（知及技） 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行うことができる。(小生２段階:カ(イ)) （思判表力） 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告することができる。(小生２段階:カ(ア)) （学・人）集団参加の中で簡単な役割を果たそうとすることができる。 (小生３段階:カ(イ))	（知及技） 友達と一緒に活動を行い、簡単な役割を教師の援助を受けながら行っている。 （思判表力） 自分に与えられた役割を理解し、活動が終わった後には自ら報告している。 （学・人）集団参加の中で簡単な役割を果たしている。	【役割】 ・一緒にやってみよう ・自分の役割に取り組もう	・制作 ・簡単なお仕事
	6	(知及技）生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを知ることができる。（中１段階：エ（ア）㋐） (思判表力)仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することができる。（中１段階：エ（ア）㋑） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。 (思・判・表)興味のある仕事を選択している。 (主学)仕事に前向きな態度を示している。	【産業と生活】 ・生産の仕事	・生産の仕事 ・仕事の種類や工程
	10	（知及技）人々の生活の様子を大まかに理解することができる。（中２段階：カ（イ）㋐） （思判表力）世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉え、交流することの大切さを考え、表現することができる。（中２段階：カ（イ）㋑） （学・人）国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）人々の生活の様子を大まかに理解している。 (思･判･表）世界の出来事などに着目して、それらの国の人々の生活の様子を捉えている。 (主学)国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚している。	【外国の様子】 ・グローバル化する世界	・世界の人々と文化
3学期	4	（知及技）我が国の政治の基本的な仕組みや働きについて理解することができる。（高１段階：イ（イ）㋐） （思判表力）国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現することができる。（高１段階：イ（イ）㋑） （学・人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）選挙の方法について理解している。 (思･判･表）選挙ポスター等を活用し誰に投票するか考えている。 (主学)授業で学んだことを生かし、生徒会選挙や地域の選挙で投票している。	【公共施設の役割と制度】 ・選挙について（主権者教育）	・模擬投票 ・生徒会役員選挙
	10	（知及技）学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。（中１段階：ア（ア）㋐） （思判表力）集団生活の中で何が必要かに気付き、自分の役割を考え、表現することができる。（中１段階：ア（ア）㋑） （主学）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養うことができる。（高１段階）	(知・技）話をする・聞く等の集団生活の中で必要な知識や技能を身に付けている。 (思･判･表）集団生活の中での自分の役割を考え、表現することができる。 (主学)良い生活習慣を送ったり、周囲の人と仲良く過ごすために、前向きな姿勢になれる。どうすれば良いのか考えようとしている。	【社会参加ときまり】 ・卒業後に向けて	・事業所での過ごし方 ・余暇時間の過ごし方
留意点 引継ぎ等		授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程A類型①②グループ）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒について	担当者	教科書／副教材
3/105	３学年①②７名		

目標：（知及技）知識及び技能　　（思判表力）思考力、判断力、表現力等　　（学･人）学びに向かう力･人間性等
評価：（知・技）知識・技能　　（思･判･表）思考･判断・表現　　（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）数量や図形について基礎的・基本的な概念や性質を理解し事象を数学的に解釈したり、表現・処理する技能を身に付けることができる。（高２段階） （思判表力）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表す力を身に付けることができる。（高２段階） （学･人）　数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り課題を解決しようとする態度を養う。また、職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら事象の解決に取り組むことができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	9	（知及技）分数の意味を知り、分数の相等について理解することができる。（高２段階） （思判表力）分数を構成する単位分数に着目し、分数の相等及び大小関係について考えることができる。（高２段階） （学・人）分数の意味や分数の相等及び大小関係について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき、生活や学習に活用することができる。（高２段階）	（知・技）分数の意味や表し方を知り、分数の相等について理解することができている。 （思･判･表）分数を構成する単位分数に着目し、分数の相等及び大小関係を考えることができている。 （主学）分数の意味や分数の相等及び大小関係について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき、生活や学習に活用することができている。	【A数と計算】 ・分数	○数と計算 （分数） ・分数の意味 ・同じ大きさの分数を見つける ・分数の大小を比べるためには？ ・分数の約分と通分
	9	（知及技）異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。（高２段階） （思判表力）分数の意味や表現に着目し、通分を用いた計算の仕方を考えることができる。（高２段階） （学・人）異分母の分数の相等及び大小関係や、加法及び減法の計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさに気づき、今後の学習に活用しようとすることができる。	（知・技）分数の性質や通分、約分の意味を理解し、異分母の分数の加法及び減法の計算ができている。 （思･判･表）単位分数に着目して、異分母の分数の相等及び大小関係や、加法及び減法の計算の仕方を図や式などを用いて考えている。 （主学）異分母の分数の相等及び大小関係や、加法及び減法の計算に通分を用いたことを振り返り、そのよさに気づいて今後の学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・分数の加法及び減法	○数と計算 （分数の加法及び減法） ・異分母の分数の加法及び減法 ・分数の約分と通分
	9	（知及技）乗数が整数や被除数が整数の場合において、分数の乗法及び除法の意味を理解できる。 （思判表力）分数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。 （学・人）分数の乗法及び除法の計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさに気づき、今後の学習に活用しようとすることができる。	（知・技）分数の乗法及び除法の意味について理解している。 （思・判・表）分数を除法の結果と捉えたり、乗法及び除法に関して成り立つ性質、交換法則や結合法則などの四則に関して成り立つ性質、成り立たない性質について考えている。 （主学）分数の乗法及び除法の計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさに気づき、今後の学習に活用しようとしている。	【A数と計算】 ・分数の乗法及び除法	○数と計算 （分数の乗法及び除法） ・ケーキ「７分の３切れ」が２つ集まった量はどれくらい？ ・ピザ１枚の中に「４分の１切れ」はいくつある？ ・分数の乗法と除法

	9	（知及技）倍数、約数について知り、整数の性質への理解を深めることができる。（高２段階） （思判表力）観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えることができる。（高２段階） （学・人）整数を乗法や除法に着目して類別した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用することができる。（高２段階）	（知・技）倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めることができている。 （思･判･表）乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の2つの集合に類別してとらえたり、倍数と約数の集合をとらえたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。 （主学）観点を決めて整数を類別したり、類別した数の集合をとらえたりした過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。	【A数と計算】 ・整数の性質及び整数の構成	○数と計算 （整数の性質及び整数の構成） ・奇数と偶数に分ける ・約数、倍数を見つけよう ・公倍数を探そう ・公約数を探そう
２学期	12	（知及技）身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることでおよその面積を求めることができる。（高２段階） （思判表力）図形を構成する要素や性質に着目し、面積の求め方を筋道立てて考えることができる。（高２段階） （学・人）既習の面積の学習に基づき概測などを用いて目的に応じて能率よく測定した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。（高２段階）	（知・技）身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることができている。また、およその面積を求めることができている。 （思･判･表）図形を構成する要素や性質に着目し、身の回りにあるものの形について、その概形をとらえ、およその面積の求め方を筋道立てて考えている。 （主学）図形の概形をとらえたり、およその面積を求めた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしている。	【B図形】 ・身の回りにある形の概形やおよその面積など	○図形 （身の回りにある形の概形やおよその面積など） ・似ている図形を見つけよう ・およその形とおよその面積 ・日本の概形をとらえ、およその面積を求めてみよう ・沖縄県本島の概形をとらえ、およその面積を求めてみよう
	21	（知及技）直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階） （思判表力）図形を構成する要素に着目し、図形の体積について考えることができる。（高２段階） （学・人）立体図形の体積の求め方について公式を導いた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。（高２段階）	（知・技）直方体の体積は底面積×高さにまとめられることを理解している。また、直方体の体積を求めることができている。 （思･判･表）図形を構成する要素に着目し、柱体の体積の求め方を直方体の体積の求め方から類推し、図や式を用いて考え、説明しようとしている。 （主学）立体図形の体積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【B図形】 ・立体図形の体積	○図形 （立体図形の体積） ・立方体や直方体の体積 ・角柱や円柱の体積

	9	（知及技）簡単な場合の比例の関係について理解することができる。（高２段階） （思判表力）伴って変わる２つの数量やそれらの関係を表を用いて考えることができる。（高２段階） （学・人）伴って変わる２つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用することができる。（高２段階）	（知・技）簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができている。 （思･判･表）伴って変わる２つの数量やそれらの関係を表を用いて考えようとしている。また、比例の関係を使った問題解決の仕方を考え、説明しようとしている。 （主学）簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる２つの数量	○変化と関係 （伴って変わる２つの数量） ・比例の関係 ・１週間勤務すると給料はいくら
３学期	27	（知及技）起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。（高２段階） （思判表力）事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。（高２段階） （学・人）数学的表現を用いて落ちや重なりのないように調べた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用することができる。（高２段階）	（知・技）起こりうる場合を整理するために図や表を用いる方法があることを理解している。 （思･判･表）事象の特徴に着目し、順列や組合せについて、落ちや重なりのないように図や表を適切に用いたり、名称を記号化して端的に表すなどして、順序よく筋道立てて考察することができている。 （主学）起こりうる場合を整理するために図や表などを用いて工夫したり、落ちや重なりがないように調べた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	【Dデータの活用】 ・起こりうる場合の数	○データの活用 （起こりうる場合の数） ・並べ方（順列）、組合せ ・食べ物と飲み物の組合せは何通り？ ・図の中に□、△はいくつある？
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程A③④グループ　）数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	３学年　14名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	(知及技) ３～４位数の加減法を筆算を用いて計算することができる。(高1段階A工) (思判表力)３～４位数の加減法の筆算について、数の構成に着目し、２位数の加減法の筆算から類推することができる。(高1段階A工) (学･人)３～４位数の加減法の筆算の仕方や式から、考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用することができる。(高1段階A工)	(知･技)４位数の加減法を筆算を用いて計算することができる。 (思･判･表)２位数の加減法の筆算から計算方法を類推することができる。 (主学)３～４位数の加減法の筆算の仕方や式から、考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理の良さに気づき、今後の生活や学習に活用することができる。	【A数と計算】 ・整数の加法と減法	○数と計算 （整数の加法と減法） ・３位数の加減法の筆算。 ・３位数の加法について、繰り上がりの計算を考える。 ・３位数の減法について、繰り下がりの計算を考える。 ・４位数の加減法について考える。
		(知及技)かけ算九九の計算ができる。九九を用いて、２位数×１位数の計算ができる。 （高1段階Aオ） (思判表力)乗法に関する性質や決まりから、２位数×１位数の計算について考えることができる。 （高1段階Aオ） (学･人)日常の問題解決にむけて乗法の性質やきまりを活用することができる。 （高1段階Aオ）	(知・技)かけ算九九の計算ができる。九九を用いて、２位数×１位数の計算ができる。 (思・判・表)乗法に関する性質や決まりから、２位数×１位数の計算について考えることができる。 (主学)日常の問題解決にむけて乗法の性質やきまりを活用しようとしている。	【A数と計算】 ・整数の乗法 ・整数の性質及び整数の構成	○数と計算 （整数の乗法）（整数の性質及び整数の構成） ・かけ算九九 ・乗法について図を用いて考える。 ・10の段を考える。 ・２位数×１位数の計算を考える。 ・簡単に計算できる方法を考える。 ・倍数の性質について考える。
		(知及技)端数部分の大きさを小数を用いて表すことができる。「小数」、「小数点」、「整数」について理解することができる。 （高1段階Aキ） (思判表力)数直線を用いて、整数の大小関係同様に、小数の大小関係を考え、説明することができる。（高1段階Aキ） (学･人)身近な場面で活用されている「小数」に気付き、学習した内容を生かすことができる。 （高1段階Aキ）	(知・技)端数部分の大きさを小数を用いて表すことができる。「小数」、「小数点」、「整数」について理解している。 (思・判・表)数直線を用いて、整数の大小関係同様に、小数の大小関係を考え、説明することができる。 (主学)身近な場面で活用されている「小数」に気付き、学習した内容を生かそうとしている。	【A数と計算】 ・小数とその計算	○数と計算 (小数とその計算) ・水を１Lの升で量ったときの。１Lに満たない端のかさの表し方を考える。 ・紙テープの長さを小数で表す。 ・数直線を活用して小数の大小関係について考える。 ・小数第一位どうしの加減法の計算。 ・小数第一位までの加減法の筆算。
		(知及技) 伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて変化の特徴を調べることができる。（高1段階Cア） (思判表力) 伴って変わる二つの数量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考えることができる。（高1段階Cア） (学･人) 二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができる。 （高1段階Cア）	(知･技) 伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて調べることができている。 (思･判･表) 伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考えることができている。 (主学) 二つの数量の関係を表で調べることの良さに気付くことができている。	【C変化と関係】 ・伴って変わる二つの数量	○変化と関係 （伴って変わる二つの数量） ・表を用いて数量の変化について調べる。 ・比例について詳しく調べる。

2学期	42	(知及技)縮図や拡大図について理解することができる。対象な図形について理解することができる。（高2段階Bア） (思判表力)図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えることができる。（高2段階Bア） (学・人)図形の性質を元に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かすことができる。（高2段階Bア）	(知・技)縮図や拡大図について理解することができる。対象な図形について理解することができる。 (思・判・表)図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えることができる。 (主学)図形の性質を元に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かそうとしている。	【B図形】 ・平面図形 ・縮図や拡大図	○図形 （平面図形）（縮図や拡大図） ・同じ形で大きさが違う図形について、対応する辺の長さの比や書くの大きさを調べる。 ・縮図や拡大図の性質を調べる。 ・縮図や拡大図の書き方を考える。 ・直接計れないものを縮図をかいて求める。
		(知及技)身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。（高2段階Bイ） (思判表力)図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考えることができる。（高2段階Bイ） (学・人)概形の捉え方や面積などの求め方を学び、日常生活に生かすことができる。（高2段階Bイ）	(知・技)身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。 (思・判・表)図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考えることができる。 (主学)概形の捉え方や面積などの求め方を学び、日常生活に生かそうとしている。	【B図形】 ・身の回りにある形の概形やおよその面積など	○図形 （身の回りにある形の概形やおよその面積など） ・身の回りの形について、概形を取らえる。 ・身の回りにある色々なもののおよその面積を求める。 ・地図を使って、都道府県や市町村のおよその面積を求める。
		(知及技)比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。（高2段階Cイ） (思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。（高2段階Cイ） (学・人)数量の関係の比べ方を学び、日常生活に生かすことができる。（高2段階Cイ）	(知・技)比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。 (思・判・表)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。 (主学)数量の関係の比べ方を学び、日常生活に生かすことができる。	【C変化と関係】 ・二つの数量の関係	○変化と関係 （二つの数量の関係） ・比の意味と表し方。 ・線分図で比を表す。 ・同じ味のソースを作るために必要なことを考える。 ・比の値と等しい比の意味を考える。 ・簡単な比で表す。 ・小数や分数で表された比を簡単な比で表す。
3学期	27	(知及技)代表値の意味や求め方を理解することができる。度数分布表や柱状グラフの特徴及び、それらを用い方を理解することができる。（高2段階Dア） (思判表力)目的に応じてデータを集め、分類整理し、データの特徴や傾向に着目することができる。代表値を求めて問題の結論について判断することができる。（高2段階Dア） (学・人)代表値や表やグラフを学び、日常生活の問題解決に生かすことができる。（高2段階Dア）	(知・技)代表値の意味や求め方を理解することができる。度数分布表や柱状グラフの特徴及び、それらを用い方を理解することができる。 (思・判・表)目的に応じてデータを集め、分類整理し、データの特徴や傾向に着目することができる。代表値を求めて問題の結論について判断することができる。 (主学)代表値や表やグラフを学び、日常生活の問題解決に生かそうとしている。	【Dデータの活用】 ・データの収集とその分析	○データの活用 （データの収集とその分析） ・代表値（平均値、最頻値、中央値）の意味をしり、求める。 ・度数分布表、柱状グラフの読み方、書き方について学ぶ。 ・資料を度数分布表に整理する。 ・度数分布表から柱状グラフを作成する。 ・いろいろなグラフの特徴や読み方について考える。 ・一部の資料から全体の傾向を調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（Ⅱ課程B類型）　　数学科年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
３単位 １０５時間	３学年Ⅱ課程B類型（９人）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付けるようにする。（高１段階） (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。また、 職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	(知及技）数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数の系列を理解することができる。【小３段階Ａ数と計算】 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の数え方を考えることができる。【小３段階Ａ数と計算】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）１００までの数について、数詞を唱えたり、個数を数えたり書き表したり、数を順序よく並べたりしている。【小３段階Ａ数と計算】 (思･判･表)シールや磁石等の具体物を使って、２ずつ、５ずつ数えることを活用し、１０のまとまりを作りながら数えている。【小２段階Ａ数と計算】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	１００までの数の数え方や表し方【小３段階Ａ数と計算ア】	○数と計算 ・「１０ずつまとめて数えてみよう」 数える対象を２ずつ５ずつのまとまりで数える。数を１０のまとまりとして数えたり、１０のまとまりと端数に分けて数えたり書き表したりする。
	12	(知及技）計算機を用いて加法及び減法の計算ができる。【中１段階Ａ数と計算】 (思判表力)図に表された数量の関係を式にしたり、式に表された数量の関係を図に表すことができる。【中１段階Ａ数と計算】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）計算機を使って加法及び減法の計算ができている。【中１段階Ａ数と計算】 (思･判･表)絵カードや磁石等の具体物を使って式を立てたり、式から数量の関係を具体物を使って表したりしている。【中１段階Ａ数と計算】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	整数の加法及び減法【中１段階Ａ数と計算イ】	○数と計算 ・「なに算を使うか考えよう」 計算機やiPadを使って、具体的な生活の場面における簡単な加法及び減法の計算をする。
	12	(知及技）計器を利用して、長さ・重さを測定することができる。【中１段階Ｃ測定】 (思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。【中１段階Ｃ測定】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）端をものさしの０の目盛りをあて、長さを測っている。電子秤を０にしてから、物を乗せ重さを測っている。【中１段階Ｃ測定】 (思･判･表)測定する対象の大きさや形状に応じた単位や計器を選んで測定し、量を比較している。【中１段階Ｃ測定】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	量の単位と測定【中１段階Ｃ測定ア】	○測定 ・「長さ・重さを測ってみよう。比べてみよう。」 目盛の原点を対象の端に当てて測定する。長さ・重さの単位を知る。長さ・重さについて、およその見当をつけ、単位を選択したり、計器を用いて測定する。
	17	(知及技）三角形や四角形について知ることができる。【中１段階Ｂ図形】 (思判表力)図形を比較して違いや共通点に気付き、身の回りのものの形を図形として捉えることができる。【中１段階Ｂ図形】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）図形の基本が分かり、形を作ることができている。 (思･判･表)図形を比較して違いや共通点に気付き、身の回りのものを種類ごとに図形を分類している。【中１段階Ｂ図形】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	図形【中１段階Ｂ図形ア】	○図形 ・「三角形、四角形をつくろう」 三角形や四角形の特徴を理解する。ストロー等の具体物を使って、形をつくる。図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見出し、身の回りのものの形を図形として捉える。

2学期	15	(知及技）時間の単位（秒）について知ることができ、日常生活に必要な時刻や時間をもとめることができる。【中１段階Ｃ測定】 (思判表力)秒の速さ・秒間の長さを比較することができる。【中１段階Ｃ測定】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）計器（iPad等のメトロノームやストップウォッチ）を使って、手拍子したり計測結果を読み取ったりすることができている。また、時計の表示から時刻を読み取ることができている。【中１段階Ｃ測定】 (思･判･表)秒数の計測結果を速い（長い）順に並べ、順位を決めることができている。【中１段階Ｃ測定】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	時刻や時間【中１段階Ｃ測定イ】	○測定 ・「時計を読もう・秒で計ろう」 時間の単位（秒）について知る。また、長針と短針の示す時間を理解し、時計の表示から時刻を読み取ることる。１日の時間の流れに沿って、活動イラストを順に貼り付ける。
	10	(知及技）変化の様子を表や式を用いて表したり，変化の特徴を読み取ったりすることができる。【中２段階Ｃ変化と関係】 (思判表力)伴って変わる二つの数量の関係に着目し，表や式を用いて変化の特徴を考察することができる。【中２段階Ｃ変化と関係】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）ピンが倒れる数の変化に気づき、表などで表すことができている。【中２段階Ｃ変化と関係】 (思･判･表)ボールの大きさが変化したとき、ピンが倒れる数の変化に気づき、いっぱい倒すためにどうすればよいかを考察できている。【中２段階Ｃ変化と関係】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	いっぱい倒そうボウリング【中２段階Ｃ変化と関係】	○ボウリング ・「多種多様なボールを使ってボウリング」 目的達成のために必要な情報を考察する。試行を重ねて変化を確認し、どのボールが効率よくピンを倒すことができるか考察する。
3学期	15	(知及技）身の回りにある数量を簡単な表やグラフに表すことができる。【中１段階Ｄデータの活用】 (思判表力)表をみて多少を比べながら、順位を考えたり並び替えたりすることができる。 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）具体物の数量を、シールや磁石を使って表やグラフで表している。【中１段階Ｄデータの活用】 (思･判･表)表の比較から、物の順位を判断したり、順番に並び替えている。【中１段階Ｄデータの活用】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	身の回りにあるデータを簡単な表やグラフで表したり、読み取ったりすること【中１段階Ｄデータの活用】	○データの活用 ・「いくつできたかな？」「人気メニューを調べよう」 グラフと表の見方を知る。具体物の数量を簡単な表やグラフに表して整理する。グラフや表の比較から、物の順位を考えたり、提示された順番に並べる。
	12	(知及技）かさの単位（ｍＬ、Ｌ）について知り、測定の意味を理解できる。【中１段階Ｃ測定】 (思判表力)身の回りの物の特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを比べることができる。【中１段階Ｃ測定】 (学･人)数学的活動に関心をもち、生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技）計量カップや計量スプーンを使って、計量することができている。中１段階Ｃ測定】 (思･判･表)ペットボトル等の身近なかさの量感を感じ、量の大きさを比べることができている。【中１段階Ｃ測定】 (主学)数学的活動に関心をもち、興味を持って学習に取り組んでいる。【高１段階】	量の単位と測定【中１段階Ｃ測定ア】	○測定 ・「かさを比べよう。粉ミルクや粉ジュースをつくってみよう。」 計量カップや計量スプーンを使って、計量する。身の回りのかさの量感を感じ、量の大きさを比べる。 (知及技）中１段階Ｃア㋐㋑ (思判表力)中１段階Ｃア㋐ (学･人)高１段階
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部　3年（　Ⅱ課程　A類型①②　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	7名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高２段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高２段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。【中１段階】 (思判表力)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 (思･判･表)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○磁石の性質	○磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる。 ○単元「磁石の性質」 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物 ・N極とS極の特徴 ・磁石が使われている製品
	4	(知及技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことがわかる。【高１段階】 (思判表力)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【高１段階】 (学･人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思･判･表)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	4	(知及技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高２段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
	4	(知及技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中１段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現することができる。【中１段階】 (学･人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思･判･表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高１段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 (思･判･表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることがわかる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高２段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることを理解している。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思･判･表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3学期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高２段階】 (思判表力)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思･判･表)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現することできる。【高２段階】 (学･人)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思･判･表)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現しようとしている。 (主学)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について，力を加える位置や力の大きさに着目して，てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてことその利用
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。 【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　天気の観察			

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程　A類型③④　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	14名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高２段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高２段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。【中１段階】 (思判表力)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 (思･判･表)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○磁石の性質	○磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる。 ○単元「磁石の性質」 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物 ・N極とS極の特徴 ・磁石が使われている製品
	4	(知及技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことがわかる。【高１段階】 (思判表力)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【高１段階】 (学･人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思･判･表)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	4	(知及技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高２段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
	4	(知及技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中１段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現することができる。【中１段階】 (学･人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思･判･表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高１段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 (思･判･表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることがわかる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高２段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることを理解している。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思･判･表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3学期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高２段階】 (思判表力)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思･判･表)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現することできる。【高２段階】 (学･人)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思･判･表)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現しようとしている。 (主学)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について，力を加える位置や力の大きさに着目して，てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてことその利用
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。 【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　天気の観察			

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程　B類型　）理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	9名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高２段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高２段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。【中１段階】 (思判表力)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 (思･判･表)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○磁石の性質	○磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる。 ○単元「磁石の性質」 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物 ・N極とS極の特徴 ・磁石が使われている製品
	4	(知及技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことがわかる。【高１段階】 (思判表力)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【高１段階】 (学･人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思･判･表)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	4	(知及技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高２段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
	4	(知及技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中１段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現することができる。【中１段階】 (学･人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思･判･表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高１段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 (思･判･表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることがわかる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高２段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることを理解している。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思･判･表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3学期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高２段階】 (思判表力)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思･判･表)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現することできる。【高２段階】 (学･人)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思･判･表)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現しようとしている。 (主学)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について，力を加える位置や力の大きさに着目して，てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてことその利用
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。 【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　天気の観察			

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高学部　３年（Ⅱ課程A類型　グループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3年Aグループ①②		MOUSA 1

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高等部２段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することがで きるようにする。（高等部２段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な 器楽の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部２段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な 歌唱の技能を身に付けるようにしている。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよ さや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部２段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な の技能を身に付けようとしている。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよ さや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部２段階）	〔歌唱〕 「曲の構成や歌詞の意味を理解して歌おう」 〔器楽〕 「多様な楽器の音色を感じて合奏しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて体を動かそう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴や変化から情景を想像しよう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。 ㋑声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身につける。 ㋑創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の声などを聴きながら，他者と合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㋑多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法，身体の使い方などの技能を身につける。 ㋑創意工夫を生かし，全体の響きや各声部の音などを聴きながら，他者と合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 (知識) (イ)㋐音のつながり方の特徴を理解する。 ㋑音素材の特徴及び音の重なり方や反復，変化，対照などの構成上の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な，課題や条件に　沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 ㋑曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム，曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㋑設定した条件に基づいて，様々な動きを組み合わせたり，即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能を身につける。 ㋒友達と動きを組み合わせたり，即興的に表現したりする技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ)㋐曲想及びその変化と，音楽の構造との関わりを理解する。㋑音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部２段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な 身体表現の技能を身に付けるようにする。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよ さや美しさを味わって表現することができるようにする。（高等部２段階）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な 創作の技能を身に付けようとしている。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよ さや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部２段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な 身体表現の技能を身に付けようとしている。（高等部2段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよ さや美しさを味わって表現しようとしている。（高等部２段階）	〔歌唱〕 「諸外国の声楽曲を通して、声の響きや言葉の特性を感じて歌おう」 〔器楽〕 「曲想や音楽の構成を生かして合奏しよう」 〔創作〕 「イメージを表現した音楽を作ろう」 〔鑑賞〕 「イメージと音楽との関りを感じよう」	
3学期	18	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。（高等部２段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする（高等部２段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部２段階）	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解しようとしている。（高等部２段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや，音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。（高等部２段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにしている（高等部２段階）	〔歌唱〕 「各声部の動きや全体の響きを感じながら合唱しよう」 〔身体表現〕 「動きを組み合わせたり友だちの動きに合わせてうごいたりして表現しよう」 〔鑑賞〕 「様々な音楽の歴史や背景を理解して聴こう」	

留意点引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する

令和年7度 高学部　　3年（Ⅱ課程A類型　グループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	3学年　A③④グループ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高等部２段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部２段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部２段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「リズムや音の高低を意識して歌おう」 〔器楽〕 「楽器の違いによる響きを感じて演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲に合わせて動きを真似してみよう」 〔鑑賞〕 「メロディーや音色などから、曲の雰囲気を感じ取ろう」	**A表現**〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりや背景などとの関わり及び音楽の多様性についについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりや背景などとの関わり及び音楽の多様性についについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。（高等部１段階） **B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりや背景などとの関わり及び音楽の多様性についについて理解する。（高等部２段階） (思判表力) 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高等部２段階）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部２段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部２段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） **B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「斉唱及び簡単な輪唱にチャレンジしよう」 〔器楽〕 「合奏の響きを感じながら演奏しよう」 〔創作〕 「いろいろな音色・長さを知り、音を組み合わせてみよう」 〔鑑賞〕 「音やリズム、楽器の音色など自分の好きなところを見つけよう」	〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)㋐創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 **B鑑賞** (知識) (イ)㋐音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などのとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
3学期	18	**A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部２段階）	**A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部２段階）	〔歌唱〕 「歌詞の内容を理解し曲に合う表現をしよう」 〔身体表現〕 「歌詞や曲名のイメージを手話や体で表現しよう」 〔鑑賞〕 「リズムの変化や音の移り変わりを感じよう」	

留意点引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、自己評価等で評価する

令和7年度 高学部３年（Ⅱ課程A類型Bグループ）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	３学年　Bグループ		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)
曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階）
(思判表力)
音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階）
(学･人)
主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「正しい声の出し方を意識して歌おう」 〔器楽〕 「打楽器・鍵盤楽器に挑戦しよう」 〔身体表現〕 「リズムの特徴や曲想を意識して体を動かそう」 〔鑑賞〕 「平和に関する曲の歴史を知ろう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 ㋑声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ㋒互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身につける ㋒各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。 〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する ㋑音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造との関わりを理解する ㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 ㋒友達と動きを組み合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。 B鑑賞 (知識) (イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。
2学期	28	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができるようにする。後半カット（高等部１段階）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な身体表現の技能を身につけている。（高等部１段階） (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。（高等部１段階）	〔歌唱〕 「歌詞をイメージして歌おう」 〔器楽〕 「好きな楽器に挑戦しよう」 「曲に合わせて演奏しよう」 〔創作〕 「音符をつなげて簡単なリズムや音楽を創ろう」 〔鑑賞〕 「楽器の特徴や音色の違いを聴いてみよう」 〔歌唱〕 「曲想を感じ、思いを込めて歌おう」 〔身体表現〕 「指揮に挑戦しよう」 「手話表現を体験しよう」 〔鑑賞〕 「自分のおすすめしたい曲を紹介しよう」 「友達の好きな曲を聴いてみよう」	
3学期	18	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。後半カット（高等部１段階） (思判表力) 前半カット　音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）	**B鑑賞** (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。（高等部１段階） **A・表現、B鑑賞を通して** (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができている。（高等部１段階）		

留意点引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 活動の様子、授業中の発言、表現や鑑賞への取り組み、自己の振り返り等で評価する

令和　7年度 高等部　3年（　Ⅱ課程A類型　①②グループ　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3学年7名		高校生の美術１（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。（高等部２段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表す（高２段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近な人物や自分のイメージなどを基に、形や色彩、全体と部分との関係などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)人物から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技）形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、意図に応じて材料や用具を選択し自分らしく表す。 (思･判･表)身近な人物や自分のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)人物から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○人物を描く	身近な人や自画像などを形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練るとともに、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材の特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表す。（高２段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び、効果を考え構想を工夫する。（高１段階：A表現ア(ア)(イ)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高２段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩の応用	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図などについて学ぶ。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの造形的な効果を工夫し、全体のイメージを捉え、意図に応じて素材の特性を生かして表す。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、意図に応じて素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現の応用	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを意図に応じて工夫して表す。（高２段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを意図に応じて工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す（技法の応用）	版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、意図に応じてカメラの特性を生かして表す。（高２段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、意図にカメラの特性を生かして表している。 (思･判･表)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○映像メディア表現（画像や映像で伝えるメッセージ）	画像や映像を使い、学校生活で心に残る情景やメッセージを、思いが伝わるように表す。

3学期	8	(知及技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。(高２段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。(高２段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)) (学･人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。(高２段階：Ａ表現ア(ア))	(知・技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。 (思･判･表)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。 (主学)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。 【評価資料】活動の様子観察、作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を深める(高２段階：Ｂ鑑賞(ア)、共通事項(ア)) (思判表力)生活や社会の中の美術や工業製品などのよさや美しさを感じ取り，生活や社会を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を深める。(高２段階：Ｂ鑑賞ア(イ)) (学･人)社会における美術の働きなどについて理解を広げ学習活動に主体的に取り組む。(高２段階：Ａ表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を広げている。 (思･判･表)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学)社会における美術の働きなどについて理解を広げ学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞（デザイン）	工芸や身近な工業製品のデザインについて考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の工夫、全体のイメージや様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　3年（　Ⅱ課程A類型　③④グループ　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3学年　14名		高校生の美術１（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近な人物や自分のイメージなどを基に、形や色彩、全体と部分との関係などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)人物から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。（高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技）形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具を選択し工夫して表す。 (思･判･表)身近な人物や自分のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)人物から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○人物を描く	身近な人や自画像などを形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練るとともに、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材の特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び、効果を考え構想を工夫する。（高１段階：A表現ア(ア)(イ)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高２段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩の応用	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図などについて学ぶ。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現の応用	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す（技法の応用）	版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表している。 (思･判･表)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○映像メディア表現（画像や映像で伝えるメッセージ）	画像や映像を使い、学校生活で心に残る情景やメッセージを、思いが伝わるように表す。

3学期	8	(知及技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。(高１段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。(高１段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)) (学･人)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：Ａ表現ア(ア))	(知・技) 共同制作の意義や制作過程、方法を理解して画面全体のイメージを捉える。 (思･判･表)完成のイメージを他者と共有しながら、全体の一部や工程を丁寧に制作する。 (主学)共同で壁画を制作する学習活動に、主体的に取り組む。 【評価資料】活動の様子観察、作品で評価する。	○壁画の共同制作	卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を広げる。(高１段階：Ａ表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。(高２段階：Ａ表現ア(ア)、Ｂ鑑賞ア(ア)) (学･人)社会における美術の働きなどについて理解を広げ学習活動に主体的に取り組む。(高２段階：Ａ表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))	(知・技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を広げている。 (思･判･表)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学)社会における美術の働きなどについて理解を広げ学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞（デザイン）	工芸や身近な工業製品のデザインについて考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の工夫、全体のイメージや様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程　Ｂ類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	３－５　４名 ３－６　５名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(中２段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、表現の意図や工夫などについて考え、豊かに発想し構想を練り、美術に対する見方や感じ方を深めることができる。(中２段階) (学･人)　楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造する態度をとることができる。(中２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使う。(中１段階：表現（イ）) (思判表力)経験したことや想像したこと材料をもとに、表したいことを考えて発想したり、造形的な特徴からイメージを捉える。(中２段階：表現（ア）共通（イ）) (学・人)好きなものを自分なりに生き生きと表現する。	(知・技)材料や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選んで使おうとする。(中１段階：表現（イ）) (思･判･表)経験したことや想像したこと材料をもとに、表したいことを考えて発想したり、造形的な特徴からイメージを捉えようとする。(中２段階：表現（ア）共通（イ）) (主学)好きなものを自分なりに生き生きと表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○好きなものを描こう ～描いたり張ったりする～	・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや色紙を切り張りするなど工夫する。(知/技に関する活動) ・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。(思判表力に関する活動) ・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。(主学)
	8	(知及技)素材や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、色や材料の特徴を理解する。(中１段階：表現（イ）共通（ア）) (思判表力)造形的な特徴などからイメージを捉えること。(中２段階：共通（イ）) (学･人)楽しく表現活動に取り組むことができる。	(知・技)素材や用具の扱い方に親しみ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり、色や材料の特徴を理解しようとする。(中１段階：表現（イ）共通（ア）) (思･判･表)造形的な特徴などからイメージを捉えようとする。(中２段階：共通（イ）) (主学)楽しく表現活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう ～のり絵の具を使って～ ～かたくりこを使って～	・必要な用具や材料を正しく使ったり、赤青黄色の絵の具が混ざると色が変わることを知る。(知・技に関する活動) ・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。(思・判・表に関する活動) ・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。(主学)
	8	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使う。(中１段階：表現（イ）) (思判表力)経験したことや想像したことをもとに、表したいことや表し方を考えて発想や構想をする。(中２段階：表現（ア）) (学・人)心に残ったことを思い出して表す。	(知・技)素材や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて材料や用具を選んで使おうとする。(中１段階：表現（イ）) (思・判・表)経験したことをもとに表し方を考えて発想する。(中２段階：表現（ア）) (主学)心に残ったことや頑張ったことを表現しようとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○現場実習で経験したことを思い出して描こう	・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。(知及技に関する活動) ・写真や動画を見て経験したことを思い出し、写真や色紙など貼ったりして表す。(思判表力に関する活動) ・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。(主学)
2学	8	(知及技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。(中１段階：表現（イ）) (思判表力)材料などをもとに表したいことや表し方を考えて構想する。(中２段階：表現（ア）) (学・人)いろいろな表現方法を楽しむ。	(知・技)材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。(中１段階：技能（イ）) (思･判･表)材料などをもとに表したいことや表し方を考えて構想しようとする。(中２段階：表現（ア）) (主学)いろいろな表現方法を楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○写真で友達や風景を撮って表現しよう	・ipadのカメラ機能を使い、友達や風景を撮ってみる。近くに寄ったり角度を変えたりして、写真の雰囲気が違うところを見る。(知・技に関する活動) ・写したいもののよさを引き出すように、構図を考えて撮る。(思･判･表に関する活動) ・写真で表現できることを楽しむ。(主学)

学期	10	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）想像したこと材料などをもとに、表したいことを考えて発想する。（中２段階：表現（ア）） （学・人）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。	(知・技)材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思・判・表）想像したこと材料などをもとに、表したいことを考えて発想しようとする。（中２段階：表現（ア）） （主学）いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しもうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な材料で張り子の人形を作ろう	・空き箱などを組み合わせて人の形を作り、習字紙やお花紙をのりで張って頭や胴体の形を確認して作る。いろいろな材料で目鼻口や服の模様を付ける。（知・技に関する活動） ・ビーズやモール、ボタンなどいろいろな材料を組み合わせて、自分らしい人形を表現する。（思･判･表に関する活動） ・おもしろい飾りを付けたり、友達の作品と見比べたりしながら創作活動を楽しむ。（主学）
３学期	8	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知る。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思判表力）想像したことや材料などをもとに、表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージを捉える。（中２段階：表現（ア）共通（イ）） （学・人）皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。	（知・技）材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使ったり、形や色、材料などの特徴を知ろうとする。（中１段階：表現（イ）共通（ア）） （思･判･表）想像したことや材料などをもとに、表したいことを考えて発想し、造形的な特徴からイメージを捉えようとする。（中２段階：表現（ア）共通（イ）） （主学）皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう	・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせて、テーマに合った形を表現する。（知・技に関する活動） ・卒業の意味やテーマについて理解し、社会へ飛び立つイメージを映像や写真を通して理解して作品に表現する。（思･判･表に関する活動） ・（主学）一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。
	10	（知及技）形や色、材料の特徴について知る。（中１段階：共通（ア）） （思判表力）自分たちの作品や美術作品などを鑑賞してよさや面白さを感じ取る。（中２段階：鑑賞（ア）） （学・人）自分たちの作品や美術作品をよさや面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。	（知・技）形や色、材料と特徴について知ろうとする。（中１段階：共通（ア）） （思･判･表）自分たちの作品や美術作品などを鑑賞してよさや面白さを感じ取ろうとする。（中２段階：鑑賞（ア）） （主学）自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持とうとする。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○自分たちの作品を見てみよう ○世界の美術作品を見てみよう ～美術作品で遊ぼう～	・これまでの自分たちの作品を振り返り、色や形、表現の違いをよく見る。世界の美術作品の写真や校内に展示されている絵画を鑑賞し、描かれているものの色や形をよく見る。（知・技に関する活動） ・自分たちの作品や、校内に展示されている世界の美術作品を鑑賞し、感じたことや面白いところを話し合う。（思･判･表に関する活動） ・印刷した美術作品の写真を切ったり張ったりして、作家になったつもりで絵を作ってコラージュを楽しみ、本物の写真や友達と見比べてみる。（主学）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程・A類型　①②グループ　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	３学年　７名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高２段階) (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向け－右（左）」、「回れ－右」 ①集合、整頓「前へ－ならえ」、「○○基準－両手間隔に－開け」、「○○基準－もとの位置に－集まれ」 ①列の増減「1列から2列」、「2列から4列」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ ⑤リレー	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ⑤単一の泳法や複数の泳法を使ってチームで競い合う
2学期	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び ⑥砲丸投げ	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（前走者と次走者の距離を長くする） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③ペースの変化に対応して走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④タイミングよく、腕・肩を引き上げ、力強く踏み切ること。 ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び） ⑥立ち投げなどから砲丸をつきだして投げる
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。(高２段階) (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）
	12	(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。(高２段階) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高２段階) (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高２段階)	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊る ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①作戦や状況に応じた連携プレイ（空間への進入などから攻防） ①ゲーム実践（状況に応じたボール操作、空間を埋めるなどの動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空間への侵入などから攻防（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（安定したボール操作と状況に応じた守備）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①がん教育 ②ストレスマネジメント ③応急手当	①がんについて知り、身近な病気であることを理解する。（予防、早期発見・検診について等） ②ストレスが起きるメカニズムを理解し、ストレス反応を軽減・予防・解消する方法を身につける。 ③身近な怪我の応急手当について
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程・A類型　③④グループ　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	３学年　14名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	18	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高２段階） (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整頓「前へ一ならえ」、「〇〇基準一両手間隔に一開け」、「〇〇基準一もとの位置に一集まれ」 ①列の増減「1列から2列」、「2列から4列」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ ⑤リレー	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ⑤単一の泳法や複数の泳法を使ってチームで競い合う
2学期	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び ⑥砲丸投げ	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（前走者と次走者の距離を長くする） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③ペースの変化に対応して走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④タイミングよく、腕・肩を引き上げ、力強く踏み切ること。 ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び） ⑥立ち投げなどから砲丸をつきだして投げる
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高２段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）
	12	(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高２段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊る ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
３学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①作戦や状況に応じた連携プレイ（空間への進入などから攻防） ①ゲーム実践（状況に応じたボール操作、空間を埋めるなどの動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空間への侵入などから攻防（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（安定したボール操作と状況に応じた守備）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①がん教育 ②ストレスマネジメント ③応急手当	①がんについて知り、身近な病気であることを理解する。（予防、早期発見・検診について等） ②ストレスが起きるメカニズムを理解し、ストレス反応を軽減・予防・解消する方法を身につける。 ③身近な怪我の応急手当について
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程・Ｂ類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
105	３学年　９名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階） (学･人)　各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	18	(知及技)　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。（高１段階） (思判表力)　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすること。（高１段階）	(知・技)　体を動かす楽しさや心地よさを味わい，その行い方や方法を理解するとともに，仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して，きまりを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、腰を降ろして休む） ①方向転換「右（左）向け－右（左）」、「回れ－右」 ①集合、整頓「前へ－ならえ」、「〇〇基準－両手間隔に－開け」、「〇〇基準－もとの位置に－集まれ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス、ボールや用具などを使った運動） ②体力を高める運動（長距離走、腕立て、腹筋、スクワット、ジャンプ系トレーニング、サーキットトレーニング） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：2000m、女子：1500m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び
	18	(知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力）水泳についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えるている。 (主学)多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①浮いて進む ②手の掻き ③キック（足の動き） ④好きな泳ぎ方で泳ぐ ⑤仲間と一緒に泳ぐ	①力を抜いて浮く ①補助具を使う ②プル・手の掻き ②コンビネーション ③キック・足の動き ③コンビネーション ④楽しく泳ぐ ⑤仲間と動きを合わせて泳ぐ
２学期	18	(知及技)　陸上競技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学）多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしている。	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①腕のスイング動作 ①ストライドを伸ばす ②バトンパス ②テイクオーバーゾーンの使い方 ③自己に適したペースで走る （リズミカルな腕振り、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走スピード ④力強い踏み切り動作（適切な角度で跳び出す） ⑤リズミカルな助走 ⑤自己にあった跳び方
	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開することができる。（高１段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)武道の多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて，簡易な攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して，きまりや伝統的な行動の仕方を守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動している。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①型の模倣
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をすることができる。（高１段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい，その行い方を理解するとともに，技能を身に付け，表現や踊りを通した交流をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して，仲間の表現を認め助け合ったり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「郷土の踊り」 ①エイサー ②沖縄の唄で踊ろう	①曲の合わせて太鼓をたたこう ①衣装をつけてみよう ①演技の発表をしよう ②リズムに合わせて身体を動かそう ②個々の動き ③集団の動き

	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や器械・器具の安全を確保したりし，自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
3学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを味わい，その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け，簡易化されたゲームを行うことができる。（高１段階） (思判表力）球技についての自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）球技の多様な経験を通して，きまりやルール，マナーなどを守り，仲間と協力したり，場や用具の安全を確保したりし，自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール （ゴール型） ②風船バレーボール （ネット型） ③キックベースボール （ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①仲間へのパス（連携プレイ） ①ゲーム実践 ②パスの基本操作 ②サーブ ②ゲーム実践 ③ボールを投げる、キックで蹴るなどの基本動作 ③ゲーム実践
	9	(知及技） 心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階）	(知・技）心身の発育・発達，傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに，健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し，その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①心身の健康 ②身体の清潔	①生活習慣病との関わり 心身の健康を損ねる要因 正しい知識について ②身体の清潔（手洗い、着替え）
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。			

令和７年度　高等部　１～３年（　Ⅱ課程　A類型　）職業(窯業班)　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
	１年生９名 ２年生５名 ３年生４名		ひとりだちするための進路学習 ―あしたへのステップ―

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 陶土や釉薬の扱い方および陶器づくりに関する知識について理解を深めることができる。(高１段階) 作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じた作業をすることができる。(高１段階) (思判表力) 作業手順を理解し、安全かつ効率よく作業ができるよう工夫して取り組むことができる。(高１段階) 将来の職業生活を見据え、自らの成長や課題について評価･改善する意識を養うことができる。(高１段階) 自ら体調を管理することができる。(高１段階) (学･人) 他者と協働して効率よく作業をし、必要に応じて相談したり、助言を得たりして課題を解決することができる。(高１段階) 自らの働きかけにより地域社会に貢献できる喜びを体得し、働くことへの意欲を持つことができる。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技)(思判表力) 粘土の特性を理解し、粘土の再生方法がわかる。(高１段階) 皿などの成型工程を知り、手順を確認しながら作業を進めることができる。(高１段階) 使用する機械の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。(高１段階) (思判表力)(学･人) 年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる。(高１段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高１段階) (思判表力)(学･人) 働くために必要なこと、職業の心得を理解することができる。(高１段階) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。(人間性)(高１段階)	(知・技) 土砕きを適正に行えている。 泥水を適正に作れている。 篩作業が適正に行えている。 脱水作業が適正に行えている。 土練りが適正に行えている。 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 機械を安全に扱えている。 (思･判･表) 次に行うことが何なのか理解できている。 わからないことをわからないままにせず尋ねている、尋ねようとしている。 物怖じせずに発表できている、しようとしている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。	粘土作り 陶器作り(皿、小鉢、箸置きなど) 機械の安全な取り扱いについて 授業開き 職業について 勤労と協働 １年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 １学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業 (すいひ作業・土練り・成型・焼成) タタラ機や土錬機、機械ろくろなど機械の種類と使用方法を知り、実際に使用してその危険性と安全な使用方法を学ぶ。 １年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 身なりを整えることや時間を守ることの大切さなど、７つある職業の目標を知り理解する。 仕事の意義を理解し、作業を通じて協働作業の大切さを学ぶ。 １学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
2学期	112	(知及技)(思判表力) さまざまな陶器の陶製方法を知り、手順に沿って作業を行うことができる。(高１段階) 釉薬について理解し、丁寧に作業を進めることができる。(高１段階) (思判表力)(知及技) 受注した商品の納期を考えつつ完成度の高い陶製品をつくることができる。(高１段階) (思判表力) 客が購入したいと思う商品を考えることができる。(高１段階) 学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。(高１段階) (学･人)(知及技) 日頃使用している道具や機械類の手入れを行い整理整頓することができる。(高１段階)	(知・技) 成型が適正に行えている。 乾燥作業が適正に行えている。 丁寧に作業できている。 完成度を上げている、上げようとしている。 (思・判・表) 納期の把握ができている。 マーケティング活動が適正に行えている。 (主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	粘土作り 陶器作り(皿、シーサー、マグカップなど) 陶器作り(注文商品、コラボ商品) 行事に向けた陶器作り 用具の手入れ ２学期のまとめ	粘土の再生作業、陶器の成型作業 (すいひ作業・土練り・成型・釉薬かけ、焼成) 商品づくり(各種コラボ商品、注文商品) 陶製品づくり(みさき市や学習発表会の販売学習に向けた陶製品作り) 日頃使用している道具の手入れなどを行う。 ２学期を振り返り、自己の反省点を抽出して皆の前で発表を行う。
		(知及技)(思判表力) 接客の仕方が理解でき、実践できる。(高１段階) お金の計算ができる。(高１段階) 行事の意義を理解し、習得した知識や技能を活用して、相手が喜ぶ陶製品をつくることができる。(高１段階)	(知・技)(思・判・表) 接客ができる。やろうとしている。 お金の計算ができる。やろうとしている。 陶製品づくりに真摯に取り組める。取り組もうとしている。 学年を振り返り、発表することができる。やろうとしている。	接客用語の練習、電卓やレジスターを使用した計算練習 陶製品作り 用具の手入れ	接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ 習得した知識や技能を活用し、行事の意義を理解し、相手が喜ぶ陶製品を作る。 日頃使用している用具の手入れ。 作業場の整理整頓。 清掃活動。

3 学 期	72	学年を振り返り自己の反省点を発表することができる。（高１段階） （学･人）（知及技） 日頃使用している用具の手入れ、作業場の整理整頓、清掃を行うことができる。（人間性）（高１段階）	(主学) 業務日誌が適正に記入されている。 後片付け、手入れ、整理整頓ができている、やろうとしている。	３学期のまとめ １年間のまとめ	３学期を振り返り自己の反省点を発表する。 １年間の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１～３年（職業　トータルサービス班　）普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	１学年　名　：**２学年　１１名**　：３学年　名		実生活に役立つ特別支援教育 「ひとりだちするための進路学習」 ～あしたへのステップ～

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学･人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知・技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定に向けて（校内） ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） iPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
2学期	112	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 （知及技） ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【高1Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】	（知・技） ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 （知・技） ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 （知・技） ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 （知・技） ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる。 （知・技） ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 (思・判・表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思・判・表) ・２学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの基本的な動作を確認する。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・２学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。

3 学 期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋓】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (知及技) ・技能検定（ビルメンテナンス）への取り組みを通して働く上での基本的マナーとチャレンジする心を養う。【Aイ（ア）ア】 (学・人) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐）】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解することができる。 (知・技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組むことができる。 (知・技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知・技) ・情報機器を用いて実習の成果をポスターにまとめることができる (知・技) ・技能検定（ビルメンテナンス）の練習に取り組むことができる。 (主学) ・作業日誌への記入し、自己評価する。 ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 ・１年を振り返り、成長と課題点を確認する。	・職業について ・施設清掃、校内外の清掃活動、洗車、丁合作業 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・技能検定への取り組み ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・３学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) 洗車作業（車体洗浄・ワックスがけ・車内の拭き上げ掃除機かけ・窓拭き上げ）、清掃活動（室内清掃、トイレ清掃、地域の清掃活動）、丁合作業 (知及技) ・作業道具の名前（自在ほうき、ぞうきん、スクイザー、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・３学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しをもつ。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１・３年（　Ⅱ課程　A類型　）職業（家庭班）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
８／280	１学年　９人 ３学年　７人		「ひとりだちするための進路学習」 「くらしに役立つソーシャルスキル」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業生活に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高1段階） (学･人)よりよい将来の生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技）勤労の意義を理解することができる。（高1段階：職業生活ア（ア）） (思判表力）職業生活に必要な健康管理について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋑） (学･人)作業や実習などに達成感を得ることができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）先輩や周りの大人が社会の中ではたらく様子を知ることができる。 (思･判･表)職業生活に必要な健康管理について考え発表することができる。 (主学)振り返りのなかで、目標の達成度を教師と一緒に確認することができる。	はたらくとは	・はたらく意義や将来の目標を考える。（思考力・判断力・表現力等に関する内容） ・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。（知識・技能に関する内容）
	68	(知及技）実習で使用する道具の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく使うことができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋑） (思判表力)作業における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋐） (学･人)活動に見通しを持ち、自ら準備や片付けに取り組む意欲を持つ。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）道具の名称や使用方法を守って使用することができる。 (思･判･表)作業を振り返り、自分の成長や課題について考えて発表することができる。 (主学)活動に見通しを持ち、自分から準備や片付けに取り組もうとする。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り。（知識・技能に関する内容） ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。（知識・技能に関する内容） ・学習の振り返り（自己の反省点や改善点から次の目標を確認する）（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
	4	(知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知る（高1段階：情報機器の活用ア） (思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルについて考えることができる（高1段階：情報機器の活用イ） (学･人)情報セキュリティや情報モラルを守れるよう生活を工夫することができる。	(知・技）パソコンや携帯利用時の情報セキュリティやモラルについて理解している。 (思･判･表)情報セキュリティ及び情報モラルについて考えたことを発表することができる。 (主学)情報セキュリティや情報モラルを守れるよう生活を工夫しようとする。	情報機器の活用	・コンピュータや携帯の便利さや危うさを実例で学ぶ。（知識・技能に関する内容） ・対策方法を考え発表する。（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
	80	(知及技）作業の持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業することができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋑） (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋒） (学･人)作業の目標を達成することで達成感をえることができる。 目標達成に向けて自ら活動に取り組むことができる。（高1段階：職業生活ア（ウ））	(知・技）集中して作業したり、丁寧に作品を仕上げることができる。 (思･判･表)危険な場所や状況に注意を払いながら作業を行う事ができる。機械の故障や不衛生な状況に気付いたら知らせたり、適切な行動を取ったりすることができる。 (主学)目標達成に向けて活動に自ら取り組もうとする。 目標を達成することで達成感を味わい次の作業に意欲を持つことができる。	布製品作り お菓子の調理	・基礎縫い、刺繍、型取り、裁断、ミシン縫い、アイロン等を用いた布製品作り（知識・技能に関する内容） ・オーブンを用いた焼き菓子作り（知識・技能に関する内容） ・衛生管理の必要性、清潔を保つ方法。（知識・技能に関する内容） ・学習の振り返り（自己の反省点や改善点から次の目標を確認する）（思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）

2学期	28	（知及技）職業など卒業後の進路に必要となることについて理解する。（高1段階：産業現場等における実習ア） (思判表力）実習での成果と課題や解決策を考えて発表することができる。（高1段階：産業現場等における実習イ） (思判表力）職業生活に必要な余暇の過ごし方について考える事ができる。（高1段階：職業生活イ（イ）㋓） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現に向けて生活を工夫しようとする。	(知・技）職業現場で必要となることについて理解することができる。 (思･判･表)実習の振り返りを行い、成果や次の実習での目標を立て発表することができる。 (主学)卒業後の余暇の過ごし方に関心を持つ事ができる。	はたらくとは	・就労の場における挨拶、報告、連絡、相談の仕方について。 ・就労の場で必要な決まりの遵守、責任、協力、健康管理、安全、衛生について。 ・実習の振り返りと発表 ・卒業後の余暇の過ごし方
	4	(知及技）表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱う事ができる。（高1段階：情報機器の活用ア） (思判表力）コンピュータ等の情報機器を使い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。（高1段階：情報機器の活用イ） (学･人)必要なことが相手に伝わるように工夫することができる。	(知・技）パソコンで文字や写真を使って作品の紹介ポスターを作ることができる。 (思･判･表)作成したポスターを用いて作品を紹介をすることができる。 (主学)作品の良さが相手に伝わるように文字や写真を工夫しようとする。	販売会に向けた取り組み 販売会のポスターやメニュー表を作ってみよう	・パソコンを用いてポスターやメニュー表を作成（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容、学びに向かう人間性に関する内容）
3学期	72	(知及技）職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身につけることができる。（高1段階：職業生活イ（ア）㋐） (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え表現することができる。（高1段階：勤労の） (学･人)販売会準備に主体的に取り組み、工夫しようとする。	(知・技）接客で必要な言葉使いを知り、練習することができる。 (思･判･表)販売の時の役割を知り、自分と他者との役割について考え、協力できることを発表することができる。 (主学)販売会の準備に主体的に取り組み、自分なりに工夫しようとしている。	販売会に向けた取り組み	・接客練習（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・ラッピング（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・買い物学習（知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する内容） ・一年のまとめ（思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性に関する内容）
留意点 引継ぎ等		評価資料：学習の様子、自己評価シート、作品			

令和7年度 高等部　1～3年（　Ⅱ課程　B類型 ）　職業（チャレンジ班）　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
7/245	高等部１～3年（ ２４名）		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を体験し、身に付けることができる(高1段階) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階) (学･人)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考えることができる。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や情報収集を行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、ビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付け等を行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。
2学期	84	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 小物作り(紙、布、粘土、アイロンビーズ等) 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙、布、粘土、アイロンビーズ等を使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・学習発表会に向けた製品作り

3 学 期	54	(知及技) ・働くことの目的などを理解することができる。(中2段階Aア(ア)) ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。(中2段階Aイ(エ)) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができる。(中2段階Aイ(オ)) ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができる。(中2段階Bア) (思判表力) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができる。(中2段階Aア(イ)) ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができる。(中2段階Aイ(イ)) ・職業生活に必要な健康管理について考えることができる。(中2段階Aイ(ウ)) ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができる。(中2段階Bイ) (学･人) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。	(知・技) ・働くことの目的などを理解することができている。 ・作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができている。 ・作業の確実性や持続性、巧緻性を身に付けることができている。 ・iPad等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れることができている。 (思･判･表) ・意欲や見通しを持って取り組み、自他と他者との関係や役割について考えることができている。 ・作業場の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫することができている。 ・職業生活に必要な健康管理について考えることができている。 ・iPad等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現することができている。 (主学) ・作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができている。	・勤労の意義 ・情報機器の活用 ・作業内容 ミーティング 野菜の栽培 アクセサリー作り 紙製の雑貨作り 受注製品作り(新聞紙・ちり紙) 洗濯や清掃 ・余暇活動での体力の向上 集団でのゲーム 校舎内外の散策	・開始のミーティングで作業の心得の読み合わせや、具体例での本時の説明を行う。 ・コンピュータやタブレット等を実際に使用し検索や学習のまとめ、発表などを行う。 ・季節の野菜の栽培。紙や布などを使った小物作り。使用した場所の清掃や道具の片付け、汚れた衣類の洗濯や乾燥、片付けを行う。 ・アイロンビーズ作品等の小物作りを通して、作業の持続性、巧緻性を養う。 ・外部施設依頼製品作り(新聞紙パック・ちり紙) ・フローリングワイパー活用 ・校舎の外周道路や運動場での散策や軽い運動。ルールを簡単にした集団で行うゲームを行う。 ・販売会に向けた製品作り
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　1～3年（Ⅱ課程A類型）職業（　農業班　）普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年9名　2学年9名　3学年4名		「私たちの進路」 「ソーシャルスキル」

年間目標	(知及技)　（高1段階） ・草花や野菜の扱い方及び栽培に関わる知識について理解を深めることができる。 ・作業の持続性、巧緻性を高めることができる。 (思判表力)　（高1段階） ・作業手順を理解し、必要な用具を適切に使用し、作業に取り組むことができる。 ・作業や実習において、自分の成長や課題について改善する意識を養う。 (学･人)　（高1段階） 作業上の安全や作業の効率について考え、社会や他者との協働する意識を育てると共に貢献する喜びを体得する。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・年間の授業内容を聞き理解し見通しを持つことができる(高１段階ア) (思判表力) ・職業の心得を理解する(高１段階イ) （学・人） ・勤労と協働【職業生活高１段階（ア）】	（知・技） ・職業の目的を理解し、服装を整えてミーティングに参加することができる。 (思・判・表) ・職業の目標を大きな声で読み合わせできる。 （主学） ・終わりのミーティングでは、本日の頑張りを自分の言葉で表現できる。	・授業開き ・職業について ・勤労と協働	・一年間の流れを聞き、各自の目標を立て発表を行う。 ・身なりや時間を守ることの大切さ等７つある作業学習の目標について理解する。 ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。
		(知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培を行う(高１段階) (思判表力) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ(高１段階) （主・力） ・情報機器の操作をすることができる。（高１段階ＢＡ） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（思考・表現）（高１段階）	（知・技） ・収穫や調整、販売学習などの実体験を通して野菜や草花を教材として学ぶことができる。 (思・判・表) ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について調べることができる。 ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・1学期のまとめ	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 ・情報機器の基本的な操作を興味を持って学ぶことができる。 ・1学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
2学期	112	（知及技） ・季節の野菜や草花を知り栽培を行う（高１段階） （思判表力） ・野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる（高１段階） （主・力） ・各行事の意義を理解し学びを取り入れた栽培を行う（高１段階）	（知・技） ・２学期に栽培する野菜や草花について教材として触れることができる。 (思・判・表) ・重さや個数など定められた分量を理解し、授業内容に沿った行動をとることができる。 （主学） ・行事の目的を理解し、目的達成に向けて準備を進めることができる。	・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培	・季節の野菜や草花栽培（播種・鉢上げ・定植・収穫） ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 ・みさき市、卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を行う。
		（知及技） ・情報機器の操作を応用することができる。（高１段階ＢＡ） （主・力） ・日頃使用している農機具を丁寧に洗い手入れを行うことができる。（（高１段階） （思判表力） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高１段階）	（知・技） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の仲間や栽培方法について調べることができる。 （主学） ・ハサミやスコップ、ヘラやレーキなどの道具を安全に使うことができる。 (思・判・表) ・自身の感想を自分の言葉で表現することができる。	・情報機器の活用 ・農機具の手入れ ・２学期のまとめ	・栽培する作物について、タブレット端末を用いて調べることができる。 ・ヘラ、スコップ、ハサミ、畝立て機など日頃使用している道具の洗浄を行う。 ・２学期を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。

3 学 期	72	（知及技） ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ（高１段階） （思判表力） ・次年度栽培する作物の播種・畑の整備を通して職業として準備することの重要性に気付く。（人間性）（高１段階） （主・力） ・情報機器の操作を応用することができる。（高１段階Ｂア） ・学期を振り返り自己の反省点を発表する（高１段階）	（知・技） ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉使いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えることができる。 (思・判・表) ・１年間関わった農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動することができる。 （主学） ・タブレットなどの情報機器を用いて野菜や草花の栽培方法について協力して調べ、伝え合うことができる。 ・自身の感想と卒業や進級など今後の見通しを自分の言葉で表現することができる。	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・情報機器の活用 ・１年間のまとめ	・接客用語など言葉使いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 ・野菜や草花の播種や鉢上げ、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 ・タブレット端末を用いて調べたことを相手に伝えることができる。 ・１年間を振り返り自己の反省点を書き皆の前で発表を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　１～３年（Ⅱ課程・A類型）　職業（木工）科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1学年 8名　2学年 10名　3学年 6名		私たちの進路／Ipad（アプリ等）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）職業生活に必要な知識及び技能を身に付ける。(高1段階)
	(思判表力）将来の職業生活における自己の目標や課題と向き合い、自ら工夫し改善する力を養う。（高１段階）
	(学･人)将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的実践的な態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	16	(知及技)勤労の意義を理解することができる。（高１段階職業生活ア(ア)） (思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、他者や役割について考えることができる。（高１段階職業生活ア(イ)） （学・人）作業や実習に達成感を得て、主体的に取り組むことができる。（高１段階）	（知・技）生活等から働く意味や意義を理解することができる。 （思・判・表）社会の仕組みや他者との関わりを考えることができる。 （主学）成功体験から、自分ですすんで行動ができる。	・仕事とは（生活や社会について） ・社会の成り立ちやつながり	・教科書や動画教材等やワークシートを活用して職業生活に必要な力について学習する ・職業の心得の理解 ・清掃活動 ・人との距離感 ・余暇活動 ・面接や履歴書について
	72	(知及技)木工具の名称や使用方法を理解することができる。（高１段階職業生活イ(ｱ)㋐） (思判表力)工具を正しく使用し安全に作業に取り組むことができる。（高１段階職業生活イ(ｲ)㋑） (学・人)工具類の使用について技術の向上を図ることができる。（高1段階）	（知・技）基本的な工具の名称と、使用手順を理解することができる。 （思・判・表）工具・機械の扱い方や危険度を理解し使用することができる。 （主学）正しい使用方法や材料の仕上がりを意識して取り組むことができる。	・製品製作 ・販売学習	・工具類の名称や使用方法を正しく理解し取り扱うことができる ・さしがね、のこぎり等の手動工具や、インパクトドライバーや糸鋸等の電動工具を使用して、木材の加工や製品の組立を行う ・ベンチ、スマホホルダー、小物等の製作
	8	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知ることができる。（高１段階情報機器の活用ア） (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。（高１段階情報機器の活用ア） (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。（高1段階）	（知・技）情報に関することについて、利便性や危険性を知ることができる。 （思・判・表）情報機器の使い方を知り、目的に合った使用ができる。 （主学）学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・スマホやiPad等の使用について ・情報モラル	・iPadを使用して製品を検索したり、作業の様子をまとめる ・余暇活動等でのスマホ使用の注意点
2学期	18	(知及技)iPad等のアプリについて知ることができる。（高１段階情報機器の活用ア） (思判表力)特性や性能を知り、操作を行うことができる。（高１段階情報機器の活用ア） (学・人)意欲的に情報機器を活用することができる。（高1段階）	（知・技）アプリの特性や操作を知ることができる。 （思・判・表）情報機器やアプリの使い方を知り、目的に合った使用ができる。 （主学）学習活動の中でも積極的に活用することができる。	・製品のデザインや管理	・iPadを活用して製品開発やデザインを考える ・ICT機器を活用して作業の様子を記録したり発表を行う ・木工班の紹介用に動画やポスターの作成
	94	(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性について理解することができる。（高１段階職業生活イ(ｱ)㋒） (思判表力)作業場の安全や衛生及び作業の効率について考え改善を図ることができる。（高１段階職業生活イ(ｲ)㋒） (学・人)作業効率を考え取り組むことができる。（高1段階）	（知・技）作業の確実性等と、製品や材料価格との関係を理解することができる。 （思・判・表）効率化を意識して取り組むことができる。 （主学）効率化を目指して工夫することができる。	・製品製作（効率化と協働） ・職場の仕組みや環境	・作業に応じて必要な工具類を準備する。 ・製品製作の工程分担を理解し、効率化を意識しながら作業に取り組む ・協力して製品を組み立てる ・仕事の態度や姿勢について考える
3学期	64	(知及技)社会の仕組み等について理解することができる。（高１段階職業生活ｲ(ｱ)ｲ） （思判表力）接客など販売等に関わる技術について考えることができる。（高１段階職業生活ｲ(ｲ)㋑） （学・人）接客方法等についての知識を実践することができる。（高１段階）	（知・技）販売や給料を理解することができる。 （思・判・表）場に応じた言葉遣いや態度を考えることができる。 （主学）お客を相手に丁寧な言葉遣い等で対応することができる。	・販売学習 ・余暇活動	・販売会場のレイアウト計画、設営 ・接客態度の学習、練習 ・製品の販売 ・技能検定の練習等 ・仕事と給料についての学習と余暇活動
	8	(知及技)成果や他者との関わりについて理解を深めることができる。（高１段階職業生活ア(ｲ)） （思判表力）成長や課題についてまとめ、発表することができる。（高１段階職業生活ｲ(ｲ)ｱ） （学・人）将来の自分を前向きな態度や考えで捉えることができる。（高１段階）	（知・技）成果等についての要因を考えることができる。 （思・判・表）自分の考えをまとめ、発表することができる。 （主学）具体的に将来をイメージし、目的意識をもつことができる。	・年間のまとめ（課題解決）	・製品の反省と改善 ・1年間の成長と反省、改善 ・発表
留意点引継ぎ等					

令和7年度 高等部　3年（　Ⅱ課程A類型①②グループ）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	3年　Ⅱ課程・A類型①1名 3年　Ⅱ課程・A類型②6名		くらしに役立つ家庭科（東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）乳幼児や高齢者などとの生活の特徴、身体的特徴を理解することができる。（高1段階：家族・家庭生活エ） (思判表力)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高1段階：家族・家庭生活エ） (学･人)乳幼児や高齢者と接するには通常とは異なる配慮が必要になることが分かり、適切に接しようとすることができる。	(知・技）乳幼児や高齢者などとの生活の特徴、身体的特徴を理解することができた。 (思･判･表)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、場面に応じた声掛けができる。 (主学)乳幼児や高齢者とよりよい交流ができるよう、接し方を考え工夫する姿勢が見られる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・子どもと共に ・高齢者と共に ・共に支え合う生活	【家族・家庭生活】 ・乳幼児や高齢者の身体的特徴について動画や写真を見て理解する。 ・「赤ちゃん抱っこ体験」を通して、乳児の身体的特徴を理解する。 ・乳幼児か幼児・児童までの成長の過程を、身体・運動、社会性・情緒、言葉や遊びの分野ごとに確認する。 （知及技に関する内容） ・チャイルドビジョンやマウスの体験を通して、子どもの視野や口の大きさを体感し、安全対策について考える。 ・「高齢者疑似体験」や「車椅子体験」を通して身体の変化に伴う動きの理解を深め、どのような配慮やサポートや必要か考える。 ・絵本やおもちゃなど、子どもの発達に必要な「あそび」について調べたり、まとめる。 （思判表力に関する内容） ・家庭内での安全面や発達やライフステージの変化による身体的な変化を理解し、安全面での配慮について確認し、できる対策について考える。 ・ライフステージの変化による身体的、精神的な変化を理解し、家庭内の安全面での配慮や接する際の言葉がけなどの関り方について考える （学・人に関する内容）
		(知及技）行事食や郷土料理など食事が文化を伝えることを理解することができる。（高1段階：衣食住の生活ア） (思判表力)加工食品について表示について理解し、用途に応じて選択し安全に調理することができる。（高1段階：衣食住の生活イ） (学･人)場面に応じて食事や献立を考え、加工食品をうまく取り入れながら生活に役立てようとすることができる。	(知・技）沖縄の行事食や郷土料理ついて理解している。 (思･判･表)加工食品の表示や賞味期限・消費期限の違いを知り、場面に合わせて選択することができる。 (主学)加工食品の表示や賞味期限・消費期限の違いについて学んだことを生活に生かそうとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 ・食事の役割「郷土料理」 ・日常食の調理「加工食品」	【衣食住の生活】 ・沖縄の行事食や郷土料理などの食文化について理解する。 ・県産野菜、果物について知る。 （知及技に関する内容） ・加工食品の種類を知り、表示や賞味期限・消費期限を確認する。 ・加工食品の場面に合わせた選択や調理法・使用法などを考える ・加工食品の調理 （学・人に関する内容） ・日常の食事や、行事食、災害時など場面に応じた食事や献立を考える。 （学・人に関する内容）

2学期	14	(知及技）用途に応じた食品の選択、衛生管理や食材に適した加熱方法について理解できる。（高1段階：衣食住の生活イ（ア）） (思判表力) 食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現することができる（高1段階：衣食住の生活イ（イ）） (知及技）衣服と社会生活の関わりを知り、社会生活を営む上での衣服の機能や役割を理解することができる。（高１段階：衣食住の生活ウ） (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。（高１段階：衣食住の生活エ） (学･人)生活を豊かにするために布を用いた製作に主体的に取り組み、生活に役立てようと工夫することができる。	(知・技）お弁当に適した食品の選択、衛生管理や食材に適した加熱方法について理解できた。 (思･判･表)食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、まとめることができた。 (知・技) (思･判･表)手縫い、ミシン縫いの基本を理解し、直線縫いを主としたミシン縫いができる。 縫う部分や目的に応じた縫い方を選択し、工夫することができる。 (主学)生活を豊かにするために布を用いた製作に主体的に取り組み、生活に役立てようと工夫する姿勢が見られる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 ○日常食の調理 「お弁当を作ろう」 ・布を用いた製作	【衣食住の生活】 ・お弁当に適した食品の選択、衛生管理や食材に適した加熱方法について学習する。 ・栄養バランスを考えた「お弁当の献立」を考える。 （知及技に関する内容） ・調理手順や時間を意識した調理計画を考える。 ①計量　②下準備　③時間配分　④調理計画 ・調理実習（お弁当、軽食） （思判表に関する内容） ・衣服には、所属や職業を表したり、行事などによって衣服や着方に決まりがあることを理解する。 ・和服が日本の伝統的な衣服であることや、和服と洋服の違いについて確認する。 ・衣服の手入れについて、購入だけでなく、リフォームや譲渡などの方法があることを確認する。 ・道具を安全に扱うことができ、手縫いやミシンの扱いの基礎を確認する。 （知及技に関する内容） ・好きな色や柄を選び、布の種類や形に合わせて工夫して小物製作を行う。 ・目的に応じた縫い方を選択する。 （思判表力に関する内容） ・小物作り（タブレットケース等）に意欲的に取り組む。 （学・人に関する内容）
		(知及技) 住居の基本的な機能について理解し、快適な居住生活ができるよう整理整頓、清掃をすることができる。（高2段階：衣食住の生活オ） (思判表力)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、危険な場所に気づき、まとめることができる。 (学･人)安全の視点から住空間の整え方について考え、工夫することができる。	(知・技）住居の基本的な機能について理解し、快適な居住生活ができるよう整理整頓、清掃をすることができた。 (思･判･表)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、危険な場所に気づき、まとめることができた。 (主学)安全の視点から住空間の整え方について考え、工夫しようとしている。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	【衣食住の生活】 ・住居の役割は、風雨や寒暑から人を守るだけでなく、心身の健康の維持、子どもが育つ基盤としての働きがあることを確認する。（知及技に関する内容） ・日常生活での家庭の中での危険な場面について学習し、安全や快適さを考えた住空間について考え発表する。 ・防災の観点から、住空間の安全について考える備えや整え方について考える。（思判表に関する内容） ・住居には、共同生活の空間、個人生活の空間があることを学習し、自分の家を分類してみたり、理想の住居を考えてまとめる。　（学・人に関する内容）
3学期	9	(知及技）身近な消費生活をふまえ、消費者の基本的な権利と責任について理解している。（高1段階：消費生活・環境イ（ア）） (思判表力)消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について考えることができる。（高1段階：消費生活・環境イ（イ）） (学･人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考えることができる。	(知・技）商品の選択の際には、必要な情報が与えられたり、自由に選べる権利があるとともに、情報を良く調べたり確かめたりする批判的な意識をもつ責任が伴うことに気づくことができる。 (思･判･表)物資・サービスの購入から廃棄までの自分や家族の消費行動が環境への負荷を軽減させたり、企業への働きかけとなり商品の改善につながることに気づくことができる。 (主学)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、生活に生かそうとしてる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【消費生活・環境】 消費者の基本的な権利と責任	【消費生活・環境】 ・「フードロス」の問題があることを知り、消費期限や賞味期限を確認するなど必要な量や使い方について考えることができる。 ・消費者基本法について、具体的な場面でどのような 権利と責任が関わっているのかについて確認する。 ・購入した商品に不備があった場合は、会社や消費者センターに問い合わせるなど、適切な行動が消費者被害の拡大を防ぐことにつながることを理解する。（知及技に関する内容） ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響に ついて考える。　（思判表力に関する内容） ・物資・サービスの購入から廃棄までの消費行動と環 境負荷について学習し、持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。 （学・人に関する内容）

期		(知及技）生活の中で食事が果たす役割について理解できる。（高1段階：衣食住の生活ア（ア）） (思判表力) 用途に応じて献立を考え食品を選択し、適した調理方法を考える事ができる。（高1段階：衣食住の生活ア（イ）） (学･人)生活の中で食事が果たす役割について理解し、生活を豊かにするために工夫して実践することができる。	(知・技）食事を共にすることが人間関係を深めたり、行事食や郷土料理など、食事が文化を伝える役割があることを理解する。 (思･判･表)感謝の気持ちを伝えるためにお招き会の献立を考え食品を選択し、適した調理方法を考える事ができる。 (主学)食事を共にすることの重要性に気づくとともに、楽しく食べるために工夫し実践することができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【衣食住の生活】 日常食の調理「お招き会をしよう」	【衣食住の生活】 ・生活の中で食事が果たす役割について学習し、食事を共にすることで人間関係を深めるなど、文化的な働きについて理解する。（知及技に関する内容） ・お世話になった先生に感謝を伝えるためのおもてなし会を計画したり、食事やお茶など会に会わせた献立や調理方法を考える。（思判表力に関する内容） ・「おもてなし」について考えたり、感謝の気持ちを伝えるために時間や招待状、お礼状など相手の気持ちを考えた「おもてなし」を考え工夫する。(学・人に関する内容)
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部３年（Ⅱ課程A類型③④グループ　）家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	３年　Ⅱ課程・A類型③　6名 ３年　Ⅱ課程・A類型④　8名		くらしに役立つ家庭科（東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えた事を表現するなど、課題を解決する力を養う。 (高１段階) (学･人）家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする実践的な態度を養う（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技)乳幼児や高齢者などの生活の特長、乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くこと。（高１段階：A家族・家庭生活エ(ア) (思判表力)乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現すること（高１段階：A家族・家庭生活エ(イ) (学･人)健康な生活と食事の役割や日常の食事の大切さを理解すること（中２段階：B衣食住の生活ア(イ)	(知・技）幼児や高齢者の特長を知ることができ、関わり方を実践することができる。また、地域の郷土料理や食材を知り、調理されたものの食材を考えることができる。 (思･判･表)幼児の特長を知り、成長した自分との違いに気付くことができる。また、その違いを表現することができる。 (主学)普段の食生活の中で食してきた郷土料理や県産の食材に気づき、地域の伝統や地産地消を実践しようとすることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・乳幼児や高齢者などの生活 【衣食住の生活】 ・食事の役割 ・日常食の調理	【家族・家庭生活】 ・乳幼児や高齢者の身体的特徴について学習する。 ・「赤ちゃん抱っこ体験」を通して、乳児の身体的特徴を理解する。 （知及技に関する内容） ・チャイルドビジョンやマウスの体験を通して、子どもの視野や口の大きさを体感し、安全対策について考える。 ・絵本やおもちゃなど、子どもの発達に必要な「あそび」について調べたり、まとめる。 ・「高齢者疑似体験」や「車椅子体験」を通して身体の変化に伴う動きの理解を深め、どのような配慮やサポートや必要か考える。 ・家庭内での安全面や発達やライフステージの変化による身体的な変化を理解し、安全面での配慮について確認し、できる対策について考える。 （思判表力に関する内容） ・子どもや高齢者の食生活の特徴について学習し、捕食としての「おやつ」の役割を考えたり、調理に取り組む。 （学・人に関する内容）
		(知及技)日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え表現すること。（中２段階：B衣食住の生活ア(イ) (思判表力)場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとすること	(知・技）３大栄養素に分類分けされた食材からひとつずつ選んでお弁当の献立を作ることができる。 (思･判･表)衣服の前後やボタン、ファスナーなど、適切に衣服を着用することができる。また、寒暖に合わせた衣服の選択ができる	【衣食住の生活】 ・日常食の調理 ・布を用いた製作 ・衣類の選択 ・住居の基本的な機能と快	【衣食住の生活】 ・栄養バランスを考えた「お弁当の献立」を考える。 （知及技に関する内容） ・調理手順や時間を意識した調理計画を考える。 ①下準備②計量③時間配分④調理計

2学期	14	知り、実践しようとすること。（中１段階：B衣食住の生活イ(ア) (学･人)住まいの主な働きや、整理整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとすること（中１段階：B衣食住の生活エ(ア)	に合わせた衣服の選択ができる。 (主学)ゴミの始末や道具の片付けなど、必要な整理整頓を自ら行うことができる。整理の場所が分からない時に合図や質問で確認をとることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	①下準備②計量③時間配分④調理計画 ・調理実習（お弁当、軽食） （思判表に関する内容） ・手縫い、ミシン縫い（基礎）の技術を生かした小物作り（タブレットケース） に取り組む。 ・衣服の適正な着脱ができるよう工夫する。 ・TPOや気候、環境に合わせた着衣を考えることができる。 （思判表力に関する内容） ・整理・清掃・換気等の住宅の手入れについて理解する。 ・日常生活での家庭の中での危険な場面について学習し、安全や快適さを考えた住空間について考え発表する。 (学・人に関する内容)
3学期	9	(知及技)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすること。（中２段階：C消費生活・環境ア(イ) (思判表力)物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること（高１段階：C消費生活・環境ア(イ) (学･人)生活の中で食事が果たす役割について理解し、生活を豊かにするために工夫して実践することができる。（高１段階：B衣食住の生活エ(ア)	(知・技）買い物の仕組みや必要な物の選び方を知り、必要な物の選択や購入のための金銭のやり取りができる。 (思･判･表)商品の購入や契約時に必要な事項を知り、実践すべきことを考え、判断することができる。 (主学)高校生活を振り返り、お世話になった人や好きな人へ食を通したおもてなしを考え、取り組むことができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【消費生活・環境】 ・消費者の基本的な権利と責任 【衣食住の生活】 ・食事の役割 ・調理実習	「フードロス」の問題があることを知り、消費期限や賞味期限を確認するなど必要な量や使い方について考えることができる。 （知及技に関する内容） ・必要な商品やサービスを選ぶために、広告や表示の内容を読み、価格や品質などの情報を整理する。 ・購入した商品に不備があった場合は、会社や消費者センターに問い合わせるなど、相談することが大切であることを理解する。　（思判表力に関する内容） ・お世話になった先生に感謝を伝えるためのおもてなし会を計画したり、食事やお茶など会に会わせた献立や調理方法を考える。 ・「おもてなし」について考えたり、感謝の気持ちを伝えるために時間や招待状、お礼状など相手の気持ちを考えた「おもてなし」を考え工夫する。 （学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等					

令和　7年度 高等部　3年（　Ⅱ課程　B類型　）家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	3年　Ⅱ課程・B類型　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高１段階） (思判表力）家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えた事を表現するなど、課題を解決する力を養う。 （高１段階） (学･人）家庭や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする実践的な態度を養う（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）幼児の特徴や過ごし方について知ること。（中１段階：A家族・家庭生活工(ア) (思判表力)幼児の特徴や適切な関わりについて気づき、それらを他者に伝えることができる。（中１段階：A家族・家庭生活工(イ) (学･人)家族との触れ合いや地域生活に関心を持ち、家族や地域の人との活動や関わり方を考え工夫することができる。（中１段階：A家族・家庭生活工(イ)	(知・技）幼児や高齢者の特長を知ることができ、関わり方を知ることができる。 (思･判･表)幼児の特長を知り、成長した自分との違いに気付くことができる。また、その違いを表現することができる。 (主学)家族での触れ合いや地域生活での関わりを考え、工夫することができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【家族・家庭生活】 ・子どもと共に ・高齢者と共に ・共に支え合う生活	【家族・家庭生活】 ・乳幼児や高齢者の身体の特徴や過ごし方を動画や写真を通して学習する。 ・乳児の身体的特徴を意識しながら「赤ちゃん抱っこ体験」に挑戦する。 （知及技に関する内容） ・子どもの成長を祝う行事をふり返り、ワークシートにまとめる。 ・絵本やおもちゃ、童謡など、子どもの発達に必要な「あそび」についてまとめる。 （思判表力に関する内容） ・写真や動画を通して、家庭内の危険な場所を確認し、安全に過ごすための工夫について考える。 ・季節や行事（ファミリーデイ、子どもの日）に関わる小物づくりを通して、家族に感謝を伝える。 （学・人に関する内容）
2学期	14	(知及技)健康な生活と食事の役割について知ること（中１段階：B衣食住の生活ア(ア) (思判表力)場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践しようとすること。（中１段階：B衣食住の生活イ(ア) (学･人)住まいの主な働きや、整理整頓や清掃の仕方について知り、実践しようとすること（中１段階：B衣食住の生活工(ア)	(知・技）色分けされた３大栄養素から３色がそれぞれ入るようにバランス良く食材を選ぶことができる。 (思･判･表)衣服の前後やボタン、ファスナーなど、適切に衣服を着用することができる。また、寒暖に合わせた衣服の選択ができる。 (主学)ゴミの始末や道具の片付けなど、必要な整理整頓を見本に合わせて自ら行うことができる。整理の場所が分からない時に合図や質問で確認をとることができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート	【衣食住の生活】 ・日常食の調理 ・布を用いた製作 ・衣類の選択 ・住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	【衣食住の生活】 ・赤・黄・緑の３つの栄養バランスを考えた「お弁当の献立」を考える ・衛生を意識し。調理手順を確認しながら調理に挑戦する。　（知及技に関する内容） ・衣服の適正な着脱ができるよう工夫する。 ・TPOや気候、環境に合わせた着衣を考える、取り組むことができる。 ・好きな布や柄を選びオリジナルの小物作りに取り組む。　（思判表力に関する内容） ・整理・清掃・換気等の住宅の手入れについて理解する。 ・身の回りの整理整頓や清掃に取り組む。 （学・人に関する内容）
3学期	9	(知及技)生活に必要な物について考えて選ぶことや、物を大切に使う工夫をすること。（中２段階：C消費生活・環境ア(イ) (思判表力)生活に必要な物を選んだり、物を大切に使おうとしたりすること（中１段階：C消費生活・環境ア(イ) (学･人)簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにすること。（中１段階：B衣食住の生活イ(ア)	(知・技）買い物の仕組みや必要な物の選び方を知り、必要な物の選択や購入のための金銭のやり取りができる。 (思･判･表)買い物ごっこの中か購入する物の選択を行うことができる。また、購入の過程で金銭の受け渡しや商品の受け取り方を考えることができる。 (主学)高校生活を振り返り、お世話になった人や好きな人へ食を通したおもてなしを教師と一緒に考え、必要な準備に取り組むことができる。 （評価資料）授業の様子、ワークシート、自己評価シート、作品	【消費生活・環境】 ・消費者の基本的な権利と責任 【衣食住の生活】 ・食事の役割 ・調理実習	【消費生活・環境】 ・絵カードや写真を見て、生活に使う物を分類する。 ・使った物をしまう・手入れする練習（エプロン・食器など）　（知及技に関する内容） ・模擬買い物体験（校内通貨・商品カード）で必要な物を選び、支払いまでの流れを確認する。 （思判表力に関する内容） ・お世話になった先生に感謝を伝えるためのおもてなし会を計画したり、お礼状など相手の気持ちを考えた「おもてなし」を考え工夫する。 （学・人に関する内容）

留意点 引継ぎ等	

令和７年度　　高等部3年（Ⅱ課程Ａ類型①②グループ）外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部3学年　（Ⅱ課程Ａ類型①グループ１名、②グループ６名）		プリント教材、カード、学習アプリ他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高2段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高２段階：イ(ｱ)) (学･人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(知･技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、相手に尋ねる。 (主学) 聞き手を意識して話す、または、読み手を意識して書く。英語を用いた積極的なコミュニケーションを行う。 評価資料：ワークシート、提出物、活動の観察	単元1 「自己紹介」 This is Me.	「自己紹介」 情報を整理しながら簡単な英語を使った自己紹介を工夫する。教師や他の生徒の自己紹介を聞く。 I'm ... I like... I'm good at... 「質問」 5W1Hを利用しながら他者へ質問する。 Where do you live? What food do you like?
				単元2 「私の一日」 My Daily Routine	例題に沿って、自分の一日の流れを英語を使って書き、それをクラスで共有する。 I get up at.. What time do you go home?
				単元3 「標識･看板」 Signs	街中で見かける英語の標識や看板の内容を確認する。あわせて建物や施設の英語名称を学習し、日常生活に活かす。 STOP,SLOW,Open, Closed.. / Supermarket ..
				単元4 「行きたい国」 Countries	画像や地図を通して様々な国名を知り、どこに行きたいか、テンプレートを活用しながら伝える。 Japan, Korea, England I want to go to ..
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高２段階：イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句や表現を用いて自分の気持ちや考えを伝え、尋ねる。 (主学) 外国の文化について聞き、多文化への興味を示し、理解・質問する。 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元5「夏休み中のできごと」 My Summer	夏休みの思い出を過去形または簡単な表現を用いてクラスで共有する。 I went to .. I ate..
				単元6「オータムフェスティバル」 Autumn Festival	ハロウィンや感謝祭に関する話や活動を通して、英語圏の文化にふれる。 Happy Halloween. Thanks giving day.
				単元7「体調を伝えよう」 I feel…	病気や体調を表す語を学び、その場面にふさわしい表現を選択し、発音する。 I have a headache. I have a fever.
				単元8「ホリデーシーズン」 Holiday Season	海外の休暇期間の過ごし方や季節ごとの行事と日本の文化を比較する。クリスマスメッセージを送る。 Holiday, Christmas, New Years day
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書いたりすることができる。(高２段階：イ(イ)) (学・人) 外国の文化・風習に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。(高２段階)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 慣れ親しんだ語彙を使って自分の気持ちを伝える。簡易な表現やテンプレートを用いて感謝の気持ちを綴る。また、受け取った文章を読む。 (主学) 外国の文化について聞き、日本の文化との違いを理解・質問する 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元9「ハッピーニューイヤー」 Happy New Year	新年に関する異文化について聞き、日本の文化と比較する。新年のあいさつを交わしたり、新年の抱負を英語の未来形を用いてクラスで共有する事ができる。福笑いをする。 Happy new year. I will .. in this year.
				単元10「私の夢」 My Future	簡単な語句を用いて自分の目標や夢を書き、クラスで共有する。 I want to drive a car.
				単元11「Thank you, teacher!」	テンプレートや簡単な語句を用いてお世話になった友達や教師に感謝の気持ちを伝える。 Dear, from, sincerely

留意点 引継ぎ等	活動内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。

令和７年度 高等部3年（Ⅱ課程Ａ類型③④グループ　）外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部3学年　Ⅱ課程Ａ類型③グループ６名、④グループ８名		プリント教材、カード、学習アプリ他

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞったり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高１段階) (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋑) (思判表力) 簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(高１段階：イ(ｱ)) (学･人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(知･技) 語順や抑揚等の英語の特徴をつかみ、短文を構成する。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 学習した語句や定型表現を用いて自分の気持ちや考えを表現する。 (主学) 聞き手を意識して話す、または、読み手を意識して書く。 評価資料：活動の観察、ワークシート	単元1 「自己紹介」 This is Me.	「自己紹介」 情報を整理しながら簡単な英語を使った自己紹介を工夫する。教師や他の生徒の自己紹介を聞く。 I'm ... I like... I'm good at... 「質問」 5W1Hを利用しながら他者へ質問する。 Where do you live? What food do you like?
				単元2 「私の一日」 My Daily Routine	例題に沿って、自分の一日の流れを英語を使って書き、それをクラスで共有する。 I get up at.. What time do you go home?
				単元3 「標識･看板」 Signs	街中で見かける英語の標識や看板の内容を確認する。あわせて建物や施設の英語名称を学習し、日常生活に活かす。 STOP,SLOW,Open, Closed.. / Supermarket ..
				単元4 「行きたい国」 Countries	画像や地図を通して様々な国名を知り、どこに行きたいか、テンプレートを活用しながら伝える。 Japan, Korea, England I want to go to ..
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋑) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階：イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高2段階)	(知･技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを聞き手に伝え、尋ねる。 (主学) 外国の文化について聞き、多文化への興味を示し、理解･質問する。 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元5「夏休み中のできごと」 My Summer	夏休みの思い出を過去形または簡単な表現を用いてクラスで共有する。 I went to .. I ate..
				単元6「オータムフェスティバル」 Autumn Festival	ハロウィンや感謝祭に関する話や活動を通して、英語圏の文化にふれる。 Happy Halloween. Thanks giving day.
				単元7「体調を伝えよう」 I feel…	病気や体調を表す語を学び、その場面にふさわしい表現を選択し、発音する。 I have a headache. I have a fever.
				単元8「ホリデーシーズン」 Holiday Season	海外の休暇期間の過ごし方や季節ごとの行事と日本の文化を比較する。クリスマスメッセージを送る。 Holiday, Christmas, New Years day
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋑) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う事ができる。(高１段階：イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高2段階)	(知･技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶をする。学習した語句やカード等を使って自分の気持ちや考えを伝える。 (主学) 外国の季節の行事について知り、興味を示す。また、日本との違いに気づく。 評価資料:活動の観察、ワークシート、課題	単元9「ハッピーニューイヤー」 Happy New Year	新年に関する異文化について聞き、日本の文化と比較する。新年のあいさつを交わしたり、新年の抱負を英語の未来形を用いてクラスで共有する事ができる。 Happy new year. I will .. in this year.
				単元10「私の夢」 My Future	簡単な語句を用いて自分の目標や夢を書き、クラスで共有する。 I want to drive a car.
				単元11「Thank you, teacher!」	テンプレートや簡単な語句を用いてお世話になった友達や教師に感謝の気持ちを伝える。 Dear, from, sincerely

留意点 引継ぎ等	※活動内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。

令和７年度 高等部　3年（Ⅱ課程Ｂ類型）外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	高等部3学年　Ⅱ課程Ｂ類型９名		プリント教材、カード、学習アプリ他

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高１段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高１段階：ア（ア）㋐） (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の気持ちを伝えることができる。（高１段階：イ（ア）） (学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知･技) 音声を模倣して発音したり、その英語の音声を聞いて、その内容を指す物を選択する。教師の発話や動きに対して反応する。 (思･判･表) 場面に応じた適切な挨拶をする事ができる。自分の興味のある事柄を示すことができる。教師の発話や動きに対して発声や表情の変化で応答しようとする。 (主学) 教師の呼びかけに対して応答する。また、授業内の活動に積極的に取り組む。活動に対して発声や表情で意欲を示す。 評価資料：活動の様子	あいさつ 天気 家族 数 名詞（学校にあるもの）	あいさつ ･自分(他者)の名前を伝える、呼名に応じる ･How are you?に答える ” How are you?” good. OK. 天気 ･How’s the weather today?に答える ”sunny rainy cloudy” 家族の名称　mother father sister brother 数を数える one to ten 学校にある名詞 desk cheir fan pencil 英語の歌のリズムを通してそれぞれの単元を指導する。 英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して身近な語彙の定着を図る。
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高１段階：ア（ア）㋐） (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の気持ちを伝えることができる。（高１段階：イ（ア）） (学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知･技) 音声を模倣して発音したり、その英語の音声を聞いて、その内容を指す物を選択する。教師の発話や動きに対して反応する。 (思･判･表) 場面に応じた適切な挨拶をする事ができる。自分の興味のある事柄を示す。教師の発話や動きに対して発声や表情の変化で応答しようとする。 (主学) 教師の呼びかけに対して応答する。また、授業内の活動に積極的に取り組む。活動に対して発声や表情で意欲を示す。 評価資料：活動の様子	食べ物 ハロウィン 色、形 名詞（地域にあるもの） クリスマス	食べ物 ･名称を答える ･What is your favorite food?に答える bread rice soup chocolate 異文化理解(ハロウィン、クリスマス) Trick or treat、christmas 色、形 ･What is your favorite color?に答える red blue pink circle square 地域にある名詞 school,convenience store,police station, post office, department store 英語の歌のリズムを通してそれぞれの単元を指導する。 英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して身近な語彙の定着を図る。
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高１段階：ア（ア）㋐） (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて，自分の気持ちを伝えることができる。（高１段階：イ（ア）） (学・人) 言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知･技) 音声を模倣して発音したり、その英語の音声を聞いて、その内容を指す物を選択する。教師の発話や動きに対して反応する。 (思･判･表) 場面に応じた適切な挨拶をする事ができる。自分の興味のある事柄を示す。教師の発話や動きに対して発声や表情の変化で応答しようとする。 (主学) 教師の呼びかけに対して応答する。また、授業内の活動に積極的に取り組む。活動に対して発声や表情で意欲を示す。 評価資料：活動の様子	ハッピーニューイヤー 動物（干支） 福笑い バレンタインズデー １年間のまとめ	あいさつ ･自分(他者)の名前を伝えよう、呼名に応じよう ･How are you?に答えよう ･新年の挨拶をしよう、お正月の英語(名詞) Happy new year January 動物(干支) Zodiac Animals バレンタインデーの英語 Happy valentine present 福笑いをしよう Facial parts & up,down,right,left 感謝の気持ちを伝える、別れの言葉を伝える Thank you Good bye 英語の歌のリズムを通してそれぞれの単元を指導する。 英語が書かれたカードを用いたマッチングやぬりえ等を通して身近な語彙の定着を図る。

留意点 引継ぎ等	※単元及び学習内容については、生徒の興味関心や学校行事などに応じて順序を入れ替えたり、組み合わせたりするなど工夫する。 ※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。

令和　7年度 高等部　3年（　Ⅱ課程A類型①②③④グループ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3学年　21名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高１段階) (思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高１段階) (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度，情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。（高1段階Aア（イ）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ））	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。 (思･判･表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクス禁止法） ・自分の情報は自分で守る 情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・動画視聴（文科省　情報モラル⑪パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。
		(学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・夏のポストカード作成	・「夏」をテーマにしたポストカードを作成しよう。出来上がったカードを学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
2学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。（高1段階　Bア（イ））	(知･技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進	・身近なユニバーサルデザインを再確認（シャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。
	7	(思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて，必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。（高1段階　Bイ（イ））	(思･判･表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・クリスマスカード作成	・テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか学校内に掲示し、他の生徒に意見を聞いてみよう。
		(学･人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物		
3学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積，管理，提供する基本的な方法，情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。（高1段階　Cア（イ））	(知･技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
	4	(思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。（高1段階　Cイ（イ））	(思･判･表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
		(学･人) ･身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・オリジナル名刺作成 ・卒業生へ送るメッセージカード作成	・オリジナルの名刺を作成し、先生や友達、お家の人に渡して意見を聞いてみよう。 ・卒業する3年生にメッセージカード作成しよう。印刷したカードは3年生が見られるよう廊下に掲示する。

留意点	

令和　7年度 高等部　3年（Ⅱ課程B類型）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3年　8名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高１段階） (思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高１段階） (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思･判･表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報1 ・ネット依存1 撮った写真を活用しよう ・テーマを決めてカードを作ろう	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。 ・自分だけのテーマを決めて、自分で撮った写真を使ったカード作成
2学期	7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る。（高1段階 B ア（ア）） (思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える。（高1段階 B イ（ア）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知･技) ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解しようとしている。 (思･判･表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解しようとしている。 (主学) 情報を加工し発信する方法が分かり、作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	メディアの発達 ・手紙 ・携帯電話とインターネット 誰でも表現者・発信者の時代 ・表現活動の多様化 ・デジタル機器の普及、発達 ・個人情報２ ・ネット依存２ 写真加工に挑戦 ・クリスマスカードを作ろう	・手紙→電話→携帯電話→メール→SNS等… メディアの発達を知る。（動画視聴 NHKforschool） ・写真撮影、印刷、模造紙にまとめ発表（情報発信）を行う。 ・ネット依存についてカードを使い、ネット依存症予防をどのように行うかゲームを通して学ぶ。 ・写真やシールを貼り付け簡単なクリスマスカードの作成をし、廊下に掲示してみよう。
3学期	5	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付ける。（高1段階 A ア（ア）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える。（高1段階 A イ（イ）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高1段階）	(知・技) ・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。 ・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 ※活動の様子で評価。 (思･判･表) ・個人情報とは何か理解しようとしている。 (主学) ・「相手を気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	情報とメディア ・メディアの利用 情報モラル ・個人情報3 ・ネット依存3 ・オリジナル名刺作成	・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、写真・動画の撮影方法、各種アプリの操作。 ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」 ・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。 個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。 ・シールやイラストで飾り付けをしたオリジナルの名刺を作成しよう。
4					
留意点 引継ぎ等		メディアの利用、情報モラルについては定着を図りたいため繰り返し学習する。機器の貸し借りや時間内での利用等のマナーも学期を通して指導する。DVD等の視聴は生徒の状態をみながら適宜、個別で視聴できるよう配慮する。			

令和　7　年度 高等部　　3年（　Ⅱ　課程　A類型　）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3年1組　5名 3年2組　5名 3年3組　5名 3年4組　6名		新訂　新しい道徳　3

年間目標	(A：自分自身に関する事)　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事)　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事)　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和７年度　高等部　　３年（　Ⅱ　課程　B類型　）特別の教科　道徳　　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３年５組　４名 ３年６組　５名		

年間目標	(A：自分自身に関する事)　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度をとることができる。 (B：人との関わりに関する事)　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、異なる意見や立場を広い心をもって尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度をとることができる。 (C:集団や社会との関わりに関する事)　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度をとることができる。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)　自然の偉大さや、かけがえのない生命の尊さを理解し、人間として生きる喜びを感じる心を自ら育てることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。 ・絵を見ながら様々な場面でどういう挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることができる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをすることができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持って ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良くし、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度　高等部　3年（Ⅱ課程 A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位（35時間）	3年　Ⅱ課程　A類型　21名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）就業体験などの体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力）就業体験を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人）体験活動に主体的・協働的に取り組むとともに、集団の中で話し合い課題を解決する力や能力を身につけることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 就業体験の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2学期	14	(知及技) 就業体験の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 就業体験の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 ○卒業生講話	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○就業体験における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 販売学習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 販売学習を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○生産物販売学習 事前学習 事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○販売学習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。
留意点引継ぎ等					

令和7年度　高等部　3年（Ⅱ課程 B類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位（35時間）	3年　Ⅱ課程　B類型　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 就業体験などの学習活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力) 就業体験などの学習活動を通して、自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学･人) 課題解決や探求活動に主体的・協働的に取り組む態度を養うことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 就業体験を振り返って成果を確認し、発表することができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 就業体験を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 〇自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	〇前期就業体験(校外) 事前学習 事後学習	〇動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 〇就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 〇各自の目標に対する自己評価を行う。 〇報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。
2学期	14	(知及技) 就業体験の期間や内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返って成果を確認し、発表することができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 働くために必要な力は何か考えようとしている。また、実習を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 〇自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	〇後期就業体験(校外) 事前学習 事後学習 〇卒業生講話	〇動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 〇就業体験における持ち物や約束事を確認し、目標を設定する。 〇各自の目標に対する自己評価を行う。 〇報告会を通して、具体的な仕事内容について学ぶ。 〇卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 販売学習の内容を理解し、見通しを持つことができる。 (思判表力) 販売学習を振り返って成果を確認し、発表をしようとすることができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し、皆と協力して活動に取り組むことができる。	(知･技) 働く上で大切なことを知り、見通しをもって取り組もうとしている。 (思･判･表) 販売学習を振り返り、自己の目標が達成できたかどうかを発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら活動に取り組もうとしている。 〇自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	〇生産物販売学習 事前学習 事後学習	〇動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 〇販売学習における約束事を確認し、目標を設定する。 〇各自の目標に対する自己評価を行う。
留意点引継ぎ等					

令和７年度　高等学部　３年（　　Ⅱ課程　A類型　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3年1組　5名 3年2組　5名 3年3組　5名 3年4組　6名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思・判・表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○入学式・終業式	○入学式、終業式に参加する。
		○健全な発達や健康の維持を目指す。	○身体測定	○身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。
		○生徒同士協力して学校生活の充実と後方に向けても意識を持つ。	○ホームルーム活動 ○生徒総会	○ホームルーム内の役割分担やルール作りを考える。 ○生徒総会の運営と実施方法を学ぶ。
		○防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。	○火災避難訓練	○火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。
		○自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づくことができる。	○キャリアパスポート	○キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返る。
		○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深める。	○学校間交流	○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換を通して交流に参加する。
2学期	14	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○始業式・終業式	○始業式、終業式に参加する。
		○災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。	○地震津波避難訓練	○地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。
		○健全な発達や健康維持を目指す。	○校内陸上大会	○校内陸上大会で自分の種目に精一杯参加する。
		○自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づくことができる。	○キャリアパスポート	○キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返る。
		○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票する。 ○公共でのマナーやルールを学ぶ。	○生徒会役員選挙	○選挙について学ぶ。 ○社会のマナーやルールを学ぶ。
3学期	9	○体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。	○始業式・卒業式・修了式	○始業式、卒業式に参加する。
		○一生懸命練習してきた成果を活かしたり、出場選手を応援することができる	○特体連駅伝大会(校外学習)	○成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。
		○自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づくことができる。	○キャリアパスポート	○キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返る。

		○支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動する。	○3年生を送る会	○3年生を送る会に参加する。
留意点 引継ぎ等				

令和７年度　高等部３年（　Ⅱ課程　B類型　）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年5組4名　3年6組5名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見い出し、解決するために話し合って合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学･人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会に主体的に参画し、生活や人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度をとることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	○儀式への参加を通して新しい環境への心構えを確認することができる。	○始業式、終業式	○進級の喜びを感じ、これからの生活への意欲を持つ。
		○健全な発達や健康の維持について関心をもつことができる。	○身体測定・内科検診	○身体測定等の結果より、自己の生活習慣の見直し、及び自分の健康に関心を持つ。
		○生徒会の一員として、皆と協力して活動することができる。	○ホームルーム活動 ○生徒総会 ○新入生歓迎会	○ホームルーム内の役割分担やルール作り。 ○生徒会の一員としての役割を持ち、活動する。
		○自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づくことができる。	○キャリアパスポート	○キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返る。
		○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。	○火災避難訓練	○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。
2学期	14	○儀式への参加を通して学校生活を送るための心構えを確認することができる。	○始業式、終業式	○学期ごとの具体的な目標を持って生活する。
		○災害時の知識を学び、安全に気を付けて、避難することができる。	○地震津波避難訓練	○避難する際の注意点の確認と実践、及び安全な行動様式を身につける。
		○地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。	○学校間交流	○学校紹介のビデオレター作成やプレゼントの交換をする。
		○健全な発達や健康維持を目指すことができる。	○体育祭 ○特体連体育大会（校外）	○大会の各種目への参加。自分の目標に向かって、努力する力を身につける。
		○性に対する正しい知識を学習し、知識を深めることができる。	○性教育	○世界エイズデーについての学習する。
		○選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。	○生徒会役員選挙	○生徒会役員選挙を通して、選挙の意義や具体的な仕組みを体験し、選挙人としての自覚を持つ。
		○自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づくことができる。	○キャリアパスポート	○キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返る。
		○公共でのマナーやルールを学ぶことができる。	○校外学習	○公共の場での行動の仕方を身につける。
3学期	9	○儀式への参加を通して学校生活を送るための心構えを確認することができる。	○始業式	○始業式への参加。その場にふさわしい行動ができるようにする。
		○一生懸命練習してきた成果を活かしたり、出場選手を応援することができる	○特体連駅伝大会(校外学習)	○成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関を使う機会をもつ。
		○自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づくことができ	○キャリアパスポート	○キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返る。
		○儀式への参加を通して高校生活を振り返り、社会人としての心構えを確認する。	○卒業式	○１２年間の成長を実感し、社会への希望を持つ。
通年を通して行う		○学級活動で自分の意見や意志を示し、他者の意見を聞くことができる。	○ホームルーム活動	○学級活動やルールなどについての話し合う。
		○最終学年であることを確認（自覚）することができる。	○３学年集会	○最終学年の生徒として自覚を持って行動する。

留意点 引継ぎ等	

センター

分教室

令和７年度 高等部　センター分教室２年（　Ⅱ課程Ａ類型　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	２学年　９名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高１段階) (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高１段階) (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	3	(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。(高１段階ア(ｲ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、、間の取り方などを工夫すること。(高１段階Ａエ) (学･人) 文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら発表に取り組むことができる。(高１段階)	(知･技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 (思･判･表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、、間の取り方などを工夫している。 (主学) 文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら自分のことを伝えようとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自分のことを理解する ・自分の情報をまとめる ・話し方のポイント ・自己紹介	・自分の基本情報や好きなことなどについて、項目ごとに整理しながら「自己紹介シート」にまとめ、自己紹介をする。 ・話し方、態度について確認し、自己紹介をする。 ・互いの発表を聞いて感想や良いところ、改善点を共有する。
	7	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高１段階ア(ｷ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高１段階Ｃオ) (学･人) 作品に込められた気持ちや情景を想像したり、自分とむすびつけて考えることができる。(高１段階)	(知･技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 (思･判･表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができている。 (主学) 作品に込められた気持ちや情景を想像したり、自分とむすびつけて考えようとしている。	単元「詩を読もう」「詩を書こう」 ・詩の音読 ・詩の鑑賞 ・詩の作成	・何編か詩を聞く。また、音読する。 ・印象に残った箇所と理由を発表する。 ・自分の気持ちや感じることを言葉や文字にして表現し、詩の形にしてみる。 ・平和に関する詩を用いたり戦争の話を聞いたりして具体的な様子を想像する。 ・内容を想像しながら平和の詩を音読する。 ・詩を読んでの感想を発表する。 ・詩で描かれている情景と自分の生活を振り返り、「平和」とは何か考える。 ・「平和」をテーマにした詩を書く。
	5	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高１段階ウ(ｳ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高１段階Ｃオ) (学･人) おすすめの本を選んだり、好きな部分を探したりして読書に親しむことができる。(高１段階)	(知･技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができている。 (思･判･表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができている。 (主学) おすすめの本を選んだり、好きな部分を探したりして読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・市立図書館見学 ・学校図書館の利用 ・読書活動 ・おすすめの本の紹介	・市立図書館の役割や利用のマナーを知り、活用する。 ・様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、実際に手に触れることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。 ・自分の好きな本を選び、おすすめしたいポイントや簡単な内容をまとめ本の紹介をする
	7	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高１段階ア(ｶ)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高１段階Ａエ) (学･人) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。(高１段階)	(知･技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができている。 (思･判･表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学) 学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・敬語とは ・敬語の種類 ・職場でよく使う挨拶 ・正しい姿勢で話そう	・敬語が必要な場面や使う意義について考える。 ・「尊敬語」などの敬語の種類について知る。 ・日常生活の中で使われている敬語や職業場面でよく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組む。

	3	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。（高１段階ア(ｳ)） (思判表力）相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。（高１段階Ｂア） (学･人）暑中見舞いの意義を理解し、すすんで書くことができる。（高１段階）	(知･技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができている。 (思･判･表）相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にして書いている。 (主学）暑中見舞いの意義を理解し、すすんで書こうとしている。	単元「暑中見舞いを書こう」 ・手紙の書き方 ・暑中見舞いの作成	・手紙の種類や葉書の正しい書き方、季節の挨拶について学ぶ。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手を見舞い自分の近況を伝える、という暑中見舞いの意義を踏まえて相手に伝えたい内容を考え、文章の構成や言葉遣い、表記に注意しながら通信面を書く。
2学期	5	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（高１段階ア(ｱ)） (思判表力）社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。（高１段階Ａア） (学･人）言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えたりすることができる。（高１段階）	(知･技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができている。 (思･判･表）社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。 (主学）言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えようとしている。	単元「メモをとろう」 ・メモの取り方 ・話の内容を捉えよう ・メモをとって伝えよう	・職業場面などと関連づけて話を正しく聞き取ることの大切さ、メモをとることの必要性について考える。 ・「いつ」「どこで」「誰が」の５Ｗ１Ｈや必要に応じて言葉を省略していいことなど、メモを取るときに必要な事柄を確認する。 ・連絡事項や説明、電話対応など実際の場面を想定し、２～３文の短い文、長い文と段階的に話を聞いてメモをとる練習をする。 ・聞き取った内容を他の人に伝言したり、聞き取れなかった場合の聞き返し方について確認、練習する。
	4	(知及技）身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、簡単な挨拶を使うことができる。（高１段階ウ(ｱ)） (思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高１段階Ａエ） (学･人)生活の中で身近に使われている方言を知り、使うことにより郷土の言語文化に親しむことができる。（高１段階）	(知･技）身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、簡単な挨拶を使うことができている。 (思･判･表）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学)生活の中で身近に使われている方言を知り、使うことにより郷土の言語文化に親しもうとしている。	単元「方言に親しもう」 ・うちなーぐちカルタ ・しまくとぅばを学ぼう	・うちなーぐちカルタを通して、簡単な方言の意味や使い方について知る。 ・地域によって違う方言が使われていることや、自分の地域の方言の特徴について学ぶ。 ・方言での簡単な挨拶や日常生活でのやりとりについて学び、具体的な場面を設定してロールプレイをする。
	5	(知及技）日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。（高１段階ア(ｶ)） (思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高１段階Ａエ） (学･人）学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。（高１段階）	(知･技）日常よく使われる敬語を理解し使うことができている。 (思･判･表）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学）学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・職場でよく使う挨拶 ・対応を考えよう ・正しい姿勢で話そう	・日常生活の中で使われている敬語や職業場面でよく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組めるようにする。
	10	(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解することができる。（高２段階ウ(ｱ)） (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表すことができる。（高１段階Ｂア） (学･人)自分の思いや考えを言葉で素直に表現しようとすることができる。（高１段階）	(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解している。（高２段階ウ(ｱ)） (思･判･表)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確に表そうとしている。 (主学)自分の思いや考えを自分の言葉で表現しようとしている。	単元「俳句をつくろう」 ・俳句とは ・俳句作成 ・鑑賞会	・読みやすい文語調の俳句の作品を鑑賞、音読し、短歌の歴史や形式について知る。 ・自分の気持ちに合う言葉を集め、俳句の形式に整えて表現する。 ・鑑賞会の中で、お互いの感想を交流する。
	10	(知及技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。（高１段階ア(ｷ)） (思判表力）登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。（高１段階Ｃア） (学･人)文学特有の表現や内容の面白さを感じ取り、楽しみながら作品を読もうとする。（高１段階）	(知･技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 (思･判･表）登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えている。 (主学)文学特有の言葉遣いや表現の面白さを感じ取り、楽しみながら作品を読もうとしている。	単元「文学に親しもう」 ・「走れメロス」	・登場人物の言動や情景描写から、登場人物の人物像を考える。 ・登場人物の心情の変化を場面に沿って捉える。 ・登場人物と自分自身を比較し、共通点や相違点を考える。 ・内容のまとまりを意識しながら音読をし、作品特有の言葉遣いなど表現について考える。

	8	(知及技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。（高１段階ウ(ｲ)㋐） (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（高１段階Ｂウ） (学･人))書道を通して、日本文化に親しむことができる。（高１段階）	(知･技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができている。 (思･判･表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学）書道を通して、日本文化に親しんでいる。	単元名「日本文化に親しもう」 ・さまざまな筆の感触を味わおう ・好きな文字や言葉を書こう ・道具の名前を覚えよう	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、新年の目標や自分の書きたい字を選ぶ。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。
	3	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。（高１段階ア(ｳ)） (思判表力）相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。（高１段階Ｃエ） (学･人）年賀状の意義を理解し、すすんで書くことができる。（高１段階）	(知･技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができている。 (思･判･表）相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にして書いている。 (主学）年賀状の意義を理解し、すすんで書こうとしている。	単元「年賀状を書こう」 ・年賀状の作成	・年賀状の目的や賀詞の選び方、忌み言葉を使わないなどのルールについて確認する。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手の立場に合った賀詞を選ぶ。 ・新年の挨拶という年賀状の意義を踏まえて相手に伝えたい内容を考え、文章の構成や言葉遣い、表記に注意しながら通信面を書く。
３学期	2	(知及技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。（高１段階ウ(ｲ)㋐） (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（高１段階Ｂウ） (学･人)書き初めを通して、日本文化に親しむことができる。（高１段階）	(知･技）文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができている。 (思･判･表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学）書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・新年の目標を書こう	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、新年の目標や自分の書きたい字を選ぶ。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。
	10	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。（高１段階ア(ｱ)） (思判表力）社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。（高１段階Ａア） (学･人）言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えたりすることができる。（高１段階）	(知･技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができている。 (思･判･表）社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。 (主学）言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えようとしている。	単元「メモをとろう」 ・話の内容を捉えよう ・メモをとって伝えよう ・インタビューしよう	・職業場面などと関連づけて話を正しく聞き取ることの大切さ、メモをとることの必要性について考える。 ・「いつ」「どこで」「誰が」の５Ｗ１Ｈや必要に応じて言葉を省略していいことなど、メモを取るときに必要な事柄を確認する。 ・連絡事項や説明、電話対応など実際の場面を想定し、２～３文の短い文、長い文と段階的に話を聞いてメモをとる練習をする。 ・聞き取った内容を他の人に伝言したり、聞き取れなかった場合の聞き返し方について確認、練習する。
	8	(知及技）生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。（高２段階ウ(ｲ)） (思判表力）段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。（高１段階Ｃイ） (学･人）故事成語の意味や成り立ち、話の面白さを理解し、すすんで読んだり自分の表現に生かそうとすることができる。（高１段階）	(知･技）生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができている。 (思･判･表）段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (主学）故事成語の意味や成り立ち、話の面白さを理解し、すすんで読んだり自分の表現に生かそうとしている。	単元「故事成語」 ・故事成語とは ・五十歩百歩、蛇足　など	・日本と中国の言葉、文化の違いに注目しながら故事成語とはなにか学ぶ。 ・「五十歩百歩」など内容を理解しやすい漢文（訳文）を用いて、登場人物の関係や場面展開を読み取り、故事成語の成り立ちと意味について確認する。 ・音読する。 ・日常生活を振り返り、学習した故事成語に当てはまる場面や、故事成語を用いた例文を考える。
年間を通した指導	15	(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。（高１段階ア(ｴ)） (思判表力）目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができている。（高１段階Ｃエ） (学･人）自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えることができる。（高１段階）	(知･技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 (思･判･表）目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができている。 (主学）自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えようとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツチャレンジ゛NIE ・新聞スクラップ	・新聞の構造について学ぶ。 ・自分の興味のある記事記事を選び、ワークシートを用いて５Ｗ１Ｈや中心となる語を見つける。 ・辞書やｉＰａｄなどを用いてわからない語の意味を調べる。 ・記事を読んで感想を書く。 ・自分が集めた記事や、テーマに沿った記事を集め、新聞スクラップを作成する。

留意点 引継ぎ等	

令和7年度 高等部センター分教室　2年（　Ⅱ課程A類型　）社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部　2学年　9名		「くらしに役立つ　社会」東洋館出版社　等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。(高１段階) (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高１段階） (学･人)社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技）地球上における日本の位置を認識し、また沖縄や自分の住む市町村に関する位置関係を理解することができる。（高１段階：オ（ア）㋐） （思判表力）学校と自分の住む場所との位置関係を方位で表すことができる。（中１段階：オ（ア）㋑） （学・人）自分たちの県の地理的環境の特色を考え、学んだことを生かして生活を送ろうとすることができる。（高２段階）	(知・技）世界地図を見て日本がどこに位置しているか理解できている。 (思･判･表)学校と自分の住む場所との位置関係を八方位で表すことができている。 （主学）プリントに自分の考えをまとめている。	・地図で見る日本と沖縄	・方位と地図について、地図上の施設などを方角で示すことができる。 ・六大陸と日本について世界地図を活用し、それぞれの大陸の位置関係をパズルを使って確認する。 ・世界の国々について様々な国々の文化や気候などの特徴を自分で調べて発表する。 ・沖縄と自分の住む市町村について、特産品やオススメスポットなどをまとめる。
		（知及技）慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。（高２段階：オ（イ）㋐） (思判表力)戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高２段階：オ（イ）㋑） (学･人)50年前の沖縄と現在を比べ、今後はどのように生活が変わるかイメージすることができる。（高２段階）	(知・技）視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できている。 (思･判･表)視聴覚教材をみて発問について考えている。または、プリントに表現している。 (主学）イメージをワークシートに表現している。	・復帰記念日・慰霊の日	・復帰記念日の歴史的背景について、太平洋戦争から戦後の日本と沖縄の様子を視聴覚教材などを利用しながら当時の様子を考える。 ・慰霊の日の歴史的背景について、沖縄戦の状況を知るために校外学習を行う。
		（知及技）SDGｓの目標について理解することができる。（高２段階：カ（ア）㋐） (思判表力）SDGｓの目標達成に向けて自分が果たす役割を考え、表現することができる。（高２段階：カ（ア）㋑） （学・人）SDGｓの目標の解決に向けて自分ができることを調べ、考えようとしている。（高２段階）	（知・技）SDGｓの目標について理解できている。 (思･判･表）SDGｓの１7の目標から自分の興味がある目標を選び、解決に向けて自分ができることを考え、ワークシート等にまとめている。 (主学）資料等を基に、SDGｓの目標の解決に向けて自分ができることを考えようとしている。	・SDGsについて学ぼう	・SDGsについて１７の目標の内容を学習し、すぐにできることは何かを具体的に考えて発表する。
		（知及技）日本国憲法が第二次世界大戦のあとに作られたことが理解できる。（高１段階：イ（イ）㋐） (思判表力) ルールの意義について考えることができる。（高２段階：イ（イ）㋑） (学･人)よりよいルールについて考えようとすることができる。（高２段階）	(知・技）教師の説明や視聴覚教材に着目している。または復習テストで正解できている。 (思･判･表)視聴覚教材をみて考えている。 (主学）資料等を見て新しいルールについて考えている。	・憲法と民主主義	・日本国憲法と明治憲法を比較し、それぞれの特徴から幕府政治から民主主義への移り変わりについて学習する。 ・民主主義について、身近な制度などを通して政治と実生活が密接になっていることを考える。
		（知及技）多数決の原理について理解することができる。（高２段階：ア（イ）㋐） (思判表力)模擬選挙の際、代表者を選択することができる。（中１段階：ア（ア）㋑） （学・人）選挙で代表を選ぶ仕組みや、国民の権利、意義等について理解し、政治参加への意欲がある。（高２段階）	（知・技）数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 （思・判・表）自分の中で代表者を選択した理由がある。 （主学）プリントに自分の考えをまとめている。	・選挙制度について	・国政選挙と生徒会役員選挙について選挙の仕組みを学ぶ。 ・マニフェストを比べて、身近な事から比較し考えてみる。

2学期	28	（知及技）異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であると理解することができる。（高１段階：カ（ア）㋐） （思判表力）日本と関係の深い人々の生活に着目して、グローバル化する国際社会における日本の役割を考え、表現することができる。（高２段階：カ（ア）㋑） （学・人）グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中２段階）	（知・技）文化や習慣の違いに気づき、異なる文化の尊重についても理解できている。 （思・判・表）さまざまな国にルーツをもつ人々と共に生きる社会について、自分ができることを考えようとしている。 （主学）グループ活動（調べ学習）に参加することができる。	・世界の中の日本	・異文化理解について、校外学習などで実際に世界の国々の実情などを学ぶ。 ・国際協力について自分が貢献できることは何かを考える。 ・沖縄の移民について、歴史的背景を含めなぜ海外へ移住することになったのか当時の人たちの気持ちを考える。
		（知及技）修学旅行先の観光地について、知ることができる（中２段階：オ（ア）㋐） (思判表力)修学旅行先の地理的・文化的特徴を調べることで、他府県や沖縄の良さについて考えることができる。（中２段階：オ（ア）㋑） （学・人）グループ活動（調べ学習）に参加することができる。（中２段階）	(知・技）修学旅行先の特徴を用紙にまとめている。 (思･判･表)修学旅行先と沖縄の違いを考え、用紙にまとめている。 (主学）アイデアを出したり、作成課題に考えを記入することなどにより、グループ活動に参加している。	・修学旅行にむけて	・修学旅行事前学習の一環でガイドマップを作る。 ・おすすめスポットをクラスメイトに紹介する。
3学期	18	（知及技）買い物や契約についての法やきまりについて理解することができる。（高２段階：ア（イ）㋐） （思判表力)消費者トラブルについて学習し、トラブル予防や困ったときの対処方法について考え、表現することができる。（高２段階：ア（イ）㋑） （学・人）消費者として自分の生活を守る意識を高めることができる。（高１段階）	（知及技））買い物や契約についての法やきまりについて理解している。 (思･判･表)消費者トラブルの予防や対応策について考えをプリントにまとめたり、グループで発表したりしている。 （主学）消費者として適切な行動について考えようとしている。	・国の社会ときまり	・未成年者を守るしくみについて、様々な法律や制度を学び、どういうときに必要になるのかを一緒に考える。 ・消費者トラブルに関する出前講座等を活用し、様々な立場、視点から消費者としての適切な行動を知る。
		（知及技）現代社会の特徴を知ることができる。（高２段階：ア（ア）㋐） （思判表力）自分たちが生きている社会の特徴や課題を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができる。（高１段階ア（ア）㋑） （学・人）地域社会の一員として、自分の役割と責任や人権について考えることができる。（高１段階）	（知・技）現代社会の特徴について、プリントにまとめている。 （思判表力）自分たちが生きている社会の特徴や課題を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現しようとしている。 （学・人）地域社会の一員として、自分の役割と責任および人権について考えようとしている。	・現代社会と私たち ・これからの社会	・社会参加と自立について現代社会の特徴を実生活に関連させイメージしながら考え自分の意見を発表することができる。 ・労働環境の変化について、卒業後の進路も含め就労にむけて意識付けていく。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度　高等部センター分教室　２年（　Ⅱ課程Ａ類型　）数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部２年　(9) 名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明確・的確に表現する力を身に付けるようにする。(高１段階) (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。 また、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 概数が用いられる場面について知ることができる。（高１段階Ａウ㋐） 目的に応じて四則計算の見積もりができる。（高１段階Ａウ㋑） (思判表力) 目的にあった数の処理の方法を考えることができる。（高１段階Ａウ㋐） (学･人) 目的にあった数の処理の仕方を考え日常生活に生かす。（高１段階）	(知･技) 概数が用いられる場面について理解できている。 目的に応じて四則計算の見積もりができている。 (思･判･表) 目的にあった数の処理の仕方を考えることができている。 (主学) 目的にあった数の処理の仕方を考え日常生活に生かすことができている。	【Ａ数と計算】 ウ 概数	・概数がどのような場面で使われているか知る ・四捨五入に方法について学習する ・目的に応じて四則演算の課程で四捨五入を活用する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	5	(知及技) 加法及び減法の計算が確実にでき，それらを適切に用いることができる。（高１段階Ａエ㋑） (思判表力) 計算の仕方を考えたり，計算に関して成り立つ性質を見いだすことができる。（高１段階Ａエ㋐） (学･人) 数量の関係に着目し，計算に関して成り立つ性質を活用して，計算を工夫したり，計算の確かめができる。（高１段階）	(知･技) 加法及び減法の計算が確実にでき，それらを適切に用いることができている。 (思･判･表) 計算の仕方を考えたり，計算に関して成り立つ性質を見いだしたりすることができている。 (主学) 数量の関係に着目し，計算に関して成り立つ性質を活用して，計算を工夫したり，計算の確かめをしたりすることができている。	【Ａ数と計算】 エ 整数の加法及び減法	・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いる ・2位数～3位数の加法、減法を行う ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考える ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 乗法の計算が確実にでき，それを適切に用いることができる。（高１段階Ａオ㋑） (思判表力) 計算の仕方を考えたり，計算に関して成り立つ性質を見いだすことができる。（高１段階Ａオ㋐） (学･人) 計算に関して成り立つ性質を活用して，計算を工夫したり計算の確かめができる。（高１段階）	(知･技) 乗法の計算が確実にでき，それを適切に用いることができている。 (思･判･表) 計算の仕方を考えたり，計算に関して成り立つ性質を見いだしたりすることができている。 (主学) 計算に関して成り立つ性質を活用して，計算を工夫したり計算の確かめをしたりすることができている。	【Ａ数と計算】 オ 整数の乗法	・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いる ・2位数～3位数の乗法を行う ・乗法に関して成り立つ性質について理解する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 何倍かを表すのに小数を用いることができる。（高１段階Ａキ㋐） (思判表力) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，計算の仕方を考えることができる。（高１段階Ａキ㋐） (学･人) 小数が日常生活に生かされている場面を探すことができる。（高１段階）	(知･技) 何倍かを表すのに小数を用いることを理解することができている。 (思･判･表) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，計算の仕方を考えることができている。 (主学) 小数が日常生活に生かされている場面を探すことができている。	【Ａ数と計算】 キ 小数とその計算	・ある量の何倍かを表すのに小数を用いる ・小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算を行う ・小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算を行う ・余りの大きさについて学習する ・日常生活で使用されている小数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

	7	(知及技) 分数の加法・減法の計算ができる。（高１段階Ａケ㋐） 大きさの等しい分数があることを知ることができる。（高１段階Ａケ㋑） (思判表力) 分数の大きさを比べ，計算することができる。（高１段階Ａケ㋒） (学･人) 分数が日常生活に活かされている場面を探すことができる。	(知･技) 分数の加法・減法の計算ができている。 大きさの等しい分数があることを理解できている。 (思･判･表) 分数の大きさを比べ，計算できるかどうかを考えることができている。 (主学) 分数が日常生活に活かされている場面を探すことができている。	【Ａ数と計算】 ケ 分数とその計算	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを分数で表す ・分数の表し方について知る ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを学習する ・分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算を行う ・分数の大小比較をする ・同分母の分数の加法及び減法の計算をする ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	4	(知及技) 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し，正しく計算することができる。（高１段階Ａコ㋒） 数量を □，△ などを用いて表し、その関係を式に表したり，□，△ などに数をあてはめて調べたりすることができる。（高１段階Ａコ㋓） (思判表力) 二つの数量の対応に着目し，簡単な式で表されている関係について考察することができる。（高１段階Ａコ㋑） (学･人) 数量の関係を表す式を，簡潔に表現するために □，△ などの記号を利用することができる。（高１段階）	(知･技) 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し，正しく計算することができている。 数量を □，△ などを用いて表し、その関係を式に表したり，□，△ などに数をあてはめて調べたりすることができている。 (思･判･表) 二つの数量の対応に着目し，簡単な式で表されている関係について考察している。 (主学) 数量の関係を表す式を，簡潔に表現するために □，△ などの記号を利用することができている。	【Ａ数と計算】 コ 数量の関係を表す式（文字を用いた式）	・四則の混合した式や（）を用いた式について理解し、正しく計算する ・公式についての考え方を理解し、公式を用いる ・数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べる ・数量の関係を表す式についての理解を深める ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
２学期	6	(知及技) 正の数と負の数について理解することができる。（高１段階Ａア㋐） 正の数と負の数の四則計算をすることができる。（高１段階Ａア (思判表力) 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。（高１段階Ａア㋑） (学･人) 身の周りにある数に親しみ，日常の事象の中で正の数と負の数を探すことができる。（高１段階）	(知･技) 正の数と負の数について理解することができている。四則計算をしている。 (思･判･表) 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができている。 (主学) 身の周りにある数に親しみ，日常の事象の中で正の数と負の数を探すことができている。	【正の数と負の数】	・負の数の意味や表し方について知る ・正の数や負の数が混ざった加法及び減法の計算をする ・身の回りにある負の数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	9	(知及技) 平行四辺形，ひし形，台形について知ることができる。（高１段階Ｂア㋐） 図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに，図形の合同について理解することができる。（高１段階Ｂア㋑） 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。（高１段階Ｂア㋒） 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ることができる。（高１段階Ｂア㋓） (思判表力) 図形を構成する要素に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見出し，その性質を筋道を立てて考え，説明したりする。（高１段階Ｂア㋑） (学･人) 学習したことをふり返り，課題の解決に取り組む。（高１段階）	(知･技) 平行四辺形，ひし形，台形について覚えている。 図形の形や大きさが決まる要素について理解することができているとともに，図形の合同について理解している。 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 円と関連させて正多角形の基本的な性質を理解している。 (思･判･表) 図形を構成する要素に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見出し，その性質を筋道を立てて考え，説明したりすることができている。 (主学) 学習したことをふり返り，課題の解決に取り組むことができている。	【Ｂ図形】 ア 平面図形	・平行四辺形，ひし形，台形について知る ・図形の合同について学習する ・三角形や四角形など多角形の基本的な性質について学習する ・円と関連させて正多角形の基本的な性質を学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	9	(知及技) 立方体、直方体について知ることができる。（高１段階Ｂイ㋐） 直方体に関連して，直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。（高１段階Ｂイ㋑） 見取り図，展開図について知ることができる。（高１段階Ｂイ㋒） 角柱や円柱について知ることが	(知･技) 立方体、直方体について理解することができている。 直方体に関連して，直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができている。 見取り図，展開図について理解することができている。 角柱や円柱について理解することができている。	【Ｂ図形】 イ 立体図形（空間図形）	・立方体，直方体について学習する ・直方体に関連して，直線や平面の平行や垂直の関係について学習する ・見取図，展開図について学習し、作図を行う ・基本的な角柱や円柱について学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

		(思判表力) 立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し，図形の性質を見いだすことができる。（高１段階Ｂイ㋐） (学･人) 学習したことをふり返り，課題の解決に取り組むことができる。（高１段階）	(思･判･表) 立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し，図形の性質を見いだすことができている。 (主学) 学習したことを振り返り，課題の解決に取り組んでいる。		
	9	(知及技) 簡単な場合について，比例の関係があることを知ることができる。（高１段階Ｃア㋐） (思判表力) 伴って変わる二つの数量を見いだして，表，グラフや式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。（高１段階Ｃア㋐） (学･人) 伴って変わる二つの数量について考え、学習したことを生活や学習に活用しようとすることができる。（高１段階）	(知･技) 簡単な場合について，比例の関係があることを覚えている。 (思･判･表) 伴って変わる二つの数量を見いだして，表，グラフや式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 (主学) 伴って変わる二つの数量に注目し，多面的に捉え検討して，学習したことを生活や学習に活用しようとすることができている。	【Ｃ変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量	・比例の意味について学習する ・比例の関係について学習する ・データから表にまとめる ・グラフの作成 ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し，それを求めることができる。（高１段階Ｃイ㋐） (思判表力) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し，目的に応じて大きさを比べたり，表現したりする方法を考察し，それらを日常生活に生かすことができる。（高１段階Ｃイ㋐） (学･人) 単位量当たりの大きさの意味や表し方を振り返り，適切な単位を選ぶことができる。（高１段階）	(知･技) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し，それを求めることができている。 (思･判･表) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し，目的に応じて大きさを比べたり，表現することができている。 (主学) 単位量当たりの大きさの意味や表し方を振り返り，適切な単位を選んだりすることができている。	【Ｃ変化と関係】 イ 異種の二つの量の割合として捉えられる数量	・速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について学習し、それらを計算で求める ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し，目的に応じて大きさを比べる ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	7	(知及技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。（高１段階Ｃウ㋐） (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し，図や式などを用いて，ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し，それを日常生活に生かすことができる。（高１段階Ｃウ㋐） (学･人) 割合を比べることができることに楽しみを感じ，周りの友人とコミュニケーションを図りながら二つの数量を比べることができる。（高１段階）	(知･技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解している。 (思･判･表) 日常の事象における数量の関係に着目し，図や式などを用いて，ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し表現している。 (主学) 割合を比べることができることに楽しみを感じ，周りの友人とコミュニケーションを図りながら二つの数量を比べることができている。	【Ｃ変化と関係】 ウ 二つの数量の関係	・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを学習する ・百分率を用いた表し方を理解し，割合などを求める ・日常生活で使用されている割合を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
３学期	12	(知及技) 数量の関係を割合で捉え，円グラフや帯グラフで表したり，読んだりする。（高１段階Ｄア㋐） 円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解することができる。（高１段階Ｄア㋑） データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。（高１段階Ｄア㋒） (思判表力) 目的に応じてデータを集め分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り，その結論について多面的に捉え考察することができる。（高１段階Ｄア㋐） (学･人) データの活用について収集・分析したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，学習したことを生活や学習に活用することができる。（高１段階）	(知･技) 数量の関係を割合で捉え，円グラフや帯グラフで表したり，読んだりしている。 円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解している。 データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を覚えている。 (思･判･表) 目的に応じてデータを集め分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り，その結論について多面的に捉え考察している。 (主学) データの活用について収集・分析したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，学習したことを生活や学習に活用している。	【Ｄデータの活用】 ア データの収集とその分析	・数量の関係を割合で捉え，円グラフや帯グラフで表したり，読んだりする ・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を学習する ・収集されたデータを分析し、表やグラフにまとめる ・目的に応じてデータを集めて分類整理する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

	9	(知及技) 　平均の意味や求め方を理解することができる。（高１段階Dイ㋐） (思判表力) 　測定した結果を平均する方法について考察することができる。（高１段階Dイ㋐） (学･人) 　データの活用について測定した結果を平均する方法を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，学習したことを生活や学習に活用することができる。（高１段階）	(知･技) 　平均の意味や求め方を理解している。 (思･判･表) 　測定した結果を平均する方法について考察している。 (主学) 　データの活用について測定した結果を平均する方法を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，学習したことを生活や学習に活用している。	【Dデータの活用】 イ 測定した結果を平均する方法	・平均の意味や求め方を学習する ・測定した結果を平均する方法について学習する ・身長や体重の平均値を求める ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	5	(知及技) 　数量や図形に関する概念などと人間の活動とのかかわりについて理解することができる。 (思判表力) 　数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関りについて理解を深めることができる。 (学･人) 　数学と人間の活動の楽しさや良さが分かり，学習したことを振り返り，課題を解決する態度を養う。生徒同士でコミュニケーションを図りながら，事象の解決に取り組むことができる。	(知･技) 　数量や図形に関する概念などと人間の活動とのかかわりについて理解している。 (思･判･表) 　数学史的な話題，数理的なゲームやパズルなどを通して，数学と文化との関りについて理解をしている。 (主学) 　数学と人間の活動の楽しさや良さが分かり，学習したことを振り返り，課題を解決する態度を養おうとしている。生徒同士でコミュニケーションを図りながら，事象の解決に取り組んでいる。	【数学と人間の活動】	・授業の最初にパズルやドリル学習を通して、空間認識力や情報処理力、認識力を育てる ・日常生活に関わるお金や時間について学習する
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、プリント記入、活動の様子、テストなど、各学期毎に評価を行う。			

令和７年度　高等部センター分教室　２年(Ⅱ課程Ａ類型)　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２学年　9名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。(高１段階) (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。(高１段階) (学･人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 流れる水の働き、気象現象の規則性について理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけようとすることができる。(高１段階B-ア) (思判表力)流れる水の働き、気象現象の規則性について調べる中で、主に予想や仮設を解決の方法を考えることができる。(高１段階B-イ) (学･人)流れる水の働き、気象現象の規則性について進んで調べ、学んだことを生活にいかそうとすることができる。(高１段階B-ウ)	(知・技) 流れる水の働き土地との変化について、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について理解しようとする。 (思･判･表)流れる水の早さや量といった条件を制御したり雲の量や動きと天気の変化とを関係付けたりしながら、予想や仮設を確かめる方法を理解したりして、その結果を捉えようとする。 (主学)流れる水の働きと土地の変化や天気の変化について学んだことを、様々な生活場面にあてはめて考えようとしたり、行動しようとしたりする。	「地球と自然」 流れる水のはたらきと土地の変化 天気の変化	第１時～第４時：わたしたちのくらしと災害 ・地震や火山の噴火による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・台風による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・川や海の水による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・災害から生命を守るためにできることを考えて、話し合う。 第６時～第９時 ・雲量の決め方を知る。 ・毎日の天気と気候の変化を記録し、折れ線グラフを作成する。 第１０時：ミニテスト(知・技)(思・判・表)の評価 ※(主学)の評価は単元全体を通して行う。
2学期	14	(知及技) 月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。(高２段階B-イ) (思判表力)月と太陽の位置に着目して、これらの位置関係を多面的に調べることができる。(高２段階B-イ) (学･人)月の形の見え方と月と太陽の位置関係について、主体的に理解を深め、学んだことを日常生活で生かそうとすることができる。(高２段階B-イ)	(知・技) 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について、問題を見いだし、予想や仮説を基に，解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。流れる水の変化や天気の変化の仕方について、観察などを行い，得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学)土地のつくりと変化、流れる水の働きと土地の変化、天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	「地球と自然」 月と太陽 自然と災害	第１時～第２時：月のようす ・月の表面の様子を観察したり、資料などで調べたりする。 第３時：月の形の見え方 ・月の形が変わって見える理由を、ボールに光を当てるモデル実験で確かめる。 ・月の形が変わって見える理由を考え、まとめる。 第４時：ミニテスト(知・技)(思･判･表)の評価 ※(主学)の評価は単元全体を通して行う。
3学期	4	(知及技) 燃焼の仕組みについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けることができる。発電や蓄電、電気の変換についての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けることができる。(高２段階C-ア、エ) (思判表力)電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べることができる。(高２段階C-ア、エ) (学･人)燃焼の仕組みや発電、蓄電、電気の変換について、主体的に学習に取り組み、学んだ内容を日常生活に生かそうとすることができる。(高２段階C-ア、エ)	(知・技) 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解している。電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。電気の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学)燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	便利なくらし 「身の回りにある物質」 「エネルギー・機械」	第１時～第２時：身の回りにある物質 ・窒素、酸素、二酸化炭素のうち、物を燃やす働きがある気体はどれかを調べ、まとめる。 ・物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることをまとめる。 第３時～第５時：電気の利用 ・町の様子の絵を見て、電気はどのように作られたり利用されたりしているかを考え、電気と自分たちの暮らしとの関わりについて問題を見いだす。 ・身の回りで、発電している物があるか探す ・電気を効率的に使うための工夫について考え、まとめる。 第６時：ミニテスト(知・技)(思･判･表)の評価 ※(主学)の評価は単元全体を通して行う。

	5	(知及技）水溶液の性質や働きについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付ける。（高２段階C-イ） (思判表力）水に溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べることができる。（高２段階C-イ） (学･人)水溶液の性質や働きについて主体的に学習に取り組み、学習した内容を日常生活に生かそうとすることができる。（高２段階C-イ）	(知・技）水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。水溶液の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思･判･表)水溶液の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。水溶液の性質や働きについて、実験などを行い、溶けている物による性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主学)水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	薬品・医薬品 「身の回りの生活用薬品」 「身の回りの医薬品」	第１時～第５時：身の回りの生活用薬品の性質 ・５種類の生活用薬品の違いを調べる。 ・実験結果を基に、水溶液には固体が溶けている物があることをまとめる。 ・水溶液は、酸性、中性、アルカリ性に仲間分けできることをまとめる。 ・水溶液の性質と働きについて、学習したことをまとめる。 第６時～第８時：身の回りの医薬品 ・薬の分類や主作用と副作用を知る。 ・薬の適切な利用について考える。 第9時：ミニテスト(知・技）(思･判･表)の評価 ※（主学）の評価は単元全体を通して行う。
留意点 引継ぎ等		授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子、ミニテストで評価する。			

令和　7　年度 高等部センター分教室　2　年（Ⅱ課程A類型）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	2学年　生徒9名		MOUSA 1 （教育芸術社）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けることができる。（高１段階：歌唱（イ）㋑、（ウ）㋑） (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階：歌唱（ア）） 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けることができる。（高１段階：身体表現(イ)㋐） (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：身体表現（ア）	**A表現**〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけている。 (思判表力) 歌唱表現を創意工夫することができている。 〔器楽〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。 (思判表力) 器楽表現を創意工夫することができている。	〔歌唱〕 「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」 「曲想や歌詞の内容を感じて歌おう」 〔器楽〕 「楽器の奏法を知り、音色や響きを感じて演奏しよう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて身体を動かし、表現しよう」 〔創作〕 「和音進行に合わせて、音楽をつくろう」 〔鑑賞〕 「音楽を形づくっている要素に注目して、音楽を聴こう」	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ))㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋐多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑音色や響きに気をつけて、楽器を演奏する技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2学期	21.5	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけることができる。（高等部１段階） (思判表力) 創作についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。（高等部１段階） 〔身体表現〕 (知及技) （知及技） 曲想と体の動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。（高１段階：身体表現(イ)㋐、(ウ)㋐） (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。（高１段階：身体表現（ア）	〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけている。 (思判表力) 創作表現を創意工夫することができている。 〔身体表現〕 (知及技) 曲想と体の動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につけている。 (思判表力) 身体表現を創意工夫することができている。	〔歌唱〕 「外国語の曲にふさわしい発声、発音で歌おう」 〔器楽〕 「基礎的な奏法を理解して演奏しよう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴を知り、聴いてみよう」	〔創作〕 (知識) (イ)㋐いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋐曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。
3学期	9	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解する。（高等部１段階） (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） A・表現、B鑑賞を通して (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することができる。 さまざまな音楽文化に親しみ、音楽経験を広げることができる。（高等部１段階）	B鑑賞 (知識) 曲想と音楽の構造などとの関わりついて理解できている。 (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。 A・表現、B鑑賞を通して (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することができている。 さまざまな音楽文化に親しみ、音楽経験を増やすことができている。	〔歌唱〕 「互いの声を響かせて合唱しよう」 〔器楽〕 「多様な楽器の音色や響きを感じて合奏しよう」 〔鑑賞〕 「音楽の歴史や背景を知り、聴いてみよう」	B鑑賞 (知識) (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。

令和７年度 高等部センター分教室　２年（　Ⅱ課程・A類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	２学年　９名		高校美術（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。(高等部２段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高等部１段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造する態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	8	（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表すことができる。（高２段階：A表現ア(ア)） (思判表力）対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと，伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し，構成を創意工夫し，心豊かに表現する構想を練ることができる。（高１段階：A表現ア(イ)） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高１段階）	（知・技）用具を作る過程や材料を扱う方法を理解し、表現方法を工夫し、表している。 (思･判･表)主題を見つめ感じ取ったことや考えたことを、画面に構成するために描画や色彩の配置など創意工夫している。 （主学）偶然の形を楽しみ、自分の好きなものを表す表現活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「宇宙をイメージして」 ・描画技法 ・想像画	・描画技法「ドロッピング」と「洗い流し」を学ぶ。 ・描画のための道具作り ・表現により現れる偶然の形を楽しむ。 ・主題を画面構成するための構想を練る。 ・主題の描き込みに工夫を重ねる。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	2	（知及技）形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力）生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り，生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：B鑑賞（イ）） （学・人）美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造することができる。（高１段階）	（知・技）作品の特徴を形や色彩から捉え、作家の意図を理解しようとしている。 （思・判・表）過去に起きた出来事が美術界に影響したことを作品の説明を通して知り、美術の働きや美術文化について考えている。 （主学）美術作品を通して新たな気付きや自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいる。	鑑賞 「ジャポニズムと万博」	・時代背景と作家を知る。 ・作者の関心や発想、作品に込められた心情、その作品によって何を表現したかったのかという意図と、それがどのように表現されているかという工夫について考える。 ・思ったことをお互いに話し合う。
	4	(知及技）形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力）視点や構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高１段階）	(知・技）三次元を二次元の形に表す図法を理解している。 (思･判･表)描きたい風景の視点と構図を考えている。 (主学)身の回りの生活を造形的な視点で見たり、新たな気付きや発見を楽しんで造形活動に取り組んでいる。	表現 「一点透視図法」 ・デザイン	・一点透視図法について理解する。 ・用具を丁寧に扱い、自分の思う風景を描く。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	2	(知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表すことができる。（高２段階：A表現（イ）） (思判表力）造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解することができる。（高１段階：共通事項(イ)） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わうことができる。（高１段階）	(知・技）材料の特性を生かし、混色でできる自分らしい表現を追求している。 (思･判･表)三原色の特徴とつながりを全体的に捉え、色彩構成のイメージを持っている。 (主学)対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「三原色を使った色彩構成」 ・デザイン	・色の三原色と明度について理解する。 ・用具を丁寧に扱い、三原色の混色とグラデーションを彩色で表す。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
２学期	4	（知及技）形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力）生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り，生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：B鑑賞（イ）） （学・人）美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造することができる。（高１段階）	(知・技）風景の構図や光などの撮影方法を理解している。 (思･判･表)撮りたい風景の視点と構図を考えている。 (主学)身の回りの生活を造形的な視点で見たり、新たな気付きや発見を楽しんで造形活動に取り組んでいる。	表現、メディア 「ふるさとの写真を撮る」	・ICT機器を活用し、iPadで風景写真を撮影する。

	4	（知及技）形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力）生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り，生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：B鑑賞（イ）） （学・人）美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造することができる。（高１段階）	（知・技）作品の特徴を形や色彩から捉え、作家の意図を理解しようとしている。 （思・判・表）世界や日本の名画を鑑賞し、作者の意図や構成などを調べることで知り、美術の働きや美術文化について考えている。 （主学）美術作品を通して新たな気付きや自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいる。	鑑賞と表現 「名画を探せ」	・名画を探し当てるゲームを行う。 ・気に入った作品についてネット等を使い調べ、パワーポイントにまとめる。 ・調べたことを発表し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	12	(知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高２段階：A表現（イ）） (思判表力)対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと，伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し，構成を創意工夫し，心豊かに表現する構想を練ることができる。（高１段階：B鑑賞ア(イ)） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高１段階）	（知・技）身近な材料で生活の食べ物を本物のように作ろうと表現方法を追求している。 （思･判･表)主題に関する調べ学習を通してオリジナルのスイーツを構想し、効果的に表現している。 （主学）楽しく立体制作に取り組み、創造することを喜んでいる。	表現 「デコスイーツを作ろう」 ・立体	・デコスイーツの工程を知る。 ・自分で考えたデコスイーツのアイディアスケッチを描く。 ・材料を自分で作る。 ・本物にちかづくように立体造形を行う。 ・作品の展示を通してお互いの良さ。工夫した点などに気付き、感想を述べ合う。
3学期	8	(知及技） 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えることができる。（高２段階：B鑑賞（ア）） (思判表力)美術の働きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：B鑑賞ア(イ)） (学･人)生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさに気づき、生活に活かすことができる。（高１段階）	(知・技）現代美術やアール・ブリュットについて、よさや美しさを感じ取り、表現について考えることができる。 (思･判･表)美術文化について考え、現代美術の見方や感じ方を学び、広げている。 (主学)鑑賞を通して生活の中の美術文化に気づき、意見を述べている。	鑑賞 「現代美術」 県立博物館・美術館の見学	・県立博物館・美術館の役割や作品鑑賞のポイント、利用のマナーを知り、活用する。 ・美術館で鑑賞する現代美術について調べたこと、感想などをワークシートにまとめ互いに鑑賞する。
	4	(知及技） 形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を深めることができる。（高２段階：B鑑賞ア(ア)） (学･人)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高２段階）	(知・技）画面の構成や時間の効果など全体のイメージなどを捉え、意図に応じて映像メディア機器を生かし、「動き」を表している。 (思･判･表)アニメーションの主題を考え、画面の構成と時間の流れや物語性、音などの効果などについて意見を出し合い考えている。 (主学)アニメーションによる表現活動に、主体的に取り組んでいる。	表現 「ピクシレーション（アニメーション）」 ・映像メディア	・画面の構成と時間の流れや物語性、音などの効果を考え、「○」の形から始まり「○」で終わるアニメーションを作成する。 ・互いの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について話し合う。
	4.5	(知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求することができる。（高２段階：A表現ア(イ)） (思判表力)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：B鑑賞ア(ア)） (学･人)美術を愛好する心情を育み，感性を豊かにすることができる。（高１段階）	(知・技）作品集にまとめるためにレイアウトやコメントを書くなど表現の工夫を行っている。 (思･判･表)お互いの作品集や制作を振り返り、意見を出したり聞いたりしている。。 (主学)美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現と鑑賞 「作品集つくりを通して１年間を振り返る」	・制作した作品を1冊の作品集にまとめる。 ・作品集を発表し、制作を振り返り、互いに鑑賞し感想を述べ合う。 ・多様な美術の世界を通して、新しい見方、感じ方をこれからどのように生かすことができるのか考える。
52.5					
留意点 引継ぎ等					

令和　7 年度 高等部センター分教室　2年（　Ⅱ課程　A類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	2学年　生徒9名		現代高等保健体育

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、実践に活かすための、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。(高１段階) (思判表力)運動・体力・健康・安全について自己の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。（高１段階） (学･人)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす，一人一人の違いを認めようとするなどの意欲と、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
一学期	12	(知及技) 学習時の態度や集団行動の仕方など「きまり、約束」を理解し集団での協調性や安全な行動ができるようにする。（高１段階） (思判表力) 色々な運動を組み合わせて、体力の向上を図る。(高１段階) (学･人)自分の基礎的運動能力や体力を知り、課題を見つけ、今後の運動実践の方法を考える。（高１段階）	(知・技) 自己の体力課題について知り理解できている。 各種運動動作における技術ポイントを理解し習得している。 (思･判･表) 自己の体力課題の解決に向けての運動・方法を考えている。 (主学) 自ら進んで各種運動に積極的に取り組もうとしている。きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保している。	「集団行動」 「体つくり運動～新体力テスト～」	手軽な運動やリズミカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 第1時～第2時　集団行動 集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等）の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ 第3時～第4時　準備運動・整理運動 ラジオ体操や特体連ダンスの曲に合わせて体操を行う。体の各部位をゆっくりと進展させ、そのままの状態で約10秒間維持する。 第5時～第8時　体つくり運動 いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 大きくリズミカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりする。 第9時～第10時　新・体力テスト（室内） 握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈 第11時～第12時　新・体力テスト（室外） 50m走、100m走、ボール投げ、立ち幅跳び 球技ベースボール型～ティボール～
	8	(知及技) 球技の行い方を理解し、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。（高１段階　球技（ア）） (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりするすることができる。（高１段階　球技（イ）） (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。 （高１段階：球技（ウ）	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行えている。 (思・判・表) ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見付けている。 (主学) 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解している。健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ゴール型）」 ・サッカー ・アルティメット	第1時～第4時　基本動作の取得 「投げ方、パスなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ディスクコントロールの練習に積極的に取り組む。 第5時～第6時　特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いサッカー競技のルールを覚える。 第7時～第8時　試合と大会運営 攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、アルティメット大会を全員で運営する。
	12	(知及技) 泳力の上達や記録向上の行い方が知り、基本的な動きや技能を身に付けることができる（高１段階水泳（ア）） (思判表力) 水泳（泳法）について自己の課題を発見し解決のための方法を工夫することができる。（高１段階水泳（イ）） (学・人) 水泳のマナーを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。（高１段階：水泳（ウ））	(知・技) 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり競い合ったりしている。 (思・判・表) 水泳（泳法）の名称や動きを高めるためのポイントを挙げている。 (主学) 水の安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「水泳」	水泳の特性に応じた技能を理解し泳法を身につける。 第1時～第2時　施設利用とプール利用の心得 プールや用具に関する取り扱い方、練習場所に関する安全や体調に留意して運動する方法を学ぶ 第3時～第4時　水慣れ、水中ウォーミングアップ 「浮く動作」…伏し浮き、背浮き、け伸び 「泳ぐ動作」…バタ足、連続したボビング 第5時～第10時　泳法 「補助具を活用した泳法」…ビート板キック 「呼吸を伴わない泳法」…面かぶりクロール・面かぶり平泳ぎ 「呼吸法（息継ぎ）」…クロール・平泳ぎ 第11時～第12時　水球 「足つき水球」…ルールを理解し試合を行う

2学期	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について知ることができる。（高１段階） (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を知ることができる。（高１段階） （学・人） 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。（高１段階）	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。 (思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとっている。 （主学） けがや疾病の予防について課題の解決に向けて自主的に取り組んでいる。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時　心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時　熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時　傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時　応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
	21	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。（高１段階　陸上競技（ア）） (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し解決のための方策を工夫することができる。（高１段階　陸上競技（イ）） （学・人） 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。 （高１段階：陸上競技（ウ）	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ・短距離・跳躍・リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 第1時～第5時　ストレッチ体操、特体連ダンス 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 第6時～第11時　腕振り（走フォームの意識） リズムの良いフォームで走ることを意識する。 「スラローム走」…視線、体の傾きを意識して走る。 「ストライド走」歩幅を広くして走る。 第12時～第16時　スタートダッシュ 高いスピードを維持して速く中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走る。 「スタートダッシュ走」…前傾姿勢を意識して走る。 第17時～第21時　リレー・バトンパスの練習 減速の少ないバトンの受け渡しができる。 「６０mリレー」「トラック1周リレー」 テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 同じグループ内でいろいろな相手とバトンの受け渡しを行う。
	17	(知及技) ダンスの上達や記録向上の行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。（高１段階　ダンス（ア）） (思判表力) ダンスの表現や踊りについての課題を発見し、その解決のための方法について工夫して表現したり発表することができる。（高１段階　ダンス（イ）） （学・人） ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め合ったり、場の用具の安全を確保し取り組むことができる。（高1段階：ダンス（ウ）	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、基本的な動きや技能を身に付け表現することができている。 (思・判・表) 強弱をつけたメリハリのある動きで発表することができている。 （主学） エイサーの特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わい互いのよさを認め合い協力して進んで練習や発表会に取り組んでいる。 ダンスの学習に積極的に取り組み、安全に用具を使用している。	「表現運動」 ・郷土の踊りエイサー	郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を育てる。 第1時～第2時　踊りの構成や役割決め 自己にあった演技担当を選ぶことができる。 踊りの振り付けや構成を全員で作り上げる。 第3時～第6時　個別・グループでの取り組み グループで振りや動きの練習を行い。仲間の動きに合わせて踊ることができる。 第7時～第10時　体系移動の練習 リズムに乗った動きで体系移動を行う。相手のタイミングや位置等に合わせて移動を行う。 第11時～第17時　全体練習 曲や全体の動きに合わせて最後まで踊ることができる。
	4	(知及技) 健康な生活と感染症予防について知ることができる。（高１段階） (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクかを軽減する方法を知る。（高１段階） （学・人） 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができる。（高１段階）	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げることができている。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができている。 （主学） 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができている。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時　感染症について 感染症とは、「人から人にうつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時　菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時　感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時　感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防（手洗い、うがいの徹底）」…感染症対策について学ぶ。
	14	(知及技) 陸上競技の上達や記録向上の行い方を知り基本的な技能を身に付けることができる。（高１段階　陸上競技（ア）） (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し解決のための方策を工夫することができる。（高１段階　陸上競技（イ）） （学・人） 陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりして最後まで楽しく運動をすることができる。	(知・技) 陸上の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けている。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動を選択している。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。	「陸上競技」 ・長距離走	第1時～第4時　時間走、ペース走 基本的なフォームと自己に適したペース設定を身に付ける。 第5時～第7時　インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 第8時　体調の整え方 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 第9時～第14時　競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。

3学期	9	(知及技) 　球技の上達や記録向上の行い方を知り、その特性に応じた技能を身に付け、簡素化されたゲームを行うことができる。（高１段階　球技（ア）） (思判表力) 　球技について自他の課題を発見し、その解決のための方法を工夫したり、仲間と考えたりするすることができる。（高１段階　球技（イ）） （学・人） 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。（高１段階：球技（ウ）	(知・技) 　試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができている。 (思・判・表) 　ラケットの操作とシャトルをねらった場所に打つなどの技術を身に付けるためのポイントを見付けている。 (主学) 　体育館での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ネット型）」 ・バドミントン	第1時～第4時　基本動作の取得 「サーブ、トス、スマッシュ、ドロップなどの基本動作練習」 　資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ラケット操作、シャトルコントロールの練習に積極的に取り組む。 第5時～第7時　　特別ルールでの試合 　基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いながらバドミントンのルールを覚える。 第8時～第9時　　試合と大会運営 　攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、バドミントン大会を全員で運営する。
	4	(知及技) 　応急手当の意義や手順方法を知ることができる。（高１段階） (思判表力) 　AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と一緒に課題を解決することができる。（高１段階） （学・人） 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加できる態度を養う。（高１段階：体育理論（ウ）	(知・技) 　応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができている。 (思・判・表) 　AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができている。 （主学） 仲間と協力し合って積極的に救命活動に参加することができている。	「保健」 応急手当（心肺蘇生法）	第1時　オリエンテーション 　心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時　人命救助の手順 　「人命救助の手順」 　「心肺蘇生法の手順」 　「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等					

令７年度 高等部センター分教室　２年(Ⅱ課程 A類型)職業科　介護コミュニケーション班　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	２学年５名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え，必要な事柄を見いだして課題を設定し，解決策を考え，実践を評価し，表現する力を養う。（高１段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技)職業学習の心得を身につける。(高１段階ア(イ)) (思判表力)勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。(高１段階ア(ウ)) (学･人)他者と協働して主体的に取り組む事ができる。(高2段階ア(ウ))	(知・技)心得を理解し、行動に移すことができている。 (思･判･表)就労を意識し、言葉使いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (主学)他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。	・勤労の意義 職業生活	・日々の業務の中で必要な身なり、時間を守ることの大切さ言葉使い等、９つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働く目的を理解する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高２段階：情報機器イ) (思判表力)情報機器を使用し発表等を行う。(高2段階：情報機器イ) (学･人)情報機器を正しい使用方法で活用する。(高2段階：情報機器ア)	(知・技)iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表)情報機器を活用して発表することができている。 (主学)情報モラルを守り機器を活用しようとしている。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータやスマホの便利さと危うさを実例で学び表現･記録･計算･通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)基本的、実践的な介護技術を身につけることができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力)介護の心得、ホスピタリティを知ることができる。(高1段階イ(イ)) (学･人)介護職の社会的ニーズを知ることができる。(高1段階ア(イ))	(知・技)介護の役割、専門性、仕事内容を理解している。基本の介護技術を身につけることができている。 (思・判・表)相手の求める介護を行うことの重要性を理解している。 (主学)これからの社会に介護職が必要であることを知ろうとしている。	・介護の基礎と実践	・介護に従事する際の心得、高齢者の特徴や活動、認知症などの疾患を理解し、より良い介護の在り方、生活支援の方法や技術を学ぶ。 ・特別講師による講義・実演。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得することができる。(産業現場ア) (思判表力)相手の実態を調べ、レクリエーションを計画することができる。(産業現場ア) (学･人)コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶことができる。(産業現場ア)	(知・技)適切な態度でレクリエーションを行うことができている。 (思・判・表)相手の実態に応じたレクリエーションを考えることができている。 (主学)積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持とうとしている。	・福祉施設、高齢者施設の見学、交流	・グループ活動においてレクリエーションを計画し高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法など体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
1学期	4	(知及技)就労の対価や意義を知ることができる。(高１段階ア(ア)) (思判表力)授業内容を理解し見通しを持つことができる。(高１段階ア(イ)) (学･人)職業学習の心得を理解する。(高１段階ア(ア))	(知・技)意義や対価等を学び、就労への意識を持って学習活動に取り組んでいる。 (思・判・表)学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 (主学)心得を自身らで考え、実行している。	・職業（介護コミュニケーション班）オリエンテーション	・作業内容の把握や心得を学び、一年の見通しと目標や意義を確認する。 ・介護に関する職業や職場、仕事内容について調べる。
	36	(知及技)介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な介護技能身に着けることができる。(高２段階イ(ア)㋑) (思判表力)介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高１段階イ(イ)㋐) (学人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高１段階イ(イ)㋐)	(知・技)車いすや機器の名称・使い方を把握し、使用している。安全な介助方法を理解している。 (思・判・表)相手を知ること、コミュニケーションの大切さを理解している。 (主学)自らコミュニケーションを図り、相手を知ろうとしている。	・コミュニケーションの意義 ・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・介護技術の基本 ・高齢者体験	・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方知る。メンテナンス方法を学ぶ。 ・人間の動き(立位、座位、歩行、昇降など)や仕組みを学ぶ。 ・ボディーワークスを学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。

	4	(知及技)１学期の成果を確認し、２学期以降に活かすことができる。(高１段階ア(イ) (思判表力)１学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。(高１段階ア(イ) (学･人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高１段階ア(イ))	(知・技)自身を振り返り、成果と課題を確認し次に活かそうとしている。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、仲間と共有しようとしている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考え、互いを認め合おうとしている。	・１学期のまとめと２学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
2学期	64	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を身につけることができる。(高２段階イ(ア)㋐) (思判表力)高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用法を知り、快適な生活するための方法を考えることができる。(高１段階イ(ア)㋓) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高１段階イ(イ)㋒)	(知・技)高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体の拘縮、褥瘡など予防法が分かり、安全で適切な衣類の脱着、体位変換、ベッドメイクを行っている。 (思・判・表)高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えることができている。 (主学)適切な介護、支援方法を考える、仲間と協力している。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・感染症の理解と予防策 ・介護技術の基本 ・高齢者、障害者とのコミュニケーション ・福祉用品(補助具)	・高齢者、障害者の嚥下の仕組み、誤嚥や脱水、身体の拘縮、褥瘡について学ぶ。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベットメイク方法を学ぶ。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。(しまくとぅば、手話) ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。
	4	(知及技)２学期の成果を確認し、３学期以降に活かすことができる。(高１段階ア(イ)) (思判表力)２学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高１段階ア(イ)) (学･人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高１段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について、互いに認め合っている。	・２学期のまとめ	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3学期	24	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を確認することができる。(高１段階イ(ア)㋓) (思判表力)認知症や様々な障害がある方々の気持ちを理解し、適切なコミュニケーション方法に気付くことができる。(高２段階イ(ア)㋐) (学人)他者と協力しながら高齢者や障害者のいきがいは何かを考えることができる(高１段階イ(イ)㋒)	(知・技)それぞれの障害の特徴、支援方法が理解している。 (思・判・表)様々な障害がある方々の気持ちを理解し適切な関わり方について考えることができている。 (主学)自分から声をかけたり、相手と積極的に関わろうとしている。	・高齢者、障害主別の特徴と気持ち ・認知症について	・各障害の特徴について知り、認知症や障害者への寄り添い方と良好なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。 ・お互いに介護される、介護することを体験し、介護技術の習得を確認する。
	4	(知及技)年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高１段階ア(イ)) (思判表力)まとめた内容を皆の前で発表することができる。(高１段階ア(イ)) (学･人)次年度への目標をもち他者との共通理解を行うことができる。(高１段階ア(イ))	(知・技)1年を振り返り、自分の成果をまとめている。 (思・判・表)他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学)意見を共有し、皆でまとめ、共通理解している。	・ちゅらさき技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部センター分教室　２年（Ⅱ課程Ａ類型）職業（座学）　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	２学年　生徒９名		ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育 （日本教育研究出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知り、表現・発表・通信等に係る情報機器を扱うことができる。（高１段階：Ｂ情報機器ア） (思判表力)卒業生講話を聞いて、卒業後の進路に必要となることを知り、自分の卒業後の生活について考えることができる。（高１段階：産業現場ア） （学・人）様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較しながら進路選択を行うことができる。（高２段階：産業現場ア）	(知・技）情報セキュリティ及び情報モラルについて知り、表現・発表・通信等に関して、ｉＰａｄアプリを活用できている。 (思･判･表)卒業生の講話を聞き、就労や社会生活に必要なことを知り、自分の卒業後の生活について考えることができている。 (主学)様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較し、進路選択を行おうとしている。	・情報機器の活用について ・先輩と語ろう会 ・校外学習（さまざまな職場、職種を知る）	・プレゼンのアプリを使った発表の方 ・情報モラルについて ・先輩との座談会 ・企業訪問、職場見学（職種やその特性について理解する）
１学期	24	(知及技)　職業生活に必要とされる実践的な知識や技能を身に付けることができる。（高１段階：Ａ職業生活イ（ア）㋐） （思判表力）年間の授業内容を知り、見通しをもって学習に取り組むことができる。（高１段階：ア（イ）） （思判表力）自己理解を深め、自己実現に向けての課題や解決の手立てを見つけることができる。（高２段階：ア（イ）） （思判表力）学期を振り返り自己の反省点を発表する。（高２段階：ア（イ）） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高２段階：ア（ウ）	(知・技）職業生活に必要なビジネスマナーを知り、身に付けることができている。 (思・判・表）年間の授業内容を知り、学習の見通しをもって取り組むことができている。 （思・判・表）自分の得意・不得意や自分の適性を知り、自分の望む職業生活への課題や解決の手立てを考えている。 （思・判・表）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気付き、発表している。 （主学）皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得している。	・授業開き ・自分のこと ・勤労の意義（働くこと） ・現場実習にいくまえに ・1学期のまとめ	・授業の目標理解と授業のスケジュールを知る ・ビジネスマナーの学びと実践 ・働くことについて（いろいろな仕事や働く生活の一日を知る） ・自分のプロフィール、自分のことを伝える ・自分の得意・不得意を知り、伝えること ・1学期の振り返り（できたこと、次の目標）
２学期	28	(知及技)　職業生活に必要とされる実践的な知識や技能を身に付けることができる。（高１段階：Ａ職業生活イ（ア）㋐） （知及技）（思判表力）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について知り、自分の生活について考えることができる。（高１段階：Ａ職業生活イ(イ)㋑） (知及技）（思判表力）卒業後の進路について理解を深め、課題や解決策を考えて発表することができる。（高１段階：イ（イ）） （思判表力）学習内容を振り返り自己の成果や課題点を発表することができる。（高２段階：ア（イ）） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高２段階：ア（ウ））	(知・技）職業生活に必要なビジネスマナーを知り、身に付けることができている。 （知・技）（思･判･表）職業生活に必要な健康管理の大切さや余暇の過ごし方について知り、自らの休日の過ごし方を振り返り、考えることができている。 （知・技）（思･判･表）卒業後の進路について理解を深め、課題や解決策を考えて発表することができている。 （思･判･表）学習内容を振り返り自己の達成できたことや課題に気付き、発表することができている。 （主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得している。	・勤労と協働（働くために） ・職業生活を考える ・余暇活動 ・２学期のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・報告、連絡、相談について ・職業生活に向けた体調管理 ・電話、携帯、スマホのマナー ・職業生活に必要な金銭管理について ・公共の場の利用の仕方、マナー ・学校以外の居場所、生活の場 ・余暇の役割と余暇の過ごし方について ・２学期の振り返り
３学期	18	(知及技）（思判表力）実習をふりかえり、職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深め、自身の進路について課題や解決策を考えることができている。（高１段階：Ｃ産業現場アイ） （学・人）年間の学習を振り返り自己の成長や課題、次の目標を発表することができる。（高２段階：ア（イ））	（知・技）（思判表力）実習をふりかえり、職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深め、自身の進路について考えることができている。 （思・表/主学）年間の学習を振り返り、自己の成長や課題に気付き、次の目標をたてて、することができている。	・職業生活（進路を考える） ・年間のまとめ	・進路選択について考える ・ビジネスマナーの学びと実践 ・成長点と課題点を発表 ・年間の振り返り
留意点 引継ぎ等					

令和 7 年度 高等部センター分教室　2.3年（Ⅱ課程 A類型）職業科　エコロジー班　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 ／70時間	2学年　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　・職業に関する事柄について理解を深める。（高等部２段階） ・将来の職業生活に係る基本的な技能を身に付け活用する。（高等部２段階） (思判表力)・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して自ら課題を設定し、解決策を考える。（高等部２段階） ・実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高等部２段階） (学・人)　・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(学･人) 他者と協働して主体的に取り組む事ができる。（高2段階ア(ウ) (思判表力) 勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。（高2段階ア(ウ) (知及技) 職業学習の心得を理解し行動に移す。（高2段階ア(イ)	(主学) 他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。 (思･判･表) 就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (知・技) 心得を理解し、行動に移すことが出来ている。	・勤労の意義 職業生活	・日々の授業の中で身なりや時間を守ることの大切さ言葉遣い等、９つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う
1学期	2	(知及技)勤労の意義を理解し意欲的に取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高２段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解し意欲的に行動している。 (思・判・表)目標をもって取り組むとができている。 (主学)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができている。	単元名「授業開き」	○1年間の授業計画を確認し、１学期の個人目標を立てることで見通しをもつ。（思判表)(主学) ○グループワークを通して、就労に必要な力について協議し、全体で意見を共有する（思判表）
	12	(知及技)清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を知り作業に活かすことができる。（高２段階イ（ア）㋐) (思判表)日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。(A職業生活ア(イ)) (学人)清掃マップを作成し、効率を考え校内外の清掃活動を行うことができる。（高２段階ア（ウ））)	(知・技)清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を理解し作業している。 (思・判・表)日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができている。 (主学)清掃マップを作成し、効率的に校内外の清掃活動を行うことができている。	単元名「清掃の仕方を身につけよう」	○グループワークを通して、日頃の清掃活動を振り返り、改善点を見出す。（思・判・表） ○話し合った改善点を踏まえ、他者と協力しながらHR教室の清掃を行う。（主学） ○泡瀬特別支援学校施設内清掃 ○泡瀬特別支援学校プール施設内清掃
	4	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができる。（高２段階イ（ア）㋑) (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高２段階イ（ア）㋒) (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。（高２段階イ（ア）㋓)	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができている。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知及技） ○校内ビルメンテナンス検定に参加する（主学）
	4	(知及技）１学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。（高２段階ア（イ） (思判表力)１学期を振り返り自己の成長や課題点を考えることができる。（高２段階ア（イ） (学･人)他者の反省を聞き、認めることができる。（高２段階ア（イ）	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、発表し伝える事ができている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「一学期のまとめ」	○一学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。（思判表） ○クラスメイトの一学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する（思判表）
	4	(知及技)勤労の意義を知り意欲的に作業に取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高２段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解し意欲的に作業を行っている。 (思・判・表)今学期の個人目標を意識し取り組んでいる。 (主学)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができている。	単元名「１学期の振り返りと２学期の目標設定」	○２学期の授業計画を確認し、個人目標を立て、発表を行う。（思・判・表）
	10	(知及技)美化活動が社会生活の基礎であることを知り、意欲的に取り組む。（高２段階ア（ア）） (思判表)すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。(高２段階イ（ア)㋑) (学人)清掃業について、調べることができる。(高２段階イ（ア)㋑)	(知・技)美化活動が社会生活の基礎であることを理解し意欲的に取り組んでいる。 (思・判・表)すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができている。 (主学)清掃業について、調べることができている。	単元名「美化活動と職業のつながり」	○地域施設の管理・清掃を行う仕事があることを知る。（知及技） ○清掃業を行う会社を調べ、業務内容や業務場所を調べ、ワークシートに記入する。（思判表）

2学期	10	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］について知り実践することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について自身に当てはめ行動することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかすことができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］とはどういうことか理解し作業している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかそうとしている。	単元名「ビルメンテナンス」	○ビルメンテナンス協会の講師による実演会に参加し、ビルメンテナンスに求められる力を知る。（知及技） ○ビルメンテナンスの実演会で学んだことを各班で振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。（思判表） ○実演会で学んだ清掃道具の使い方を、教室や廊下の清掃で実践する。（主学）
	4	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高２段階イ（ア）㋕） (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができている。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知及技） ○前回の結果を振り返りより高い目標を設定し検定にのぞむ（主学）
	2	(知及技）２学期の成果を確認し、３学期に活かすことができる。（高２段階ア（イ） (思判表)２学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。（高２段階ア（イ） (学人)他者の反省を聞き、認めることができる。（高２段階ア（イ）	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、発表し伝えている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「２学期のまとめ」	○２学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。（思判表） ○クラスメイトの２学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する（思判表）
3学期	2	(知及技)勤労の意義について確認することができる。(高２段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高２段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解し目標を設定している。 (思・判・表)目標を意識し取り組むとができている。 (主学)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しを持ち取り組むことができている。	単元名「２学期の振り返りと３学期の目標設定」	○３学期の授業計画を確認し、個人目標を設定する。（思判表）
	8	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］について知り実践することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について自身に当てはめ行動することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかすことができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］とはどういうことか理解し作業している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかそうとしている。	単元名「ビルメンテナンス」	○場所や状況に応じた、作業の順序や道具の選定方法を知る。（知及技） ○作業を各班で振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。（思判表） ○自身の役割を意欲的に実践する。（主学）
	4	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高２段階イ（ア）㋕） (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができている。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知及技） ○校内ビルメンテナンス検定に参加する（主学）
	2	(知及技)清掃道具の手入れ方法を知り、実践することができる。（高２段階イ（イ）㋐） (思判表)清掃道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができる（高２段階イ（イ）㋐） (学人)清掃道具・倉庫の手入れを他者と協力しながら行うことができる（高２段階イ（イ）㋐）	(知・技)清掃道具の手入れ方法に応じた手入れを理解し実践している。 (思・判・表)清掃道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができている。 (主学)清掃道具・倉庫の手入れを他者と協力しながら行っている。	単元名「作業道具の手入れ」	○今年度使用した清掃道具及び倉庫の整備を行う（知及技）
	2	(知及技）今年度の成果を確認し、次年度に活かすことができる。（高２段階ア（イ） (思判表)今学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。（高２段階ア（イ） (学人)他者の反省を聞き、認めることができる。（高２段階ア（イ）	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考え、共有することができている。	単元名「年間のまとめ」	○今年度を振り返り、自己目標を達成できたかを確認し、班全体で共有する。（思判表）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部センター分教室　２年（Ⅱ課程　A類型）職業科　オフィスワーク班　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	２学年　　４名		ワークサンプル幕張版

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力）　将来の職業生活を見据え，必要な事柄を見いだして課題を設定し，解決策を考え，実践を評価し，表現する力を養う。（高１段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア(ア)） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高１段階ア(イ)） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高１段階ア(ウ)）	(知・技）職業の心得や社会での役割について考え、実際の作業班の仕事に取り組んでいる。 (思･判･表)就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (主学)心得を理解し、主体的に行動している。	・勤労の意義 職業生活	・日々の事業の中で身なりや時間を守ることの大切さ言葉使い等、９つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高2段階ア） (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現する。（高１段階イ） (学･人)情報機器を正しい使用方法で活用する。（高１段階：情報機器ア）	（知・技）iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 （思・判・表）発表に情報機器を活用している。 （主学）情報モラルを守り機器を活用してる。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記･記録･計算･通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
１学期	10	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア(ア)） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高１段階ア（イ）） (学･人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高１段階ア（ウ））	（知・技）意義や対価等を学び、就労への意識を持って作業にあたっている。 （思・判・表）学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 （主学）心得を自身らで考え、作業に主体的に取り組んでいる。	・職業学習について	・作業開きにおいて、作業内容の把握や心得の作成をおこない、一年の見通しと目標また意義を確認する。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身につける。
	12	（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高２段階（ア）） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高１段階イ（イ）㋐） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高１段階ア（ア））	（知・技）機器の名称・使い方を把握し、使用している。 （思・判・表）安全に機器を使用している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・オフィス業務等の作業内容の把握	・線引きの練習やはさみの練習、ワークサンプル幕張版を使用した訓練にて器具の名称や使い方の習得を行う。 ・依頼業務や訓練業務が卒業後の就労先にどう繋がるかをワークシート等を使い学ぶ。
	12	（知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱う。（高２段階イ（ア）㋑） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高２段階イ（イ）㋐） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高２段階ア（ア））	（知・技）手順を理解し、道具や機械の操作作業に取り組んでいる。 （思・判・表）作業後の商品の確認を求め、チェックのポイントを学び、報告・連絡・相談の重要性を考え、実行している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・依頼業務 （印刷業務等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	12	(知及技)オフィス内環境の整備について知ることができる。（高１段階イ（ア）㋑） (思判表)依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について考えることができる。（高１段階イ（ア）㋑） (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動や修繕等にいかすことができる。（高２段階イ（ア）㋑）	(知・技)オフィス内の環境整備［清掃、用務、修繕等］とはどういうことか理解している。 (思・判・表)依頼業務時に求められる力［技術・身だしなみ・コミュニケーション］について考えることができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動や修繕等にいかそうとしている。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等を随時更新し、業務を引継ぐ方法を学ぶ。

	4	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高２段階ア（ア）） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高１段階ア（イ）） (学･人)計画性をもって主体的に取り組む。（高１段階ア（イ））	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、自身で発表し、他者との関わりや他者の発表を聞いて考えている。 （主学）作業の振り返りを主体的に取り組んでいる。	・学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
２学期	16	(知及技）生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考える。（高２段階イ（イ）㋑） (思判表力)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現する。（高１段階イ（イ）㋐） (学･人)作業の確実性や持続性、緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟する。（高１段階イ（ア）㋓）	（知・技）作業のポイントを学び、効率や確実性を意識して作業を行っている。 （思・判・表）振り返りを行い、ミスしたところやうまくいったところを自身で考えて次回に活かしている。 （主学）正確な作業について日常から考え、実行している。	・作業の正確性	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	20	(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深める。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表力)材料の特性や扱い方及び生産活動等に関わる技術について理解を深める。（高１段階イ（イ）㋒） (学･人)計画性をもって主体的に取り組む。（高１段階イ（イ））	（知・技）業務依頼から納品までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 （思・判・表）商品を扱う意識を持ち、汚れ、破れ等がないよう考え作業を行っている。 （主学）他者との協力を意識し作業を進めている。	・依頼業務 （印刷業務等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	20	(知及技）オフィス内の環境整備の必要性や仕組み等について理解を深める。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表力)用具の特性や扱い方に関わる技術について理解を深める。（高１段階イ（イ）㋒） (学･人)計画性をもって主体的に取り組む。（高１段階イ（イ））	（知・技）業務依頼への対応、業務遂行までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 （思・判・表）状況に応じた用具を選択・清掃や用務活動ができている。 （主学）他者との協力を意識し作業を進めている。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等の引継ぎ書を確認し、業務を正確に遂行する意識を持つ。
	4	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高２段階ア（ア）） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高１段階ア（イ）） (学･人)計画性をもって主体的に取り組む。（高１段階ア（イ）	（知・技）学期の目標を振り返り、良い点、課題点をあげている。 （思・判・表）成長点や課題点を捉え、次学期につなげる内容を表現している。 （主学）他者と意見を交えながら目標を立てている。	・２学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
３学期	14	(知及技）言葉使いや身なりに気をつけ依頼者と関わることができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表力)自身で判断し、修正や相談を行うことができる。（高１段階イ（ア）㋔） (学･人)苦手な作業へも挑戦することができる。（高１段階イ（ア）㋔）	（知・技）社会人のマナーを考え行動することができている。 （思・判・表）出来を確認しながら修正等を行っている。 （主学）様々な作業に挑戦する姿が見られる。	・依頼業務 （印刷業務等）	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	14	(知及技）効率の良い手順を探り、作業を行うことができる。（高２段階ア（ウ）） (思判表力)作業中の所作についても考え実行する。（高１段階イ（ア）㋑） (学･人)他者からの意見を素直に受け入れることができる。（高１段階イ（イ）㋐）	（知・技）自身らで工夫しながら作業を進めている。 （思・判・表）状況、相手に応じて言葉遣いや振る舞いを考え行動している。 （主学）素直な態度で指摘・指示を受け入れ行動している。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、業務のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	2	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高２段階ア（ア）） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高１段階ア（イ）） (学･人)計画性をもって主体的に取り組む。（高１段階ア（イ）	（知・技）1年を振り返り、まとめることが出来る。 （思・判・表）他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 （主学）意見を共有し、皆で意見をまとめている。	・年間のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部センター分教室　２年(　Ⅱ課程　A類型　)家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1.5単位／52.5時間	２学年　９名		「Survive!!高等学校家庭基礎」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高等部２段階) (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高１段階） (学･人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技)乳幼児や高齢者などの生活の特徴について知る。(A家族・家庭生活工(ア)) (思判表力)健康管理や余暇の過ごし方について考える。(A家族・家庭生活ウ(イ)) (学･人)家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。(A家族・家庭生活ア(イ))	(知・技)高齢者の身体的な特徴について分かっている。 (思･判･表)有効な余暇の過ごし方を考え、各班で発表し、有効な余暇の過ごし方について話し合えている。。 (主学)学習したことを、実生活で活用している。	単元名「家庭生活」 題材名「高齢者とのかかわり方」 題材名「余暇の有効な過ごし方」 題材名「家庭での役割」	○余暇の過ごし方を考え、各班で発表し、有効な余暇の過ごし方とは何かを考える。(思・判・表) ○高齢者の身体的な特徴を知り、障壁となる建物設備を見つけ、改善策を考える。(知・技)(思・判・表) ○自分ができる家事を考え、実際に家庭で実践するための手順を考える。(主学)
	12	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について知る。(B衣食住の生活ア食事の役割(ア)) (思判表力)一日の献立について考える。(Ｂ衣食住の生活ア(イ)) (学・人)健康などの視点からよりよい食習慣について考え、工夫できる。(Ｂ衣食住の生活ア(イ))	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について分かっている。 (思・判・表)一日の献立について考えるている。 (主学)健康などの視点からよりよい食習慣について考え、工夫し、実践している。	単元名「食生活」 題材名「朝ごはんの役割」 題材名「栄養素の種類と働き」 題材名「献立を考えよう」 題材名「食品の選び方」 題材名「便利な食品」 題材名「食品の保存」	○朝ごはんを食べた場合と欠食した場合の違いについて知る。(知・技) ○栄養素の種類と働きについて学び、各栄養素が多く含まれる食品をワークシートにまとめる。(知・技)(思・判・表) ○賞味期限・消費期限について学習し、実際の食品表示から情報を読み取る。(知・技)(思・判・表) ○インスタント食品や冷凍食品などの活用法を学習し、実際に調理する。(知・技)(主学) ○食品の正しい保存方法について学習し、鮮度の良し悪しの見分け方を理解し、資料にまとめる。(知・技)(思・判・表)
2学期	10.5	(知及技)衣服と社会生活との関わりを知る。(Ｂ衣食住の生活ウ衣服の選択(ア)) (思判表力)衣服と社会生活との関わりが分かり、衣服の適切な選択ができる。(Ｂ衣食住の生活ウ衣服の選択(イ)) (学・人)目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて知り、適切にできる。(Ｂ衣食住の生活工(ア))	(知及技)衣服と社会生活との関わりについて分かっている。 (思・判・表)衣服と社会生活との関わりが分かり、適切な衣服について考えている。 (主学)目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いが分かり、手本を参考に活動に取り組めている。	単元名「衣生活」 題材名「TPOに合わせた服装」 題材名「衣服の保清」 題材名「衣服の洗濯」 題材名「衣服の補正」	○社会的行事に関する場面を想定し、TPOに適した服装を考える。(知・技)(思・判・表) ○衣服を清潔に保つことの重要性について知る。(知・技) ○衣服の種類や汚れの種類ごとの効果的な洗濯方法について知る。(知・技) ○基礎縫い(玉結び・玉止め・なみ縫い)とボタン付けの技術を用いて、裁縫小物を作成する。(知・技)(思・判・表)(主学)
	10	(知及技)住居の基本的な機能について知る。(Ｂ衣食住の生活オ(ア)) (思判表力)安全や快適さを考えた住空間を選択できる。(Ｂ衣食住の生活オ(イ)) (学・人)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、工夫することができる。(Ｂ衣食住の生活オ(イ))	(知及技)住居の基本的な機能について分かっている。 (思・判・表)安全や快適さを考えた住空間を選択している。 (主学)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、工夫している。	単元名「住生活」 題材名「室内環境」 題材名「くらしと空間」	○太陽光や空気の流れが快適な室内環境を良くすることを知り、一人暮らしを想定した家具・家電の配置を行う。(知・技)(思・判・表) ○間取り図の見方を学習し、物件の情報を読み取り、一人暮らしに合う物件を選択する。(知・技)(思・判・表)
3学期	10	(知及技)様々な購入・支払い方法についての利点と問題点を知る。(C消費生活・環境ア(ア)㋐) (思判表力)物質・サービスの選択に必要な情報の収集ができる。(C消費生活ア(ア)㋑) (学・人)購入した物資・サービスに不具合があった場合に適切に行動できる。(C消費生活イ(ア))	(知及技)様々な購入・支払い方法についての利点と問題点を分かっている。 (思・判・表)物質・サービスの選択に必要な情報を収集している。 (主学)購入した物資・サービスに不具合があった場合に適切に行動している。	単元名「消費生活」 題材名「様々な購入方法」 題材名「様々な支払い方法」 題材名「商品を選ぶ時のポイント」 題材名「悪質商法対策」	○店舗販売・無店舗販売・通信販売等の利点と注意点を知り、掲示物にまとめる。(知・技)(思・判・表) ○現金払い・カード払い等の利点と注意点を知り、掲示物にまとめる。(知・技)(思・判・表) ○商品を購入する際の注意点について考え、実際に物資・サービスの情報収集を行う。(知・技)(主学) ○悪質商法の例を知り、対策法と被害にあった際の対応法について知る。(知・技)

留意点引継ぎ等	学習活動の様子や授業態度、ワークシートの記述、テストや各課題の状況等により評価する。

令和７年度 高等部センター分教室　２年（　Ⅱ課程　A類型　）外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２学年　９名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、聞くこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを真似ながら読んだり、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高１段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技）あいさつや基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。【高1段階ア(ｱ)㋐】 (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階イ(ｱ)） (学･人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階）	(知・技）簡単な語句などが表す内容を知り、相手に伝えている。 (思･判･表)使用場面に応じた応答をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、尋ねたりしている。 (主学)質問に対して応答しようとしている、他の生徒の答えを関心を持って聞こうとしている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元１「This is Me!」 自己紹介 あいさつ	・定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。 （名前/年齢/好きなこと・ものなど） ・他者の発表を聞く。 ・朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。
				単元２「Birthday 誕生日」 数の数え方（序数） １２の月の数え方	カレンダーや絵カードなどを利用しながら、 ・1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称を学ぶ。 ・誕生日を英語で聞いて理解する。 ・自分や身近な人の誕生日を伝える。 ・“When is your birthday?”を使って誕生日を訪ねたり、答えたりする。 ・日本の祝日を訪ねたり、答えたりする。
				単元３「これは何ですか？What's this?」 Whatを使った表現 身の回りの物	・文房具や教室にある物などを英語で聞いたり発音したりする。 ・"What's this?"の質問を理解する。 ・"It's a ～."と答える。 ・クイズを楽しんだり、作ったりする。
				単元４「～できますか？Canを使った表現」 What i am good at(can)～.	・教師の問いかけに対して、“Yes, I(you) can.”“No,I(you) can't.”を用いて、できることやできないことを伝える。 ・絵カードを利用しながら、自分の得意なことを伝える。 ・“Can you～？“を用いて質問したり、依頼したりする。 ・“Yes, I (you) can.” ”No, I(you) can't.”を用いて応答したり、承諾したり、断ったりする。
2学期	14	(知及技)英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高２段階ア(ｱ)㋐) (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階イ(ｱ)） (学・人)外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技）英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択している。語句や表現の意味を理解しながら、文字を綴っている。 (思･判･表)定型句を用いて使用場面に応じた質疑、または応答をしている。 (主学)生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元５「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方	チャンツやクイズなどを通して、 ・～時、半、10分単位の時間を聞いて理解する。 ・“What time”を使い、時間を尋ねる。 ・“It's ～.” を遣い、時間を伝える。 ・時間の表現を取り入れながら、夏休みの過ごし方について報告する。
				単元６「買い物（２桁・３桁の数え方)」	身近な商品を題材に、クイズを通して ・２桁、３桁の値段を聞いて理解する。 ・２桁、３桁の表現を使って、値段を伝える。 ロールプレイでのやり取りを通して ・“How much”を用いて値段を尋ねる。 ・“I'll have ～.” を用いて欲しいものを伝える。
				単元７「衣類・身の回りの英語」	・修学旅行に向け、身近な英語に触れる。 (Winter Clothes,Hotel Ammenity) ・英語と日本語の違いに気づく。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・英語表示から必要とする情報を読み取る。
				単元８「ホリデーシーズン」	クリスマスカード作りを通して、 ・季節の挨拶を送り合う習慣に慣れる。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・外国の学校の様子やホリデーシーズンの過ごし方について学び、日本との違いに気づく。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
3学期	9	(知及技)簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高２段階ア(ｱ)㋐) (思判表力)身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。（高１段階イ(ｲ)） (学・人)外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。(高２段階)	(知・技）英語を聞いたり読んだり書いたりして、語句や表現の意味を理解している、それを示すものを選択している。模倣して発音している。 (思･判･表)使用場面に応じてあいさつをしている。リストの中から自分の気持ちに沿ったメッセージを選んでいる。 (主学)外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元９「新年を祝おう」 世界の正月＆日本の正月 顔の英語、方向	・外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・年号の伝え方に親しむ。 ・絵カードやクイズを通して、新年に関する語句や表現に触れる。（例:Zodiac Animals) ・福笑いを通して、方向に関する指示を聞いて理解する。
				単元１０「バレンタインデー」	動画やスライドを通して ・バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・外国の習慣を知り、比較する。 ・“Who”や“What”を用いて、質問したり、答えたりする。
				単元１１「感謝の気持ちを伝えよう」	Thank you card作りを通して ・感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・送る相手に適した表現を知る。 ・メッセージの意味を意識しながら、学んだ表現のスペルを綴る。
留意点 引継ぎ等		※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。			

令和　7　年度 高等部センター分教室　2年（Ⅱ課程　A類型）情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52.5時間	2学年　9名		・教科書「社会と情報」 ・ワープロ検定問題 ・タイピングソフト ・副読本「ワード・エクセル・パワーポイントの基本操作」（東京書籍）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技)効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータ・データ等の活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高１段階）

(思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高１段階）

(学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10時間	(知及技)コンピュータの操作方法を知り、身に付けることができる。(高１段階Ａア(ア)) (思判表力)目的や状況に応じて情報技術を活用し、問題を解決する方法を考えることができる。(高１段階Ａイ(ア)) (学・人)ホームポジションを意識してタイピングすることができる。(高１段階Ａア(ア))	(知・技)コンピュータの操作方法を知り、身に付けようとしている。 (思・判・表)目的や状況に応じて情報技術を活用し、問題を解決する方法を考えようとしている。 (主学)ホームポジションを意識してタイピングをしようとしている。	コンピュータの基本的な操作 ・ホームポジションを理解しよう ・ローマ字入力を練習しよう。 ・アカウントのログインの仕方	・タイピング練習サイト等を活用して、両手のホームポジションおよび指づかいが定着するよう練習する。 ・ローマ字で入力できるよう、タイピング練習する。
		(知及技）インターネット上のコミュニケーションにおける心構えや留意点等を理解し、情報機器等を活用することができる。（高１段階Ａア（ウ）） (思判表力)インターネット上のコミュニケーションにおいて、トラブルを回避するための行動がとれる。（高１段階Ａイ（イ）） (学･人)インターネット上のコミュニケーションを取ろうとする姿勢を身につけることができる。（高１段階Ａイ（ウ））	(知・技）インターネット上のコミュニケーションにおける心構えや留意点等を理解し、情報機器等を活用している。 (思･判･表)インターネット上のコミュニケーションにおける望ましい姿勢について考え、判断し行動している。 (主学）インターネット上のコミュニケーションを取ろうとする姿勢が身についている。	情報モラルと情報リテラシー ・情報検索 ・情報リテラシー ・出会い系トラブルの危険性 ・情報セキュリティ ・ネット依存 ・炎上とネットいじめ ・上手なネットコミュニケーション	・対面やインターネット上でのコミュニケーションの特徴について考える。 ・動画教材を活用し、SNS利用の注意点やトラブルへの対処法等を学ぶ。
2学期	25.5時間	(知及技)表計算ソフトを活用して、データを表やグラフ等の形式で表現することができる。（高１段階Ｃア(ウ)） (思判表力)表計算ソフトを効果的に活用して、データを分析・集計したり、見映えよく仕上げたりすることができる。（高１段階Ｃイ(ウ)） (学・人)表計算ソフトの特性や利便性を理解し、データの集計に向けて活用することができる。（高１段階Ｃイ(ウ)）	(知・技)表計算ソフトの基本的操作方法を身に付けている。 (思・判・表)表計算ソフトを効果的に活用して、データを分析・集計したり、見映えよく仕上げようとしている。 (主学)表計算ソフトの特性や利便性を理解し、データの集計に向けて活用している。	データの収集・整理・分析 ・表計算ソフトを活用したデータ処理 ・Wordの使い方 ・Excelの使い方	・表計算ソフトの基本的操作方法 ・データの入力と整理、分析 ・グラフの表し方
		(知及技)電子メールの仕組みを理解し、送受信に必要な知識を身に付けている。(高１段階Ｃア(ア)) (思判表力)電子メールの役割や効果・影響等について考え、メールを送信するために必要な行動をとることができる。(高１段階Ｃイ(イ)) (学･人)電子メールの仕組みについて関心を持つことができる。(高１段階Ｃア(ア))	(知・技)電子メールが届く仕組みや送受信のプロトコルを理解し、操作方法等を身に付けている。 (思･判･表)メールの役割や効果、迷惑メールの影響などについて考える、実際に電子メールを利用している。 (主学)電子メールが届くまでの流れに関心を持っている。	メールの使い方 ・電子メールの使い方	･Outlookや無料Webメール等を活用し、実際にメールの送受信を行ってみる。 ･ビジネスメールの基本的な書き方や送り方について学ぶ。 ･知らない相手から届く迷惑メールの事例や対処法について考察する。
		(知及技)情報セキュリティ対策の必要性について理解するとともに、ユーザIDやパスワードを設定し管理することができる。(高１段階Ａア(イ)) (思判表力)情報セキュリティ対策のための方法や行動について考えることができる。(高１段階Ａイ(ウ)) (学･人)情報セキュリティ対策の必要性について関心を持つことができる。(高１段階Ａイ(ウ))	(知・技)情報セキュリティ対策の必要性について理解するとともに、ユーザIDやパスワードを適切に設定し管理している。 (思･判･表)情報セキュリティ対策のための方法や行動について考えている。 (主学)情報セキュリティ対策の必要性について関心を持っている。	情報社会の課題を考える ・情報セキュリティに気を付ける	･不正アクセスの実被害例を挙げる等、セキュリティ対策は一人一人にとって身近な問題であることに気付かせるよう配慮する。 ･ユーザIDおよびパスワード等の適切な設定･管理方法について考察する。
3学期	17時間	(知及技)発表内容のPRに向けて、文書作成ソフトの活用方法を理解し、広告を作成できる。(高１段階Ｂア(ウ)) (思判表力)発表内容をPRする方法を理解できる。(高１段階Ｂイ(イ)) (学･人)発表内容を効果的にPRするデザインの手法を考え、工夫することができる。(高１段階Ｂイ(ウ))	(知・技)文書作成ソフトの適切な活用方法について理解し、基本的な操作を行い広告を作成することができている。 (思･判･表)効果的な手法や内容、表現を使い、発表内容をPRしている。 (主学)自分でPRの効果を意識して、独自のスライドを作成しようとしている。	情報の活用と表現 ・効果的なプレゼンテーション作成 ・ポストカード作成	・PR効果を意識した広告の構想を考える。 ・文書作成ソフトの機能を活用し、表現の仕方を工夫して効果的な広告に仕上げる。
		(知及技）QRコードの仕組みを理解し、作成ソフトでQRコードを作成できる。（高１段階Ａ（ア）ア） (思判表力)QRコードを表現する方法を考えて行動できる。（高１段階Ａイ（ウ）） (学･人)QRコードで情報を表現できる。（高１段階Ｃイ（ウ））	(知・技）QRコードの作成、読み取り方法を理解できている。 (思･判･表)QRコードで必要な情報を表現するために考えて行動している。 (主学）QRコードで情報を表現しようとしている。	情報社会と問題解決 ・QRコードを作ろう	・QRコードとバーコードの違いについて学ぶ。 ・QRコードを、スマートフォンを活用して読み取ったり、実際に作成したりする。 ・QRコードの情報を汚した場合に読み取ることができるか検証する。
		(知及技）情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。（高1段階 （ア(イ)） (思判表力）情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。（高1段階 （イ(イ)） (学・人）身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。(高1段階)	(知及技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。 (思判表力）身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。 (学・人）情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。

留意点 引継ぎ等	

令和　7 年度 高等部センター分教室　　２年（Ⅱ課程　A類型）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	２年　９名		新訂　新しい道徳　３

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(A：自分自身に関する事）　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任をもって行動できる態度を養う。 (B：人との関わりに関する事）　礼儀正しく思いやりをもって人と接するとともに、広い心を持ち、異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事）　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり）　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考え、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・自由と自分勝手の違いについて考え、自律的で責任のある行動をするための道徳的判断力を身につけさせる。
		・自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解するとともに、性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
3学期	9	・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからこそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。

留意点引継ぎ等	

令和7年度　高等部センター分教室　2年（　Ⅱ課程　A類型　）総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2学年　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力)　体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人)　体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	17	・就業体験に対する態度や心得を学び、身につけることができる。（知及技） ・社会人としてのマナーやモラルについて理解することができる。（知及技） ・年間の授業内容を聞いて理解し、見通しを持つことができる。（思判表力） ・就業体験を振り返り自己の反省点を発表することができる。（思判表力） ・前期就業体験について理解を深めるとともに、働くうえでの決まりを理解することができる。（学・人） ・仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知ることができる。（学・人）	・前期就業体験　事前学習 ・前期就業体験 ・前期就業体験　事後学習 ・進路学習	・動画やパワーポイント等の視覚教材を活用して、就業体験の内容を具体的にイメージする。 ・日程、作業内容、個人の役割、持ち物の確認をする。 ・就業体験における約束事を確認する。また、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを意識させる。 ・動画やパワーポイント等の視覚教材を活用して、就業体験での活動内容を振り返る。 ・各自の実習中の活動内容について自己評価する。また、実習後の感想や今後の目標をもつ。
2学期	14	・就業体験に対する態度や心得を学び、身につける。（知及技） ・社会人としてのマナーやモラルについて理解し行動することができる。（知及技） ・就労や社会参加の意義について考えることができる。（思判表力） ・学期を振り返り自己の反省点を発表することができる。（思判表力） ・後期就業体験について理解を深めるとともに、働くうえでの決まりを理解することができる。（学・人） ・仕事の意義を理解し皆と協力して学習活動を行うことの大切さを知ることができる。（学・人）	・後期就業体験　事前学習 ・後期就業体験 ・後期就業体験　事後学習 ・進路学習	・動画やパワーポイント等の視覚教材を活用して、就業体験の内容を具体的にイメージする。 ・日程、作業内容、個人の役割、持ち物の確認をする。 ・就業体験における約束事を確認する。また、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを意識させる。
3学期	4	・学習発表会について活動の意義を理解し主体的に取り組むことができる。（知及技） ・学習発表会に向けての準備や当日の役割分担、事後の発表に向けての準備などに取り組むことができる。（思判表） ・学習発表会での話題に向き合うことができる。（学・人） ・就労や社会参加の意義について理解したことを体験に基づいてまとめることができる。(知及技)(思判表力) ・進路学習を振り返り、今後の進路についての目標を考え、意識を高めることができる。(学・人)	・学習発表会事前学習 ・学習発表会事後学習 ・進路学習	・学習発表会の事前学習、準備 ・学習発表会の振り返り ・各自の進路学習の活動内容について自己評価する。また、感想や今後の目標をもつ。
留意点引継ぎ等				

令和 7 年度　高等部センター分教室　2年（Ⅱ課程　A類型）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	2学年　9名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思・判・表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し解決するために話し合うことや、合意形成を図ったり意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・身なり服装を整えて式に参加し、学校生活への心構えを持つことができる。(学・人)	・入学式・終業式	・入学式、終業式の実施
		・自分自身の健康状態への理解を深めることができる。（知及技）	・身体測定	・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施
		・生徒同士協力して学校生活の充実に向けて意識を高めることができる。（思判表力）	・生徒総会	・生徒総会の運営と実施
		・自他を理解して尊重し、命を大切にする態度を育てることができる。（思判表力）	・交通安全指導	・交通安全指導の実施
		・防災についての理解を深め、実践的な対応力を高めることができる。（知及技、思判表力）	・火災避難訓練	・火災避難訓練の実施
		・地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。（思判表力、学・人）	・交流会	・交流会の計画・運営（本校との交流・他校との交流）
		・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・個人目標、学期のまとめ	・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2学期	14	・儀式的行事への参加を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。（学・人）	・始業式・終業式	・始業式、終業式の実施
		・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。（知及技、思判表力）	・地震津波避難訓練	・地震津波避難訓練の実施
		・健全な発達や健康維持を目指すことができる。(知・技)（学・人） ・日頃の学習成果を発表し、自己の役割を意識して最後までやり遂げることができる。（思判表力、学・人）	・校内陸上大会	・校内陸上大会の実施
		・選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。（思判表力）	・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙の実施
		・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。(知・技)（学・人）	・校外学習	・校外学習の計画と実施
		・交流会の企画・運営および情報交換をとおして、本校の生徒会活動の活性化をはかることができる。(思判表力、学・人）	・交流会	・近隣高校との交流会の実施
		・卒業生のもつ価値観や考え方について理解する。また自分の将来に生かせる視点をもつことができる。（思判表力、学・人）	・卒業生講話	・卒業生講話の実施
		・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表、学・人）	・個人目標、学期のまとめ	・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3学期	9	・儀式的行事への参加を通して、集団への所属感や連帯感を深めるができる。（学・人）	・始業式、卒業式、修了式	・始業式、卒業式、修了式の実施
		・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。（思判表力、学・人）	・みさき市(学習発表、販売学習)	・みさき市の準備
		・支えてくれた先輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。（思判表力）	・3年生を送る会	・3年生を送る会の実施
		・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。（学・人）	・校外学習	・校外学習の計画と実施
		・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・個人目標、１年間のまとめ	・キャリアパスポートを活用しての目標立て ・１年間を振り返り、次年度への見通しを立てる。
留意点 引継ぎ等				

令和７年度 高等部　センター分教室３年（　Ⅱ課程Ａ類型　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	３学年　10名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高２段階) (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高２段階） (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	2	(知及技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。（高２段階ア(ｲ)） (思判表力）目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（高２段階Ａウ） (学･人）文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら準備、発表に取り組むことができる。（高２段階）	(知･技）相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 (思･判･表）目的に応じて、話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶことができている。 (主学）文章作成の方法、話し方のポイントなど学習したことを意識しながら準備、発表に取り組んでいる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自分の情報をまとめる ・話し方のポイント	・自分の基本情報や好きなことなどについて、項目ごとに整理しながら「自己紹介シート」にまとめ、自己紹介をする。 ・発表する際の話し方、態度についてポイントを確認し、自己紹介をする。 ・互いの発表を聞いて感想や良いところ、改善点を共有する。
	5	(知及技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気づくことができる。（高２段階ア(ｱ)） (思判表力）社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。（高２段階Ａア） (学･人）言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えたりすることができる。（高２段階）	(知･技）社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりを作る働きがあることに気づくことができている。 (思･判･表）社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができている。 (主学）言葉がもつよさに気づき、すすんで聞き取ったり、伝えようとしている。	単元「メモをとろう」 ・メモの取り方 ・話の内容を捉えよう ・メモをとって伝えよう	・職業場面などと関連づけて話を正しく聞き取ることの大切さ、メモをとることの必要性について考える。 ・「いつ」「どこで」「誰が」の５Ｗ１Ｈや必要に応じて言葉を省略していいことなど、メモを取るときに必要な事柄を確認する。 ・連絡事項や説明、電話対応など実際の場面を想定し、２～３文の短い文、長い文と段階的に話を聞いてメモをとる練習をする。 ・聞き取った内容を他の人に伝言したり、聞き取れなかった場合の聞き返し方について確認、練習する。
	5	(知及技）日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。（高２段階ア(ｶ)） (思判表力）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高１段階Ａエ） (学･人）学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとすることができる。（高２段階）	(知･技）日常よく使われる敬語を理解し使っている。 (思･判･表）相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 (主学）学んだ言葉や話し方を自分の表現に生かそうとしている。	単元「敬語を使おう」 ・敬語とは ・敬語の種類 ・職場でよく使う挨拶 ・正しい姿勢で話そう ・日常生活の中の敬語	・敬語が必要な場面や使う意義について考える。 ・「尊敬語」などの敬語の種類について知る。 ・日常生活の中で使われている敬語や職業場面でよく使う挨拶、丁寧な言葉遣いについて学ぶ。 ・学習した言葉を場面と結び付けながら、実際の場面を想定してロールプレイをする。 ・声の出し方、姿勢などについて確認し、意識して練習に取り組めむ。 ・日常生活での人とのやり取りや文章の中で使われている敬語を探す。
	5	(知及技）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。（高１段階ウ(ｳ)） (思判表力）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（高２段階Ｃオ） (学･人）興味のある本や学習に必要な本を選び、読んだ感想や考えについて伝え会おうとすることができる。（高２段階）	(知･技）幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができている。 (思･判･表）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。 (主学）興味のある本や学習に必要な本を選び、読んだ感想や考えについて伝えられている。	単元名「読書に親しもう」 ・市立図書館見学 ・学校図書館利用 ・読書活動 ・おすすめの本の紹介	・市立図書館の役割や利用のマナーを知り、活用する。 ・様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、実際に手に触れることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。 ・自分の好きな本を選び、おすすめしたいポイントや簡単な内容をまとめ本の紹介をする。

	3	(知及技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。（高２段階ア(ｳ)） (思判表力）目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（高２段階Ｂア） (学･人）暑中見舞いの意義を理解し、すすんで書くことができる。（高１段階）	(知･技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思･判･表）目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確に書いている。 (主学）暑中見舞いの意義を理解してをすすんで書こうとしている。	単元「暑中見舞いを書こう」 ・手紙の書き方 ・暑中見舞いの作成	・手紙の種類や葉書の正しい書き方、季節の挨拶について学ぶ。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手を見舞い自分の近況を伝える、という暑中見舞いの意義を踏まえて相手に伝えたい内容を考え、文章の構成や言葉遣い、表記に注意しながら通信面を書く。
2学期	5	(知及技）身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、使うことができる。（高２段階ウ(ｲ)） (思判表力）資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。（高２段階Ａエ） (学･人)生活の中で身近に使われている方言を知り、使うことにより郷土の言語文化に親しむことができる。（高２段階）	(知･技）身近な方言の挨拶や意味、使い方について知り、使うことができている。 (思･判･表）資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができている。 (主学)生活の中で身近に使われている方言を知り、郷土の言語文化に親しもうとしている。	単元「方言に親しもう」 ・うちなーぐちカルタ ・挨拶や簡単な会話	・うちなーぐちカルタを通して、簡単な方言の意味や使い方について知る。 ・地域によって違う方言が使われていることや、自分の地域の方言の特徴について学ぶ。 ・方言での簡単な挨拶や日常生活でのやりとりについて学び、具体的な場面を設定してロールプレイをする。
	9	(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解することができる。（高２段階ウ(ｱ)） (思判表力)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。（高２段階Ａエ） (学･人)自分の思いや考えを言葉で素直に表現することができる。（高２段階）	(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムを理解している。（高２段階ウ(ｱ)） (思･判･表)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができている。 (主学))自分の思いや考えを言葉で素直に表現することができている。	単元「俳句をつくろう」 ・俳句とは ・俳句作成 ・鑑賞会	・読みやすい文語調の俳句の作品を鑑賞、音読し、短歌の歴史や形式について知る。 ・自分の気持ちに合う言葉を集め、俳句の形式に整えて表現する。 ・鑑賞会の中で、お互いの感想を交流する。
	10	(知及技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。（高２段階ア(ｵ)） (思判表力）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（高２段階Ｃオ） (学･人）読み取った内容を踏まえて、自分の考えを持ちことができる。（高２段階）	(知･技）文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができている。 (思･判･表）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。 (主学）読み取った内容を踏まえて、自分の考えを持とうとすることができている。	単元「説明的文章を読もう」 ・接続語の役割 ・内容を読み取ろう	・接続語の役割について学ぶ。 ・原因や理由、筆者の考えがわかりやすい例文や短い文章を用いて、文章の構造について学ぶ。 ・説明的文章を読み、内容を読み取る。
	5	(知及技）情報と情報との関係付けを理解し使うことができる。（高２段階イ(ｲ)） (思判表力）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。（高２段階Ｃオ） (学･人）自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をもったり自分の経験と結び付けて考えることができる。（高２段階）	(知･技）情報と情報との関係付けを理解し使うことができている。 (思･判･表）文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができている。 (主学）自分の興味のある記事やテーマに合う記事を選び、感想をったり自分の経験と結び付けて考えようとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・レッツチャレンジ゛NIE ・新聞スクラップ	・新聞の構造について学ぶ。 ・自分の興味のある記事記事を選ぴ、ワークシートを用いて５Ｗ１Ｈや中心となる語を見つける。 ・辞書やｉＰａｄなどの機器を用いてわからない語の意味を調べる。 ・記事を読んで感想を書く。 ・自分が集めた記事や、テーマに沿った記事を集め、新聞スクラップを作成する。
	8	(知及技）用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書くことができる。（高２段階ウ(ｳ)㋐） (思判表力）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（高１段階Ｂウ） (学･人)毛筆体験を通して、日本文化に親しむことができる。（高２段階）	(知･技）用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思･判･表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学）毛筆体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・「今年の一文字」 ・「新年の抱負」	・書道道具や筆の扱い、書く時の正しい姿勢などを確認し、新年の目標や自分の書きたい字を選ぶ。 ・字の形、全体のバランスを意識しながら書写を行う。 ・互いの作品を鑑賞する。 ・書道に関する作品を鑑賞し、様々な表現方法があることを知る。

	3	(知及技）用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書くことができる。（高２段階ウ(ｳ)㋐） (思判表力）目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（高２段階Ｂア） (学･人）年賀状の意義を理解し、すすんで書くことができる。（高２段階）	(知･技）用紙全体との関係に注意して、字の大きさや配列などを決めて書いている。 (思･判･表）目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができている。 (主学）年賀状の意義を理解し、すすんで書こうとしている。	単元「年賀状を書こう」 ・年賀状の作成	・年賀状の目的や賀詞の選び方、忌み言葉を使わないなどのルールについて確認する。 ・相手の名前や住所、郵便番号など必要な情報を集め、バランスを意識しながら宛名を書く。 ・相手の立場に合った賀詞を選ぶ。 ・新年の挨拶という年賀状の意義を踏まえて、相手に伝えたい内容を考え通信面を書く。 ・文章の構成や言葉遣い、表記に間違いがないかなどチェック項目が書かれたシートを用いて自分でチェックし、間違いを訂正して清書する。
３学期	5	(知及技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。（高２段階ア(ｳ)） (思判表力）目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりし、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（高２段階Ｂウ） (学･人）読み手を意識し、文字や内容を考えて書くことができる。（高２段階）	(知･技）文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思･判･表）目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりし、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 (主学）読み手を意識し、文字や内容を考えて書こうとしている。	単元「履歴書を書こう」 ・履歴書の書き方 ・志望動機作成	・履歴書の目的や必要な場面、書くために必要な情報について学ぶ。 ・自分のアピールポイントや将来就きたい仕事、その理由などについて考え、文章にまとめる。 ・誤りがなく相手の読みやすい丁寧さ、大きさの字であるか、理解しやすい言葉や文章であるかを意識しながら、見本を参考にして志望動機を書く。
	10	(知及技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに気づくことができる。（高２段階ウ(ｱ)） (思判表）人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。（高２段階Ｃウ） (学･人）今と昔の人々の言葉や文化、考え方において、違う部分や共通点について考えることができる。	(知･技）親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに気づいている。 (思･判･表）人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができている。 (主学）今と昔の人々の言葉や文化、考え方において、違う部分や共通点について考えることができている。	単元「古文に親しもう」 ・「枕草子」 ・歴史的仮名遣い	・古文の歴史や有名な作品などについて知り、簡単な歴史的仮名遣いについて確認する。 ・本文を音読し、古文特有のリズムを感じる。 ・訳文を用いて現代とは違う意味を持つ言葉などがあることを確認しながら、登場人物の心情を読み取る。 ・言葉や文化、人々の気持ちや考え方など、今と昔で違うこと、共通することは何か考える。
	5	(知及技）用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めてかくことができる。（高２段階ウ(ｳ)ｱ） (思判表力）目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。（高２段階Ｂア） (学･人）言葉がもつよさに気づき、すすんで手紙を書くことができる。（高２段階）	(知･技）用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めてかくことができている。 (思･判･表）目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができている。 (主学）言葉がもつよさに気づき、すすんで手紙を書こうとしている。	単元「手紙を書こう」 ・手紙の書き方 ・感謝の手紙を書く	・高校生活を振り返り、親や教師、友人などこれまでにお世話になった方への感謝の手紙を書く。 ・相手との楽しかった思い出や感謝の気持ちなど、伝えたいことをまとめる。
年間を通した指導	15	(知及技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。（高２段階ア(ｴ)） (思判表力）文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。（高２段階Ｂカ） (学･人）これまでの自分を振り返り、自分の成長を確かめながら今の自分をしっかり見つめ、将来の自分について考えることができる。（高２段階）	(知･技）表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章で使うとともに、語彙を豊かにすることができている。 (思･判･表）文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができている。 (主学）これまでの自分を振り返り、自分の成長を確かめながら今の自分をしっかり見つめ、将来の自分について考えようとしている。	単元名「『自分史』を作ろう」 ・『自分史』とは ・『自分史』の構成を考えよう ・『自分史』を書こう ・『自分史』を製本しよう	・『自分史』について学ぶ。 ・『自分史』に載せる内容を決め、家族などに聞いて情報を集める。 ・集めた内容を文章にまとめる ・自分が集めた内容を項目ごとに文章にまとめ、詩や作文などの作品と一緒に１冊の本を作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程A類型　）社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	高等部　３学年　10名		「くらしに役立つ　社会」東洋館出版社　等

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。(高２段階) (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高２段階） (学･人)社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技）身近な生活の中で起こっている出来事が理解できる。社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解する。障害者を支える福祉制度を理解できる。(高２段階ア、ア（ア）㋑) （思判表力）法や決まり、様々な福祉制度によって自分たちの生活が支えられていることに気づき、考え、自分の言葉で表現することができる。（高２段階）ア（イ）㋑) （学・人）様々な制度や仕組みによって自分の生活や社会全体が成り立っていることを理解し当事者意識を高める。（高２段階）	（知・技）身近な生活の中で起こっている出来事が理解できる。社会生活には法やきまりがあることを理解している。障害者を支える福祉制度について理解している。 (思･判･表)法や決まり、様々な福祉制度によって自分たちの生活が支えられていることに気づき、考え、自分の言葉で表現している。 （主学）様々な制度や仕組みによって自分の生活や社会全体が成り立っていることを理解し当事者意識を高めようとしている。	・身の周りの生活と社会 ・国や社会の仕組みと決まり	・少子高齢社会、高度情報化社会の課題など社会参加と自立について現代社会の特徴を実生活に絡めイメージさせながら考え自分の意見を発表する。 ・日本国憲法の特徴を学習プリントなどを用い、幕府政治から民主主義への移り変わりについて学習する。 ・国民の義務について自分たちの生活にどのように関わってくるのかを話し合い活動を通じて三大義務を分ける。 ・国会の役割を視聴覚教材を用いて理解する。 ・様々な社会福祉制度が何の為にあるのか、生活にどう関わるのかを知る。
		（知及技）社会を支える仕組みとしての税金の制度や、選挙の仕組みが理解できる。（高２段階ア（ア）㋐） （思判表力）税金の仕組みについて考え、その使い道を話し合うことができる。選挙の仕組みがわかり、自分で投票ができる。（高２段階イ（イ）㋐） （学・人）税金の仕組みやその使い道から地域社会の一員としての役割を理解し、その態度を養う。（高２段階）	（知・技）税金の仕組み、種類や用途について理解できる。選挙が自らの生活に関係していることがわかる。 （思・判・表）税金について考え、その使い道を話し合える。選挙の仕組みがわかり、自分で判断して投票ができている。 （主学）税金の仕組みやその使い道から地域社会の一員としての役割を理解し、その態度を持とうとしている。	・私たちを支える社会の仕組み ・選挙制度について	・税金とは何の為にあるのかを視聴覚教材を用いて知る。 ・様々な税の種類を知り、どんなものに税金がかかりどんな人の為に税が使われているのかを考える。 ・身近にある税金でつくられているものを調べたり考えたりする。 ・１８歳選挙権と日本の選挙制度について知り、政治への参加を主体的に捉えられるようにする。
		（知及技）慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。（高２段階）オ（イ）㋐) (思判表力)戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。（高２段階）オ（イ）㋑) (学･人)５０年前の沖縄と現在を比べ、今後はどのように生活が変わるかイメージすることができる。（高２段階）	（知・技）視聴覚教材に注目している。または復習テストで正解できている。 (思･判･表)視聴覚教材をみて発問について考えている。または、プリントに表現している。 (主学）５０年前の沖縄と現在を比べ、今後はどのように生活が変わるかイメージしようとしている。	・復帰記念日・慰霊の日	・復帰記念日の歴史的背景について、太平洋戦争から戦後の日本と沖縄の様子を視聴覚教材などを利用しながら考える。 ・慰霊の日の歴史的背景や、沖縄戦の状況を知るために校外学習を行う。
		（知及技）銀行や郵便局の役割や使い方がわかる。それぞれの公共機関の役割がわかる。（高２段階）イ（ア）㋐) （思判表力）銀行や郵便局の役割や適切な活用方法を理解し、自分の生活に活かすこととともに、地域社会における役割を考え、表現することができる。（高２段階）イ（ア）㋑) （学・人）公共施設、公共機関の適切な利方法を理解し、自らの生活に役立てる意識を高める。（高２段階）	（知・技）銀行や郵便局、公共機関の役割やその意義がわかり、生活との関係を理解している。 （思・判・表）銀行や郵便局、公共機関の役割を理解したことを自分の生活に結びつけて考えようとしている。 （主学）公共施設、公共機関の適切な利用方法を理解し、自らの生活に役立てる意識を高めようとしている。	・金融機関（銀行）や郵便局の使い方 ・公共機関（役所、警察、消防、病院等）の仕組み	・お金の預金や引出しの方法など卒業後自立した生活ができるように実物などを用いてイメージしていく。 ・警察や消防の役割と私たちの生活についてどんなときに適切な緊急通報などを行えるようにロールプレイなどで取り組む ・体調が悪いときに何の病院に行けば良いのか正確に判断できるようロールプレイなどで取り組む。

2学期	28	（知及技）生徒会選挙を通して政治参加への意義や権利の行使と責任について理解することができる。（高２段階）ア（ア）㋑ （思判表力）生徒会選挙を通して国民としての権利を理解し、それに伴う責任について考え、自らの意思で投票することができる。（高２段階）ア（イ）㋑ （学・人）国民の権利とその行使によって生じる責任の重さを理解し、その態度を養う。（高２段階）	（知・技）生徒会選挙を通して政治参加の意義や権利の行使と責任について理解している。 （思・判・表）生徒会選挙を通して国民としての権利を理解し、それに伴う責任について考え、自らの意思で投票している。 （主学）選挙の仕組みがわかり、自分の判断で投票しようとしている。	・選挙・投票の方法	・生徒会役員選挙について選挙の仕組みを学ぶ。
		日本と関係の深い国の人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割が理解できる。（高２段階）オ、カ（ア）㋐ （思判表力）世界の中の日本、沖縄の視点から日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、調べて表現することができる。（高２段階）オ（イ）㋑ （学・人）日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、世界の中の日本、沖縄といったグローバルな視点を持つ意識を高める。（高２段階）	（知・技）日本と関係の深い人々の生活やグローバル化する国際社会における日本の役割を理解している。 （思・判・表）世界の中の日本、沖縄の視点から日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、調べて表現している。 （主学）日本、沖縄の歴史を客観的に捉え、世界の中の日本、沖縄といったグローバルな視点を持つ意識を高めようとしている。	・世界の中の日本	・異文化理解について、校外学習などで実際に世界の国々の実情などを学ぶ。 ・国際協力について自分が貢献できることは何かを考える。 ・沖縄の移民について、歴史的背景を含めなぜ海外へ移住することになったのか当時の人たちの気持ちを考える。
3学期	18	（知及技）現在と卒業後の生活がどのように変わり、困ったときに相談する機関や制度について理解することができる。（高２段階）ア（ア）㋑ （思判表力）卒業後、困ったときに相談する機関や制度について理解し、自分の将来をイメージして困ったときの状況と、そのときに相談する機関を考えることができる。（高２段階）ア（イ）㋑ （学・人）自分の卒業後の生活をイメージし、それらに関わる機関や制度を自分の生活に活用する意識を高める。（高２段階）	（知・技）現在と卒業後の生活がどのように変わり、困ったときに相談する機関や制度について理解している。 （思・判・表）卒業後の社会生活において自分の将来をイメージして、困ったときの状況に応じた相談する機関を考えている。 （主学）自分に関わりのある期間や制度の活用に向けて卒業後の生活をイメージしている。	・職業や生活の相談と支援の方法 ・卒業後の生活	・仕事の相談、生活の相談について公的機関や相談の方法など困ったときにどうしたらよいのかを判断できるようにしていく ・１日のスケジュール表を作成し、卒業後の自立に向けて個人で考える。 ・一人暮らしや実家暮らしなどで必要な生活費を算出し、卒業後どのくらいの給料が必要になってくるのかを考える。
		（知及技）生産物が作られてから我々の下にきるまでの流通、消費の仕組みが理解できる。（高２段階）エ（ア）㋑ （思判表力）生産、流通、消費までの流れを理解し、自分の生活を支えていることを考え、表現することができる。（高２段階）エ（ア）㋑ （学・人）生産、流通、消費といった産業の流れが自分の生活と大きく関係していることを理解し、消費者意識を高める（高２段階）	（知・技）生産物が作られてから自分の下に届くまでの生産、流通、消費の仕組みを理解している。 （思・判・表）生産、流通、消費までの流れを理解し、自分の生活を支えていることを考え、表現している。 （主学）生産、流通、消費といった産業の流れが自分の生活と大きく関係していることを理解し、消費者意識を高めようとしている。	・私たちの経済と消費活動	・モノの生産、流通、消費の流れを知り、どのようにして私たちのところまで流れてくるのかを視聴覚教材などを用いて学ぶ。 ・世の中にはどんな産業分類と職業分類が有るのかを調べる。 ・私たちの消費者生活について、様々な法律や制度を学び、どういうときに必要になるのかを一緒に考える。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度　高等部センター分教室　３年（　Ⅱ課程Ａ類型　）数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	高等部３年　（10）名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明確・的確に表現する力を身に付けるようにする。(高２段階) (学･人)数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。 また、生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができるようにする。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 整数は偶数と奇数に類別されることを理解することができる。（高２段階Ａア㋐ ） 倍数と約数について理解することができる。（高２段階Ａア㋑） (思判表力) 整数を類別する仕方を考えたり，数の構成について考察することができる。（高２段階Ａア㋐） (学･人) 偶数と奇数，倍数と約数，乗法及び除法等に着目しながら，整数の性質及び構成を理解することができる。（高２段階）	(知･技) 整数が偶数と奇数に類別されることを理解している。 倍数と約数について理解している。 (思･判･表) 整数を類別する仕方を考えたり，数の構成について考察している。 (主学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，整数の性質及び構成を自分なりに理解しようと取り組んでいる。	【Ａ数と計算】 ア 整数の性質及び構成	・偶数と奇数の性質を学習する ・数を偶数と奇数に分ける ・約数を見つける ・倍数を見つける ・最大公約数を見つける ・最小公倍数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 整数及び小数を分数の形に直したり，分数を小数で表すことができる。（高２段階Ａイ㋐） 分数の相等及び大小について知り，大小を比べることができる。（高２段階Ａイ㋑） (思判表力) 数の相等及び大小関係について考察することができる。（高２段階Ａイ㋐） (学･人) 分数の大小について，約分や通分を利用しながら大小関係について理解することができる。（高２段階）	(知･技) 整数及び小数を分数の形に直したり，分数を小数で表している。 分数の相等及び大小について知ることができたり，大小を比べることができている。 (思･判･表) 数の相等及び大小関係について考察している。 (主学) 分数の大小について，約分や通分を利用しながら大小関係について理解している。	【Ａ数と計算】 イ 分数	・整数及び小数を分数で表す ・分数の大小比較を行う ・約分を行う ・通分を行う ・学習プリントに沿った学習 ・模型の利用 ・数直線
	6	(知及技) 異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。（高２段階Ａウ㋐） (思判表力) 異分母の分数の計算の仕方を考えることができる。（高２段階Ａウ㋐） (学･人) 異分母の分数の加法及び減法を計算するために，約分や通分等，学習したことを利用することができる。（高２段階）	(知･技) 異分母の分数の加法及び減法の計算ができている。 (思･判･表) 異分母の分数の計算の仕方を考えている。 (主学) 異分母の分数の加法及び減法を計算するために，約分や通分等，学習したことを利用しようとしている。	【Ａ数と計算】 ウ 分数の加法及び減法	・同分母分数の加法、減法を行う ・異分母分数の加法、減法を行う ・通分を活用して計算する ・学習プリントに沿った学習 ・模型の利用 ・単元テスト
	6	(知及技) 分数の乗法及び除法の計算ができる。（高２段階Ａエ㋑） (思判表力) 計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。（高２段階Ａエ㋐） (学･人) 数の意味と表現，計算について成り立つ性質に着目し，分数の乗法及び除法の計算に取り組むことができる。（高２段階）	(知･技) 分数の乗法及び除法の計算ができている。 (思･判･表) 計算の仕方を多面的に捉え考えている。 (主学) 数の意味と表現，計算について成り立つ性質に着目し，分数の乗法及び除法の計算に取り組んでいる。	【Ａ数と計算】 エ 分数の乗法及び除法	・分数の乗法、除法の計算方法を学習する ・逆数について学習し、除法の際に活用する ・学習プリントに沿った学習 ・模型の利用 ・単元テスト

	6	(知及技) 数量を表す言葉や □，△ などの代わりに，a，x などの文字を用いて式に表したり，文字に数を当てはめて調べることができる。（高２段階Ａオ㋐） (思判表力) 数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり，式の意味を読み取ることができる。（高２段階Ａオ㋐） (学･人) 数量の関係を表す式を，簡潔に表現するために文字を利用することができる。（高２段階）	(知･技) α，x などの文字を用いて式に表したり，文字に数を当てはめて調べている。 (思･判･表) 問題場面の数量の関係に着目し，数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり，式の意味を読み取ることができている。 (主学) 数量の関係を表す式を，簡潔に表現するために文字を利用している。	【Ａ数と計算】 オ 数量の関係を表す式	・一次式の加法と減法について学習する ・aやxなどの文字を用いて式に表す ・文字式の文字の部分に数字を代入して計算する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 正の数と負の数について理解することができる。（高２段階Ａア㋐） 正の数と負の数の四則計算ができる。（高２段階Ａア㋐） (思判表力) 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。（高２段階Ａア①） (学･人) 身の周りにある数に親しみ，数学の良さを感じながら学ぶことができる。（高２段階）	(知･技) 正の数と負の数について理解している。 正の数と負の数の四則計算ができている。 (思･判･表) 正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現している。 (主学) 身の回りにある数に親しみ，数学の良さを感じることができている。	【正の数と負の数】	・正の数、負の数の表し方を学習する ・正の数、負の数が混ざった四則演算を行う ・身の回りから負の数を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
２学期	12	(知及技) 縮図や拡大図について理解することができる。（高２段階Ｂア㋐） 対称な図形について理解することができる。（高２段階Ｂア①） (思判表力) 図形の構成の仕方を考察したり，図形の性質を見いだすことができる（高２段階Ｂア㋐） (学･人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，図形の構成の仕方に取り組んだり，図形の性質を日常生活の場面に活かすことができる。（高２段階）	(知･技) 縮図や拡大図について理解している。 対象な図形について理解している。 (思･判･表) 図形の構成の仕方を考察したり，図形の性質を見いだしている。 (主学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，図形の構成の仕方に取り組んだり，図形の性質を日常生活の場面に活かしている。	【Ｂ図形】 ア 平面図形	・縮図や拡大図について学習する ・対象な図形について学習する ・もとの図形の縮図や拡大図を作成する ・身の回りから対象な図形を見つける ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 身の回りにある形について，その概形を捉え，およその面積などを求めることができる。（高２段階Ｂイ㋐） (思判表力) 図形を構成する要素や性質に着目し，道筋を立てて面積などの求め方を考えることができる。（高２段階Ｂイ㋐） (学･人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，概形や面積などの求め方を道筋を立てて考えたり，日常生活の場面に活かすことができる。（高２段階）	(知･技) 身の回りにある形について，その概形を捉え，およその面積を求めている。 (思･判･表) 図形を構成する要素や性質に着目し，道筋を立てて面積などの求め方を考えることができている。 (主学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，概形や面積などの求め方を道筋を立てて考えたり，日常生活の場面に活かしている。	【Ｂ図形】 イ 身の回りにある形の概形やおよその面積など	・面積を求める公式を使用して、手のひらや教室のおよその面積を求める ・身の回りにある図形のおよその面積を求める ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階Ｂウ㋐） (思判表力) 図形を構成する要素などに着目し，基本図形の面積を求めることができる。（高２段階Ｂウ㋐） (学･人) 学習したことを振り返り，円の面積を求めたり，公式を導きだすことができる。（高２段階）	(知･技) 円の面積の計算による求め方について理解している。 (思･判･表) 図形を構成する要素などに着目し，基本図形の面積の求め方を見いだすことができている。 (主学) 学習したことを振り返り，円の面積を求めたり，公式を導くことができている。	【Ｂ図形】 ウ 平面図形の面積	・円の面積の求め方について学習する ・模型を活用して円のおよその面積を求める ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト

	6	(知及技) 体積の単位（立方センチメートル等）について理解することができる。（高２段階Ｂエ㋐） 直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階Ｂエ㋑） 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階Ｂエ㋒） (思判表力) 図形の体積の求め方を考えることができる。（高２段階Ｂエ㋐） 基本図形の体積の求め方を見いだすことができる。（高２段階Ｂエ㋑） (学･人) 平面図形を振り返り，体積の求め方を考えたり，公式として導くことができる。（高２段階）	(知･技) 体積の単位（立方センチメートル等）について理解している。 直方体の体積の計算による求め方について理解している。 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解している。 (思･判･表) 図形の体積の求め方を考えることができている。 基本図形の体積の求め方を見いだすことができている。 (主学) 平面図形を振り返り，体積の求め方を考えたり，公式として導くことができている。	【Ｂ図形】 エ 立体図形の体積	・形の特徴を調べる ・体積の表し方を学習し、面積との違いについて確認する ・直方体や立方体の体積を求める ・立体図形の模型を作成する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 比例の関係の意味や性質を理解することができる。（高２段階Ｃア㋐） 比例の関係を用いた問題解決の方法について理解することができる。（高２段階Ｃア㋑） 反比例の関係について理解することができる。（高２段階Ｃア㋒） (思判表力) 伴って変わる二つの量を見いだして，目的に応じて表，式，グラフを用いてそれらの関係を表現し，変化や対応の特徴を見いだすことができる。（高２段階Ｃイ㋐） (学･人) 比例や反比例を振り返り，生徒同士でコミュニケーションを図りながら，表，式，グラフを表現したり，日常生活の場面に利用することができる。（高２段階）	(知･技) 比例の関係の意味や性質を理解している。 比例の関係を用いた問題解決の方法について理解している。 反比例の関係について理解している。 (思･判･表) 伴って変わる二つの量を見いだして，目的に応じて表，式，グラフを用いてそれらの関係を表現し，変化や対応の特徴を見いだすことができている。 (主学) 比例や反比例を振り返り，生徒同士でコミュニケーションを図りながら，表，式，グラフを表現したり，日常生活の場面に利用している。	【Ｃ変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量	・簡単な比の問題について学習する ・2つの数量の関係を表やグラフにまとめる ・比例と反比例の違いについて学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 比の意味や表し方を理解し，数量の関係を比で表すことができる。（高２段階Ｃイ㋐） (思判表力) 図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。（高２段階Ｃイ㋐） (学･人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，二つの数量の関係を日常生活で探すことができる。（高２段階）	(知･技) 数量の関係を比で表したり，等しい比を作ることができている。 (思･判･表) 図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察している。 (主学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，二つの数量の関係を日常生活で探すことができている。	【Ｃ変化と関係】 イ 二つの数量の関係	・簡単な比の問題を繰り返し行う ・図や式などを用いて数量の関係の比べ方を学習する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
３学期	12	(知及技) 代表値の意味や求め方を理解することができる。（高２段階Ｄア㋐） 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。（高２段階Ｄア㋑） 目的に応じてデータを収集したり，適切な手法を選択したりするなど，統計的な問題解決の方法を理解することができる。（高２段 (思判表力) 目的に応じてデータを分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに，その妥当性について考察することができる。（高２段階Ｄア㋐） (学･人) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，データの収集とその分析ができる。（高２段階）	(知･技) 代表値の意味や求め方を理解している。 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解している。 目的に応じてデータを収集したり，適切な手法を選択したりするなど，統計的な問題解決の方法を理解している。 (思･判･表) 目的に応じてデータを分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに，その妥当性について考察している。 (主学) 生徒同士でコミュニケーションを図りながら，データの収集とその分析をしている。	【Ｄデータの活用】 ア データの収集とその分析	・グラフから特徴を読み取る ・データから特徴を読み取る ・グラフの読み書きを行う ・円グラフや帯グラフを作成する ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	9	(知及技) 起こりうる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。（高２段階Ｄイ㋐）	(知･技) 起こりうる場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解している。	【Ｄデータの活用】 イ 起こりうる場合の数	・起こりうる場合の順序を樹形図作成して確認する ・事象の特徴に着目し，順序よく整理する観点を決めて，落ちや重なりなく調べる方法を学習する ・データの収集を行う

		(思判表力) 事象の特徴に着目し，順序よく整理する観点を決めて，落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。（高２段階Dイ㋐） (学･人) データの収集とその分析方法を振り返り，生徒同士でコミュニケーションを図りながら，起こりうる場合の数について考えることができる。（高２段階）	(思･判･表) 事象の特徴に着目し，順序よく整理する観点を決めて，落ちや重なりなく調べる方法を考察している。 (主学) データの収集とその分析方法を振り返り，生徒同士でコミュニケーションを図りながら，起こりうる場合の数について解決しようとしている。		・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
	6	(知及技) 確率の意味や基本的な法則についての理解を深めるとともに、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。（高２段階Dイ㋐） (思判表力) 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。（高２段階Dイ㋐） (学･人) 確率の楽しさや確率の良さが分かり，場合の数と確率を振り返り，課題を解決しようとする態度を養うことができる。（高２段階）	(知･技) 確立の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めている。 (思･判･表) 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断している。 (主学) 確率の楽しさや確率の良さが分かり，場合の数と確率を振り返り，課題を解決しようとしている。	【Dデータの活用】 イ 起こりうる場合の数	・確率の意味と表し方を学習する ・簡単な確率をもとめる ・学習プリントに沿った学習 ・単元テスト
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、プリント記入、活動の様子、テストなど、各学期毎に評価を行う。			

令和７年度　高等部センター分教室　３年(Ⅱ課程Ａ類型)　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年　１０名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する基本的な技能を身に付ける。(高２段階) (思判表力) 観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。(高２段階) (学･人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) 生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高２段階Ａ－ア) (思判表力)生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えを作り出すことができる。 (学･人)生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとすることができる。(高２段階Ａ－ウ)	(知・技) 人や他の動物の体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて理解しようとする。 (思･判･表)生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについて、予想や仮設、観察、実験などの方法を振り返り、再検討したり、複数の観察、実験などから得た結果を基に考察したりすることを通して、自分が既に持っている考えをより科学的なものに変容させようとする。 (主学)生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わりについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりする。	「生命」 人の体のつくりとはたらき 生物と環境	第１時～２時：体のつくり ・吸収、消化器官、血液、その多臓器について、ワークシートと映像資料を使って学習する。 第３時～第５時：人の体と颯物の動物の体の比較 魚の解剖をし、内臓を観察する。人間にある臓器とない臓器を確認する。 第６時：ミニテスト ※（主学）の評価は単元全体を通して行う。
	6	(知及技) 生き物と環境との関わりについて理解を図り、観察、実験、調査などに関する技能を身に付けることができる。(高２段階A-ウ) (思判表力)生き物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生き物と環境との関わりについて理解することができる。(高２段階A-ウ) (学･人)生き物と環境の関係について主体的に学習に取り組み、学習した内容を生活に生かそうとすることができる。(高２段階A-ウ)	(知・技) 生き物は、周囲の環境と関わって生きていることを理解している。 (思･判･表)生き物と環境について、問題を見いだし、予想や仮説を基に，解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学)生き物と環境について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	食事と健康 「食品の栄養素」 「食品の腐敗」	第１～第３時：食品の栄養素 ・絵や写真を見て、生き物は他の生き物や周りの環境とどのように関わっているか考え、生き物と環境との関わりについて問題を見いだす。 ・人の食べ物の元は何かを調べ、まとめる。 ・栄養素の種類と役割を知り、健康的な生活に必要な食事について考える。 第４時～第５時：食品の腐敗 ・食品の保存方法や食品表示の読み取り方を知り、さまざまな食品の正しい保存方法を選択する。 第６時：ミニテスト(知・技)(思･判･表)の評価 ※（主学）の評価は単元全体を通して行う。
	4	(知及技) 土地のつくりや変化、天気の変化、流れる水の働きと土地の変化についての理解を図り、観察、実験、調査などに関する技能を身に付けることができる。(高１段階B-ア、イ)(高２段階B-ア) (思判表力)流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べることができる。雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、天気の変化の仕方を調べることができる。(高１段階B-ア、イ)(高２段階B-ア) (学･人)予想や仮説を基に、解決の方法を発想したり、主体的に問題解決しようとすることができる。(高１段階B-ア、イ)(高２段階B-ア)	(知・技) 土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解している。天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について、問題を見いだし、予想や仮説を基に，解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。流れる水の変化や天気の変化の仕方について、観察などを行い，得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学)土地のつくりと変化、流れる水の働きと土地の変化、天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	自然とくらし 「地球と自然」 ・自然災害	第１時～第４時：わたしたちのくらしと災害 ・地震や火山の噴火による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・台風による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・川や海の水による災害や災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。 ・災害から生命を守るためにできることを考えて、話し合う。

2学期	4	(知及技）月の形の見え方と月と太陽の位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けることができる。（高２段階B-イ） (思判表力)月と太陽の位置に着目して、これらの位置関係を多面的に調べることができる。（高２段階B-イ） (学･人)月の形の見え方と月と太陽の位置関係について、主体的に理解を深め、学んだことを日常生活で生かそうとすることができる。（高２段階B-イ）	(知・技）月の輝いている側に太陽があること、また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 (思･判･表)月の形の見え方について、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。月の形の見え方について、観察、実験などを行い、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主学)月の形の見え方について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	自然とくらし 「地球と自然」 ・地球と天体	第１時～第２時：月のようす ・月の表面の様子を観察したり、資料などで調べたりする。 第３時：月の形の見え方 ・月の形が変わって見える理由を、ボールに光を当てるモデル実験で確かめる。 ・月の形が変わって見える理由を考え、まとめる。 第４時：ミニテスト(知・技）(思･判･表)の評価 ※（主学）の評価は単元全体を通して行う。
	6	(知及技）燃焼の仕組みについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けることができる。発電や蓄電、電気の変換についての理解を図り、実験などに関する技能を身に付けることができる。（高２段階C-ア、エ） (思判表力)電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べることができる。（高２段階C-ア、エ） (学･人)燃焼の仕組みや発電、蓄電、電気の変換について、主体的に学習に取り組み、学んだ内容を日常生活に生かそうとすることができる。（高２段階C-ア、エ）	(知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解している。電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることを理解している。電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることを理解している。身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。電気の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 (主学)燃焼の仕組みについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。燃焼の仕組みについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。電気の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	便利なくらし 「身の回りにある物質」 「エネルギー・機械」	第１時～第２時：身の回りにある物質 ・窒素、酸素、二酸化炭素のうち、物を燃やす働きがある気体はどれかを調べ、まとめる。 ・物が燃えると、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができることをまとめる。 第３時～第５時：電気の利用 ・町の様子の絵を見て、電気はどのように作られたり利用されたりしているかを考え、電気と自分たちの暮らしとの関わりについて問題を見いだす。 ・身の回りで、発電している物があるか探す ・電気を効率的に使うための工夫について考え、まとめる。 第６時：ミニテスト(知・技）(思･判･表)の評価 ※（主学）の評価は単元全体を通して行う。
3学期	9	(知及技）水溶液の性質や働きについての理解を図り、実験などに関する技能を身に付ける。（高２段階C-イ） (思判表力）水に溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べることができる。（高２段階C-イ） (学･人)水溶液の性質や働きについて主体的に学習に取り組み、学習した内容を日常生活に生かそうとすることができる。（高２段階C-イ）	(知・技）水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解している。水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解している。水溶液の性質や働きについて、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 (思･判･表)水溶液の性質や働きについて、問題を見いだし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。水溶液の性質や働きについて、実験などを行い、溶けている物による性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している。 (主学)水溶液の性質や働きについての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。水溶液の性質や働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	薬品・医薬品 「身の回りの生活用薬品」 「身の回りの医薬品」	第１時～第５時：身の回りの生活用薬品の性質 ・５種類の生活用薬品の違いを調べる。 ・実験結果を基に、水溶液には固体が溶けている物があることをまとめる。 ・水溶液は、酸性、中性、アルカリ性に仲間分けできることをまとめる。 ・水溶液の性質と働きについて、学習したことをまとめる。 第６時～第８時：身の回りの医薬品 ・薬の分類や主作用と副作用を知る。 ・薬の適切な利用について考える。 第9時：ミニテスト(知・技）(思･判･表)の評価 ※（主学）の評価は単元全体を通して行う。
留意点 引継ぎ等		授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子、ミニテストで評価する。			

令和　7　年度 高等部センター分教室　3　年（Ⅱ課程A類型）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	3学年　生徒10名		MOUSA I （教育芸術社）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部２段階） (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高等部２段階） (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	**A表現** 〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階：歌唱（ア）） 〔器楽〕 (知及技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけるようにする。（高等部２段階：器楽(イ)㋑、(ウ)㋑） (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） 〔創作〕 （知及技） 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身につけることができる。（高２段階：創作（イ）㋑、（ウ）） (思判表力) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。（高２段階：創作（ア）	**A表現** 〔歌唱〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができている。 〔器楽〕 (知及技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けている。 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身につけている。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができている。 〔創作〕 (知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な創作の技能を身についている。 (思判表力) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができている。	〔歌唱〕 「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」 「曲想や歌詞の内容を感じて歌おう」 〔器楽〕 「楽器の奏法を理解し、演奏を楽しもう」 〔身体表現〕 「曲想に合わせて身体表現を工夫しよう」 〔創作〕 「音楽の構造や特徴を理解して、曲を作ってみよう」 〔鑑賞〕 「音楽の特徴を感じ、情景をイメージして聴こう」 「楽曲の背景や歴史を知り、鑑賞しよう」	**A表現** 〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 〔器楽〕 (知識) (イ)㋑多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につける。 (思判表力) (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。
2学期	22.5	〔身体表現〕 （知及技） 曲想や音楽の構造と身体の動きと関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。（高２段階：身体表現(イ)㋑、㋐ (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。（高２段階：身体表現（ア）	〔身体表現〕 (知及技) 曲想や音楽の構造と身体の動きと関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けている。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができている。	〔歌唱〕 「日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう」 〔器楽〕 「ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう」 〔鑑賞〕 「和楽器について知り、日本の音楽を鑑賞しよう」	〔創作〕 (知識) (イ)㋑曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 (技能) (ウ)創意工夫しを生かした表現で旋律で必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につける。 (思判表力) (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。 〔身体表現〕 (知識) (イ)㋑曲想と体の動きとの関わりを理解する。 (技能) (イ)㋐曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につける。 (思判表力) (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する。
3学期	8	B鑑賞 (知識) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解することができる。（高２段階：鑑賞（イ）㋑） (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。（高２段階：鑑賞（ア）） A・表現、B鑑賞を通して (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することができる。さまざまな音楽文化に親しむとともに、音楽経験を生活に生かすことができる。（高等部２段階）	B鑑賞 (知識) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解できている。 (思判表力) 音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができている。 A・表現、B鑑賞を通して (学･人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することができる。 さまざまな音楽文化に親しむとともに、これまでの音楽経験を生活に生かそうとしている。	〔歌唱〕 「曲想や歌詞の内容を感じて歌おう」 「多様な楽器の音色を感じて、合奏をしよう」	B鑑賞 (知識) (イ)㋑音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりを理解する。 (思判表力) (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし。曲全体を味わって聴く。

留意点 引継ぎ等	単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。

令和７年度 高等部センター分教室　３年（　Ⅱ課程・A類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52.5	３学年　１０名		高校美術（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫し、自分らしく表現できるようにする。(高等部２段階) (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造する態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表すことができる。（高２段階：A表現ア(ア)） (思判表力）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと，伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練ることができる。（高２段階：A表現ア(イ)） (学･人)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高２段階）	（知・技）用具を作る過程や材料を扱う方法を理解し、表現方法を工夫し、表している。 (思･判･表)主題（自分の好きなもの）を考え、画面に構成するために、バブルアートの表現と主題の色彩や大きさ、重ね方など創意工夫している。 （主学）偶然の形を楽しみ、自分の好きなものを表す表現活動に主体的に取り組んでいる。	表現 「自分の好きなもの」 ・描画技法 ・想像画	・描画技法「バブルアート」を学ぶ。 ・描画のための道具作り ・表現により現れる偶然の形を楽しむ。 ・主題（自分の好きなもの）を画面構成するための構想を練る。 ・主題の描き込みに工夫を重ねる。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り話し合う。
	4	（知及技）形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力）生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り，生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして，見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：B鑑賞（イ）） （学・人）美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造することができる。（高１段階）	（知・技）作品の特徴を形や色彩から捉え、作家の意図を理解しようとしている。 （思・判・表）過去に起きた出来事が美術界に影響したことを作品の説明を通して知り、美術の働きや美術文化について考えている。 （主学）美術作品を通して新たな気付きや自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいる。	鑑賞 「ジャポニズムと万博」	・時代背景と作家を知る。 ・作者の関心や発想、作品に込められた心情、その作品によって何を表現したかったのかという意図と、それがどのように表現されているかという工夫について考える。 ・思ったことをお互いに話し合う。
	6	（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表すことができる。（高２段階：A表現ア(ア)） (思判表力）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと，伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し，創造的な構成を工夫し，心豊かに表現する構想を練ることができる。（高２段階：A表現ア(イ)） (学･人)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高２段階）	（知・技）材料や用具（カッター）を安全に扱い、表現を効果的に表している。 (思･判･表)体験したことを振り返り、感じたことを伝えられるような絵画の構想を練っている。 （主学）主体的に描画に取り組み、完成作品を活用し活発な意見交換を行っている。	表現と鑑賞 「何をしているところでしょう？」 ・体験画	・現場実習での思い出深い体験の様子や物などを描く。 ・描いたものの一部だけが見えるように覆う。 ・鑑賞はクイズ形式で行い、見える部分から全体を想像し、意見を出し合う。
	4	（知及技）道具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表すことができる。（高２段階：A表現ア(ア)） (思判表力）対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと，目的や条件などを基に主題（クイズ）を考え，創造的な構成を練ることができる。（高２段階：A表現ア(イ)） (学･人)主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高２段階）	（知・技）道具（iPad）のアプリの特徴を理解し、効果的に表している。 (思･判･表)まちがい探しの効果的な表し方でクイズ画の構想を練っている。 （主学）主体的に描画に取り組み、完成作品を活用し活発な意見交換を行っている。	表現と鑑賞 「まちがい探し」 ・ICT機器を使った作画	・iPadのアプリを使い、作画する。 ・画像加工の方法を学び、まちがい探しのクイズを作成する。 ・鑑賞はクイズ作品を紹介したり、お互いにクイズを解いたりする。
	6	(知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求し，自分らしさを発揮して表す。（高２段階：A表現（ア）） (思判表力）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げること。（高１段階：B鑑賞ア(ア)） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わう。（高１段階）	(知・技）画材の効果を理解し、用具を安全に扱い、表現を追求して描画している。 (思･判･表)世界や日本の名画を鑑賞し、作者の意図や構成を考えている。 (主学)対象の形や色の美しさや特徴など、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。	鑑賞と表現 「名画を写してミニミニ美術館」	・様々な人物画について学ぶ。 ・気に入った人物画を選び、プラ板に写し取る。 ・額縁に貼り付け完成させる。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。

	10	(知及技）陶芸の歴史や工程を知り、目的や条件などを基に、陶芸で表現することができる。（高２段階：Ａ表現ア（ア）、共通事項(ア)） (思判表力)陶芸の良さや特徴を基に、形様や絵付け柄の構成を練ったり考えたりすることができる。（高２段階：Ａ表現ア） (学･人)陶芸による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組むことができる。（高１段階：Ａ表現ア(イ)、Ｂ鑑賞ア(イ)）	(知・技）陶芸の制作工程を理解し、見通しを持ち取り組んでいる。 (思･判･表)蓋物の形や絵付け柄の構成を工夫している。 (主学)陶芸の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現（工芸） 「陶芸（蓋物）」	・陶芸の工程について学ぶ。 ・形や絵付けについて、成形しやすい形などの構成を考える。 ・互いの作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について話し合う。
3学期	8	(知及技） 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えることができる。（高２段階：B鑑賞（ア）） (思判表力)美術の働きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：Ｂ鑑賞ア(イ)） (学･人)生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさに気づき、生活に活かすことができる。（高１段階）	(知・技）現代美術やアール・ブリュットについて、よさや美しさを感じ取り、表現について考えることができる。 (思･判･表)美術文化について考え、現代美術の見方や感じ方を学び、広げている。 (主学)鑑賞を通して生活の中の美術文化に気づき、意見を述べている。	鑑賞 「現代美術」 県立博物館・美術館の見学	・県立博物館・美術館の役割や作品鑑賞のポイント、利用のマナーを知り、活用する。 ・美術館で鑑賞する現代美術について調べたこと、感想などをワークシートにまとめ互いに鑑賞する。
	4	(知及技） 形や色彩，材料や光などの働きを理解することができる。（高２段階：共通事項(ア)） (思判表力)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げることができる。（高１段階：Ｂ鑑賞ア(ア)） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わうことができる。（高１段階）	(知・技）錯視現象に気づき、画面の構成や全体のイメージなどを捉えて、メディア機器を生かし表している。 (思･判･表)身近な錯視の現象と有名なイラストを見てその効果などについて考えている。 (主学)視点を変えた気づきの活動に、楽しく取り組んでいる。	表現 「顔に見える〇〇（シミュラクラ現象」 ・写真作品	・センター敷地内で顔に見える建物などを見つけ撮影する。 ・互いの作品を鑑賞し、撮影の意図や工夫について話し合う。 ・錯視について「シミュラクラ現象」を学び、だまし絵の名画を知る。
	4.5	(知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け，意図に応じて表現方法を追求することができる。（高２段階：Ａ表現ア(イ)） (思判表力)美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を深めることができる。（高２段階：Ｂ鑑賞ア(ア)） (学･人)美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高２段階）	(知・技）作品集にまとめるためにレイアウトやコメントを書くなど表現の工夫を行っている。 (思･判･表)お互いの作品集や制作を振り返り、深く考え意見を出したり聞いたりしている。 (主学)美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。	表現と鑑賞 「作品集つくりをとおして１年間を振り返る」	・制作した作品を1冊の作品集にまとめる。 ・作品集を発表し、制作を振り返り、互いに鑑賞し感想を述べ合う。 ・多様な美術の世界を通して、新しい見方、感じ方をこれからどのように生かすことができるのか考える。
52.5					
留意点 引継ぎ等					

令和　7 年度 高等部センター分教室　3年（　Ⅱ課程　A類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	生徒	担当者	教科書／副教材
105	3学年　生徒10名		現代高等保健体育

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の特性や目的に応じた技能を身に付け、個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深める。（高２段階） (思判表力)各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 学習時の態度や集団行動の仕方など「きまり、約束」を理解し集団での協調性や場や用具の安全を確保し見通しを持って行動ができるようにする。（高２段階） (思判表力) 目的に適した運動を身に付け組み合わせることができる。(高２段階) (学･人)自分の基礎的運動能力や体力を知り、課題を見つけ、実生活に役立てるようにする。（高２段階）	(知・技) 自己の体力課題について知ることができている。 各種運動動作における技術ポイントを理解し習得することができている。 (思･判･表) 自己の体力課題の解決に向けての運動・方法を考えることができている。 (主学) 自ら進んで各種運動に積極的に取り組もうとしている。きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりすることができている。	「集団行動」 「体つくり運動～新体力テスト～」	手軽な運動やリズミカルな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、心と体の関係や心身の状態に気づくことができる。 第1時～第2時　集団行動 集合、整列（号令、姿勢、気をつけ、前へならえ、回れ右等）の経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力して場や用具の準備片付け・清掃等施設の利用方法を学ぶ 第3時～第4時　準備運動・整理運動 ラジオ体操や特体連ダンスの曲に合わせて体操を行う。体の各部位をゆっくりと進展させ、そのままの状態で約10秒間維持する。 第5時～第8時　体つくり運動 いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 大きくリズミカルに全身や体の各部位を振ったり、回したり、ねじったり、曲げ伸ばしたりする。 第9時～第10時　新・体力テスト（室内） 握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈 第11時～第12時　新・体力テスト（室外） 50m走、100m走、ボール投げ、立ち幅跳び
	8	(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階　球技（ア）） (思判表力) 球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のための方法を仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高２段階　球技（イ）） （学・人） 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力して場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。 （高２段階：球技（ウ））	(知・技) 試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができている。 (思・判・表) ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見付けている。 (主学) 競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ゴール型）」 ・サッカー ・アルティメット	第1時～第4時　基本動作の取得 「投げ方、パスなどの基本動作練習」 資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ディスクコントロールの練習に積極的に取り組む。 第5時～第6時　　特別ルールでの試合 基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いサッカー競技のルールを覚える。 第7時～第8時　　試合と大会運営 攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、アルティメット大会を全員で運営する。
	12	(知及技) 泳力の上達や記録向上やその特性に応じた技能の理解を深め目的に応じた泳法を身に付けることができる。（高２段階　水泳（ア）） (思判表力) 水泳（泳法）について自己の課題を発見し、仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高２段階　水泳（イ）） （学・人） 水泳のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして泳ぐことができる。（高２段階：水泳（ウ））	(知・技) 泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり競い合ったりすることができている。 (思・判・表) 水泳（泳法）の名称や動きを高めるためのポイントを挙げることができている。 (主学) 水の安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「水泳」	水泳の特性に応じた技能を理解し泳法を身につける。 第1時～第2時　施設利用とプール利用の心得 プールや用具に関する取り扱い方、練習場所に関する安全や体調に留意して運動する方法を学ぶ 第3時～第4時　水慣れ、水中ウォーミングアップ 「浮く動作」…伏し浮き、背浮き、け伸び 「泳ぐ動作」…バタ足、連続したボビング 第5時～第10時　泳法 「補助具を活用した泳法」…ビート板キック 「呼吸を伴わない泳法」…面かぶりクロール・面かぶり平泳ぎ 「呼吸法（息継ぎ）」…クロール・平泳ぎ 第11時～第12時　水球 「足つき水球」…ルールを理解し試合を行う

	4	(知及技) 心身の発育・発達と傷害の防止について理解をできるようにする。（高2段階） (思判表力) 心身の発育・発達とに関わる情報から自他の課題を発見し、けがや疾病の予防方法を選択できる。（高2段階） （学・人） 生活の質を高め、心身の発育・発達について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。（高2段階）	(知・技) 心身の発育・発達に伴う傷害の防止方法をいくつか挙げている。 (思・判・表) 心身の発育・発達、けがや疾病に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用してけがや疾病を予防するための適切な行動をとることができている。 （主学） けがや疾病の予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができている。	「保健」 ・心身の発育・発達 ・傷害の防止と疾病の予防	第1時　心身の発育・発達について 生殖にかかわる機能の成熟、受精や妊娠、異性の尊重について知る。 第2時　熱中症とその予防 自己の体調や周囲の環境の変化について知り熱中症を予防することができる。運動中の服装や適切な水分補給について知る。熱中症になったときの対応方法。 第3時　傷害の防止 安全に注意して運動を行うことについて 第4時　応急手当の対処法 すり傷、鼻出血、やけどや打撲など簡単にできる応急手当の方法を行うことができる。
2学期	21	(知及技) 球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階　球技（ア）） (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高２段階　陸上競技（イ）） （学・人） 陸上競技のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして走ることができる。（高２段階：陸上競技（ウ））	(知・技) 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動をとることができている。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「陸上競技」 ・短距離・跳躍・リレー	競走したり記録に挑戦したりすることを通して、走る楽しさを味わい一定の距離を全力で走る事ができる。 第1時～第5時　ストレッチ体操、特体連ダンス 動きを良くするための準備体操、疲労を残さない怪我を防止するための整理体操を身に付ける。 第6時～第11時　腕振り（走フォームの意識） リズムの良いフォームで走ることを意識する。 「スラローム走」…視線、体の傾きを意識して走る。 「ストライド走」歩幅を広くして走る。 第12時～第16時　スタートダッシュ 高いスピードを維持して速く中間走では、体の真下近くに足を接地したり、キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走る。 「スタートダッシュ走」…前傾姿勢を意識して走る。 第17時～第21時　リレー・バトンパスの練習 減速の少ないバトンの受け渡しができる。 「６０mリレー」「トラック1周リレー」 テークオーバーゾーンを有効に使ったバトンの受け渡し。 同じグループ内でいろいろな相手とバトンの受け渡しを行う。
	17	(知及技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。（高２段階　ダンス（ア）） (思判表力) ダンスについての課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えたり発表をすることができる。（高２段階　ダンス（イ）） （学・人） ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め合ったり、場の用具の安全を確保し見通しをもって運動に取り組むことができる。（高２段階：ダンス（ウ））	(知・技) ダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができている。 (思・判・表) 強弱をつけたメリハリのある動きで発表することができている。 (主学) エイサーの特性に関心を持ち楽しさや喜びを味わい互いのよさを認め合い協力して進んで練習や発表会に取り組むことができている。 ダンスの学習に積極的に取り組み、安全に用具を使用することができる。	「表現運動」 ・郷土の踊りエイサー	郷土の文化と伝統を大切にし、郷土を愛する心を育てる。 第1時～第2時　踊りの構成や役割決め 自己にあった演技担当を選ぶことができる。 踊りの振り付けや構成を全員で作り上げる。 第3時～第6時　個別・グループでの取り組み グループで振りや動きの練習を行い。仲間の動きに合わせて踊ることができる。 第7時～第10時　体系移動の練習 リズムに乗った動きで体系移動を行う。相手のタイミングや位置等に合わせて移動を行う。 第11時～第17時　全体練習 曲や全体の動きに合わせて最後まで踊ることができる。
	4	(知及技) 健康な生活と感染症予防について理解できるようにする。（高2段階） (思判表力) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、感染症などのリスクかを軽減する方法を選択することができる。（高2段階） （学・人） 生活の質を高め、感染症予防について課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。（高2段階）	(知・技) 感染症を予防するための方法をいくつか挙げることができている。 (思・判・表) 感染症予防に関わる情報から自他の課題を発見し、習得した知識を活用して感染症を予防するための適切な行動をとることができている。 （主学） 感染症予防について課題の解決に向けて自主的に取り組むことができている。	「保健」 ・感染症・エイズ	第1時　感染症について 感染症とは、「人から人にうつる病気のこと」だと理解することができる。 第2時　菌・ウイルスについて 感染源となる菌やウイルスについて学び、発生源について理解する。 第3時　感染症の種類 感染症の病気の種類や症状などについて知る。 第4時　感染症予防 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 「風邪予防（手洗い、うがいの徹底）」…感染症対策について学ぶ。
	14	(知及技) 陸上競技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。（高２段階　陸上競技（ア）） (思判表力) 陸上競技の技術について自己の課題を発見し仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高２段階　陸上競技（イ）） （学・人） 陸上競技のマナーを守り、場や用具の安全を確保したりして走ることができる。（高２段階：陸上競技（ウ））	(知・技) 記録の向上を目指し陸上競技の学習に自主的に取り組んでいる。 (思・判・表) 自己の課題に応じた運動の行い方の改善ポイントを理解し修正するための行動をとることができている。 (主学) 陸上競技場での安全に関する事故防止の心得や健康・安全について留意している。	「陸上競技」 ・長距離走	第1時～第4時　時間走、ペース走 基本的なフォームと自己に適したペース設定を身に付ける。 第5時～第7時　インターバルトレーニング ペースの変化に対応するなどして走り、長距離走特有の呼吸法や腕振り、足の動きを身に付ける。 第8時　体調の整え方 毎日を健康に過ごすには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、体の清潔を保つことなどが必要であることを学ぶ。 第9時～第14時　競技会への参加 記録会に参加し自己のペースを守りながら自己記録を目指す。駅伝大会を実施しチームで記録を更新するなどの楽しさを味わう。

3 学 期	9	(知及技) 　球技の特性に応じた技能の理解を深め、ゲームを行うことができる。（高２段階　球技（ア）） (思判表力) 　球技について自他の課題を発見し、よりよい解決のための方法を仲間と思考し判断したことを他者に伝えることができる。（高２段階　球技（イ）） （学・人） 　球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り仲間と協力して場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。 （高２段階：球技（ウ）	(知・技) 　試合の行い方やルールについて理解しゲームを行うことができている。 (思・判・表) 　ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための行い方のポイントを見付けている。 (主学) 　競技場での安全に関する事故防止の心得や用具の安全な使用方法を理解していること、健康・安全について留意して運動を行っている。	「球技（ネット型）」 ・バドミントン	第1時～第4時　基本動作の取得 「サーブ、トス、スマッシュ、ドロップなどの基本動作練習」 　資料やVTR等を活用して基本的なボール操作練習に取り組む。教師の模範とともに、ラケット操作、シャトルコントロールの練習に積極的に取り組む。 第5時～第7時　　特別ルールでの試合 　基本的な動きを用いた簡易ルールでの試合を行いながらバドミントンのルールを覚える。 第8時～第9時　　試合と大会運営 　攻め方、守り方（作戦の立て方）等、チーム内で作戦を立てたり反省を行ったりすることができる。審判や運営の分担し、バドミントン大会を全員で運営する。
	4	(知及技) 　応急手当の意義や手順方法を理解することができる。（高２段階） (思判表力) 　AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順を身に付け、仲間と協力して課題を解決することができる。（高２段階） （学・人） 　仲間と協力し合って主体的に救命活動に参加できる態度を養う。 （高2段階：体育理論（ウ）	(知・技) 　応急手当の意義や手順方法を守りながら行動することができている。 (思・判・表) 　AEDの正しい使い方心肺蘇生法の正しい手順で、仲間と一緒に人命救助することができている。 （主学） 　仲間と協力し合って主体的に救命活動に参加することができている。	「保健」 応急手当（心肺蘇生法）	第1時　オリエンテーション 　心肺蘇生法やAEDを活用する場面について 第2時～第4時　人命救助の手順 　「人命救助の手順」 　「心肺蘇生法の手順」 　「AEDの活用方法について」
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部 センター分教室　３年（Ⅱ課程Ａ課程 ）職業（座学）　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	３学年　生徒１０名		ひとりだちするための進路学習 ひとりだちするためのライフキャリア教育 （日本教育研究出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技/思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルについて理解し、目的に応じて適切に操作し、収集した情報をまとめ、考えについて適切に表現することができる。（高２段階：情報機器ア、イ） (知及技/思判表力)本校卒業生がどのような就労、社会生活を送っているのかを知り、自分の卒業後の生活について考えることができる。（高２段階：産業現場ア） （学・人）様々な職種に興味・関心を持ち、自己の適性と比較しながら進路選択を行うことができる。自立して生活している先輩方の暮らしの様子を知る。（高２段階：産業現場ア）	(知・技/思・判・表）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解している。 目的に応じて、iPadやコンピュータ等の情報機器を使い、考えをまとめて発表できている。 (知・技/思･判･表)社会人の講話を聞き、就労や社会生活について知り、自分の卒業後の生活について考えている。 (主学)様々な職種に興味・感心を持ち、知ろうとしている。自己の適性と比較し、進路選択を行おうとしている。	・情報機器の活用方法を知り、記録や発表に使おう ・実習反省会、発表 ・先輩と語ろう会 ・校外学習（職業訓練校見学、企業訪問、グループホーム見学、市役所、公共施設見学等）	・情報機器の便利さと危うさ、情報モラルについて知る。 ・代表的なソフトの使い方を知り、発表に活用する ・実習事前学習、事後学習 ・先輩の職業生活や余暇の過ごし方について知り、自身の卒業後の生活についてイメージしたり、考える。 ・企業訪問（職種やその特性について理解する） ・グループホーム見学 ・市役所見学（生活にかかわる窓口について） ・公共施設の利用の仕方
１学期	24	（思）年間の授業内容を聞き、理解し、学習の見通しを持つことができる。（高２段階：ア（イ） （思判表力/学・人）自己理解を深め、自己実現に向けての課題や解決の手立てを見つけることができる。（高２段階：ア（イ） （知及技/思判表力/学・人）勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、理解・実践することができる。（高２段階：ア（ウ） （思判表力/学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高２段階：ア（ウ） （思判表力/学・人）学期を振り返り自己の成長点と反省点を発表することができる。（高２段階：ア（イ）	（思）年間の授業内容を理解し、学習の見通しを持っている。 （思・判・表/主学）自分の得意・不得意や自分の適性を知り、自分の望む職業生活への課題や解決の手立てを考えることができている。 （知・技/思･判･表/主学）勤労に対する理解を深め、ビジネスマナー等を学び、理解・実践することができている。 （思・判・表/主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを実感している。 （思・判・表/主学）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気付き、発表している。	・授業開き ・自分のこと、自分の適性を知ろう ・勤労の意義 ・勤労と協働 ・1学期のまとめ	・「座学職業」の授業内容について知る ・教科「職業」の目標理解と実践 ・適性や自己実現に向けての課題発見 ・課題解決の手立ての立案 ・勤労について ・体調管理やマナーについて ・ビジネスマナーの学びと実践 ・履歴書の書き方を知る ・協働作業の大切さと貢献する喜び ・1学期の振り返り、成長点や反省点の記録と発表
２学期	28	（知及技/思判表力/学・人）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。（高２段階：イ（イ） （知及技/思判表力/学・人）余暇の有効的・計画的な過ごし方について理解を深め、休日の過ごし方を考えることができる。（高２段階：イ（イ） （思判表力）学期を振り返り自己の反省点を発表する。（高２段階：ア（イ） （学・人）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを体得することができる。（高２段階：ア（ウ））	（知・技/思･判･表/主学）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができている。 （知・技/思･判･表/主学）余暇の大切さを知り、有効的・計画的な過ごし方について理解を深め、自らの休日の過ごし方を振り返り、考えることができている。 （思・表）学期を振り返り自己の達成できたことや反省点に気付き、発表している。 （主学）職場でのルールやマナーを理解し、皆と協力して作業を行うことの大切さを知るとともに、貢献する喜びを実感している。	・勤労と協働 ・職業生活に必要なこと ・余暇の過ごし方について ・社会人としての付き合い ・自立した社会生活を目指して ・２学期のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・社会人としての身だしなみの整え方の実践（出前講座） ・人との付き合い方 ・電話、携帯、スマホの使い方 ・金銭の管理について ・後期現場実習に向けて ・実習を振り返り、自身の成長点と課題点を知る ・課題解決の手立てと実践 ・余暇の役割、学校以外の居場所について知る ・テーブルマナーの学びと実践 ・福祉のサービスや制度について知る（出前講座） ・自立を目指した生活の場について知る ・卒業後のライフプラン、マネープランを考える ・２学期の振り返り、成長点と反省点の記録と発表
３学期	18	（知及技/思判表力/学・人）卒業後の進路について理解を深め課題や解決策を考えて発表することができる。（高２段階：イ（イ） （思判表力/学・人）年間を振り返り自己の成長や反省点を発表することができる。（高２段階：ア（イ）	（知・技/思･判･表/主学）卒業後の進路にや職業生活について理解を深め課題や解決策を考えて発表している。 （思・表/主学）年間を振り返り自己の成長や課題に気付き、発表している。	・職業生活 ・年間のまとめ	・ビジネスマナーの学びと実践 ・実習体験をもとにした進路選択 ・成長点と課題点の記録と発表 ・課題解決の手立てと実践 ・卒業後のライフプラン、マネープランを考える ・年間の振り返り、ファイルのまとめ ・成長点や反省点の記録と発表
留意点 引継ぎ等		【評価資料】授業中の発言、態度、ワークシートの記述、課題への取り組み、発表の様子など各学期ごとに評価を行う。			

令和 7 年度 高等部センター分教室　2.3年（Ⅱ課程 A類型）職業科　エコロジー班　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2単位 ／70時間	3学年　10名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　・職業に関する事柄について理解を深める。（高等部２段階） ・将来の職業生活に係る基本的な技能を身に付け活用する。（高等部２段階） (思判表力)・将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見出して自ら課題を設定し、解決策を考える。（高等部２段階） ・実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高等部２段階） (学・人)　・よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(学･人) 他者と協働して主体的に取り組む事ができる。（高2段階ア(ウ) (思判表力) 勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行う。（高2段階ア(ウ) (知及技) 職業学習の心得を理解し行動に移す。（高2段階ア(イ)	(主学) 他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。 (思･判･表) 就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (知・技) 心得を理解し、行動に移すことが出来ている。	・勤労の意義 職業生活	・日々の授業の中で身なりや時間を守ることの大切さ言葉遣い等、９つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う
1学期	2	(知及技)勤労の意義を理解し意欲的に取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高２段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解し意欲的に行動している。 (思・判・表)目標をもって取り組むとができている。 (主学)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しをもつことができている。	単元名「授業開き」	○1年間の授業計画を確認し、１学期の個人目標を立てることで見通しをもつ。（思判表)(主学) ○グループワークを通して、就労に必要な力について協議し、全体で意見を共有する（思判表）
	12	(知及技)清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を知り作業に活かすことができる。（高２段階イ（ア）㋐） (思判表)日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができる。(A職業生活ア(イ)) (学人)清掃マップを作成し、効率を考え校内外の清掃活動を行うことができる。（高２段階ア（ウ））	(知・技)清掃用具の正しい使い方及び、清掃の手順を理解し作業している。 (思・判・表)日頃の清掃活動を振り返り、良い点と改善点を話し合うことができている。 (主学)清掃マップを作成し、効率的に校内外の清掃活動を行うことができている。	単元名「清掃の仕方を身につけよう」	○グループワークを通して、日頃の清掃活動を振り返り、改善点を見出す。（思・判・表） ○話し合った改善点を踏まえ、他者と協力しながらHR教室の清掃を行う。（主学） ○泡瀬特別支援学校施設内清掃 ○泡瀬特別支援学校プール施設内清掃
	4	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高２段階イ（ア）㋒） (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができている。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知及技） ○校内ビルメンテナンス検定に参加する（主学）
	4	(知及技）１学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。（高２段階ア（イ） (思判表力)１学期を振り返り自己の成長や課題点を考えることができる。（高２段階ア（イ） (学･人)他者の反省を聞き、認めることができる。（高２段階ア（イ）	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、発表し伝える事ができている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「一学期のまとめ」	○一学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。（思判表） ○クラスメイトの一学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する（思判表）
	4	(知及技)勤労の意義を知り意欲的に作業に取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高２段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解し意欲的に作業を行っている。 (思・判・表)今学期の個人目標を意識し取り組んでいる。 (主学)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができている。	単元名「１学期の振り返りと２学期の目標設定」	○２学期の授業計画を確認し、個人目標を立て、発表を行う。（思・判・表）
	10	(知及技)美化活動が社会生活の基礎であることを知り、意欲的に取り組む。（高２段階ア（ア）） (思判表)すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができる。(高２段階イ（ア)㋑) (学人)清掃業について、調べることができる。(高２段階イ（ア)㋑)	(知・技)美化活動が社会生活の基礎であることを理解し意欲的に取り組んでいる。 (思・判・表)すべての職業生活の基礎となる仕事について考え表現することができている。 (主学)清掃業について、調べることができている。	単元名「美化活動と職業のつながり」	○地域施設の管理・清掃を行う仕事があることを知る。（知及技） ○清掃業を行う会社を調べ、業務内容や業務場所を調べ、ワークシートに記入する。（思判表）

2学期	10	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］について知り実践することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について自身に当てはめ行動することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかすことができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］とはどういうことか理解し作業している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかそうとしている。	単元名「ビルメンテナンス」	○ビルメンテナンス協会の講師による実演会に参加し、ビルメンテナンスに求められる力を知る。（知及技） ○ビルメンテナンスの実演会で学んだことを各班で振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。（思判表） ○実演会で学んだ清掃道具の使い方を、教室や廊下の清掃で実践する。（主学）
	4	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高２段階イ（ア）㋕） (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができている。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知及技） ○前回の結果を振り返りより高い目標を設定し検定にのぞむ（主学）
	2	(知及技）２学期の成果を確認し、３学期に活かすことができる。（高２段階ア（イ） (思判表)２学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。（高２段階ア（イ） (学人)他者の反省を聞き、認めることができる。（高２段階ア（イ）	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、発表し伝えている。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点について共有している。	単元名「２学期のまとめ」	○２学期の振り返りを行うことで、次への目標と見通しをもつ。（思判表） ○クラスメイトの２学期の振り返りの発表を聞いて、成果を称賛する（思判表）
3学期	2	(知及技)勤労の意義について確認することができる。(高２段階A職業生活ア(ア)) (思判表)目標をもって取り組むことができる。(高２段階A職業生活ア(イ)) (学人)職業学習の今学期の取り組みを確認し、見通しをもつことができる。(高２段階A職業生活ア(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解し目標を設定している。 (思・判・表)目標を意識し取り組むとができている。 (主学)職業学習の年間の取り組みを確認し、見通しを持ち取り組むことができている。	単元名「２学期の振り返りと３学期の目標設定」	○３学期の授業計画を確認し、個人目標を設定する。（思判表）
	8	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］について知り実践することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について自身に当てはめ行動することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (学人)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかすことができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］とはどういうことか理解し作業している。 (思・判・表)ビルメンテナンスに求められる力［清掃技術・身だしなみ・コミュニケーション］について実践することができている。 (主学)使用する道具の特性や扱い方を知り、清掃活動にいかそうとしている。	単元名「ビルメンテナンス」	○場所や状況に応じた、作業の順序や道具の選定方法を知る。（知及技） ○作業を各班で振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。（思判表） ○自身の役割を意欲的に実践する。（主学）
	4	(知及技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができる。（高２段階イ（ア）㋕） (学人)習得した技術を検定を通して披露することができる。（高２段階イ（ア）㋓）	(知・技)環境整備［ビルメンテナンス］の専門的な技能を理解することができている。 (思・判・表)状況に応じた清掃用具を選択・清掃作業ができている。 (主学)習得した技術を検定を通して披露することができている。	単元名「校内ビルメンテナンス検定」	○校内ビルメンテナンス検定に向けて、正しい清掃用具の使い方や清掃手順を練習する。（知及技） ○校内ビルメンテナンス検定に参加する（主学）
	2	(知及技)清掃道具の手入れ方法を知り、実践することができる。（高２段階イ（イ）㋐） (思判表)清掃道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができる（高２段階イ（イ）㋐） (学人)清掃道具・倉庫の手入れを他者と協力しながら行うことができる（高２段階イ（イ）㋐）	(知・技)清掃道具の手入れ方法に応じた手入れを理解し実践している。 (思・判・表)清掃道具・倉庫の手入れを丁寧に行うことができている。 (主学)清掃道具・倉庫の手入れを他者と協力しながら行っている。	単元名「作業道具の手入れ」	○今年度使用した清掃道具及び倉庫の整備を行う（知及技）
	2	(知及技）今年度の成果を確認し、次年度に活かすことができる。（高２段階ア（イ） (思判表)今学期を振り返り自己の成長や課題点を発表する。（高２段階ア（イ） (学人)他者の反省を聞き、認めることができる。（高２段階ア（イ）	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考え、共有することができている。	単元名「年間のまとめ」	○今年度を振り返り、自己目標を達成できたかを確認し、班全体で共有する。（思判表）
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部センター分教室　3年（Ⅱ課程　A類型）職業科　オフィスワーク班　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	３学年　　７名		ワークサンプル幕張版

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア(ア)） (思判表力) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高2段階ア(イ)） (学･人)作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高2段階ア(ウ)）	(知・技）職業の心得や社会での役割について考え、実際の作業班の仕事に取り組んでいる。 (思･判･表) 就労を意識し、言葉遣いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (主学) 心得を理解し、主体的に行動している。	・勤労の意義 職業生活	・日々の事業の中で身なりや時間を守ることの大切さ言葉使い等、９つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働くことの目的を理解させる。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高2段階ア） (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現する。（高2段階イ） (学･人)情報機器を正しい使用方法で活用する。（高2段階：情報機器ア）	（知・技）iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 （思・判・表）発表に情報機器を適切に活用している。 （主学）情報モラルを守り機器を活用してる。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータや携帯の便利さと危うさを実例で学び表記･記録･計算･通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
１学期	10	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高2段階ア(ア)） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高２段階ア（イ）） (学･人）作業や実習等を通して貢献する喜びを体得する。（高２段階ア（ウ）） （知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高２段階（ア）） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高２段階イ（イ）㋐） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高２段階ア（ア））	（知・技）意義や対価等を学び、就労への意識を持って作業にあたっている。 （思・判・表）学習内容を把握し、仲間と協力して作業に取り組んでいる。 （主学）心得を自身らで考え、作業に主体的に取り組んでいる。	・職業学習について	・作業開きにおいて、作業内容の把握や心得の作成をおこない、一年の見通しと目標また意義を確認する。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業にあたる姿勢を身につける。
	12	（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作する。（高２段階（ア）） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高２段階イ（イ）㋐） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高２段階ア（ア））	（知・技）機器の名称・使い方を把握し、使用している。 （思・判・表）安全に機器を使用している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・オフィス業務等の作業内容の把握	・線引きの練習やはさみの練習、ワークサンプル幕張版を使用した訓練にて器具の名称や使い方の習得を行う。 ・依頼業務や訓練業務が卒業後の就労先にどう繋がるかをワークシート等を使い学ぶ。
	12	（知及技）使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱う。（高２段階イ（ア）㋑） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高２段階イ（イ）㋐） （学・人）仕事の意義を理解し周りと協力して作業に取り組むことができる。（高２段階ア（イ）㋑）	（知・技）手順を理解し、道具や機械の操作作業に取り組んでいる。 （思・判・表）作業後の商品の確認を求め、チェックのポイントを学び、報告・連絡・相談の重要性を考え、仲間と協力して実行している。 （主学）自他の役割を考え、協力しながら作業に望んでいる。	・依頼業務 （印刷業務等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	12	(知及技)オフィス内環境の整備について知識を深め技能を身に付けることができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表)依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について理解を深めることができる。（高２段階イ（ア）㋑） (学人)使用する道具や機械の特性や扱い方の理解を深め、清掃活動や修繕等にいかすことができる。（高２段階イ（ア）㋑）	(知・技)オフィス内の環境整備［清掃、用務、修繕等］とはどういうことか理解している。 (思・判・表)依頼業務時に求められる力［技術・身だしなみ・コミュニケーション］について考えることができている。 (主学)使用する道具や機械の特性や扱い方を理解し、清掃活動や修繕等にいかしている。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等を随時更新し、業務を引継ぐ方法を学ぶ。

	4	(知及技）勤労の意義について理解を深めることができる。（高２段階ア（ア）） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高２段階ア（イ）） (学･人)貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。（高２段階ア（イ））	（知・技）自身の振り返りを行い成果を確認している。 （思・判・表）自身の成長点や課題点を考え、自身で発表し、他者との関わりや他者の発表を聞いて考えている。 （主学）作業の振り返りを主体的に取り組んでいる。	・学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
２学期	16	(知及技）生産や生育活動等に係る技術に込められた工夫について考える。（高２段階イ（イ）㋑） (思判表力)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現する。（高２段階イ（イ）㋐） (学･人)作業の確実性や持続性、緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟できる。（高２段階イ（ア）㋔）	（知・技）作業のポイントを学び、効率や確実性を意識して作業を行っている。 （思・判・表）振り返りを行い、ミスしたところやうまくいったところを自身で考えて次回に活かしている。 （主学）正確な作業について日常から考え、実行している。	・作業の正確性	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	20	(知及技）職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深める。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図る。（高２段階イ（イ）㋒） (学･人)作業を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。（高２段階（ウ））	（知・技）業務依頼から納品までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 （思・判・表）商品を扱う意識を持ち、汚れ、破れ等がないよう考え、他者と協力して作業を行っている。 （主学）計画的に作業に取り組み、貢献したことへの喜びを表現している。	・依頼業務 （印刷業務等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、納品のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・印刷、丁合の作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	20	(知及技）オフィス内の環境整備の必要性や仕組み等について理解を深める。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表力)用具や機械の特性や扱い方に関わる技術について理解を深め、効果的に作業で扱うことができる。（高２段階イ（ア）㋓） (学･人)貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。（高２段階ア（イ）） 計画性をもって主体的に取り組む。（高２段階（ウ））	（知・技）業務依頼への対応、業務遂行までの手順を理解し、丁寧に作業を進めている。 （思・判・表）状況に応じた用具を選択・清掃や用務活動ができている。 （主学）他者との協力を意識し作業を進めている。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、メール送信、業務始め終了時のビジネスマナーの習得を目指す。 ・業務内容の手順や注意点等の引継ぎ書を確認し、業務を正確に遂行する意識を持つ。
	4	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高２段階ア（ア）） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高２段階ア（イ）） (学･人)貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。（高２段階ア（イ））	（知・技）学期の目標を振り返り、良い点、課題点をあげている。 （思・判・表）成長点や課題点を捉え、次学期につなげる内容を表現している。 （主学）目標を立て計画的に作業し、貢献した喜びを他者と意見交換している。	・２学期のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
３学期	14	(知及技）言葉使いや身なりに気をつけ依頼者と関わることができる。（高２段階イ（ア）㋑） (思判表力)安全や効率について自身で判断し、修正や相談を行うことができる。（高２段階イ（イ）㋒） (学･人)依頼された作業に意欲的に挑戦し、状況に応じて正確に作業することができる。（高２段階イ（ア）㋔）	（知・技）社会人のマナーを考え行動することができている。 （思・判・表）出来を確認しながら修正等を行っている。 （主学）様々な作業に挑戦し、効率や正確を大切にする意識が見られる。	・依頼業務 （印刷業務等）	・ワークサンプル幕張版を用いて基礎的な作業を繰り返し、そのフィードバックを行い、作業の正確性、スピードの向上を促す。 ・課題の始まりと終了時には教師と相談する場をもうけ、報告連絡相談を適時行う習慣をつける。
	14	(知及技）効率の良い手順を探り、作業を行うことができる。（高２段階ア（ウ）） (思判表力）依頼業務時に求められる力「身だしなみ・コミュニケーション」について理解を深めることができる。（高２段階イ（ア）㋑） (学･人)よりよい職業生活の実現にむけて他者からの意見を素直に受け入れ改善することができる。（高２段階ウ）	（知・技）自身らで工夫しながら作業を進めている。 （思・判・表）状況、相手に応じて言葉遣いや振る舞いを考え行動している。 （主学）素直な態度で指摘・指示を受け入れ行動している。	・依頼業務 （オフィス内環境整備、用務、修繕等）	・依頼の受け方や電話対応、業務のやり方を学び実践しながら、ビジネスマナーの習得を目指す。 ・作業を通し業務の流れや自他の役割について理解する。
	2	(知及技）勤労の意義について理解を深める。（高２段階ア（ア）） (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現する。（高２段階ア（イ）） (学･人)貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組む。（高２段階ア（ウ））	（知・技）1年を振り返り、まとめることが出来る。 （思・判・表）他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 （主学）達成感等の感想を共有し、皆で意見をまとめている。	・年間のまとめ	・清掃活動を通し学期ごとの整理整頓の意義を学ぶ。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り卒業後の目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部センター分教室　３年(Ⅱ課程 A類型)職業科　介護コミュニケーション班　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4単位/140時間	３学年 ３名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。（高２段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高２段階） (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技)職業学習の心得を身につける。(高2段階ア(イ) (思判表力)勤労に対する関心を高め意欲的に作業を行うことができる。(高2段階ア(ウ) (学･人)他者と協働して主体的に取り組む事ができる。(高2段階ア(ウ)	(知・技)心得を理解し、行動に移すことが出来ている。 (思･判･表)就労を意識し、言葉使いや身なり等を自身で考え活動に参加している。 (主学)他者との関係を良好に築き、自ら活動に取り組んでいる。	・勤労の意義 職業生活	・日々の業務の中で必要な身なり、時間を守ることの大切さ言葉使い等、９つある職業学習の目標を知り理解する。 ・具体例を挙げて働く目的の理解を深める。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知る。(高2段階：情報機器イ) (思判表力)情報機器を使用し発表等を行っている。(高2段階：情報機器イ) (学･人)情報機器を正しい使用方法で活用する。(高2段階：情報機器ア)	(知・技)iPad等の情報機器を使用し活動に取り組んでいる。 (思・判・表)情報機器を活用して、発表することができている。 (主学)情報モラルを守り機器を活用する。	・情報機器の活用	・コンピュータやタブレットを使って情報をまとめて他者に伝える。 ・コンピュータやスマホの便利さと危うさを実例で学び表現･記録･計算･通信等の代表的なソフトの使い方を体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)基本的、実践的な介護技術を身につけることができる。(高2段階イ(イ)) (思判表力)介護の心得、ホスピタリティを知ることができる。(高２段階イ(イ)) (学･人)介護職の社会的ニーズを知ることができる。(高２段階ア(イ))	(知・技)介護の役割、専門性、仕事内容を理解できる。基本の介護技術を身につけている。 (思・判・表)相手の求める介護をすることの重要性を理解している。 (主学)これからの社会に介護職が必要であることに気付いている。	・介護の基礎と実践	・介護に従事する際の心得、高齢者の特徴や活動、認知症などの疾患を理解し、より良い介護の在り方、生活支援の方法や技術を学ぶ。 ・特別講師による講義、実演。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
		(知及技)コミュニケーションやレクリエーションによる援助の知識、技術を習得することができる。(産業現場ア) (思判表力)相手の実態を調べ、レクリエーションを計画することができる。(産業現場ア) (学･人)コミュニケーションやレクリエーションの大切さを学ぶことができる。(産業現場ア)	(知・技)適切な援助の知識・技術を通してレクリエーションを行っている。 (思・判・表)相手の実態に応じたレクリエーションを考えている。 (主学)積極的にコミュニケーションを図り、関わりを持とうとしている。	・福祉施設、高齢者施設の見学及び交流学習	・グループ活動においてレクリエーションを計画し高齢者や障害者と交流を行う。 ・高齢者、障害者施設の利用者との交流を通し、相手と場に応じた実践的な対応方法など体験する。 ・本単元の「知・技」、「思・判・表」「主学」の評価は年間を通して行う。
１学期	4	(知及技)就労の対価や意義を知ることができる。(高2段階ア(ア)) (思判表力)授業内容を理解し見通しを持つことができる。(高２段階ア(イ)) (学･人)職業学習の心得を理解する。(高２段階ア(ア))	(知・技)意義や対価等を学び、就労への意識を持って学習活動に取り組んでいる。 (思・判・表)学習内容を把握し、意欲的に作業に参加している。 (主学)心得を自身らで考え、実行している。	・職業学習について	・作業内容の把握や心得について学び、一年の見通しと目標や意義を確認する。 ・介護に関連する職業や職種、仕事内容について調べる。 ・職種についての学習やビジネスマナー等を通して、就労意識や対価について学習し、意欲的に作業に取り組む姿勢を身につける。
	36	(知及技)介護に必要な基礎的な心や体の仕組みについて理解し、基本的な介護技能身に着けることができる。(高２段階イ(ア)㋑) (思判表力)介護や保育、サービス業に必要なコミュニケーション、支え合いについて考えることができる。(高２段階イ(イ)㋐) (学人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高２段階イ(イ)㋒)	(知・技)車いすや機器の名称・使い方を把握し、使用している。安全な介助方法が身に付いている。 (思・判・表)相手を知ること、コミュニケーションの大切さについて理解し、考えようとしている。 (主学)自らコミュニケーションを図り、相手を知ろうとしている。	・コミュニケーションの意義 ・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・介護技術の基本 ・高齢者体験	・相手を知ることの大切さコミュニケーションの方法について学ぶ。 ・車いすの各名称、使い方知る。メンテナンス方法を学ぶ。 ・人間の動き(立位、座位、歩行、昇降など)や仕組みを学ぶ。 ・ボディーワークスを学ぶ。 ・移乗支援方法、移動支援方法を学ぶ。 ・バイタルサイン、バイタルチェックについて学ぶ。
	4	(知及技)１学期の成果を確認し、2学期以降に活かすことができる。(高２段階ア(イ) (思判表力)１学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高２段階ア(イ) (学･人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高２段階ア(イ)	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができている。	・１学期のまとめと２学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。

2学期	64	(知及技)介護者として必要な基本的な介護技能と知識を身につけることができる。(高２段階イ(ア)㋐) (思判表力)高齢者、障害者の生活と住まい、福祉用具の活用法を知り、快適に生活するための方法を考えることができる。(高２段階イ(ア)㋑) (学・人)他者と協力しながら求められる介助や支援方法を考えることができる。(高２段階イ(イ)㋒)	(知・技)高齢者、障害者の食事(誤嚥、脱水)、身体の拘縮、褥瘡など予防法が分かり、安全で適切な衣類の脱着、体位変換、ベッドメイクの手順を身に付けている。 (思・判・表)高齢者、障害者がより良く生活するために何が必要かを考えている。 (主学)適切な介護、支援方法を考え、仲間と協力しようとしている。	・高齢者、障害者の心と体、生活の理解 ・感染症の理解と予防策 ・介護技術の基本 ・高齢者、障害者とのコミュニケーション ・福祉用品(補助具)	・高齢者、障害者の嚥下の仕組み、誤嚥や脱水、身体の拘縮、褥瘡について学ぶ。 ・感染症の仕組みを理解し、正しい感染症対策や感染症の基本的な予防対策を理解し、介護施設における感染症対策の必要性を学ぶ。 ・食形態、食事介助方法、水分補給方法、体位変換方法、衣類の脱着、ベットメイク方法を学ぶ。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて学ぶ。 ・コミュニケーションの種類や方法、目的を理解し、信頼関係構築に必要な態度について学ぶ。(しまくとぅば、手話) ・高齢者、障害者がより快適に生活するための環境をどのように整えるかを学ぶ。福祉用具、補助具の用途、使用方法を知る。
	4	(知及技)２学期の成果を確認し、３学期以降に活かすことができる。(高２段階ア(イ) (思判表力)２学期を振り返り自己の成長や課題点を発表することができる。(高２段階ア(イ)) (学･人)他者の反省を聞き、認めることができる。(高２段階ア(イ))	(知・技)自身の振り返りを行い成果を確認している。 (思・判・表)自身の成長点や課題点を考え、自身で発表している。 (主学)他者の発表を聞き、成長点や反省点を考えることができている。	・２学期のまとめと３学期の目標	・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り次学期以降の目標を考える。
3学期	24	(知及技)介護者として必要な基本的な知識と技能と知識をを確認し、実践することができる。(高２段階イ(ア)㋑) (思判表力)認知症や様々な障害がある方々の気持ちを理解し、適切なコミュニケーション方法について考えることができる。(高２段階イ(ア)㋐) (学人)他者と協力しながら高齢者や障害者のいきがいは何かを考えることができる(高２段階イ(イ)㋒)	(知・技)それぞれの障害の特徴、支援方法を理解し、実践しようとしている。 (思・判・表)様々な障害がある方々の気持ちを理解し適切なかかわり方を考えようとしている。 (主学)自分から声をかけたり、相手と積極的に関わろうとしている。	・高齢者、障害主別の特徴と気持ち ・認知症について	・各障害の特徴について知り、認知症や障害者への寄り添い方と良好なコミュニケーション方法を学ぶ。 ・高齢者の生きがい、パラリンピックでの活躍を知る。 ・お互いに介護される、介護することを体験し、介護技術の習得を確認する。
	4	(知及技)年間を通して自身の成果をまとめることができる。(高２段階ア(イ)) (思判表力)まとめた内容を皆の前で発表することができる。(高２段階ア(イ)) (学･人)卒業後に向けた目標をもち他者との共通理解を行う。(高２段階ア(イ))	(知・技)1年を振り返り、まとめることが出来る。 (思・判・表)他者に伝わりやすいように、発表の方法を考えている。 (主学)意見を共有し、皆でまとめることが出来る。	・ちゅらさき技能検定 ・年間のまとめ	・1年間で習得した技能、技術に関する検定を受け、自らの成長と今後の課題を確認する。 ・反省の発表会を行い自他の成果や課題を振り返り卒業後に向けた目標を考える。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部センター分教室　３年(　Ⅱ課程　A類型　)家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1.5単位／52.5時間	３学年　10名		「くらしに役立つ　家庭」

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高等部２段階) (思判表力)　家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高等部２段階) (学･人)家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高等部２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技)様々な購入・支払い方法についての利点と問題点を理解する(C消費生活・環境ア(ア)㋐) (思判表力)物質・サービスの選択に必要な情報の収集ができる。(C消費生活ア(ア)㋑) (学・人)購入した物資・サービスに不具合があった場合に適切に行動できる。(C消費生活イ(ア))	(知・技)様々な購入・支払い方法についての利点と問題点を理解している。 (思・判・表)物質・サービスの選択に必要な情報を収集している。 (主学)購入した物資・サービスに不具合があった場合に適切に行動している。	単元名「消費生活」 題材名「様々な購入方法」 題材名「様々な支払い方法」 題材名「商品を選ぶ時のポイント」 題材名「悪質商法対策」	○店舗販売・無店舗販売・通信販売等の利点と注意点を理解し、掲示物にまとめる。(知・技)(思・判・表) ○現金払い・カード払い等の利点と注意点を理解し、掲示物にまとめる。(知・技)(思・判・表) ○商品を購入する際の注意点について考え、実際に物資・サービスの情報収集を行う。(知・技)(主学) ○悪質商法の例を知り、対策法と被害にあった際の対応法について理解する。(知・技)
	12	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解する(B衣食住の生活ア食事の役割(ア)) (思判表力)一日の献立について考え、工夫できる。(Ｂ衣食住の生活ア(イ)) (学・人)健康などの視点からよりよい食習慣について考え、工夫できる。(Ｂ衣食住の生活ア(イ))	(知・技)生活の中で食事が果たす役割について理解している。 (思・判・表)一日の献立について考え、工夫している。 (主学)健康などの視点からよりよい食習慣について考え、工夫し、実践している。	単元名「食生活」 題材名「朝ごはんの役割」 題材名「栄養素の種類と働き」 題材名「献立を考えよう」 題材名「食品の選び方」 題材名「便利な食品」 題材名「食品の保存」	○朝ごはんを食べた場合と欠食した場合の違いについて学ぶ。(知・技) ○栄養素の種類と働きについて学び、それぞれの栄養素が多く含まれる食品をワークシートにまとめる。(知・技)(思・判・表) ○賞味期限・消費期限について学習し、実際の食品表示から情報を読み取る。(知・技)(思・判・表) ○インスタント食品や冷凍食品などの活用法を学習し、実際に調理する。(知・技)(主学) ○食品の正しい保存方法について学習し、鮮度の良し悪しの見分け方を理解し、掲示物にまとめる。(知・技)(思・判・表)
2学期	10.5	(知及技)衣服と社会生活との関わりを理解する。(Ｂ衣食住の生活ウ衣服の選択(ア)) (思判表力)衣服と社会生活との関わりが分かり、衣服の適切な選択ができる。(Ｂ衣食住の生活ウ衣服の選択(イ)) (学・人)目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。(Ｂ衣食住の生活エ(ア))	(知・技)衣服と社会生活との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表)衣服と社会生活との関わりが分かり、適切な衣服について考え、発表している。 (主学)目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いが分かり、手本を参考に活動に取り組めている。	単元名「衣生活」 題材名「TPOに合わせた服装」 題材名「衣服の保清」 題材名「衣服の洗濯」 題材名「衣服の補正」	○社会的行事に関する場面を想定し、TPOに適した服装を考え、発表する。(知・技)(思・判・表) ○衣服を清潔に保つことの重要性について理解する(知・技) ○衣服の種類や汚れの種類ごとの効果的な洗濯方法について理解する。(知・技) ○基礎縫い(玉結び・玉止め・なみ縫い)とボタン付けの技術を用いて、裁縫小物を作成する。(知・技)(思・判・表)(主学)
	10	(知及技)乳幼児や高齢者などの生活の特徴について理解する（A家族・家庭生活エ(ア) (思判表力)健康管理や余暇の過ごし方について考え、表現すること。(A家族・家庭生活ウ(イ)) (学･人)家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。(A家族・家庭生活ア(イ)	(知・技)高齢者の身体的な特徴について理解している。 (思･判･表)有効な余暇の過ごし方を考え、各班で発表し、有効な余暇の過ごし方について話し合えている。 (主学)学習したことを、実生活で活用している。	単元名「家庭生活」 題材名「余暇の有効な過ごし方」 題材名「家庭での役割」 題材名「高齢者とのかかわり方」	○余暇の過ごし方を考え、各班で発表し、有効な余暇の過ごし方とは何かを考える。(思・判・表) ○自分ができる家事を考え、実際に家庭で実践するための手順を考え、実践する。(主学) ○高齢者の身体的な特徴を知り、障壁となる建物設備を見つけ、改善策を考え、実践する。(知・技)(思・判・表)
3学期	10	(知及技)住居の基本的な機能について理解する(Ｂ衣食住の生活オ(ア)) (思判表力)安全や快適さを考えた住空間を選択できる。(Ｂ衣食住の生活オ(イ)) (学・人)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、工夫することができる。(Ｂ衣食住の生活オ(イ))	(知・技)住居の基本的な機能について理解している。 (思・判・表)安全や快適さを考えた住空間を選択している。 (主学)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、工夫している。	単元名「住生活」 題材名「室内環境」 題材名「くらしと空間」	○太陽光や空気の流れが快適な室内環境を良くすることを知り、一人暮らしを想定した家具・家電の配置を行う。(知・技)(思・判・表) ○間取り図の見方を学習し、物件の情報を読み取り、一人暮らしに合う物件を選択する。(知・技)(思・判・表)

留意点引継ぎ等	学習活動の様子や授業態度、ワークシートの記述、テストや各課題の状況等により評価する。

令和７年度　　高等部センター分校室　３年（Ⅱ課程 A類型）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	３学年　１０名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高2段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋑) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高２段階：イ(ｱ)) (学･人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高２段階)	(知･技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴ったり、音声を模倣して発音している。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、相手に尋ねている。 (主学) 聞き手を意識して話したり、または、読み手を意識して書こうとしている。英語を用いて積極的なコミュニケーションをとろうとしている。 評価資料：ワークシート、提出物、活動の観察	単元１ 「自己紹介」 Self introduction	「自己紹介」 情報を整理しながら簡単な英語を使った自己紹介をする。教師やALTの自己紹介を聞く。 I'm ... I like... I'm good at... 「あいさつ」 適切な表現で友達や教師にあいさつをする。 Good morning. How are you? I'm good.
				単元２ 「私の一日」 My Daily Routine	例題に沿って、自分の一日の流れを英語を使って書き、それをクラスで共有する。 I get up at.. What time do you go home?
				単元３ 「道案内」 Directions	教師が設定した地図を元に目的地までの経路を英語で伝える。ALTと一緒に道案内に関する表現を復習し、その表現を使ったゲームをする。 Turn right / left. You will see ..
				単元４ 「体調を伝えよう」 I feel…	病気や体調を表す語を学び、その場面にふさわしい表現を選択し、発音する。 I have a headache. I have a fever.
2学期	14	(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、簡単な語彙などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高２段階：イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技) 身近な出来事について、語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。音声を模倣して発音している。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶をしている。学習した語句や表現を用いて自分の気持ちや考えを伝え、尋ねている。 (主学) 外国の文化について聞き、多文化への興味を示したり、理解・質問している。 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元５ 「夏休みのできごと」 My Summer	夏休みの思い出を、動詞の過去形と簡単な単語を用いて書き、それをクラスで共有する。 I went to .. I ate..
				単元６ 「オータムフェスティバル」 Autumn Festival	ハロウィンや感謝祭に関する話や活動を通して、英語圏の文化にふれる。 Happy Halloween. Thanks giving day.
				単元７ 「行きたい国」 Countries	画像や地図を通して様々な国名を知り、どこに行きたいか、テンプレートを活用しながら伝える。 Japan, Korea, England I want to go to ..
				単元８ 「ホリデーシーズン」 Holiday Season	海外の休暇期間の過ごし方や季節ごとの行事と日本の文化を比較する。 Holiday, Christmas, New Years day
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋒) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書いたりすることができる。(高２段階：イ(イ)) (学・人) 外国の文化・風習に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。(高２段階)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。音声を模倣して発音している。 (思･判･表) 慣れ親しんだ語彙を使って自分の気持ちを伝える。簡易な表現やテンプレートを用いて感謝の気持ちを綴っている。 (主学) 外国の文化について聞き、日本の文化との違いを理解し、質問したりしている。 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元９ 「ハッピーニューイヤー」 Happy New Year	新年に関する異文化について聞き、日本の文化と比較する。新年のあいさつを交わしたり、新年の抱負を英語の未来形を用いてクラスで共有する事ができる。福笑いをする。 Happy new year. I will .. in this year.
				単元１０ 「私の夢」 My Future	簡単な語句を用いて自分の目標や夢を書き、クラスで共有する。 I want to drive a car.
				単元１１ 「Thank you, teacher!」	テンプレートや簡単な語句を用いてお世話になった友達や教師に感謝の気持ちを伝える。 Dear, from, sincerely

留意点 引継ぎ等	活動内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。

令和　7　年度 高等部センター分教室　3年(　Ⅱ課程　A類型　)情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
52.5時間	3学年　10名		・教科書「社会と情報」 ・ワープロ検定問題 ・タイピングソフト ・副読本「ワード・エクセル・パワーポイントの基本操作」(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)効果的なコミュニケーション方法および身近にあるコンピュータやデータの活用等についての理解を深め、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。(高２段階) (思判表力)身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を見つけるとともに、その問題を解決するために必要な情報および情報技術を適切に活用する力を養う。(高２段階) (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10時間	(知及技)コンピュータの操作方法を知り、身に付けることができる。(高２段階Ａア(ア)) (思判表力)目的や状況に応じて情報技術を適切に活用し、問題を解決する方法を考えることができる。(高２段階Ａイ(ア)) (学・人)ホームポジションを意識してタイピングすることができる。(高２段階Ａア(ア))	(知・技)コンピュータの操作方法を知り、身に付けようとしている。 (思・判・表)目的や状況に応じて情報技術を活用し、問題を解決する方法を考えようとしている。 (主学)ホームポジションを意識してタイピングをしようとしている。	コンピュータの基本的な操作 ・ホームポジションを理解しよう ・ローマ字入力を練習しよう。 ・アカウントのログインの仕方	・タイピング練習サイト等を活用して、両手のホームポジションおよび指づかいが定着するよう練習する。 ・ローマ字で入力できるよう、タイピング練習する。
		(知及技) インターネット上のコミュニケーションにおける心構えや留意点等を理解し、情報機器等を適切に活用することができる。(高２段階Ａア(ウ)) (思判表力)インターネット上のコミュニケーションにおいて、トラブルを回避するための適切な行動がとれる。(高２段階Ａイ(イ)) (学･人)インターネット上のコミュニケーションを適切に取ろうとする姿勢が身についている。(高２段階Ａイ(ウ))	(知・技) インターネット上のコミュニケーションにおける心構えや留意点等を理解し、情報機器等を適切に活用している。 (思･判･表)インターネット上のコミュニケーションにおける望ましい姿勢について考え、適切に判断し行動している。 (主学) インターネット上のコミュニケーションを適切に取ろうとしている。	情報モラルと情報リテラシー ・情報検索 ・情報リテラシー ・出会い系トラブルの危険性 ・情報セキュリティ ・ネット依存 ・炎上とネットいじめ ・上手なネットコミュニケーション	・対面やインターネット上でのコミュニケーションの特徴について考える。 ・動画教材を活用し、SNS利用の注意点やトラブルへの対処法等を学ぶ。
2学期	25.5時間	(知及技)表計算ソフトを活用して、データを表やグラフ等の形式で効果的に表現することができる。(高２段階Ｃア(ウ)) (思判表力)表計算ソフトを効果的に活用して、データを適切に分析・集計したり、見映えよく仕上げたりすることができる。(高２段階Ｃイ(ウ)) (学・人)表計算ソフトの特性や利便性を理解し、データの集計に向けて効果的に活用することができる。(高２段階Ｃイ(ウ))	(知・技)表計算ソフトの基本的操作方法を身に付けている。 (思・判・表)表計算ソフトを効果的に活用して、データを適切に分析・集計したり、見映えよく仕上げたりしている。 (主学)表計算ソフトの特性や利便性を理解し、データの集計に向けて効果的に活用しようとしている。	データの収集・整理・分析 ・表計算ソフトを活用したデータ処理 ・Wordの使い方 ・Excelの使い方	・表計算ソフトの基本的操作方法 ・データの入力と整理、分析 ・グラフの表し方
		(知及技)電子メールの仕組みを理解し、送受信に必要な知識や適切な操作方法を理解することができる。(高２段階Ｃア(ア)) (思判表力)電子メールの役割や効果・影響等について考察し、メールを送信するための適切な判断や行動をとることができる。(高２段階Ｃイ(イ)) (学･人)電子メールの仕組みについて関心を持つことができる。(高２段階Ｃア(ア))	(知・技)電子メールが届く仕組みや送受信のプロトコルを理解し、操作方法等を身に付けている。 (思･判･表)メールの役割や効果、迷惑メールの影響などについて考えることができる。実際に電子メールを利用している。 (主学)電子メールが届くまでの流れに関心を持っている。	メールの使い方 ・電子メールの使い方	･Outlookや無料Webメール等を活用し、実際にメールの送受信を行ってみる。 ･ビジネスメールの基本的な書き方や送り方について学ぶ。 ･知らない相手から届く迷惑メールの事例や対処法について考察する。
		(知及技)情報セキュリティ対策の必要性について理解するとともに、ユーザIDやパスワードを適切に設定し管理することができる。(高２段階Ａア(イ)) (思判表力)情報セキュリティ対策のための方法を考察し、状況に応じた適切な行動をとることができる。(高２段階Ａイ(ウ)) (学･人)情報セキュリティ対策の必要性について関心を持つことができる。(高２段階Ａイ(ウ))	(知・技)情報セキュリティ対策の必要性について理解するとともに、ユーザIDやパスワードを適切に設定し管理している。 (思･判･表)情報セキュリティ対策のための方法や行動について考えている。 (主学)情報セキュリティ対策の必要性について関心を持つことができる。	情報社会の課題を考える ・情報セキュリティに気を付ける	･不正アクセスの実被害例を挙げる等、セキュリティ対策は一人一人にとって身近な問題であることに気付かせるよう配慮する。 ･ユーザIDおよびパスワード等の適切な設定･管理方法について考察する。
3学期	17時間	(知及技)発表内容のPRに向けて、文書作成ソフトの適切な活用方法を理解し、広告を作成できる。(高２段階Ｂア(ウ)) (思判表力)発表内容を効果的にPRする方法を理解できる。(高２段階Ｂイ(イ)) (学･人)発表内容を効果的にPRするデザインの手法を考え、工夫することができる。(高２段階Ｂイ(ウ))	(知・技)文書作成ソフトの適切な活用方法について理解し、基本的な操作を行い広告を作成している。 (思･判･表)効果的な手法や内容、表現を使い、発表内容をPRしている。 (主学)自分でPRの効果を意識して、独自のスライドを作成しようとしている。	情報の活用と表現 ・効果的なプレゼンテーション作成 ・ポストカード作成	・PR効果を意識した広告の構想を考える。 ・文書作成ソフトの機能を活用し、表現の仕方を工夫して効果的な広告に仕上げる。
		(知及技) QRコードの仕組みを理解し、作成ソフトでQRコードを作成できる。(高２段階Ａ(ア) ア) (思判表力)QRコードを表現する方法を考え、適切に判断し行動できる。(高２段階Ａイ(ウ)) (学･人)QRコードで情報を表現することができる。(高２段階Ｃイ(ウ))	(知・技) QRコードの作成、読み取り方法を理解できている。 (思･判･表)QRコードで必要な情報を表現するために、適切に判断し行動している。 (主学) QRコードで情報を表現しようとしている。	情報社会と問題解決 ・QRコードを作ろう	・QRコードとバーコードの違いについて学ぶ。 ・QRコードを、スマートフォンを活用して読み取ったり、実際に作成したりする。 ・QRコードの情報を汚した場合に読み取ることができるか検証する。
		(知及技) 情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高2段階 (ア(イ)) (思判表力) 情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高2段階 (イ(イ)) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。(高2段階)	(知及技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。 (思判表力) 身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。 (学・人) 情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。

留意点 引継ぎ等	

令和7年度 高等部センター分教室　　3年（Ⅱ課程 A類型）　特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3年　10名		新訂　新しい道徳　3

年間目標		(A：自分自身に関する事）　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事）　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事）　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり）　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて） ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度　高等部センター分教室　3年（Ⅱ課程　A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3年　10名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)　体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力)　体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人)　体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・前期就業体験に対する態度や心得を学び、身につける。（知及技） ・社会人としてのマナーやモラルを学び、前期就業体験の成果や反省点を考え、自己の卒業後の進路について意識を高める。（思判表力） ・仕事の意義を理解し、主体的・協働的な行動ができるようになる。（学・人）	・前期就業体験の事前学習 ・前期就業体験 ・前期就業体験の事後学習 ・進路学習	・動画やパワーポイント等の視覚教材を活用して、就業体験の内容を具体的にイメージする。 ・日程、作業内容、個人の役割、持ち物の確認をする。 ・就業体験における約束事を確認する。また、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを意識させる。 ・動画やパワーポイント等の視覚教材を活用して、就業体験の活動内容を振り返る。 ・各自の実習中の活動内容について自己評価する。また、実習後の感想や今後の目標をもつ。
2学期	14	・後期就業体験に対する態度や心得を学び、身につける。（知及技） ・社会人としてのマナーやモラルを学び、後期就業体験の成果や反省点を考え、自己の卒業後の進路について意識を高める。（思判表力） ・仕事の意義を理解し、主体的・協働的な行動ができるようになる。（学・人）	・後期就業体験の事前学習 ・後期就業体験 ・後期就業体験の事後学習 ・進路学習	・動画やパワーポイント等の視覚教材を活用して、就業体験の内容を具体的にイメージする。 ・日程、作業内容、個人の役割、持ち物の確認をする。 ・就業体験における約束事を確認する。また、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを意識させる。
3学期	9	・学習発表会について理解を深める。（知及技） ・学習発表会に向けての準備や当日の役割分担、事後の発表に向けての準備などを協力して行う。（学・人） ・社会人としてのマナーやモラルを学ぶ。（知及技） ・卒業後の進路について意識を高める。（学・人） ・働くためのマナーについて理解したことを、生活に活かすことができる。（思判表力）	・学習発表会事前学習 ・学習発表会事後学習 ・進路学習	・学習発表会の事前学習、準備 ・学習発表会の振り返り ・各自の進路学習の活動内容について自己評価する。また、感想や今後の目標を持つ。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度　高等部センター分教室　３年（Ⅱ課程　A類型）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	3学年　10名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。(学・人) ・自分自身への健康状態への理解を深めることができる。（知及技）	・入学式・終業式 ・身体測定	・入学式、終業式の実施。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査の実施。
		・生徒同士協力して学校生活の充実と後方に向けても意識を持つことができる。（思判表力）	・生徒総会	・生徒総会の運営と実施。
		・自他を理解し、尊重し命を大切にする態度を育てることができる。（思判表力）	・安全講話	・交通安全指導の実施
		・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。（知及技）	・火災避難訓練	・火災避難訓練の実施。
		・地域の仲間と関わることを通して、自己を見つめ互いの理解を深めることができる。（思判表力、学・人）	・交流会	・交流会の計画・運営（本校との交流・他校との交流）
		・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・個人目標、学期のまとめ	・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2学期	14	・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。（学・人） ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高めることができる。（知及技）	・始業式・終業式 ・地震津波避難訓練	・始業式、終業式の実施。 ・地震津波避難訓練の実施。
		・健全な発達や健康維持を目指すことができる。（学・人）	・校内陸上大会	・校内陸上大会の実施。
		・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。（思判表力、学・人）	・体育祭	・高等部体育祭の実施。
		・選挙について学び、自分で候補者を選んで投票することができる。（思判表力）	・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙の実施。
		・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。（学・人）	・校外学習	・校外学習の計画と実施。
		・交流会の企画・運営の情報交換による、本校の生徒会活動の活性化をはかることができる。（学・人）	・交流会	・交流会の実施
		・卒業生のもつ価値観や考え方について理解することができる。また自分の将来に生かせる視点をもつことができる（思判表力）	・卒業生講話	・卒業生講話の実施
		・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・個人目標、学期のまとめ	・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3学期	9	・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。（学・人）	・始業式、卒業式	・始業式、卒業式、修了式の実施。
		・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることができる。（思判表力、学・人	・みさき市（学習発表・販売学習）	・みさき市の実施。
		・支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。（思判表力）	・3年生を送る会	・3年生を送る会の実施。
		・公共でのマナーやルールを学ぶことができる。（学びに向かう力人間性等）	・校外学習	・校外学習の計画と実施。
		・自身の学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。（知及技、思判表力、学・人）	・個人目標、３年間のまとめ	・キャリアパスポートを活用しての目標立て。 ・３年間を思い起こし、学習や活動を振り返る。
留意点引継ぎ等		・学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現力） ・役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見A14:F18や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現力、学びに向かう人間性等） ・ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う ・社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。		

美里分教室

令和７年度 美里分教室　1年（　Ⅱ課程　A類型　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	1学年　人数等　16名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学･人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うことができる。(高1段階ア(ｳ)) (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Ｂア) (学･人)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使っている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にしている。 (主学)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。(知及び技に関する内容) ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容) ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(高1段階ウ(ｳ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Ｃオ) (学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。 (主学) 言葉の良さを認識し、幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・図書館オリエンテーション ・読書活動	・図書館オリエンテーションを通して、図書館の利用方法を確認する。(知及び技に関する内容) ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。(思判表力に関する内容) ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。(学・人に関する内容)
	12	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。(中1段階イ(ｱ)) (思判表力) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえることができる。(中2段階Ｃイ) (学・人) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階)	(知・技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解している。(中1段階イ(ｱ)) (思・判・表)) 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序など内容の大体をとらえている。(中2段階Ｃイ) (主学) 言葉がもつよさに気づくとともに、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。(高1段階)	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・ﾚｯﾂ･ﾁｬﾚﾝｼﾞNIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容) ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。(思判表力に関する内容) ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。(学・人に関する内容)
	8	(知及技) 丁寧な言葉の書き方を理解することができる。(高1段階) (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Ｂ(ア)) (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。(高1段階)	(知・技) お礼状の意義や書き方を理解して書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「敬語を使おう」 ・敬語と口語の違いを知ろう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。(知及び技に関する内容) ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。(思判表力に関する内容) ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。(学・人に関する内容)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	12	(知及技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことができる。（高1段階ウ(ｲ)） (思判表力）相手や目的に応じた話し方で話すことができる。(中1段階Ａエ) (学・人）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。(高1段階)	(知及技）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使用している。（高1段階ウ(ｲ)） (思判表力）相手や目的に応じた話し方で話している。(中1段階Ａエ) (主学）生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。(高1段階)	「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おう	・丁寧語の使い方や身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手への謝意を表現するお礼状を書く家族の呼称や挨拶の関する方言を使って会話をする。（思判表力に関する内容） ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。（学・人に関する内容）
	22	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。（高2段階イ(ｱ)） (思判表力）登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。(高1段階Ｃア) (学・人）読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。(高1段階)	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。（中2段階イ(ｱ)） (思・判・表）登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えている。(高1段階Ｃア) (主学）読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとしている。(高1段階)	単元名「物語を読もう」 ・羅生門 ・二十億光年の孤独	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。（知及び技に関すること） ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。（思判表力に関すること） ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）丁寧な言葉の書き方を理解することができる。（高1段階） （思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。（高1段階Ｂ（ア）） (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。（高1段階）	(知・技）お礼状の意義や書き方を理解して書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉が持つ良さを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「敬語を使おう」 ・口語を敬語に言い換えよう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。（学・人に関する内容）
3学期	5	(知及技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。（高2段階ウ(ｳ)㋐ ） (思判表力）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。（高２段階Ｂウ） (学・人）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとすることができる。（高１段階）	(知・技）姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら丁寧に書いている。 (思・判・表）書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学）正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容) ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。（高1段階イ(ｱ)） (思判表力)語と語や文と文との関係を基に、必要な情報を抽出し、内容の大体を捉えることができる。(高1段階Ｃイ) (学・人）言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。（高1段階）	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表）語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。 (主学）言葉が持つ良さを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「情報を読み取ろう」 ・手紙・案内文	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容) ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	10	(知及技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（高1段階(ウ)） （思・判表力）書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えることができる。（高2段階Ｂイ） （学・人）自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。（高1段階）	(知・技）漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使用している。 (思・判・表）書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えている。 (主学）自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「丁寧語を使おう」 ・丁寧語の特徴を知ろう ・お礼状の作成	・一年を振り返り、親しい友人やお世話になった先生にあてて、文例を参考にお礼の手紙を書く。(知及び技に関する内容) ・関わりの中で最も楽しかった出来事や思い出、感謝の気持ちを項目毎にメモでまとめ、お礼の手紙を作成する。（思判表力に関する内容） ・自分の思いや考えを、素直に文章で表現する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習（校外活動）：（学・人）社会で生活する人々とのやり取りを通して、自分の気持ちを言葉にすることの重要性や、言葉の受け取り方が人によってさまざまであることに気づき、言葉を通した他者との交流に喜びを見出すことができる。 ・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和７年度 美里分教室　1年（Ⅱ課程A類型）社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型　16名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)地域の地理的環境や歴史、伝統と文化、現代社会の仕組みを理解し、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができる。(高1段階) (思判表力)自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力を養い、考えたことを適切に表現することができる。(高1段階) (学･人)よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を身につけ、我が国の歴史に対する愛情や地域社会の一員として共に生きる大切さについての自覚を養うことができる。(高1段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技)我が国と沖縄県の気候区分を理解することができる。(高1段階：オ（ア）㋑) (思判表力)沖縄県の文化について考えることができる。(高1段階：オ（ア）㋑) (学･人)自分の住んでいる市町村の文化についてまとめることができる。(高1段階：オ（イ）㋑)	(知・技)日本の気候区分の中から、沖縄県の気候区分は何かを理解している。 (思･判･表)沖縄県の文化について考えている。 (主学)自分の住んでいる市町村の特徴などをタブレットを用いて他者と協力し、調べようとしている。	【国土と大陸】 ・6大陸と日本 ・日本の気候区分 ・沖縄県の地理(人口、気温)(北部、中部、南部、離島の特徴) ・沖縄と自分の住んでいる市町村 ・単元のまとめ	・６大陸と日本の位置について世界地図から読み取り確認し、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容） ・日本の気候区分について、自分の体験から考え、プリントにまとめる。（思判表力に関する内容） ・沖縄県の地理(人口、気温)(北部、中部、南部、離島の特徴)について確認する。（知及び技に関する内容） ・沖縄と自分の住んでいる市町村について考え魅力を伝える。（学・人に関する内容）
	8	(知及技)慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解することができる。(高1段階：オ（イ）㋑) (思判表力)戦後の沖縄の写真を見て、当時の様子について考えることができる。(高1段階：オ（イ）㋑) (学･人)よりよい沖縄にするため、どのようにしたいかイメージすることができる。(高1段階：オ（イ）㋑)	(知・技) 慰霊の日制定の背景、沖縄の日本復帰について理解している。 (思･判･表)戦後の日本の写真を見て、当時の様子について考えている。 (主学)よりよい沖縄にするためにはどうしたらいいか自分のプリントに表現している。	【沖縄の歴史と文化】 ・沖縄戦・戦後の沖縄・現代の戦争 ・慰霊の日・基地問題 ・単元のまとめ	・沖縄戦・戦後の沖縄・現代の戦争について確認し、戦争の悲惨さについて考え、発表する。（知及び技に関する内容）（思判表力に関する内容） ・慰霊の日・基地問題について考え、沖縄が抱える問題についてプリントにまとめる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技)沖縄や他県の文化遺産を知ることができる。(高1段階：オ（イ）㋐) (思判表力)沖縄や他県の文化遺産を比較して、違いについて考えることができる。(高1段階：オ（イ）㋑) (学・人)沖縄や他県にどのような文化遺産があるか、調べることができる。(高1段階：オ（イ）㋑)	(知・技) 沖縄県と他県の文化遺産について調べたことをプリントにまとめている。 (思･判･表)沖縄県と他県の文化遺産を比較した内容をプリントに記入してる。 (主学)タブレット機器を用いて、他者と協力して調べたり、まとめている。	【地域の文化遺産を紹介しよう】 ・沖縄県の文化遺産 ・他県の文化遺産 ・沖縄県と他県の文化遺産を比べる	・沖縄県の文化遺産についてタブレットを活用し調べ、特徴についてまとめる。（学・人に関する内容） ・他県の文化遺産について調べ、特徴についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・沖縄県と他県の文化遺産を比べ、どのような違いがあるのかまとめる。（思判表力に関する内容）
	8	(知及技)多数決の原理について理解することができる。(高1段階：ア（イ）㋑) (思判表力)模擬選挙の際、代表者を選択することができる。(高1段階：ア（イ）㋑) (学・人)選挙で代表を選ぶことが、国民の権利、意義について理解し、政治参加への意欲がある。(高1段階：ア（ア）㋑)	(知・技)数が多い意見が通ると同時に少数意見の尊重についても、理解できている。 (思・判・表)生徒会選挙で立候補者に投票することができる。 (主学)選挙で代表を選ぶことが、国民の権利であることを踏まえてどのように政治に参加をするか自分の考えをプリントにまとめている。	【選挙】 ・多数決の原理 ・生徒会選挙 ・選挙 ・単元のまとめ	・多数決の原理について考え、日常的に活用されている事例をまとめる。（思判表力に関する内容） ・生徒会選挙を通して主権について考える。（学・人に関する内容） ・日本の選挙について確認する。（知及び技に関する内容）

2学期	10	(知及技)直接民主制と議会制民主主義の違いを理解している。(高1段階：ア（イ）ア) (思判表力)法律の意義について考えることができる。(高1段階：ア（イ）㋑) (学･人)よりよい生活を送るための法律について調べることができる。(高1段階：ア（イ）㋑)	(知・技)直接民主制と議会制民主主義の違いを理解している。 (思･判･表)法律の意義について考えている。 (主学)生活に関連している法律について調べている。	【憲法と国民生活】 ・なぜ決まりはあるの ・日本国憲法と第二次世界大戦 ・民主主義って？ ・生活に関連している法律を調べよう ・単元のまとめ	・なぜ決まりはあるのか考え、発表する。（思判表力に関する内容） ・日本国憲法と第二次世界大戦について確認し、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容） ・民主主義について考え、プリントにまとめる。。（思判表力に関する内容） ・生活に関連している法律をタブレットを活用し、調べる。（学・人に関する内容）
	10	（知及技）自然災害の種類や対処について理解することができる。（高１段階：ウ（ア）㋒) （思判表力）自助・公助・共助の視点から、防災のために必要なことを考えることができる。（高1段階：ウ（ア）㋒) （学・人）防災バックにいれるべきものを考えることができる。（高1段階：ウ（ア）㋒)	(知・技）地震や津波、台風の対処方法をプリントにまとめている。 (思･判･表)ベン図を用いて、自助・公助・共助の視点から災害対策を分類している。 (主学）防災バックに入れるべものをプリントにまとめている。	【防災】 ・自然災害 ・自助・公助・共助 ・防災グッズを準備しよう	・自然災害について確認し、身近に起こりうる災害についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・自助・公助・共助について考え、プリントにまとめる。（思判表力に関する内容） ・防災グッズについて何が必要なのか確認し、防災バックに入れておいた方が良いものを考える。（学・人に関する内容）
3学期	9	(知及技)SDGsの項目をいくつか知ることができる。(高1段階：カ（ア）㋐) (思判表力)関心のあるSDGsの目標を選択することができる。(高1段階：カ（ア）㋑) (学・人)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか、考えることができる。(高1段階：カ（ア）㋑)	(知・技)SDGsには17の目標があることを理解している。 (思･判･表)SDGsの項目で関心のある目標を記入している。 (主学)持続可能な社会を実現するためにどのようにすれば良いのか自分の意見をプリントにまとめている。	【SDGs】 ・５つの「P」と３つの「層」 ・興味関心のある目標は ・他の人と関心のある目標について伝え合おう ・「食」について考えよう ・持続可能な社会をつくるため ・単元のまとめ	・５つの「P」と３つの「層」について確認し、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容） ・興味関心のある目標について調べる。（学・人に関する内容） ・他の人と関心のある目標について伝え合う。（思判表力に関する内容） ・「食」について考え、ご飯が満足に食べられない国の現状について理解する。（思判表力に関する内容） ・持続可能な社会をつくるためには何ができるのか考える。（学・人に関する内容）
	9	(知及技)自分で作成したプランにある観光地の場所や特徴を理解する。(高１段階：オ（ア）㋐) (思判表力)プラン作成を通して、沖縄の良さや特徴について考えることができる。(高1段階：オ（ア）㋑) (学・人)グループでプランを作成する際、活動に参加することができる。(高1段階：オ（ア）㋑)	(知・技)沖縄の観光地の場所や特徴について、調べて用紙にまとめている。 (思･判･表)沖縄の観光地を選んで、調べた内容を用紙に記入している。 (主学)プランについてアイデアを出したり、記入などグループ活動に参加している。	【沖縄観光プランをつくろう】 ・沖縄県の文化(特産品や沖縄県指定の花、木、鳥、魚) ・沖縄観光プランをつくろう ・観光プラン発表	・沖縄県の文化(特産品や沖縄県指定の花、木、鳥、魚)について確認し、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容） ・タブレットを活用し沖縄観光プランを作成する。（学・人に関する内容） ・観光プランを発表する。（思判表力に関する内容）
留意点引継ぎ等		・2学期に消費者教育講話を行う。(講話に伴い、事前学習も行う) ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。 ・授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。			

令和７年度　美里分教室 １年（　Ⅱ課程A類型　）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
３／１０５	1学年　生徒１６名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、その表現や処理ができる。(高１段階) (思判表力)日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考え、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わすことができる。（高１段階） (学･人）数学的活動の楽しさや数学の良さが分かり、課題を解決するため職員と生徒または生徒同士でコミュニケーションを図りながら、事象の解決に取り組むことができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期（36）	6	（知及技）億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。(高1段階(ア)㋐) （思判表力）数のまとまりに着目し大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えることができる。(高1段階(イ)㋐) （学･人）大きな数の大きさを、日常生活にあるものと比較して表そうとすることができる。	（知・技）万、十万、百万、千万のように、億や兆についても、一、十、百、千と十進位取り記数法を用いている。 （思･判･表）大きな数を1000の何個分や、100の何倍など、まとまりに着目して考えている。 （主学）大きな数の大きさを、身近なものと比較して表そうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 ア 整数の表し方 ・整数の意味と表し方 ・億、兆までの数 ・大きな数の読み方、書き方	・数の大きさを、生徒数、人口、収穫量など、身近なものと比較して量感を感じる。 ・十進法を用いた位表で整数の意味と表し方を考える。 ・四桁区切りを使って億、兆までの数の読み書きをする。 ・具体物を10、100ずつのまとまりとして捉え、数の合計を求める。
	10	（知及技）10倍、100倍、1/10倍、1/100倍の大きさの数を、小数点の位置を移してつくることができる。(高1段階(ア)㋐) （思判表力）数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高1段階(イ)㋐) （学･人）小数を数学的に処理するよさに気付き、学習に活用しようとすることができる。	（知・技）10倍、100倍、1/10倍、1/100倍の大きさの数を、小数点の位置移動で求めている。 （思･判･表）小数をある位の単位の「何倍」や「いくつ分」と捉えて、計算している。 （主学）小数点の位置移動を、長さや重さの単位換算に活用しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 整数及び小数の表し方 ・小数の意味と表し方 ・小数点の移動 キ 小数とその計算 ・小数の相対的な大きさ ・長さや重さの単位換算	・足のサイズ、身長等、身の回りにある１より小さい数を元に、小数の意味や表し方について考える。 ・小数を何倍、いくつ分の集まりとして捉える。 ・位表を使って移動した小数点の位置を、実際に電卓を使って確かめる。 ・km⇔m、kg⇔gへの単位換算をする。
	10	（知及技）概数が用いられる場面や四捨五入について知ることができる。(高1段階(ア)㋐、㋑) （思判表力）目的に合った数の処理の仕方を考えることができる。(高1段階(イ)㋐) （学･人）目的に合った数の処理の仕方を、日常生活に生かそうとする。	（知・技）概数の意味を理解し、四捨五入で概数を求めている。 （思・判・表）買い物や割り勘など、目的にあった概算方法について考えている。 （主学）日常の場面で、切り上げ、切り捨ての考えを用いて、数の処理をしようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	ク 概数 ・概数の意味 ・切り上げ、切り下げ、四捨五入 ・予算内での買い物計画 ・概算での四則計算	・ひまわり畑、観客数、人口等の身の回りの数を取り上げ概数の意味を考える。 ・概数を表す方法として数直線を利用し、切り上げ、切り下げ、四捨五入について、数の処理の仕方を学ぶ。 ・チラシから食材の値段を探し、予算内で購入できるように概算で見積もる。 ・概算での四則計算を練習し、商品カードを使って模擬買い物で実践する。
	10	（知及技）同分母の分数の加法と減法の計算ができる。（高1段階(ア)(㋐) （思判表力）数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算できるか考える。（高1段階(イ)(㋐)） （学･人）数学的活動を通して分数で表すよさに気付き、課題解決に取り組もうとする。	（知・技）単位分数のいくつ分かを理解し、加法と減法の計算をしている。 （思・判・表）表し方が違う同じ大きさの分数について、等しいことを図で考えている。 （主学）実生活の場面で分数を活用し、課題を解決しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	ケ 分数とその計算	・1つのピザや飲み物を何人かで分ける活動を通して、分数の意味と表し方を知る。 ・１Lや１dLのビーカーや帯状の長方形を利用し、分数を図に表して大小関係、大きさの等しい分数を考える。 ・図を利用して同分母の加法と減法をイメージし、計算で答えを導く。

2学期（42）	14	（知及技）平行四辺形、ひし形、台形について知ることができる。(高1段階(ア)㋐) （思判表力）図形を構成する要素及び位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすことができる。(高1段階(イ)㋐) （学・人）数学的活動を通して、図形の形や大きさが決まる要素を見いだそうとすることができる。	（知・技）平行や垂直の関係を理解し、四角形を平行四辺形、ひし形、台形に分類している。 （思・判・表）平行四辺形、ひし形、台形を構成する要素の「平行、垂直、長さ」に着目して、長方形との違いを表に整理している。 （主学）見本と同じ図形を描く操作を通して、図形の形や大きさが決まる要素について考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B 図形】 ア 平面図形 ・四角形の弁別 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質 ・平行四辺形、ひし形、台形の作図	・様々な四角形を、自身が考える理由付けで仲間分けをする。 ・平行や垂直な線を描く。 ・身の回りの平行や垂直の関係にある具体物を撮影する。また、どこにどんな関係があるのか発表する。 ・平行四辺形、ひし形、台形の性質を、平行の組数、垂直関係のあるなし、長さが等しい等しくない等の観点で表に整理する。 ・平行四辺形、ひし形、台形を２つの三角定規とコンパスで作図する。
	14	（知及技）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解する.（高1段階(ア)㋐) （思判表力）図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだす。（高1段階(イ)㋐) （学・人）数学的活動を通して、基本図形の面積の公式から、四角形の面積を導きだそうとする。	（知・技）公式を使って、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めている。 （思・判・表）面積の大きさを変えずに形を変え、求積可能な図形になるように工夫している。 （主学）基本図形の公式を活用するために、四角形を切ったり貼ったりして、基本図形に変形できるかを粘り強く確かめようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	エ 平面図形の面積 ・三角形、長方形の面積を求める公式 ・等積変形 ・平行四辺形、ひし形、台形の面積の公式	・タイルを数えて広さを比べる。 ・1平方センチメートルの定義から、長方形の面積の求め方を考える。 ・長方形の面積の公式をヒントに、三角形の面積を求める工夫を考える。 ・平行四辺形、ひし形、台形を、切ったり貼ったりして、面積を変えないで長方形に直す。 ・長方形の公式をヒントに、平行四辺形、ひし形、台形の面積の公式を考える。
	14	（知及技）簡単な場合について、比例の関係があることを知る。(高1段階(ア)㋐) （思判表力）伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。（高1段階(イ)㋐) （学・人）伴って変わる二つの数量の関係について、実験から見いだした特徴を基に、発展的に考察しようとすることができる。	（知・技）二つの数量の変化を表に当てはめ、一方が２倍、３倍、…になると、伴って他方も２倍、３倍、…になることを理解している。 （思・判・表）伴って変わる二つの数量の関係について、変化や対応の規則性を見つけ、式に表そうとしている。 （主学）二つの数量の変化や対応の規則性が、他の値においても成り立つか予想し、実際に協力して確かめようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ア 伴って変わる二つの数量 ・二つの数量の変化 ・数量の関係を表に作成 ・変化や対応の規則性 ・比例	・トランプのプレイヤー数と手札の数、箱の段数と合計等の具体物操作を通して数量の変化を考える。 ・数量の関係を表に作成し、その変化や対応の規則性について考える。 ・身の回りにある伴って変わる数量（比例）探しをする。
3学期（27）	15	（知及技）円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解する。(高1段階(ア)㋑) （思判表力）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取る。(高1段階(イ)㋐) （学・人）目的に応じて収集、整理したデータの結論について、多面的に捉え考察しようとすることができる。	（知・技）数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表そうとしている。 （思・判・表）目的に応じてデータを収集、分析し、適切なグラフを用いてデータの特徴や傾向を考えている。 （主学）他の生徒の収集、分析したデータの結果に興味をもち、お互いに比較し合おうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 ア データの収集とその分析 ・表とグラフ ・データの収集、分析、発表	・「好きな食べ物やスポーツの種類」と「投票数」、「ケガの種類」と「その起こった場所」等などデータを表に整理し、棒グラフ、帯グラフ、円グラフで表す。 ・棒グラフ、帯グラフ、円グラフの特徴を整理する。 ・Formsでアンケート作成し、グラフの結果から傾向を発表する。
	12	（知及技）平均の意味や求め方を理解することができる。(高1段階(ア)㋐) （思判表力）概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察することができる。(高1段階(イ)㋐) （学・人）測定した結果を平均する方法について、日常生活に生かそうとすることができる。	（知・技）平均の意味を理解し、計算している。 （思・判・表）数値を量と捉え、多い所から少ない所へ移動しならす平均の方法を、視覚的な操作を通して考察している。 （主学）日常生活の場面における平均について、学習したことを活かし求めようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 測定した結果を平均する方法 ・平均の意味と求め方 ・データの測定と平均	・「平均＝でこぼこをならす」の意味を、タイルを使った具体物操作を通してイメージをもつ。 ・平均の意味から求め方を式に表す。 ・平均を式で求める。 ・歩数と距離のデータを測定し、自身の１歩の長さの平均を求める。
留意点 引継ぎ等	【数学的活動】※年間を通して取り組む （ア）日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 （イ）数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 （ウ）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。				

令和7年度 美里分教室　１年（Ⅱ課程A類型）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	16名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということがわかる。【中２段階】 (思判表力)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かすことができる。【中２段階】	(知・技）人の体には骨と筋肉があること、人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによるものだということを理解している。 (思･判･表)人の骨や筋肉のつくりと働きについて調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと運動について見いだした疑問を調べ、日常生活や社会生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと運動	○骨や筋肉についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと運動について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	8	(知及技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることがわかる。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現することができる。【高２段階】 (学･人)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること、食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排泄されることを理解している。また、血液は心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること、体内には生命活動を維持するための様々な臓器があることを理解している。 (思･判･表)人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて予想し、表現しようとしている。 (主学)人の体のつくりと働きについて調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○人の体のつくりと働き	○感覚器官の働きや、臓器の名称・働き、消化・吸収・排泄までの流れについての動画を視聴する。 ○iPadを用いて体のつくりと働きについて調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○感覚器官の働きについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	4	(知及技）人は、母体内で成長して生まれることがわかる。【高１段階】 (思判表力)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現することができる。【高１段階】 (学･人)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）人は、母体内で成長して生まれることを理解している。 (思･判･表)人や動物の発生や成長について、様子と経過についての予想や仮説を基に、自分の言葉で表現しようとしている。 (主学)生命の連続性について調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○動物の誕生	○人の母体内での成長や誕生についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて動物の誕生について調べ、体を動かす仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○動物の誕生について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

2学期	5	(知及技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることがわかる。【中１段階】 (思判表力)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技) 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。 (思･判･表)身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気づき、生物の姿についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)身の回りの生物の様子について調べ、動物を愛護する態度や、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○身の回りの生物	○校内散策などを通して、身の回りにどのような生物がいるのかを学ぶ。 ○iPadを用いて校内散策で見つけた生物について調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物の色、形、大きさについて違いがあることを、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることがわかる。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることがわかる。【高１段階】 (思判表力)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技) 植物は種子の中の養分を基にして発芽すること、発芽には水、空気及び温度が関係していることを理解している。また、植物の成長には日光や肥料などが関係しているということ、花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。 (思･判･表)植物の育ち方について調べる中で、植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件についての予想や仮設を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)植物の成長と環境との関わりについて見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、	○植物の発芽、成長、結実	○植物の発芽、成長、結実についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて、植物の発芽、成長、結実の条件や、その条件が植物の種類によって違いがあるかなどを調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○植物の発芽、成長、結実について、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。 ○植物を育て、成長過程を記録する。
3学期	9	(知及技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることがわかる。【高２段階】 (思判表力)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現することができる。【高２段階】 (学･人)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養うことができる。【高２段階】	(知・技) 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること、生物の間には、食う食われるという関係があること、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解している。 (思･判･表)生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、表現しようとしている。 (主学)生物と環境との関わりについて調べ、生命を尊重する態度を養おうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、	○生物と環境	○生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることについて、動画を視聴する。 ○生物の間には、食う食われるの関係があることを動画を視聴し学ぶ。 ○動物や植物の生活を観察したり、資料を活用し、多面的に調べる。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○生物と環境の関わりについて、クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察			

令和7年度 美里分教室　1年（Ⅱ課程　A類型）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年　美里分教室　　１６名		MOUSA1　教育芸術社

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。（高等部１段階） (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。（高等部１段階） (学･人)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	【歌唱】 (知及技）曲想と音楽の構造との関わりを理解し、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身につけることができる。（高１段階　歌唱（イ）㋐（ウ）㋑） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。（高１段階　歌唱（ア）） (学･人)曲想から感じ取ったことを共有・共感しながら歌唱表現について考えることができる。(高等部１段階)	(知・技）曲想と音楽の構造との関わりを学び、呼吸や発音に気を付けながら歌っている。(高1段階) (思･判･表)歌唱表現の知識や技能を得たり生かしながら曲想にあった表現方法を工夫している。(高1段階) (主学)曲想から感じ取ったことを話し合い、互いの考えを共有・共感しながら、歌唱表現へ生かそうとしている。	『発音を意識しながら発声しよう』 『曲想を感じて歌おう』	A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋐範唱を聴いたり，ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能。 ㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ・発声練習 ・校歌 ・「ヴォイストレーニング」 ・「翼をください」 ・「野ばら」 『曲想を感じて歌おう』 ・「いのちのリレー」 ・「月桃」 ①平和学習と関連付けながら、曲の背景を学び、互いが感じた曲想について話し合い、表現を工夫する。（主学に関する活動）
		【器楽】 (知及技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。（高１段階：器楽（イ）㋑、（ウ）㋑） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。（高１段階） (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。(高2段階) (主学）仲間とともに練習に取り組んだり、表現方法を話し合うなど、表現活動に楽しんで取り組んでいる。	『リズム演奏を楽しもう』	『リズム演奏を楽しもう』 ・基本的な動きを覚え、曲に合わせて演奏する。（知及技に関する活動） ・曲想や曲の速度に合わせた動きをグループで考える。(思判表力に関する活動)（主学に関する活動） 「風になりたい」「新時代」など
		【身体表現】 (知及技）曲想と体の動きとの関わりを理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身につけることができる。（高１段階身体表現（イ）㋐（ウ）㋐） (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。（高１段階身体表現（ア）） (学･人）自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽表現を生み出すことができる。（高等部１段階）	(知・技）曲想と体の動きとの関わりを学び、様々な動きや友達との動きを組み合わせて表現している。(高1段階) (思･判･表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫している。(高1段階) (主学)自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽表現を生み出そうとしている。	『手話表現を体験しよう』	『手話表現を体験しよう』 「いのちのリレー」「校歌」 ・手話表現と歌詞の関わりについて ①手話表現と歌詞を表現することは関連していることを学ぶ。 （思判表力に関する活動） ・曲に合わせて表現する ②歌詞を理解しながらどのように表現すると伝わりやすいかを考えるきっかけをつくる。 （知及技に関する活動）（主学に関する活動）

		【鑑賞】 (知及技）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。（高１段階鑑賞（イ）） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。（高１段階鑑賞（ア）） (学･人）自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽のよさや美しさを聴くことができる。（高等部１段階）	(知・技）曲想及びその変化がどのように表現されているかを感じ取りながら鑑賞している。(高1段階） (思･判･表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わっている。(高1段階） (主学)自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽のよさや美しさを感じ取ろうとしている。	『平和について作られた曲の変遷を知ろう』	『平和について作られた曲の変遷を知ろう』 ・「月桃」 ・「いのちのリレー」 ・「さとうきび畑の唄」など ①同じテーマでも時代や作った人の思いで様々な表現があることを感じ取る。 （知及技に関する活動）（思判表力に関する活動） ②曲を聴いて感じたことについて発表する。 （主学に関する活動）
2学期	14	【歌唱】 (知及技）曲想や歌詞の内容との関わりを理解し、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身につけることができる。 （高１段階　歌唱（イ）㋐（ウ）㋑） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。（高１段階　歌唱（ア）） (学･人）曲想から感じ取ったことを共有・共感しながら歌唱表現について考えることができる。	(知・技）声の音色や響きと発声との関わりを理解し、自然で無理のない響きのある声で歌っている。(高1段階） (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。(高1段階） (主学)曲想から感じ取ったことを話し合い、互いの考えを共有・共感しながら、歌唱表現へ生かそうとしている。	『声の音色や響きを理解して歌おう』	『日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう』 ・「ふるさと」 ・「語り合おう」 ①自然な発声や声の音色や響きを感じて歌う。 （知及技に関する活動）（思判表力に関する活動） 「各国の歌曲」 ②曲想に合った声の響かせ方について様々な発声や歌い方があることを知り、それぞれの言語の違いを感じる。 ・「帰れソレントへ」 （主学に関する活動）
		【器楽】 (知及技）曲想と音楽の構造との関わりを理解し、範奏を聴きながら楽譜を見て演奏する技能を身につけることができる。（高１段階器楽（イ）㋐（ウ）㋑） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。（高１段階器楽（ア）） (学･人）曲想から感じ取ったことを共有・共感しながら器楽表現について考えることができる。	(知・技）多様な楽器の音色や奏法との関わりを理解し、伴奏に合わせて合奏している。(高1段階） (思･判･表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。(高1段階） (主学)曲想から感じ取ったことを話し合い、互いの考えを共有・共感しながら、器楽表現へ生かそうとしている。	『楽器の奏法を体験しよう』	『楽器の奏法を体験しよう』 ・三線の各部名称について ①実際に楽器に触れながら各名称の確認し、テストを行う。 （知及技に関する活動） ・三線の奏法について、開放弦の練習 ②開放弦の名称を説明し、教師の範奏を聴きながら奏法を身につける。（知及技に関する活動） （思判表力に関する活動） 『演奏してみよう』 「かんから三線うむしるむん」「安波節」「さとうきび畑の唄」 ③開放弦のみの演奏を曲に合わせて取り組む。どのような奏法がふさわしいか話し合う。（主学に関する活動）
		【身体表現】 (知及技）曲想と音楽の構造との関わりを理解し、速度やリズムを曲想に合わせて表現する技能を身につけることができる。（高１段階身体表現（イ）㋐（ウ）㋐） (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。（高１段階身体表現（ア）） (学･人）自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽表現を生み出すことができる。	(知・技）曲想と音楽の構造との関わりを理解し、速度やリズムを感じながら曲想に合わせて表現している。(高1段階） (思･判･表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫している。(高1段階） (主学)自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽表現を生み出そうとしている。	『指揮に挑戦しよう』	３拍子の曲「聖夜」 ４拍子の曲「ジングルベル」 「交響曲第９番（ベートーヴェン）」 など ①音楽を形づくっている要素（テクスチュア）を理解し、３拍子と４拍子の指揮を体験する。 （知及技に関する活動）（思判表力に関する活動） ②音楽の動きと体の動きとのつながりを体感し、表現する。 （思判表力に関する活動）（主学に関する活動）

		【鑑賞】 (知及技）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。（高１段階鑑賞（イ）） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。（高１段階鑑賞（ア）） (学･人）自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽のよさや美しさを聴くことができる。（高等部１段階）	(知・技）音楽の構造を知り、曲想との結びつきを感じながら鑑賞している。(高1段階） (思･判･表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを味わって鑑賞している。(高1段階） (主学)自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽のよさや美しさを感じ取ろうとしている。	『指揮者の動きと音楽のつながりを知ろう』	「オーケストラの曲」「合唱曲」「吹奏楽曲」 ①小編成～大編成での指揮や器楽、合唱など、様々な指揮法について鑑賞する。 （知及技に関する活動）（思判表力に関する活動） ②指揮の役割について感じたことを発表する。 （主学に関する活動）
３学期	9	【歌唱】 (知及技）曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身につけることができる。（高１段階　歌唱（イ）㋐（ウ）㋑） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。（高１段階　歌唱（ア）） (学･人）曲想から感じ取ったことを共有・共感しながら歌唱表現について考えることができる。	(知・技）曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、互いの歌声や伴奏に合わせて歌っている。(高1段階） (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。(高1段階） (主学)曲想から感じ取ったことを話し合い、互いの考えを共有・共感しながら、歌唱表現へ生かそうとしている。	『曲想を感じ、思いを込めて歌おう』	「卒業式の歌」「校歌」 ①曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、どのように表現するか互いに話し合う機会を設ける。 （知及技に関する活）（思判表力に関する活動） ②共通のイメージをもって歌唱表現を工夫して歌う。 （思判表力に関する活動）（主学に関する活動）
		【創作】 (知及技）音の響きなど、音の重ね方の特徴を理解し、創意工夫を生かした表現で、条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身につけることができる。（高１段階創作（イ）㋐㋑（ウ）） (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。（高１段階創作（ア）） (学･人）自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽表現を生み出すことができる。	(知・技）音の響きや音の重なり等から生み出される特徴を理解し、条件に沿った音の選択や組み合わせの面白さを感じている。(高1段階） (思･判･表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。(高1段階） (主学)自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽表現を生み出そうとしている。	『コード進行に合わせてメロディーをつくろう』	「Ｊ－ＰＯＰ」曲より ①コード進行（カノン進行）を学び、それぞれの構成音に合わせた音の組み合わせ方やつなげ方を試しながら、自分の表したいイメージに合うメロディーをつくる。 （知及技に関する活動）（思判表力に関する活動） （主学に関する活動）
		【鑑賞】 (知及技）曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。（高１段階鑑賞（イ）） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。（高１段階鑑賞（ア）） (学･人）自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽のよさや美しさを聴くことができる。（高等部１段階）	(知・技）曲想やその変化、音楽の構造との関わりからどのように表現されているかを感じ取り、音楽の特徴を知ろうとしている。(高1段階） (思･判･表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって鑑賞している。(高1段階） (主学)自らの考えや互いの気づきを共有・共感しながら音楽のよさや美しさを感じ取ろうとしている。	『音楽を形づくっている要素の注目しよう（標題音楽）』	「動物の謝肉祭（サン＝サーンス）」 「展覧会の絵（ムソルグスキー）」 「白鳥の湖（チャイコフスキー）」など ①曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに注目しながら曲を聴く。 （知及技に関する活動）（思判表力に関する活動） （主学に関する活動）
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、ワークシートの記述、演奏への取り組み、活動の様子など、各学期毎に評価を行う。			

令和　7年度 高等部 美里分教室　1年（　　Ⅱ課程A類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1年6組　8名 1年7組　8名		高校生の美術1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。（高等部１段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技）形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表している。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり鑑賞している。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近なものを描く	身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩の基礎	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を広げる。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な素材と立体表現	身近な素材の特性を理解し、表したいイメージを基に校内や自然の中から素材を集め、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。 また身近な生活の中での立体表現を鑑賞する。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの班による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫する。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表している。 (思・判・表)画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫している。 (主学)映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組むんでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○アニメーションの手法	テーマを基に、絵コンテを描くなどして画面の変化のさせ方や速度などを検討し、表現効果や伝達効果を工夫して、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫してアニメーションを制作する。
3学期	8	(知及技）作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ)）	(知・技）作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思･判･表)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学)実物の大きさならではの迫力や先生さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り､表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)） (学･人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）	(知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉えている。 (思･判･表)作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○鑑賞 （日本の美術）	複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。

留意点 引継ぎ等	【通年】 ・校外学習(学･人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ)）

令和７年度 高等部 美里分教室　１年（　Ⅱ課程・Ａ類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
３／105	1学年　　１６名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。（高１段階） (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。（高１段階） (学･人)　各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして主体的に運動する態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技)　体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり，動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。（高１段階） (思判表力）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすること。（高１段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり，仲間と考えたりしたことを他者に伝えてい、。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、礼） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整列、「前ならえ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス） ②体力を高める運動（2分時間走のセット、縄跳び） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び ※4/18予定　体力テスト美里高と一緒に実施(５種目) 下記種目以外は授業で実施。 ①立ち幅跳び②反復横跳び③長座体前屈 ④上体起こし⑤ハンドボール投げ
	10	(知及技）球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。（高１段階） (思判表力）球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バレーボール	オリエンテーション ・学習の進め方・見通し　ルールの説明 ○ パス練習 ・オーバーハンドパス　・アンダーハンドパス　・円陣パス ○サーブ練習 ・アンダーハンドサーブ・サイドハンドサーブ・フローターサーブ ○簡易ゲーム ・キャッチなし　・バウンドあり ・ワンバウンドゲーム（６対６）２本目のみキャッチあり ※4/25予定　新入生歓迎球技大会に向けて全学年取り組む
	16	(知及技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力）水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えるている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ	①ストリームラインの習得 ②バタ足、手の掻き方 ②ストリームラインの習得 ②手足の動き ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング）
2学期	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。（高１段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法、中段突き、上段突き、中段蹴り、中段受け、上段受け、下段受けの基本動作の習得。簡易な形動作の習得。 ①基本的な動作から相対しての簡易な攻防の仕方の習得。
	12	(知及技）ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすることができる。（高１段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに，技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①創作ダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き ②ボックスステップ等のダンスの基本的な動作を覚え、興味関心のある曲や動画から簡易なダンスを楽しんで踊る。

2学期	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ②バトンパス（オーバーハンドパス） ③ペース配分の習得。自己に適したペースでゆっくり長く走る。 ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ○10/22　体育祭 ○11月21日：特体連体育大会有り　※選手以外は応援参加
3学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。（高１段階） (思判表力）球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階） (学･人）球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。（高１段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ティーボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防） ○2/6：特別支援学校体育大会 ※コース下見や試走予定（２回程度） ※選手以外は応援参加
	9	(知及技） 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。（高１段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。（高１段階）	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①健康の考え方 ②健康の保持増進と疾病の予防 ③精神の健康 ④交通安全	①健康の考え方、健康の成り立ちと取り組み、私たちの健康の姿 ②生活習慣病の予防、食事、運動、休養 ③欲求と適応機制、心の健康 ④交通事故を防ぐために
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。 ・校外学習（生涯スポーツ）			

令和七年度 美里分教室　１年（Ⅱ課程A類型）　職業　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	1年　16名		ひとりだちするための　進路学習

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解するとともに、生産や生育活動に係る技能や職業生活に係る技能を身に付ける。（高1段階） (思判表力) 　将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高１段階） (学･人) 　生産や生育活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際的な場面において活用し、生活をよりよくしようと工夫する態度を身に付ける。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	96	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高１Aア（ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高１イ（ア）ウ】 (知及技) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高１イ（ア）ウ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高1Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高１Aア（イ）】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・農機具の名称と使用方法が分かり、安全に道具を扱おうとしている。 (主学) ・自分の役割が分かり、皆と協力して作業をしている。 (思･判･表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・勤労と協働 ・授業の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (知及技) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 (学・人) ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
2学期	112	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高１Aア（ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高１イ（ア）ウ】 (知及技) ・道具を適切に扱い、野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる。【高１イ（ア）オ】 (学・人) 各行事の意義を理解し、皆と協力して作業に取り組むことができる。【高1Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。（高１Aイ（イ）ア　）	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・野菜の収穫調整袋詰めにおいて、道具を適切に扱い、丁寧な作業を行おうとしている。 (主学) ・各行事の意義の理解に努め、皆と協力して作業に取り組もうとしている。 (思･判･表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・デュアルシステム型実習 ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・授業の振り返り ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (知及技) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 (学・人) ・校外販売や企業実習を通し、将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて主体的・実践的な態度を養う。 (思判表力) ・授業や2学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
3学期	72	(知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ。【高１Aイ（ア）ウ】 (学・人) ・次年度栽培する作物の種まき・畑の整備を通して、事前準備の重要性に気付く。【高１Aア（ウ）】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価を発表する。（高１段階）	(知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉遣いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えて行動している。 (主学) ・１年の締めくくりとして、農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動している。 (知・技) ・必要な画像等を取り入れ、他者に伝わりやすいように工夫している。 (思判表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌（1年を振り返って）に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・１年間のまとめ	(知及技) ・接客用語など言葉遣いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 (学・人) ・野菜や草花の種まきや育苗、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 (知及技) ・画像を取り込みや文章を入力し、今年度学んだことをまとめる。 (思判表力) ・１年間を振り返り自己評価し、皆の前で発表を行う。

留意点 引継ぎ等	【通年】 ・校内／校外販売：（知及技）接客用語を学び、丁寧に対応することができる。（高1Aイ（ア）ア）・接客用語が使える。自分の役割が分かり、積極的に取り組むことができる。 ・校外学習（デュアルシステム型実習、農場見学、地域へ野菜の提供）：（学・人）社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を育てる。（高1Aア（イ））・農家の栽培方法や流通の仕組みを知る。・主体的に他者の役に立とうとする気持ちを育む。

令和７年度　美里分教室　１年（Ⅱ課程Ａ類型）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年　Ⅱ課程・A類型①8名 1年　Ⅱ課程・A類型②8名	仲村加奈子	survive!!家庭基礎 （教育図書）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)自分の成長と家族や家庭生活との関わりがわかり、家庭生活が家族の協力によって営まれている事がわかる。(高1段階：Aｱ(ｱ)) (思判表力)家庭生活に必要なことや自分の果たす役割に気づき、それらを他者に表現することができる。(高1段階：Aｲ(ｲ)) (学･人)家庭生活での課題を見つけ、家庭生活の充実向上を目指し実践することができる。(高1段階：Aｲ(ｲ))	(知･技）自分の成長に気づき、そこには家族や学校･地域社会など色々な人が関わっていることをわかろうとしている。 (思･判･表)家庭の仕事について、自分の役割に気付き、実践発表しようとしている。 (主学)家庭生活の課題を見つけ、家庭生活に活かそうと実践している。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【家族・家庭生活】 ・生涯の生活設計 ・自分の成長と家族 ・家庭生活での役割と地域との関わり	・自分のこれまで成長してきた過程を振り返り、自分の成長や生活が家族や家庭生活に支えられてきたことを確認する。 ・ライフステージに応じた発達課題を確認する。 ・自立の意味や自立の種類について学習し、自立するために今何ができるかを考える。
		(知及技)高齢者の生活の特徴、身体的特徴を理解することができる。（高2段階：AI(ｱ)） (思判表力)高齢者とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階：AI(ｲ)) (学･人)高齢者と接するには通常とは異なる配慮が必要になることが分かり、適切に接しようとすることができる。（高2段階：AI(ｲ)）	(知･技)高齢者の生活の特徴、身体的特徴を理解している。 (思･判･表)高齢者とのよりよい関わり方について考え、場面に応じた接し方ができる。 (主学)高齢者とよりよい交流ができるよう、接し方を考え工夫する姿勢が見られる。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【高齢期の生活と福祉】 ・高齢期の理解 ・地域で支える高齢社会	・高齢期の身体的変化や精神的変化について、劇を通して体験する。 ・高齢期の健康（食事）について学習し、介護食の試食を通してその特徴を確認する。 ・高齢者疑似体験キットを利用して、高齢者の不自由さを体験する。 ・車イスを使用する側、操作する側両方の体験をすることで、安心安全な操作について考える。 ・動画等を活用して認知症について学習し、よりよい対応について話あう。

2 学 期	28	(知及技)場に応じた日常着の着方について理解することができる。(高1段階：Bｳ(ｱ)) (思判表力)日常着の着方について考え、気候や場に応じた衣服を選択することができる。(高1段階：Bｳ(ｲ)) (学･人)目的に応じた縫い方について考え、工夫することができる。（高1段階：BI(ｲ))	(知･技)TPOに合った服装を理解し、選択している。 (思･判･表)気候にあわせて服装を選択し、実践している。 (主学)縫う部分や目的に応じた縫い方があることを理解し、よりよい仕上がりになるよう工夫し実践することができる。 [評価資料] ワークシート、活動の様子、制作物	【衣生活と健康】 ・衣服の機能 ・衣服の選択 ・布を用いた製作	・目的に応じた着用（活動内容・季節・TPOなど）を理解する。 ・目的に応じた着用や個性を生かす着用がどのような印象を与えるか、お互いの考えを発表する。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解する。 ・縫う部分や順番を考え、「名刺入れ」を作成する。
3 学 期	18	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(高1段階：Bｱ(ｱ)) (思判表力)健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。(高1段階：Bｱ(ｲ)) (学･人)食生活と健康について，課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(第1段階：Bｲ(ｱ))	(知･技)食品には栄養素が含まれていることがわかり、食事が体に与える影響について理解することができる。 (思･判･表)自分の食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養バランスを考えた食材選択をすることができる。 (主学)健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【食生活と健康】 ・食事の役割 ・栄養素の働き ・食品と栄養素 ・簡単な日常食の調理	・健康と食生活には密接な関係があることを確認する。（食事の役割） ・五大栄養素の働きや含まれる食品について確認する。 ・栄養バランスの良い献立について学習し、自分の食習慣の課題を考える。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。 ・調理器具の正しい取り扱いや調理室の使用法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。「おにぎらず・ピザトースト」
留意点 引継ぎ等		・調理実習は、美里高校と重ならないように時期を考慮し年間を通して行う。 ・被服実習は、調理実習と重ならないように時期を考慮して行う ・買い物学習は、感染症等の状況により時期を変更する可能性がある。			

令和７年度 美里分教室　１年（Ⅱ課程A類型）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
１単位（35）	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型　16名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。　（高１段階） (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。（高１段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期	12	(知及技）英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア(ア）㋐) (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） (学･人)言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高１段階）	(知・技）英語の音声を聞いて発音の練習をしたり、意味を考えながら丁寧に綴りを書くことができる。 （思・判・表）学んだ英語表現を用いて自分に関することを伝えようとしている。 （主学）場面に即した簡単な質問をしようとすることができる。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元１：あいさつ Greeting ・自己紹介	・初めて会った時や日常のあいさつを確認する。 ・定型文を用いて自己紹介カードを作成し、交換をしながら自己紹介のやり取りをする。 （名前、出身中学校名など） ・他者の自己紹介を聞く。
				単元２：数 Numbers	・数字の読み方(1～20)や数を尋ねる表現“How many ～?”に慣れる。 ・ビンゴ活動で数を聞いたり伝えたりする。 ・インタビューゲームを通して数を尋ねる。
				単元３：家族 Family	・絵カードを活用し、家族メンバーの表現に親しむ。 ・絵を用いて、”This is ～”の表現を使い家族を紹介をする。
				単元４：色 Colors	・折り紙を使ったビンゴ活動などで色表現を理解する。 ・〝I like ～. / I don’t like ～.”の表現を用いて自分の好きな色を伝える。
２学期	14	（知及技） 英語の音声を聞いて話したり，文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。（高１段階：英語の特徴ア(ア）㋐） （思判表力）身近で簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句や表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階：イ（ア）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技） 形や食べ物、文化等に関する語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表） 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、自分に関することを書いたり、表現しようとしている。 (主学） 外国語を使おうとしたり、外国と自国の文化の違いをを理解しようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元５：夏休みについて Summer Vacation	・定型文を参考に、簡単な語句を使って夏休みに行った場所や見たものなどについて発表する。 ・夏に関する簡単な単語に慣れる。
				単元６：形 What shape is this?	・曲や動画で形の表現を確認したり、絵カードを活用して表現に慣れる。 ・形の表現を聞いて理解する。 ・形を問う質問をする。
				単元７： オータムフェスティバル Autumn Festival	・外国で行われているハロウィンの様子を知り、外国の行事の様子と日本の行事の様子の違いを学ぶ。 ・ハロウィンに関する語句や表現に触れる。
				単元８：食べもの What would you like?	・歌やチャンツなどを使い、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ・〝I want to eat / drink/ have～.”の表現を使い、食べたいものや飲みたいものを伝える。 ・〝What would you like?”〝I’d like ～.”などの丁寧な表現に慣れる。 ・外国から来る食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。
				単元９：ホリデイシーズン Holiday Season	・外国の年末年始の過ごし方を知り、クリスマスカードづくりを行う。 ・メッセージの意味を理解しながら文字を綴る。
３学期	9	（知及技） 英語の音声や文字も，事物の内容を表したり，要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くこと。（高１段階：英語の特徴ア(ア）㋑） （思判表力） 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。（高１段階：イ（イ）） （学・人） 外国の行事について知り、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。（高１段階）	(知・技） 新年や干支等をはじめ、各単元で学ぶ語句や会話文を読み、聞きして、その意味や内容を理解している。 (思・判・表） 簡単な語句や基本表現を真似て発音したり、感謝の気持ちを書き綴ろうとしている。 (主学） 外国語を使おうとしたり、外国の文化の理解を深めようとしている。 評価資料：授業プリント（振り返りシート）、提出物、活動の様子	単元10:ハッピーニューイヤー Happy New Year ・動物	・外国の新年の挨拶や、過ごし方について学ぶ。 ・新年の干支（Zodiac animals)や動物について、絵カードやクイズを通して知る。 ・“What is this year’s eto?”の質問に、”It is ～.”の表現を使って答える。 ・年号の伝え方を知り、理解する。
				単元11:バレンタインデー Valentine’s day	・クイズを通して、外国のバレンタインデーの過ごし方について知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。
				単元12:１年間のまとめ	・既習語句・表現のふりかえり ・Thank you cardを作成し、友人やお世話になった方へ感謝の気持ちを表す。 ・送る相手に適した表現を知る。
留意点 引継ぎ等	※指導内容（思判表力）のウ①言語活動に関する事項の（ア）～（オ）（五つの領域）に関しては、全単元を通して取り組む。				

令和 7年度 美里分教室　1年（ Ⅱ課程A類型 ）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	1学年　１６名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。（高１段階） (思判表力）　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。（高１段階） (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途，操作方法及び仕組みを知り，情報と情報技術を活用して問題を知り，問題を解決する方法を身に付けることができる。（高1段階Aア（ア）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技) ・メディアリテラシーについて考えている。 ・PCの簡単な操作（電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作）をしている。 ・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。 (思･判･表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。 (主学) ・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング	情報とメディア ・情報とメディアという言葉について考えよう。 情報の偏りと評価 ・匿名性・信憑性 ・マスメディア ・メディアの利用 情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・情報とメディアという言葉について考える。 ・情報の偏りと評価（情報操作、信憑性）についてデマメール等の事例を活用し学習する。 ・メディアリテラシー（情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力）について考える。 ・PCの基本的な操作を学ぶ。（電源のオンオフ、各種アプリの操作） ・検索エンジンの利用 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。 ・正確な情報発信のために５W１Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
2学期	7 7	(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について，その変遷を踏まえて知ることができる。（高1段階　Bア（ア）） (思判表力) ・ 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。（高1段階　Bイ（ア）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技) ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。 (思･判･表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。 (主学) ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報 ・ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト（SNS、動画共有サイト等）	・CMCでは個人を特定する情報を隠すことが可能…匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法（誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。） ・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。 ・コンピュータグラフィクス、バーチャルリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。 ・正確な情報発信のために５W１Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
3学期	5 4	(知及技) ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。（高1段階　〔ア（ア）） (思判表力) ・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。（高1段階　〔イ（ア）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技) ・ユーザID、パスワードを入力することができる。 ・情報セキュリティポリシーの必要性を理解している。 (思･判･表) ・コンピュータウイルスへの対策、ネットワーク詐欺に遭わないための注意点を理解している。 (主学) ・犯罪に巻き込まれたり被害に遭った場合、保護者や専門家に相談する等、対処方法を理解している。 〔評価資料〕 ・活動の様子 ・作品、提出物	・不正アクセスによる問題 ・情報セキュリティを高める技術 ・情報セキュリティを高める技術 ・ファイアウォール ・二重認証	・ユーザID、パスワードの入力方法。「」：；記号の入力方法を学習する。安全で管理しやすいパスワードを考える。 ・情報セキュリティポリシー（企業や学校が持つ情報資産を脅威から守るために設けられた一種の規則、データの暗号化、アクセス制限や利用時間の制限等） ・ネットワーク犯罪の被害者にならないために犯罪の手法を知る。犯罪に巻き込まれそうになったとき保護者や先生、専門機関に相談する。 ・コンピュータウイルスに感染した例を学習し、感染対策の方法と、感染した場合の対処方法を学ぶ。 ・正確な情報発信のために５W１Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
留意点					

令和　7　年度 美里分教室　　1年（　Ⅱ　課程　A類型　）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型　16名		新訂　新しい道徳　3

年間目標		(A：自分自身に関する事） 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事） 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事） 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり） 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）〈校外学習〉 ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和7年度　美里分教室　1年（Ⅱ課程 A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1単位（35時間）	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期実習　事前学習 ○前期実習　事後学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。
2学期	14	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 前期実習での反省点を踏まえながら後期実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 前期実習での反省点を踏まえながら、後期実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○後期実習　事前学習 ○後期実習　事後学習 ○卒業生講話	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。 ○美咲の卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。
3学期	9	(知及技) 就労の意義を理解することができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味のある仕事分野について考えることができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」など多義的であることを理解しようとしている。 (思・判・表) 自分の進路や興味のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○学習発表会 ○進路学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、学習発表会の準備をする。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。 ○就労について学ぶ。
留意点引継ぎ等					

令和7年度 美里分教室　1年（Ⅱ課程A類型）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室1年 Ⅱ課程A類型　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力）集団や事故の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・健全な発達や健康の維持を目指す。 (学・人) ・集団活動の役割や意義を理解し、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを通して人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (知及技）(学・人) ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を身に付ける。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付け、ルールやマナーを学ぶことができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式・終業式 ・身体測定 ・新入生歓迎球技大会 ・遠足 ・生徒総会 ・火災避難訓練 ・余暇活動（校外学習） ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の参加する。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。 ・球技大会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・遠足に参加し、クラス間の親睦を図り、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・生徒会運営に係る決算報告と予算案の確認、意見要望等について考える。 ・火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・ボーリングやカラオケ等余暇活動を通して余暇の過ごし方について考える。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付け、ルールやマナーを学ぶことができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式、終業式 ・地震避難訓練 ・体育祭 ・生徒会役員選挙 ・特体連体育大会 ・余暇活動（校外学習） ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・各種目、集団演技等に参加し、自己の役槍を果たし、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・選挙について学ぶ。 ・記録への挑戦や成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・ボーリングやカラオケ等余暇活動を通して余暇の過ごし方について考える。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付け、ルールやマナーを学ぶことができる。	・始業式、終了式、卒業式 ・余暇活動（校外学習）	・始業式、修了式、卒業式に参加する。 ・ボーリングやカラオケ等余暇活動を通して余暇の過ごし方について考える。

3 学 期		(学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (思判表力)(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることを目指すことができる。 (思判表力) ・卒業する３年生への感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 (知及び技、思判表力、学・人)	・特体連駅伝競走大会 ・３年生を送る会 ・個人目標、学期のまとめ	・成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関(路線バス)を使う機会をもつ。 ・３年生を送る会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流を図る。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
留意点 引継ぎ等		○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。(思考・判断・表現) ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。(思考○判断○表現、学びに向かう人間性等) ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄(自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等)に関する学習の実施。		

令和７年度 高等部　２年（　Ⅱ課程　A類型　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	2学年　人数等　　16名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高２段階)

(思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め､自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高２段階）

(学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技）相手を見て話したり、聞いたりするとともに､他者の話を簡単にまとめることができる。【高１段階ア（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高１段階Ｂア】 (学･人)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高2段階】	(知・技）相手を見て話したり、聞くことができ、他者の話をまとめている。 (思･判･表)自分についての情報を書き出し、言葉にしている。 (主学)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしてる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。（知及び技に関する内容） ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容） ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1段階ウ（ウ）】 (思判表力)文章を読んで理解したことにい基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高２段階Ｃ（オ）】 (学･人)幅広く読書に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。 (主学)幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・読書活動	・公共施設として図書館を正しく利用することができる。(知及び技に関する内容） ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。（思判表力に関する内容） ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。（学・人に関する内容）
	9	(知及技）日常よく使われる丁寧語を理解し使うことができる。【高1段階ア（カ）】 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階Ａエ】 (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）日常でよく使われる丁寧語を理解し使うことができている。 (思･判･表)正しい丁寧語を用いて、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝えようとしている。	単元名「敬語をつかおうⅠ」 ・丁寧語をつかおう ・敬語の種類を見分けてみよう	・丁寧語を理解し、それを活用して電話でのやりとりができる。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手へ言葉で伝えることができる。（思判表力に関する内容） ・丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、活用することができる。（学・人に関する内容）
	6	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。【高2段階イ（ア）】 (思判表力)読んで感じたことやわかったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。【高２段階Ｃオ】 (学･人)言葉のよさを認識し、新聞に親しみながら、思いや考えを伝えることができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思･判･表)読んで感じたことを発表し、他者の感じ方の違いに気づくことができている。 (主学)言葉がもつよさに気づき、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・ﾚｯﾂ･ﾁｬﾚﾝｼﾞ･NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容） ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。（思判表力に関する内容） ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）丁寧な言葉の書き方を理解することができる。【高1段階】 (思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Ｂ（ア）】 (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技）お礼状の書き方を理解している。 (思･判･表)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。 (主学)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。	単元名「丁寧な言葉で文章を書こう」 ・丁寧な言葉の効果を知ろう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・就業体験や校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。（学・人に関する内容）

2学期	12	(知及技）生活に身近な方言や地域のことわざ（黄金言葉）の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。【高１段階ウ（ア）】 (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【高１段階A工】 (学･人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができている。 (思･判･表)相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おうⅡ	・身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。（知及び技に関する内容） ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。（思判表力に関する内容） ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。（学・人に関する内容）
	22	(知及技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高１段階ア（キ）】 (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述を基に捉えることができる。【高１段階C(ア】 (学･人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができている。 (思･判･表)登場人物の行動や心情について叙述を基に捉えている。 (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれ、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・注文の多い料理店 ・徒然草	・本文を読み、場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。（知及び技に関すること） ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。（思判表力に関すること） ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）お礼状の意義や書き方を理解することができる。【中１段階ウ（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えることができる。【高１段階B工】 (学･人)言葉がもつよさを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高１段階】	(知・技）お礼状の意義や書き方を理解し、年賀状を書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「丁寧な言葉で文章を書こう」 ・季節の挨拶を使おう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。（学・人に関する内容）
３学期	5	(知及技）目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高２段階ウ（ウ）イ】 (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高１段階Bウ】 (学･人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。【高１段階】	(知・技）目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができている。 (思･判･表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高１段階イ（ア）】 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高１段階C(オ】 (学･人)国語を大切にして、思いや考えを伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (主学)国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「説明的な文章を読もう」	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	10	(知及技）話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。【高１段階A（ウ）】 (思判表力)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【高１段階Bウ】 (学･人)自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。【高１段階】	(知・技）話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができている。 (思･判･表)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「挨拶文を考えよう」 ・場面に応じた挨拶 ・改まった文章を書こう	・一年間を振り返り様々な行事を仮定し、場面に応じた挨拶文を考える。（知及び技に関する内容） ・自分の考えと事例との関係を明確にし、挨拶文の書き方を工夫する。（思判表力に関する内容） ・考えた挨拶を工夫して発表する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等	【通年】 ・校外学習（校外活動）：（学・人）社会で生活する人々とのやり取りを通して、自分の気持ちを言葉にすることの重要性や、言葉の受け取り方が人によってさまざまであることに気づき、言葉を通した他者との交流に喜びを見出すことができる。 ・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。				

令和７年度 美里分教室　２年（Ⅱ課程A類型）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型　16名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、情報化社会について理解するとともに、情報を適切に収集し活用する技能を身につけることができる。(高２段階) (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現することができる。(高２段階) (学･人) 社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、将来を担う国民としての自覚を養うことができる。(高2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	8	(知及技) 各都道府県の県庁所在地を知ることができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (思判表力)日本の地域区分を的確に表現することができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (学･日本の伝統や文化を調べることができる。(高2段階：オ（イ）㋑)	(知・技) 各都道府県の特徴や名産を理解できる。 (思･判･表)日本の気候や領土から日本の特色を考えている。 (主学)日本の伝統や文化を調べ、まとめている。	【都道府県】 ・都道府県の県庁所在地 ・日本の地域区分 ・日本の伝統や文化 ・単元のまとめ	・都道府県の県庁所在地について日本地図で確認する。(知及び技に関する内容) ・日本の地域区分や気候の特徴について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・日本の伝統や文化について調べ、プリントにまとめる。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)北海道の概要について知ることができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (思判表力)北海道の気候などの特徴から人々の暮らしを考えたり、活発な産業を調べることができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (学・人)北海道の特産品や景勝地などを調べることができる。(高2段階：オ（ア）㋐)	(知・技)調べ学習を通して、北海道の概要について知ろうとしている。 (思･判･表)北海道の気候などの特色から北海道の人々の生活の様子について考えたり、活発な産業について調べている。 (主学)北海道の各県の特産品や景勝地などを調べてまとめている。	【北海道地方】 ・北海道の概要 ・北海道の歴史とアイヌ語 ・北海道の人々の暮らしと産業 ・単元のまとめ	・北海道の概要について調べ、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・北海道の歴史とアイヌ語について調べ、北海道の歴史や文化について考える。(思判表力に関する内容) ・北海道の人々の暮らしと産業について調べ、特産品などを確認する。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)九州地方の概要について知ることができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (思判表力)沖縄県の気候などの特色から人々の生活の様子について考えることができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (学･人)九州地方の各県の特産品や景勝地などを調べることができる。(高2段階：オ（ア）㋐)	(知・技)調べ学習を通して、九州地方の概要について知ろうとしている。 (思･判･表)沖縄県の気候などの特色から沖縄県の人々の生活の様子について考えている。 (主学)九州地方の各県の特産品や景勝地などを調べてまとめている。	【九州地方】 ・九州地方の各県名とその概要 ・沖縄県の気候と人々の生活 ・沖縄県との比較 ・単元のまとめ	・九州地方の各県名とその概要について調べプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・沖縄県の気候と人々の生活について考え、プリントにまとめる。(思判表力に関する内容) ・他県と沖縄県について比較し、沖縄県の特徴について考える。(学・人に関する内容)
2学期	9	(知及技)関東地方の概要について知ることができる。(高2段階：オ(㋐)ア) (思判表力)東京都の気候の特徴から沖縄県との違いについて考えることができる。(高2段階：オ（ア）㋐) (学・人)東京都の景勝地を調べることができる。(高2段階：オ（ア）㋐)	(知・技)調べ学習を通して、関東地方の概要について知ろうしている。 (思･判･表)修学旅行先と沖縄の違いを考えている。 (主学)東京都の景勝地を調べてまとめている。	【関東地方】 ・関東地方の各県名とその概要 ・東京の気候の特徴 ・浅草寺と代々木公園の概要 ・修学旅行で行きたいところをリストアップしよう！ ・単元のまとめ	・関東地方の各県名とその概要について調べプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・東京の気候の特徴について確認し、沖縄県との違いについて考える。(思判表力に関する内容) ・浅草寺と代々木公園の概要について調べプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・修学旅行で行きたいところを調べ、パンフレット作成をする。(学・人に関する内容)
	9	(知及技)法や規範の役割を理解することができる。(高2段階：ア（イ）㋐) (思判表力)法や規範の意義について考えることができる。(高2段階：ア（イ）㋑) (学･人)新しい人権とはなにか調べることができる。(高2段階：ア（イ）㋐)	(知・技) 法や規範の役割を理解している。 (思･判･表)法や規範の意義を考えている。 (主学) 新しい人権についてiPadを用いて調べている。	【法と人権】 ・法や規範の意義と役割 ・人権とは ・新しい人権 ・単元のまとめ	・法や規範の意義と役割について考えプリントにまとめる。(知及び技に関する内容) ・人権とは何か考え、考えたことを発表する。(思判表力に関する内容) ・新しい人権についてiPadを用いて調べ、プリントにまとめる。(学・人に関する内容)

	9	(知及技)衆議院と参議院の任期の違いや解散の有無などについて理解することができる。（高2段階：ア（イ）㋑） (思判表力)支持する政党を選ぶことができる。（高2段階：ア（ア）㋑） (学・人)各政党のいくつかのマニフェストを調べることができる（高2段階：ア（ア）㋑）	(知・技)衆議院と参議院の任期の違いや解散の有無などについて理解している。 (思・判・表)代表者を選択する理由がある。 (主学)タブレットを用いて各政党のマニフェストを調べている。	【選挙制度について】 ・国政選挙 ・日本の政党 ・マニフェストを調べよう	・日本における国政選挙について確認し、プリントにまとめる。(知及び技に関する内容） ・日本の政党について調べ、自分の考えと近い政党について考える。（思判表力に関する内容） ・日本の各政党のマニフェストについて調べ、それぞれの政党の考えを整理する。（学・人に関する内容）
3学期	9	(知及技)現代社会の特徴を知ることができる。（高2段階：ア（ア）㋐） (思・判・表)自分がどのような形で社会参加できるのか、考え表現することができる。（高2段階：ア（ア）㋑） (学・人)現代社会の課題解決について考えようとすることができる。（高2段階：ア（ア）㋑）	(知・技)現代社会の特徴について、プリントにまとめている。 (思・判・表)自分がどのような形で社会参加できるか、プリントにまとめたり発表している。 (主学)現代社会の課題解決について、プリントにまとめたり、発表している。	【現代社会と私たち】 ・私たちの生活の変化 ・現代社会の特徴と課題 ・社会参加･自立 ・単元のまとめ	・昔の生活の様子の写真を見て、現代の私たちの生活と比較し、生活変化について考える。(知及び技に関する内容） ・現代社会の特徴と課題について考え、発表する。（思判表力に関する内容） ・社会参加･自立について考え、プリントにまとめる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技)青年期の特徴について理解することができる。（高2段階：ア（ア）㋐） (思判表力)MBTI診断やエゴグラムで出た結果から、なりたい自分について考えることができる。（高2段階：ア（ア）㋐） (学・人)MBTI診断やエゴグラムの結果から、集団生活の中で果たせる自分の役割について考えることができる。（高2段階：ア（ア）㋐）	(知・技)青年期の特徴と課題について理解している。 (思判表力)各診断結果から、将来自分がどのようになりたいかを考え、まとめている。 (主学)各診断結果から、集団生活の中で果たせる自分の役割について考えている。	【青年期】 ・自分を知ろう(MBTI診断、エゴグラム） ・青年期の特徴と課題 ・集団生活での自分の役割を考えよう	・自分を客観的に捉え、自分の内面について理解する。(MBTI診断、エゴグラム)(知及び技に関する内容） ・青年期の特徴と課題について考え、プリントにまとめる。（思判表力に関する内容） ・集団生活での自分の役割を考え、表現する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等	・1学期に慰霊の日に関する授業を行う。 ・2学期に防災に関する授業を行う。 ・2学期に消費者教育講話を行う。（講話に伴い、事前学習も行う） ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。 ・授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和７年度　美里分教室 ２年（　Ⅱ課程A類型　）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
３／１０５	２学年　生徒１６名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。（高２段階） （思判表力）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付ける。（高２段階） (学･人）数学的活動の楽しさや数学のよさがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
１学期（３６）	12	（知及技）整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることや約数、倍数について理解することができる。(高２段階ア(ア)) （思判表力）乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりすることができる。(高２段階ア(イ)) （学･人）観点を決めて整数を類別する仕方や構成について考察し、日常生活に生かすことができる。	（知・技）倍数や約数の意味を理解し、最大公約数や最小公倍数を求めている。 （思･判･表）倍数、約数という観点に着目し、整数を素数に類別しようと考えている。 （主学）倍数または約数のどちらを用いれば、身近な問題を解決できるか考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 ア 整数の性質及び整数の構成 ・偶数と奇数の類別 ・倍数と公倍数 ・約数と公約数 ・最小公倍数と最大公約数 ・身の回りの最小公倍数と最大公約数 ・素数	・１～10までの倍数一覧表を作成する。 ・１～100までの数表から２つの数の倍数について全て選び出し、共通する倍数探しをする。 ・100までの数表をヒントに公倍数の特徴を考える。(最小公倍数を含む) ・主要な数についての約数一覧表を作成する。 ・２つの数について、数直線を使って約数を全て選び出し、共通する約数探しをする。 ・約数の特徴や気付いたことを整理する。(最大公約数を含む) ・すだれ算を使って最小公倍数と最大公約数を求める。 ・長方形のタイルで正方形を敷き詰める場合の一辺の長さを求める等、最小公倍数や最大公約数の応用問題に挑戦する。
	12	（知及技）分数の意味や法則について理解し、計算することができる。(高２段階イ(ア)、ウ(ア)、エ(ア)) （思判表力）分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えることができる。(高２段階イ(イ)、ウ(イ)、エ(イ)) （学･人）身の回りの分数について、観点の置き方によって様々な表現や捉え方があることを知ることができる。	（知・技）分数の意味や法則を理解し、異分母の分数の計算している。 （思･判･表）異分母の分数の計算を、図に表して考えている。 （主学）身の回りにある分数をみつけ、どのような観点で表現されているか考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 分数 ・「小数⇔分数」に直す ・分数の相等、大小の比較 ウ 分数の加法及び減法 ・異分母の分数の加法と減法 エ 分数の乗法及び除法 ・分数の乗法と除法	・小数や分数の意味から、お互いの形に直して数を表す。 ・縦長の長方形を１とした図を使って、等分したうちのいくつ分かを斜線や色で表す。 ・分数の大小や等しい大きさを図に表し、計算の答えを求める。 ・異分母の分数を（分母の数の最小公倍数で）通分し、計算する。 ・乗法、除法についても、「比べる量」÷「基にする量」の式に当てはめられることを確認する。 ・ピザや飲み物を分けるなど、身の回りにある分数を考える。
	12	（知及技）正の数と負の数の四則計算をすることができる。(中学ア(イ)) （思判表力）算数で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。(中学イ(ア)) （学･人）身の回りの正の数と負の数に関心をもち、その意味と必要性を生活に生かすことができる。	（知・技）正の数と負の数の意味を理解し、加法と減法の計算をしている。 （思･判･表）東西の移動や数直線を使って加法と減法の計算方法を考察している。 （主学）日常生活の中にある正の数と負の数を見つけ、自身の生活との関わりについて考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と式】 正の数と負の数 ・符号のついた数 ・符号のついた数の加法と減法 ・日常の中の正の数と負の数	・トランプのマークの黒と赤を財産と借金に見立てるゲームをグループで行い、＋や－の符号がついた数についての加法と減法をイメージする。 ・ゲーム得点を符号を使って式で表す。 ・同符号、異符号の加法と減法の計算をする。 ・身の回りにあるもので、＋、－で表現できるものを考える。

2学期（42）	14	（知及技）直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。（高１段階イ(ア)） （思判表力）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察することができる。（高１段階イ(イ)） （学・人）日常の事象を図形の性質から数学的に捉え直すことができる。	（知・技）直方体の模型や具体物を調べ、頂点、辺、面に着目して、平行や垂直の関係をまとめている。 （思･判･表）立体図形の位置関係を捉え、見取り図や展開図で表している。 （主学）日常の中にある立体図形を切り開いたり組み立てたりする活動を通して、図形の構成を主体的に調べようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B】図形 イ 立体図形 ・立方体と直方体 ・直方体における直線や平面の平行や垂直の関係 ・見取り図、展開図 ・角柱や円柱 ・立体当てクイズ	・身の回りにある箱を、自身の理由付けで仲間分けする。 ・直方体と立方体について、頂点や辺の数、面の形とその数を調べ、特徴をまとめる。 ・様々な立体を組み立てたり分解したりして、「面と面」の平行や垂直な関係と構成について考える。 ・身の回りの平行や垂直な関係にある具体物を撮影する。また、どこにどんな関係があるのか発表する。 ・平行や垂直を意識して、見本通りに見取り図を描く。 ・立方体や直方体の展開図が何通りあるか、ICT教材で切り口を指定して適切な展開図を見つける。 ・角柱や円柱などの、多面体についての構成を表に整理する。
	14	（知及技）平面図形を縮小したり、拡大したりすることの意味や対称な図形について理解できる。（高２段階ア(ア)） （思判表力）図形を構成する要素及び図形感の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだすことができる。（高２段階イ(ア)） （学･人）図形の性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かすことができる。	（知・技）方眼を利用し、縦横の向きに同じ割合や辺の長さの比を一定にして、縮図や拡大図を作図している。 （思･判･表）縮図や拡大図を比べ、大きさは異なるが、「同じ形である」とする要素について考えている。 （主学）縮図や拡大図、対称な図形の性質を基に、オリジナルの図形を作図しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B 図形】 ア 平面図形 ・縮図や拡大図 ・対称な図形	・身の回りの中から、縮小や拡大の関係にあるものを探す。 ・もとの図と縮図や拡大図、そうでない図を比べ、特徴を整理する。 ・ICT教材で、見本図形の角度を変えずに線の長さを縮めたり伸ばしたりして、２倍、１/２倍の縮図と拡大図に慣れた後、方眼紙に描く。 ・身の回りある、線対称、点対称な図形を探す。 ・様々な図形について対称軸の有無を考え、線対称かどうか判断する。 ・180°図形を回転させ、もとの図との重なり具合を確認する。 ・方眼紙に、縮図や拡大図、線対
	14	（知及技）円の面積の計算による求め方について理解することができる。（高２段階ウ(ア)） （思判表力）図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。(高２段階ウ(イ)) （学･人）数学的活動を通して、気付いたことやわかったことを説明したり発表することができる。	（知・技）円を既習の基本図形で分割し、およその面積を計算で見当を付けている。 （思･判･表）「円の面積＝平行四辺形の面積（底辺×高さ）」と捉え、底辺と高さがもとの円のどの長さにあたるかを考えて面積を式で表している。 （主学）円の面積を工夫して求める活動を通して、気付いたことやわかったことを説明したり発表したりしようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【B】図形 ア 平面図形 ・円と正多角形の性質 ・円周率（3.14） ウ 平面図形の面積 ・円の面積の見当 正方形の分割 円の内接と外接四角形 ・円の面積の公式 三角形の分割	・正六角形、八角形、十二角形と数を増やした図形がどのような形になるか予想する。 ・１㎠の正方形の面積を使って、円の面積のおよその求め方について考える。 ・円の面積を、円の中心が頂点で半径が辺となる二等辺三角形で細かく分割し、平行四辺形になるように図形を変形する。その面積を既習の公式を使って計算する。 ・円の面積を公式を使って求める。
3学期（27）	15	（知及技）百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めることができる。（高1段階(ア)㋐) （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察することができる。(高2段階ア(イ)) （学・人）数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさを実感することができる。	（知・技）基準量を100として、それに対する割合を分数に表し、百分率を求めている。 （思･判･表）打率やシュート率、割引率などの割合における大小を比べ、どちらが「上手か」や「お得か」を考えている。 （主学）百分率や割合を知り、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ウ 二つの数量の関係 ・歩合、百分率の意味と表し方 ・基準量10や100の割合を図示 ・割合を使った割引や消費税の計算	・「比べる量」と「全体量」の関係から、割合を分数や小数の２通りで表し表にまとめる。 ・シュート数や打率等、基準量を10や100としたときの歩合、百分率の意味を図に描き、割合の表し方を知る。 ・割合を計算した金額の求め方を、「もとの金額」×「割合（小数）」の計算で求める。
	12	（知及技）量的データの分布の中心や散らばりの様子からデータの特徴を読み取る方法が理解できる。（高２段階ア(ア)） （思判表力）目的に応じてデータを収集し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察することができる。（高２段階イ(ア)） （学・人）データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、生活に生かすことができる。	（知・技）平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味を理解し、度数分布表や柱状グラフから読み取っている。 （思･判･表）目的に応じてデータを収集し、データの量や公平性、根拠を意識して考察している。 （主学）日常の事象から興味・関心があるデータを収集し、学習したことを生かそうとすることができる。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 ア データの収集とその分析 ・度数分布 ・度数分布表と柱状グラフの特徴 ・代表値（平均値、中央値、最頻値）の意味や求め方 ・データの収集と分析	・身の回りにある数の範囲の表現（以上、未満）について、条件に該当するかしないかを念頭に考える。 ・身長や通学時間等のデータを正の字で整理し、度数分布表と柱状グラフに表す。 ・遠投や上体起こしのデータ等で、平均値、中央値、最頻値を調べ、データの特徴を考える。 ・特別支援学校駅伝大会のタイムを元に、ドットプロットで散らばり方を調べ、チーム編成等の改善を考える。
留意点 引継ぎ等	【数学的活動】※年間を通して取り組む （ア）日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 （イ）数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 （ウ）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。				

令和7年度 美里分教室　２年（Ⅱ課程A類型）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	16名		くらしに役立つ　理科

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高１段階、高２段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高１段階、高２段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高１段階、高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることがわかる。【中２段階】 (思判表力)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で，見いだした疑問について調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技）月は日によって形が変わって見え１日のうちでも時刻によって位置が変わること、空には明るさや色の違う星があることを理解している。 (思･判･表)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)月の位置の変化と時間の経過との関係について調べる中で，見いだした疑問について調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と星	○月や星についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて月や星について調べ、月や星の位置の変化と時間との関係を考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	6	(知及技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。【高２段階】 (思判表力)月の形の見え方について調べる中で，月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かすことができる。【高２段階】	(知・技）月の輝いている側に太陽があること、また月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることを理解している。 (思･判･表)月の形の見え方について調べる中で，月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)月の位置や形と太陽の位置との関係について、見いだした疑問を調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○月と太陽	○月と太陽についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて月と太陽について調べ、月と太陽の位置関係と月の形について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
2学期	7	(知及技）流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることがわかる。【高１段階】 (思判表力)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技）流れる水には土地を侵食したり石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること、川の上流と下流によって川原の石の大きさや形に違いがあること、雨の降り方によって流れる水の速さや量は変わり増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解している。 (思･判･表)流れる水の働きについて調べる中で、流れる水の働きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)流れる水の働きと土地の変化との関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○流れる水の働きと土地の変化	○流れる水の働きと土地の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて流れる水の働きと土地の変化について調べ、土地の変化の仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。

	7	(知及技) 土地は礫･砂･泥･火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することがわかる。【高２段階】 (思判表力)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 土地は礫･砂･泥･火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがあること、また層には化石が含まれているものがあること、地層は流れる水の働きや火山の噴火によってできること、土地は火山の噴火や地震によって変化することを理解している。 (思･判･表)土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくりやでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)土地のつくりやでき方について学んだことを日常生活などに生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物	○土地のつくりと変化	○土地のつくりと変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて土地のつくりと変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
３学期	4	(知及技) 天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことがわかる。【中２段階】 (思判表力)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【中２段階】 (学･人)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かすことができる。【中２段階】	(知・技) 天気によって１日の気温の変化の仕方に違いがあること、水は水面や地面などから蒸発し水蒸気になって空気中に含まれていくことを理解している。 (思･判･表)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)天気の様子や水の状態変化と気温や水の行方との関係について見いだした疑問を調べ、日常生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の様子	○天気の様子についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の様子について調べ、水の状態変化と気温や水の行方との関係について考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
	5	(知及技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることがわかる。【高１段階】 (思判表力)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かすことができる。【高１段階】	(知・技) 天気の変化は雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解している。 (思･判･表)天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係について調べ、生活に生かそうとしている。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	○天気の変化	○天気の変化についての動画を視聴する。 ○iPadを用いて天気の変化について調べ、その仕組みを考える。 ○授業で学んだことをプリントに記入し、整理する。 ○クイズなどを通して、楽しく学ぶ。
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知及技】【思判表力】【学・人】 単元内容　天気の観察			

令和７年度 高等部　２年（Ⅱ課程 A 美里分教室）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	２学年　生徒１６名		MOUSA1 教育芸術社

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高２段階） (学･人)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	【歌唱】 (知及技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階：歌唱（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	【表現】 (知・技）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌っている。(高2段階) (思･判･表)歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想や歌詞の内容にあった表現方法を工夫している。(高2段階) (主学)表現活動に楽しんで取り組み、仲間と音楽のよさや楽しさを共有しようとしている。	『曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう』 『曲想や歌詞の内容を感じて歌おう』	『曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう』 A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ㋐互いの歌声や副次的な旋律，伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ・発声練習 ・校歌 ・「ヴォイストレーニング」 ・「翼をください」 ・「オーソレミオ」 『曲想や歌詞の内容を感じて歌おう』 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的背景との関わりを理解して歌う。(思判表力に関する活動)（主学に関する活動） 「いのちのリレー」、「月桃」 ※平和学習と関連付けて取り組む
		【器楽】 (知及技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：器楽（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階） (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、演奏を工夫している。 (主学）仲間とともに練習に取り組んだり、表現方法を話し合うなど、表現活動に楽しんで取り組んでいる。	『ボディーパカッションを楽しもう』 『ＣＵＰＳ演奏を楽しもう』	『ボディパーカッションを楽しもう』 ・リズムを正確に捉え、曲想に合った音色や奏法、パフォーマンスなどの技能を身に付け、表現する。（知及技に関する活動）（思判表力に関する活動）（主学に関する活動） ボディーパカッション「クラップスステップシアター」「Clap, Tap with CUPS！」 『CUPS演奏を楽しもう』 ・CUPSの基本的な動きを覚え、曲に合わせて演奏する。（知及技に関する活動） ・曲想や曲の速度に合わせた動きをグループで考える。(思判表力に関する活動)（主学に関する活動） CUPS「パプリカ」、「香水」ポップスなど
		【身体表現】 （知及技）曲想や音楽の構造と身体の動きと関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。（高２段階：身体表現(イ)㋐、㋑） (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高２段階：身体表現（ア） (学・人）表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）曲想と体の動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現している。(高2段階) (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫している。(高2段階) (主学）歌詞の解釈を話し合ったり、自分の考えや意見をもって表現に生かそうとしている。	『歌詞に合わせた手話表現を考えよう』	『手話表現に挑戦しよう』 ・歌詞の内容理解とふさわしい手話表現を考える ・既習の手話表現を思い出し、言葉に当てはまる手話を考えたり、どの表現がふさわしいか話し合う。 (思判表力に関する活動）（主学に関する活動） ・インターネット等を使い、手話表現を調べ歌詞や曲想に合わせて表現を工夫する。 （知及技に関する活動）（主学に関する活動） 「校歌」、既習曲、「いのちのリレー」

2学期	14	【歌唱】 (知及技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階：歌唱（ア）） (学・人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(高2段階） (思・判・表)歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想や歌詞の内容にあった表現方法を創意工夫している。(高2段階） (主学）表現活動に楽しんで取り組み、仲間と音楽のよさや楽しさを共有しようとしている。	『日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう』	『日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう』 ・曲にふさわしい発声、言葉の発音に気を付けて、イメージをもって表現を工夫して歌う。（知及技に関する活動）（思判表力に関する活動）（主学に関する活動） 「この道」「おぉシャンゼリゼ」「サンタルチア」
		【器楽】 (知及技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。（高１段階：器楽（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） (学・人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。（高１段階） (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創意工夫した演奏をしている。(高2段階） (主学)個人練習やパート練習などの表現活動を楽しみながら、主体的に取り組んでいる。	『ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう』 『和楽器（三線）に親しみ、演奏に挑戦しよう』	『ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう』 ギターの奏法、コードの押さえ方や姿勢など身体の使い方を知る。（知及技に関する活動） 曲に必要なコードを調べ、曲の雰囲気に合わせて演奏する(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 「ハッピーバースデイトゥーユー」「カントリーロード」など 『三線に親しみ、演奏に挑戦しよう』 工工四のよみ方や指のポジション、姿勢など身体の使い方を知る。（知及技に関する活動） 三線に親しみ、楽器の音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法を身に付け、表現する。(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 「安波節」「安里屋ユンタ」「海の声」など
		【創作】 (知及技）音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。（高２段階：創作（イ）㋐、（ウ）） (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。（高２段階：創作（ア） (学・人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴が生み出す面白さなどと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(高2段階） (思・判・表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創意工夫を生かした表現をしている。(高2段階） (主学)個人練習やパート練習などの表現活動を楽しみながら、主体的に取り組んでいる。	『サウンドロゴをつくってみよう』	『サウンドロゴをつくってみよう』 ・ｉｐａｄアプリ（Garageband）を使い、さまざまな音素材やその組合せで音楽をつくる。（知及技に関する活動） ・課題や条件に合わせたイメージをもって、音素材の選択や旋律などの音楽づくりに取り組む(思判表力に関する活動）(主学に関する活動）
		【鑑賞】 (知及技）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解することができる。（高２段階：鑑賞（イ）㋐） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。（高２段階：鑑賞（ア）） (学・人)音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）音楽の特徴を感じ取り、その背景となる文化や歴史との関わり知ることができる。(高2段階） (思・判・表)鑑賞についての知識やマナーを知り、曲や演奏のよさを自分の言葉で表現することができる。(高2段階） (主学)さまざまな音楽に興味関心を持って聴き、仲間とともに感想や解釈を話すことができる。	『世界の諸民族の音楽を知ろう』 『バレエを味わいながら鑑賞しよう』	『世界の諸民族の音楽を知ろう』 世界の諸民族の音楽の特徴や文化的・歴史的背景との関わりを知る。（知及技に関する活動） 鑑賞についての知識やマナーを知り、曲や演奏のよさを味わって聴く、自分の言葉で感想を発表する。(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 「アリラン」「ケチャ」 『バレエを味わいながら鑑賞する』 バレエのストーリーや場面ごとの音楽の変化を知る。（知及技に関する活動） 曲や演奏のよさを味わって聴き、自分の言葉で感想を発表する。(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） バレエ「ボレロ」など
3学期	9	【歌唱】 (知及技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。 (高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高２段階：歌唱（ア）） (学・人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(高2段階） (思・判・表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高２段階） (主学)表現活動に楽しんで取り組み、仲間と音楽のよさや楽しさを共有しようとしている。	【歌唱、鑑賞】 ・ミュージカルナンバーを歌おう 【歌唱】 ・Ｊ－ＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	『ミュージカルナンバーを歌おう』 ・ミュージカル映画を鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情を理解して，イメージをもって歌う。ミュージカル映画：ザグレイテストショーマン(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 『Ｊ－ＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう』 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを感じて表現する。
		【器楽】 (知及技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：器楽（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） (学・人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）楽器の音色と演奏法について知り、曲想に合わせた表現で演奏している。(高2段階） (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、演奏を工夫している。(高2段階） (主学）仲間と話し合って、自ら楽器や楽曲を選択し、演奏に取り組んでいる。	『器楽アンサンブルを楽しもう』	『器楽アンサンブルを楽しもう』 ・グループで相談し、楽曲、パートを決める。(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） ・曲に合った表現に必要な奏法を知る。（知及技に関する活動） 曲「未定」生徒が希望選択する。 楽器：三線、ギター、ピアノ、マリンバ、ハンドベル、打楽器等から選択する。
		【鑑賞】 (知及技）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解することができる。（高２段階：鑑賞（イ）㋐） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。（高２段階：鑑賞（ア）） (学・人)作曲家の生涯に興味関心を持って聴き、自分の感じたことや考えを仲間とともに共有することができる。	(知・技）音楽の特徴を感じ取り、その背景となる文化や歴史との関わり知ることができる。(高2段階） (思・判・表)鑑賞についての知識やマナーを知り、曲や演奏のよさを自分の言葉で表現することができる。(高2段階） (主学)作曲家の生涯に興味関心を持って聴き、自分の感じたことや考えを仲間とともに伝え合う。	『作曲家の生涯と作品をたどろう』	『作曲家の生涯と作品をたどろう』 ・作曲家について調べ、その生涯を知る。（知及技に関する活動） ・作品の背景や作曲家の思いを感じて、音楽のよさや美しさを鑑賞する。(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 「ベートーヴェン」交響曲、レクイエムなど

		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。

令和　7年度 高等部 美里分教室　2年（　Ⅱ課程A類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年6組　8名 2年7組　8名		高校生の美術 1（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技）構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表している。 (思･判･表)人物の印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 (主学)自己や他者の内面を人物画に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○人物を描く	自己の内面を見つめ、今の気持ちや性格など自分らしい印象などを基に、構図や表情などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、構図や表情、色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、選んだ画材などの特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○色彩	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○身近な素材と立体表現	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えたりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。（高１段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして表している。 (思･判･表)被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)写真表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○写真で表す	被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に、構図やシャッター速度などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりするとともに、写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、全体のイメージなどを捉え、カメラの特性を生かして、学校生活や校外の心に残る情景を思いが伝わるように写真で表す。

3学期	8	(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学)実物の大きさならではの迫力や先生さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り､表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)作品のよさや美しさ、表現の特質、美術文化の継承と想像について考える。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) (学・人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ))	(知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉ている。 (思・判・表)作品のよさや美しさ、表現の特質、さまざまな美術文化の継承と想像について考えている。 (主学)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 [評価資料] 活動の様子、制作物、ワークシート、自己評価などで評価	○鑑賞 (世界の美術)	複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意 図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(学・人)作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高１段階：B鑑賞ア(ア)(イ))			

令和７年度 高等部 美里分教室　２年（　Ⅱ課程・Ａ類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
３／105	２学年　　１６名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高２段階） (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、礼） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整列、「前ならえ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス） ②体力を高める運動（2分時間走のセット、縄跳び） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び ※4/19予定　体力テスト美里高と一緒に実施(５種目) 下記種目以外は授業で実施。 ①立ち幅跳び②反復横跳び③長座体前屈 ④上体起こし⑤ハンドボール投げ
	10	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「球技」 ①バレーボール	オリエンテーション ・学習の進め方・見通し　ルールの説明 ○ パス練習 ・オーバーハンドパス　・アンダーハンドパス　・円陣パス ○サーブ練習 アンダーハンドサーブ、サイドハンドサーブ、フローターサーブ ○スパイク練習 ○課題別練習 ○ゲーム（６対６） ローテーションあり ※4/26予定　新入生歓迎球技大会に向けて全学年取り組む
	16	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームプル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで泳ぐ（一定のスピード）
2学期	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高２段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高２段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①短い動きを繰り返す、対立する動きを組み合わせる ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き

2学期	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（オーバーハンドパス） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③自己に適したペースで走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④助走スピードと力強い踏み切り（適切な角度で跳び出す） ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び） ○11/8：美里高校内陸上 ○11月中旬：特体連体育大会有り　※選手以外は応援参加 ○12/20：美里高校内マラソン大会　（分教室全員参加） ※コース下見や試走予定（２回程度） ○2/7：特別支援学校体育大会 ※コース下見や試走予定（２回程度） ※選手以外は応援参加
3学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①サッカー（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①簡易ゲーム実践（安定したボール操作、空間を作り出す動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②簡易ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③簡易ゲーム実践（打撃による出塁、進塁、得点する攻撃、仲間と連携した守備の攻防）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①健康の考え方 ②健康の保持増進と疾病の予防 ③精神の健康 ④交通安全	①健康の考え方、健康の成り立ちと取り組み、私たちの健康の姿 ②生活習慣病の予防、食事、運動、休養 ③欲求と適応機制、心の健康 ④交通事故を防ぐために
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。 ・校外学習（生涯スポーツ）			

令和７年度 高等部　2年（Ⅱ課程A類型）　職業　トータルサービス　普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年　16人		「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにすること。（高1段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学･人) よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得すること。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （ (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐）】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業 （自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動（除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動） (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、ブロアー）を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
2学期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋑】 （知及技） ・情報モラルについて理解し情報機器を扱うことができる【高1Bア】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐）】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・2学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業 （自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・校内・現場実習に関すること ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動（除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動） (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、ブロアー）を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 （知及技） パソコンやiPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・２学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。

3 学 期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技) ・作業の内容や作業手順を理解し、仲間と協力して取り組むことができる。【高1Aア(イ)】 (知及技) ・作業に必要な道具を大切にかつ安全に扱うことができる。【高1Aイ(ア)㋓】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高1Aア(ウ)】 (思判表力) ・校内・現場実習での成果と課題を考えることができる。【高1Cイ】 (思判表力) ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1Aイ(イ)㋐】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (思判表) ・校内・現場実習内容や成果を振り返り、ワークシートにまとめることができる。 (思判表) ・3学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業 （自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価 ・3学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、草刈り機、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 （知及技） ・実習の様子の画像を取り込み、文章を添えてポスターを作成する。 (主・学) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・3学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校内美化活動等:（知及技）自ら目標を設定し、その目標の手立てを講じたり、課題を解決しようとしたりする過程を通して、自分や他者との役割について考え、勤労の意義に対しての理解を深めるとともに、他者と協力して目標を達成しようとすることができる。(高1Aア（ア）　) ・各種検定等：（知及技）使用する道具の特性や安全な使用方法を知り、検定などの課題を遂行するために効果的に使用することができる。（高1Aイ（ア）㋓　） ・校外学習（施設見学、校外活動(洗車作業)）：（学・人）よりよい職業生活の実現や社会貢献に向けて、主体的・協働的に取り組む態度を養うことが出来る。（高1ウ）			

令和七年度 美里分教室　2年（Ⅱ課程A類型）　職業　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年　16名		ひとりだちするための　進路学習

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解するとともに、生産や生育活動に係る技能や職業生活に係る技能を身に付ける。（高1段階） (思判表力) 　将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。（高１段階） (学･人) 　生産や生育活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際的な場面において活用し、生活をよりよくしようと工夫する態度を身に付ける。（高１段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高１Aア（ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高１イ（ア）ウ】 (知及技) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高１イ（ア）エ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高1Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高１Aア（イ）ウ】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・農機具の名称と使用方法が分かり、安全に道具を扱おうとしている。 (主学) ・自分の役割が分かり、皆と協力して作業をしている。 (思･判･表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・勤労と協働 ・授業の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (知及技) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 (学・人) ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
2学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高１Aア（ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高１イ（ア）ウ】 (知及技) ・道具を適切に扱い、野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる。【高１イ（ア）オ】 (学・人) 各行事の意義を理解し、皆と協力して作業に取り組むことができる。【高1Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。（高１Aイ（イ）ア　）	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・野菜の収穫調整袋詰めにおいて、道具を適切に扱い、丁寧な作業を行おうとしている。 (主学) ・各行事の意義の理解に努め、皆と協力して作業に取り組もうとしている。 (思･判･表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・授業の振り返り ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (学・人）調理実習を計画し、興味のある栽培品目を剪定し、栽培管理を行う。 (知及技) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 (学・人) ・校外販売や卒業式をイメージし、野菜や草花の栽培を協力して行う。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
3学期	18	(知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ。【高１Aイ（ア）ア】 (学・人) ・次年度栽培する作物の種まき・畑の整備を通して、事前準備の重要性に気付く。【高１Aア（ウ）】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高1Bイ】 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価を発表する。（高１段階）	(知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉遣いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えて行動している。 (主学) ・１年の締めくくりとして、農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動している。 (知・技) ・必要な画像等を取り入れ、他者に伝わりやすいように工夫している。 (思判表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌（1年を振り返って）に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・１年間のまとめ	(知及技) ・接客用語など言葉遣いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 (学・人) ・野菜や草花の種まきや育苗、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 (知及技) ・画像を取り込みや文章を入力し、今年度学んだことをまとめる。 (思判表力) ・１年間を振り返り自己評価し、皆の前で発表を行う。
留意点引継ぎ等	【通年】 ・リメイク缶作り等の小物作り：（知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1Aイ（ア）ウ） ・校内／校外販売：（知及技）接客用語を学び、丁寧に対応することができる。（高1Aイ（ア）ア）・接客用語が使える。自分の役割が分かり、積極的に取り組むことができる。 ・校外学習（農場見学、地域へ野菜の提供）：（学・人）社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を育てる。（高1Aア（イ））・農家の栽培方法や流通の仕組みを知る。・主体的に他者の役に立とうとする気持ちを育む。			

令和７年度　　美里分教室２年（Ⅱ課程A類型)流通・サービス年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2学年Ⅱ課程A類型 16名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 将来の職業生活に係る実践的な技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、自己の目標や課題を見いだし、工夫改善する力を養う。(高1段階) (学･人)よりよい社会生活を送るために協同する意識を高め、社会や他者のために貢献する喜びを体得する。(高１段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ア)】 ・販売業務の内容と特徴を理解するとともに、販売の手順や方法など、販売業務に関する技術を身につける。【高1段階A職業生活イ職業(ア)ア】 ・校内販売において、商品を丁寧に扱い、見栄えよく陳列することができると共に、接客用語を使い、丁寧な接客を心掛けることができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ウ)】 (思判表力) ・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１段階A職業生活ア金の意義(ウ)】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活イ職業(イ)㋐）】 (学・人) ・役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(イ)	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 ・自ら身だしなみを整え、接客用語を適切な声量で唱和し、接客に生かそうとしている。 ・お客様の興味、関心が高まるように、売り場の雰囲気作りを工夫し、接客用語を使い、積極的に接客しようとしている。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価している。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・販売学習	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・身だしなみや接客のポイント（身だしなみチェック表、７大接客用語、お辞儀の仕方等） ・校内にて、作品の販売を行う。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (主学) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。

2学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1Aア(ア)】 (知及技能) ・喫茶サービスの手順が分かり、接客することができる。【高１段階A職業生活イ職業(ア)ア】 (思判表力) ・顧客のニーズに応じた、商品を仕入れ、よりよいサービスの提供について考えることができる。【高１段階A職業生活イ職業(ア)イ】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活イ職業(イ)㋐）】 (学・人) ・役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(イ)	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 ・接客の基礎・基本が分かり、接客用語を使ってオーダーを取り、お茶やコーヒーを出すことができる。 (思判表力) ・対象となる顧客を具体的にイメージし、製品を仕入れよりよいサービスを提供しようと工夫している。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) ・活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・身だしなみについて ・基本的な接客用語と態度 ・お茶やコーヒーの出し方 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・販売学習 ・施設見学を通して物流の仕組みを学ぶ。	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・身だしなみや接客のポイント（身だしなみチェック表、７大接客用語、お辞儀の仕方等） ・接客マナーを押さえたオーダーの取り方や、コーヒー等の出し方が分かり、実践することができる。 ・仕入れを行い販売する。 ・施設見学を通して物流の仕組みを学ぶ。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返り、課題を考えて発表することができる。 （主学） ・2学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
3学期	18	(知及技）・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ア)】 ・販売業務の内容と特徴を理解するとともに、販売の手順や方法など、販売業務に関する技術を身につける。【高1段階A職業生活イ職業(ア)ア】 ・校内販売において、商品を丁寧に扱い、見栄えよく陳列することができると共に、接客用語を使い、丁寧な接客を心掛けることができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ウ)】 ・ラッピングの意義が分かり、ラッピングの技術を身につけることができる。【高1段階A職業生活イ職業(ア)ア】 (思判表力）・作業内容に見通しと目標を持ち、自己評価することができる。【高１段階A職業生活ア勤労の意義(ウ)】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活イ職業(イ)㋐）】 (学・人）・役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解しようとしている。 ・自ら身だしなみを整え、接客用語を適切な声量で唱和し、接客に生かそうとしている。 ・お客様の興味、関心が高まるように、売り場の雰囲気作りを工夫し、接客用語を使い、積極的に接客しようとしている。 ・ラッピングの仕方を覚え、丁寧に仕上げようと心掛けることができる。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) ・活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・販売学習 ・キャラメル包み ・斜め包み	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・接客のポイント（７大接客用語、お辞儀の仕方等） (知及技) ・校内にて、作品販売を行う。 ・ラッピングの意義を理解し、丁寧に作業することを意識しながら基本的なラッピングをすることができる。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・1年を振り返り、次年度への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等		年間を通して進路見学や校外学習を行う。			

令和７年度　美里分教室　２年（Ⅱ課程Ａ類型）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年　Ⅱ課程・A類型①8名 2年　Ⅱ課程・A類型②8名	仲村加奈子	survive!!家庭基礎 （教育図書）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技）家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高1段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高1段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高1段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解することができる。(高2段階：Bｳ(ｱ)) (思判表力)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができる。(高2段階：Bｳ(ｲ)) (学･人)布を用いた製作計画を考え、製作を工夫して行う事ができる。(高2段階：BI(ｲ))	(知･技)衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解し、実践している。 (思･判･表)衣服の材料や状態に応じて適切な手入れの方法を考え、実践している。 (主学)用途や個性に応じた作品を製作している。 [評価資料] ワークシート、活動の様子、製作物	【衣生活と健康】 ・衣服の機能 ・衣服の素材 ・衣服の表示 ・衣服の洗濯と保管 ・布を用いた製作	・衣服には様々な機能があることを理解する。 ・ライフステージによって着用する衣服の形や素材、目的が変化することを知る。 ・繊維の種類と特徴を知り、場面に応じた衣服について考える。 ・洗濯絵表示の種類や意味について学習し、適切な洗濯（手洗い、洗濯機洗い、洗剤の選択など）や管理方法を理解する。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解する。 ・縫う部分や順番を考え、「バッグ」を製作する。
2学	28	(知及技）売買契約の仕組み、購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の重要性を理解することができる。（高1段階：Cｱ(ｱ)) (思判表力)消費者被害の背景と対応について理解し、商品やサービスの選択に必要な情報の収集・整理ができる。(高1段階：Cｱ(ｲ)) (学･人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。（高1段階：Cｲ(ｲ))	(知･技)18歳成人に向けて学び、販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう，契約の重要性について理解することができる。 (思･判･表)さまざまな消費者被害について知り、被害にあわないための行動を考えることができる。消費者被害の相談機関についての情報を収集することができる。 (主学)自立した消費者になるためには、どう行動すればいいか考え、実践しようとする。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【消費生活】 ・18歳成人 ・契約 ・様々な支払方法 ・消費者トラブル	・身近な契約について確認し、18歳成人でできること、成人以降の契約には法的な拘束力があることを理解する。 ・様々な支払い方法があることを学習し、生活のあらゆる場面での活用を考える。 ・クレジットカードの仕組みや様々な支払方法について学習し、適切な利用について考える。 ・クーリングオフ制度や消費生活センターについて確認する。 ・消費者トラブルの種類や対処法名を調べ、発表する。

期		(知及技)乳幼児の生活の特徴や関わり方について理解することができる。(高2段階：AI(ｱ)) (思判表力)(学･人)乳幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階：AI(ｲ))	(知･技)乳幼児の生活や遊びは、発達や月齢とともに変化することを理解することができる。 (思･判･表)乳幼児の発達や月齢に応じた食事(栄養)について知り、健康を保つ方法を考え発表することができる。 (主学)沐浴実習を通して、乳幼児との安全な触れ合い方や産み育てることについて想像し、考えることができる。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【子どもの生活と保育】 ・発育と発達 ・乳幼児の生活と遊び ・乳幼児の健康 ・子どもを取り巻く問題 ・沐浴実習	・胎児から幼児にかけての身体の発育と生理的特徴について理解する。 ・発達段階に応じた適切な関わり（生活やあそび）について、話し合う。 ・子どもの食事(栄養)や衣服について学習し、健康を保つ方法を考え、発表する。 ・現代の子どもを取り巻く問題や権利と福祉について理解する。 ・沐浴人形を利用した実習を通して、適切なふれあいについて考える。
3学期	18	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。(高1段階：Bｱ(ｱ)) (思判表力)健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。(高1段階：Bｱ(ｲ)) (学･人)食生活と健康について、課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(第1段階：Bｲ(ｱ))	(知･技)朝食の重要性がわかり、朝食の欠食が体に与える影響について理解することができる。 (思･判･表)自分の食習慣を振り返り、課題を見つけ、栄養バランスを考えた食材選択や組み合わせをすることができる。 (主学)健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【食生活と健康】 ・朝食の役割 ・一日を通した栄養バランス ・様々な加工食品 ・簡単な日常食の調理	・健康と食生活には密接な関係があることを確認する。（朝食の重要性） ・五大栄養素の働きや含まれる食品について確認する。 ・栄養バランスの良い献立について学習し、インスタント食品等を活用した献立の工夫について話し合う。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。 ・調理器具の正しい取り扱いや調理室の使用法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。「インスタント食品を活用したメニュー」
留意点 引継ぎ等		・調理実習は、美里高校と重ならないように時期を考慮し年間を通して行う。 ・被服実習は、調理実習と重ならないように時期を考慮して行う。 ・買い物学習は、感染症等の状況により時期を変更する可能性がある。			

令和７年度 美里分教室　２年（Ⅱ課程A類型）　外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型　16名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高２段階） (学･人) 外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高２段階ア(ｱ)㋐） (思判表力)身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。（高１段階イ(ｱ)） (学･人)言語活動を通して、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。（高１段階）	(知・技) 音声を模倣して発音したり、英語を聞いて、その内容を示すものを選択したりしている。語句の意味を理解しながら、文字を綴っている。 (思･判･表)使用場面に応じた応答をしている。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、尋ねたりしている。 (主学)聞き手を意識して話している、または、読み手を意識して書いている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元1「This is Me!」 自己紹介 あいさつ 日常生活 Daily Activity	・定型文を用いて自己紹介文を作り、発表する。 （名前/学校名/年齢/通学方法など） ・定型文を用いて他者の紹介をする。 ・他者の発表を聞く。 ・朝昼晩に応じたあいさつを確認する。 ・朝昼晩の日課について、質問したり、話したりする。
				単元2「Birthday 誕生日」 数の数え方（序数） １２の月の数え方	カレンダーや絵カード等を利用しながら、 ・1～31日までの読み方(序数)と1～12月の名称を学ぶ。 ・誕生日を英語で聞いて理解する。 ・自分や身近な人の誕生日を伝える。 ・有名人の誕生日を調べて報告する。 ・疑問詞“When”を使って質問する。
				単元3「～できますか？Canを使った表現」 What I am good at(can) ～.	絵カードを利用しながら“can”“can't”を用いて、 ・場所や動物などの情報を伝える。 ・自分の得意なことや不得意なことを伝える。 ・“Can you ～?”を用いて質問したり、依頼したりする。 ・“Yes, I(you) can.”“No,I(you) can't.”を用いて応答したり、承諾したり、断ったりする。
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア(ｱ)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高１段階イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、必要な情報を得ようとしている。または、それを示すものを選択する。語句や表現の意味を理解しながら、他者に伝えている。 (思･判･表)質問内容や使用場面に応じた返答をしている。調べたことや経験したことを英語で話したり書いたりして発表している。 (主学)生活の中の身近な英語や英語表記に関心を示し、積極的に情報を得ようとしている。また、外国発祥の文化と自国の文化の違いに気づいている。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元4「My Day 私の一日」 時間の聞き方、答え方	チャンツやクイズなどを通して、 ・～時、半、10分単位の時間の聞いて理解する。 ・“What time”を使い、時間を尋ねる。 ・“It's ～.”を遣い、時間を伝える。 ・様々な時間の表現を使いながら、夏休みの過ごし方について報告する。
				単元5「買い物（２桁・３桁の数え方)」	身近な商品を題材に、クイズを通して ・２桁、３桁の値段を聞いて理解する。 ・２桁、３桁の表現を使って、値段を伝える。 ロールプレイでのやり取りを通して ・“How much”を用いて値段を尋ねる。 ・“I'll have ～.”を用いて欲しいものを伝える。
				単元6「衣類・身の回りの英語」	・修学旅行に向けた調べ学習を取り入れながら身近な英語に触れる。(Winter Clothes,Hotel Ammenity) ・英語と日本語の違いに気づく。 ・日常にある英語由来の日本語に気づく。 ・英語表示から必要とする情報を読み取る。 ・わかったことを説明したり、発表したりする。
				単元7「ホリデーシーズン」	クリスマスカードを作りを通して、 ・季節のあいさつを送り合う習慣に触れる。 ・メッセージを送る相手を意識したカード作りをする。 ・メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。 ・外国の年末年始の過ごし方を知り、比較する。
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階ア(ｱ)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりすることができる。（高２段階イ(ｲ)） (学・人) 外国文化に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。読み手に応じた表現を選ぶことができる。(高２段階)	(知・技) 英語を聞いたり読んだりして、意味を理解している、それを示すものを選択している。英語の指示を聞いて行動している。 (思･判･表)使用場面に応じたあいさつをしている。簡易な表現を用いて感謝の気持ちを綴っている。また、リストの中から自分の気持ちに沿ったメッセージを選んでいる。 (主学)外国発祥の文化と自国の文化の違いを述べている。また、友人、目上の人物など読み手の違いを意識して言葉を選んでいる。 評価資料：活動の姿、提出物、自己評価	単元8「新年を祝おう」 世界の正月＆日本の正月 Facial parts,Directions	・外国の新年の挨拶や過ごし方について学び、比較する。 ・年号の伝え方を知り、理解する。 ・絵カードやクイズを通して、新年に関する語句や表現に触れる。（例:Zodiac Animals） ・福笑いを通して、方向に関する指示を聞いて理解する。
				単元9「バレンタインデー」	動画やスライドを通して ・バレンタインデーの起源や習慣を知る。 ・バレンタインデーに関する語句や表現を学ぶ。 ・外国の習慣を知り、比較する。 ・疑問詞“Who”や“What”を用いて質問する。 ・疑問詞“Who”や“What”を用いた質問に応答する。
				単元10「感謝の気持ちを伝えよう」	Thank you card作りを通して ・感謝や別れの気持ちを表す表現を知る。 ・送る相手に適した表現を知る。 ・メッセージの意味を意識しながら文字をつづる。

留意点 引継ぎ等	※指導内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。

令和 ７年度 美里分教室　２年（　Ⅱ課程A類型　）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	２学年　１６名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。【高１段階】 (思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。【高１段階】 (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度，情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。（高1段階Aア（イ）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ））	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。 (思･判･表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクス禁止法） ・自分の情報は自分で守る 情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・動画視聴（文科省　情報モラル⑪パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。
	6	(学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物		正確な情報発信のために５W１Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
2学期	7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。（高1段階　Bア（イ）） (思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて，必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。（高1段階　Bイ（イ））	(知･技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。 (思･判･表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進 ・修学旅行先ポスター作成 ・クリスマスカード作成 ・年賀状作成	・身近なユニバーサルデザインを再確認（シャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。 テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか、学校内に貼りだして、ほかの生徒の意見を聞いてみよう。 ・色の三属性 ・視認性 ・識別性
	7	(学･人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物		正確な情報発信のために５W１Hを活用する。
3学期	5	(知及技) ・身近なデータを蓄積，管理，提供する基本的な方法，情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。（高1段階　Cア（イ））	(知･技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
	4	(思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。（高1段階　Cイ（イ））	(思･判･表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。	・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
		(学･人) ･身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物		正確な情報発信のために５W１Hを活用する。
留意点					

令和７年度 美里分教室　　２年（Ⅱ課程 A類型）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型　16名		新訂　新しい道徳　3

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(A：自分自身に関する事)　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事)　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事)　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・修学旅行に向けて、集団行動の大切さを考え、自分たちの楽しみが他の人に迷惑になっていないかを気づかせる。
		・①自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解し、相手のことを考える。
3学期	9	・②自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化 ○性とどう向き合うか	・性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
		・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等		○校外学習（校外活動）：校外での見学や体験学習を実施する。		

令和７年度　美里分教室　２年（Ⅱ課程 A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
１単位（３５時間）	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、主体的かつ創意工夫を生かした取り組みができる。 (思判表力) 体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人) 体験活動を通して、主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとすることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○前期実習　事前学習 ○前期実習　事後学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。
2学期	14	(知及技) 実習の目的について理解し、内容の確認を行い見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 前期実習での反省点を踏まえながら後期実習を振り返って自己評価を行い、発表することができる。 (学・人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的な見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 前期実習での反省点を踏まえながら、後期実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の	○後期実習　事前学習 ○後期実習　事後学習 ○卒業生講話	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事と、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、実習での活動を振り返る。 ○各自の実習中の活動について、自己評価する。 ○美咲の卒業生による仕事や余暇についての話を聞き、働く意義や将来の姿をイメージする。

3 学 期	9	(知及技) 就労の意義を理解することができる。 (思判表力) 自分の進路先や興味のある仕事分野について考えることができる。 (学･人) 仕事の意義を理解し皆と協力して作業を行うことができる。	(知･技) 就労の意義が「生計の維持」「社会貢献」「個性の発揮」など多義的であることを理解しようとしている。 (思･判･表) 自分の進路や興味のある仕事分野について調べている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○学習発表会 ○進路学習	○動画やパワーポイントなどの視覚教材を活用して、学習発表会の準備をする。 ○他の生徒の発表や自分の発表を振り返って評価する。 ○就労について学ぶ。
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 美里分教室　２年（Ⅱ課程A類型）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	美里分教室2年 Ⅱ課程A類型　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力）集団や事故の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・健全な発達や健康の維持を目指す。 (学・人) ・集団活動の役割や意義を理解し、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを通して人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (知及技）(学・人) ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を身に付ける。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式・終業式 ・身体測定 ・新入生歓迎球技大会 ・遠足 ・生徒総会 ・火災避難訓練 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の参加する。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。 ・球技大会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・遠足に参加し、クラス間の親睦を図り、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・生徒会運営に係る決算報告と予算案の確認、意見要望等について考える。 ・火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (学・人) ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付ける。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式、終業式 ・地震避難訓練 ・体育祭 ・生徒会役員選挙 ・特体連体育大会 ・空港見学（校外学習） ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・各種目、集団演技等に参加し、自己の役槍を果たし、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・選挙について学ぶ。 ・記録への挑戦や成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・事前学習や係活動、集団行動の中での決まりや役割の大切さを学ぶ。 ・施設について調べ、公共機関等を利用し見学する。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3学期		(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。 ・集団行動や共同生活の体験を通して望ましい態度や習慣を身に付ける。 ・安全で楽しい旅行にするためのルールやマナーを学ぶことができる。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。	・始業式、終了式、卒業式 ・修学旅行 ・特体連駅伝競走大会 ・３年生を送る会	・始業式、修了式、卒業式に参加する。 ・修学旅行を通して社会のマナーやルールについて学ぶ。 ・成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・３年生を送る会に参加し、分教室の団結を高

期		（思判表力） ・卒業する３年生への感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・個人目標、学期のまとめ	め、美里高校生徒との交流を図る。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
留意点 引継ぎ等		○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考・判断・表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。 ○校外学習（校外活動）：校外での見学や体験学習を実施する。		

令和７年度 高等部　３年（　Ⅱ課程　A類型　）国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	3学年　人数等　　16名		くらしに役立つ　国語

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標

(知及技）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高２段階)

(思判表力）筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め､自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高２段階）

(学･人）言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	5	(知及技）相手を見て話したり、聞いたりするとともに､他者の話を簡単にまとめることができる。【高１段階ア（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、伝えたいことを明確にすることができる。【高１段階Ｂア】 (学･人)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高2段階】	(知・技）相手を見て話したり、聞くことができ、他者の話をまとめている。 (思･判･表)自分についての情報を書き出し、言葉にしている。 (主学)言葉が持つ良さに気づき、国語で思いや考えを伝え合おうとしてる。	単元名「自己紹介をしよう」 ・自己紹介シートを作ろう ・自分自身の長所と短所を書き出そう	・文章やイラストを用いて、詠み手に伝わるように自己紹介シートを作成する。（知及び技に関する内容） ・自分の好きなことや得意なこと、長所・短所などの情報を形式に当てはめながら整理する。(思判表力に関する内容） ・友達の自己紹介シートを見て、気づいたことや感じたことを、感想として発表する。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1段階ウ（ウ）】 (思判表力)文章を読んで理解したことにい基づいて、自分の考えをまとめることができる。【高２段階Ｃ（オ）】 (学･人)幅広く読書に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。 (主学)幅広く読書に親しもうとしている。	単元名「読書に親しもう」 ・小説を読んでみよう ・描写に注目してみよう	・公共施設として図書館を正しく利用することができる。(知及び技に関する内容） ・図書館の利用を通して、様々な分野や種類の書物が存在にすることに気づき、読みたい本を選ぶことができる。（思判表力に関する内容） ・図書館に有る様々な本を実際に手に取ることで、読書に対する意欲を高め興味・関心の幅を広げる。（学・人に関する内容）
	9	(知及技）日常よく使われる丁寧語を理解し、適切に選択して使うことができる。【高2段階ア（カ）】 (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。【高1段階ＡエⅠ】 (学･人)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）日常でよく使われる丁寧語を理解し使うことができている。 (思･判･表)正しい丁寧語を用いて、相手に伝わるように言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい丁寧語を用いて伝えようとしている。	単元名「敬語をつかおうⅠ」 ・丁寧語をつかおう ・尊敬語、謙譲語、丁寧語に言い換えてみよう	・丁寧語を理解し、それを活用して電話でのやりとりができる。（知及び技に関する内容） ・文例を参考に、丁寧語を使用して相手へ言葉で伝えることができる。（思判表力に関する内容） ・丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、活用することができる。（学・人に関する内容）
	6	(知及技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。【高2段階イ（ア）】 (思判表力)読んで感じたことやわかったことを伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。【高２段階Ｃオ】 (学･人)言葉のよさを認識し、新聞に親しみながら、思いや考えを伝えることができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 (思･判･表)読んで感じたことを発表し、他者の感じ方の違いに気づくことができている。 (主学)言葉がもつよさに気づき、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・ﾚｯﾂ･ﾁｬﾚﾝｼﾞ･NIE	・新聞を読んで見出し語やリード文を見つける。(知及び技に関する内容） ・新聞を読んで、記事の内容について感想をまとめる。（思判表力に関する内容） ・感想を伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）丁寧な言葉の書き方を理解することができる。【高1段階】 （思判表力)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。【高1段階Ｂ（ア）】 (学･人)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づくことができる。【高1段階】	(知・技）お礼状の書き方を理解している。 (思･判･表)相手や目的を意識して、伝えたいことを明確に書いている。 (主学)手紙で相手に感謝の気持ちを伝える良さに気づこうとしている。	単元名「文章を整えてを書こう」 ・丁寧な形式の文章を書こう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・就業体験や校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにしたり、感謝の気持ちを伝えることができる。（学・人に関する内容）

2学期	12	(知及技）生活に身近な方言や地域のことわざ（黄金言葉）の意味について知り、郷土の言語文化に親しむとともに、大切にしようとすることができる。【高2段階ウ（ア）】 (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。【高１段階A工】 (学･人)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができている。 (思･判･表)相手や目的に応じた話し方で話している。 (主学)生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。	単元名「表現力を高めよう」 ・方言に親しもう ・敬語を使おうⅡ	・身近な方言（挨拶や家族の呼称）や、地域のことわざ（黄金言葉）の意味を調べる。（知及び技に関する内容） ・家族の呼称や挨拶に関する方言を使って会話をする。（思判表力に関する内容） ・身近な方言や丁寧語を使って会話をしたり、文章を作成することにより、敬語や方言に親しむことができる。（学・人に関する内容）
	22	(知及技）文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。【高１段階ア（キ）】 (思判表力)登場人物の行動や心情などについて叙述や描写を基に捉えることができる。【高2段階C ア】 (学･人)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれあい、楽しもうとすることができる。【高１段階】	(知・技）文章の構成や段落のまとまりを意識しながら音読することができている。 (思･判･表)登場人物の行動や心情について叙述や描写を基に捉えている。 (主学)読書に親しみ、様々な文学や詩にふれ、楽しもうとしている。	単元名「物語を読もう」 ・こころ ・源氏物語	・本文を読み、細やかな場面の変化や登場人物の行動や様子を読み取る。（知及び技に関すること） ・登場人物の性格や考え方について考えたり、登場人物と自分自身を比べて、共通点や相違点を考える。（思判表力に関すること） ・自分自身と作中の人物の比較を通して、多様な価値観に触れ、読書の楽しさ・奥深さを感じる。（学・人に関する内容）
	8	(知及技）お礼状の意義や書き方を理解することができる。【中１段階ウ（イ）】 (思判表力)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えることができる。【高１段階B工】 (学･人)言葉がもつよさを認識し、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとすることができる。【高１段階】	(知・技）お礼状の意義や書き方を理解し、年賀状を書くことができている。 (思･判･表)相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、文を整えて書くことができている。 (主学)お礼状作成を通して、言葉がもつよさを認識し、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「文章を整えて書こう」 ・丁寧な形式の文章を書こう ・お礼状の作成	・手紙の正しい書き方に基づいて、挨拶語や結びの言葉、感謝を伝える文章をバランスよく書く。（知及び技に関する内容） ・校内実習で学んだことや、手紙を受けとる相手への感謝の気持ちを文章にまとめる。（思判表力に関する内容） ・お礼状の定型を用いて文章を作成することで、自分の課題や今後の目標を明らかにし、感謝の気持ちを伝える。（学・人に関する内容）
3学期	5	(知及技）目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。【高２段階ウ（ウ）イ】 (思判表力)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現することができる。【高１段階Bウ】 (学･人)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しむことができる。【高１段階】	(知・技）目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができている。 (思･判･表)書体に工夫をこらしながら毛筆で新年の目標を表現している。 (主学)正月あそびや書き初め体験を通して、日本文化に親しもうとしている。	単元名「日本文化に親しもう」 ・正月あそび ・書き初めをしよう	・文字の組み立てや、書道道具や筆の扱い方を理解する。（知及び技に関する内容） ・毛筆を用いて、書体を意識しながら書写を行う。(思判表力に関する内容） ・カルタや福笑い、双六などの正月遊びや書き初めを通して、初春の儀式や行事に親しむ。（学・人に関する内容）
	15	(知及技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。【高１段階イ（ア）】 (思判表力)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。【高１段階C オ】 (学･人)国語を大切にして、思いや考えを伝え合うことができる。【高１段階】	(知・技）考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解している。 (思･判･表)文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (主学)国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	単元名「説明的な文章を読もう」 ・水の東西 ・中身当てクイズ	・文章を読み、各段落の中心となる語や文を捉える。(知及び技に関する内容） ・文中から得た情報を、分析したり推論しながら、問に対する答えを導き、語句や文章で表現する。（思判表力に関する内容） ・身近な案内文や手紙の中から、必要な情報を取り出し、言葉が持つ伝える力を確認する。（学・人に関する内容）
	10	(知及技）話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。【高１段階A（ウ）】 (思判表力)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。【高１段階Bウ】 (学･人)自分の考えや思いを素直に表現しようとすることができる。【高１段階】	(知・技）話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができている。 (思･判･表)自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫している。 (主学)自分の考えや思いを素直に表現しようとしている。	単元名「挨拶文を考えよう」 ・場面に応じた挨拶	・一年間を振り返り様々な行事を仮定し、場面に応じた挨拶文を考える。（知及び技に関する内容） ・自分の考えと事例との関係を明確にし、挨拶文の書き方を工夫する。（思判表力に関する内容） ・考えた挨拶を工夫して発表する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習（校外活動）：（学・人）社会で生活する人々とのやり取りを通して、自分の気持ちを言葉にすることの重要性や、言葉の受け取り方が人によってさまざまであることに気づき、言葉を通した他者との交流に喜びを見出すことができる。 ・全ての単元において、テストや提出物、発表、課題への取り組み状況、自己評価を評価資料とする。			

令和７年度 美里分教室　３年（A類型）　社会科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70時間	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型 16名		くらしに役立つ　社会

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）我が国の国民生活、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、情報化社会や外国との関わりを理解し、情報を収集し活用する技能を身につける。（高２段階） (思判表力)社会的事象への理解を深め、自分の生活と結びつけて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことを適切に表現する力を養う。（高２段階） (学･人）社会に主体的に関わろうとする態度や学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚や平和を願い国内や世界の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）障害者を支える福祉制度について理解することができる。(高2段階：イ（イ）㋐) (思判表力)どの場面で社会福祉や社会保障を利用できるか考えることができる。(高2段階：イ（ア）㋐) (学･人)困った時に相談する機関や制度を調べることができる。(高2段階：イ（イ）㋑)	(知・技）障害者を支える福祉制度について理解している。 (思･判･表)どの場面で社会福祉や社会保障を利用できるか考えている。 (主学）困った時に相談する機関や制度をiPad等を活用して調べている。	【私たちを支える社会のしくみ】 ・社会保障制度 ・私たちを支える社会福祉は何がある？ ・療育手帳の役割 ・割引が受けられるところを探そう ・単元のまとめ	・日本における社会保障制度（社会保険、公衆衛生、社会福祉、公的扶助）について調べ、それぞれの制度の内容を確認する。（知及び技に関する内容） ・私たちを支える社会福祉は何があるのか考える。（思判表力に関する内容） ・療育手帳の役割について確認する。また、沖縄県で療育手帳が活用できる場所について調べ、身近に活用できる場所を確認する。（学・人に関する内容）
	9	(知及技)税金の種類やしくみについて理解することができる。(高2段階：イ（イ）㋐) (思判表力)なぜ税金を納めるのか考えることができる。(高2段階：イ（イ）㋑) (学･人)納めた税金がどのように使われているのか調べることができる。(高2段階：イ（ア）㋐)	(知・技）税金の種類やしくみについて理解している。 (思･判･表)なぜ税金を納めるのか考え、理由を記入している。 (主学)納めた税金がどのように使われているのか調べている。	【税金】 ・税金とは・直接税と間接税 ・所得税・住民税・消費税 ・単元のまとめ	・日本の税制について確認し、直接税と間接税の違いについて考える。（思判表力に関する内容） ・所得税・住民税・消費税について確認し、納められた税金がどのように使われているのか調べ、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容）（学・人に関する内容）
	8	(知及技)公共施設や公共交通機関の利用の仕方を知ることができる。(高2段階：イ（ア）㋑) (思・判・表)目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択することができる。(高2段階：イ（ア）㋑) (学・人)公共施設や公共交通機関の利用方法について調べることができる。(高2段階：イ（ア）㋑)	(知・技)公共施設や公共交通機関の利用の仕方を理解している。 (思・判・表)目的に応じた公共施設や公共交通機関を選択している。 (主学)公共施設や公共交通機関の利用方法について調べている。	【公共施設と公共交通機関】 ・銀行と郵便局の役割 ・警察と消防の役割 ・役所でできる手続き ・病院や保健所の役割 ・公共交通機関とは	・銀行と郵便局の役割について調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・警察と消防の役割について調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・役所でできる手続きについて調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容） ・病院や保健所の役割について調べ、活用方法についてまとめる。（知及び技に関する内容）（学・人に関する内容） ・公共交通機関について調べ、活用方法を考える。（思判表力に関する内容）
	10	(知及技)産業構造について理解することができる。(第2段階：エ（イ）㋐) (思判表力)食料がどのように私たちのもとへたどり着いているかを考えることができる。(第2段階：エ（イ）㋐) (学・人)沖縄県の活発な産業は何かをまとめることができる。(第2段階：エ（イ）㋑)	(知・技)産業構造について理解している。 (思・判・表)食料がどのように私たちのもとへたどり着いているかを考えている。 (主学)沖縄県の活発な産業についてプリントにまとめている。	【沖縄県の産業】 ・産業の種類 ・食料の輸送や販売 ・沖縄県の観光業 ・単元のまとめ	・産業の種類について確認しプリントにまとめる。（知及び技に関する内容）（学・人に関する内容） ・沖縄県の食料の輸送や販売の特徴について考え、発表する。（思判表力に関する内容） ・沖縄県の観光業の特徴について調べ、観光業の可能性について考えることができる。（思判表力に関する内容）

2学期	10	(知及技)契約の基本やいろいろな支払い方法について理解することができる。(高2段階：ア（イ）㋐) (思判表力)スマホやネット、契約時のトラブルに対する対策や対処法を考えることができる。(高2段階:ア（イ）㋑) (学・人)18歳からできることを調べることができる。(高2段階ア（イ）㋑)	(知・技)契約の基本や支払い方法について理解している。 (思・判・表)スマホやネット、契約時のトラブルに対する対処法などを考えている。 (主学)iPadを活用して、18歳からできることを調べてまとめている。	【私たちと消費社会】 ・買い物・契約の基本 ・お金の上手なやりくり ・スマホやネットでのトラブル ・契約トラブルの対策・対処法 ・１８歳からできること ・単元のまとめ	・買い物・契約の基本について確認し、プリントにまとめる。（知識及び技に関する内容） ・お金の上手なやりくりについて考える。（思判表力に関する内容） ・スマホやネットでのトラブルについて確認する。（知識及び技に関する内容） ・契約トラブルの対策・対処法について考え、発表する。（思判表力に関する内容） ・１８歳からできることについてiPadを活用し、調べ、まとめる。（学・人に関する内容）
	10	(知及技)我が国が諸外国とどのように関わってきたのかを理解することができる。(高2段階：カ（ア）㋐) (思判表力)我が国が平和な世界の実現のために果たしている役割について理解することができる。(高2段階：カ（ア）㋑) (学・人)日本と世界の人々の暮らしを調べ、違いや共通項をまとめることができる。(高2段階：オ（イ）㋑)	(知・技)我が国の諸外国との関わりの歴史を理解している。 (思・判・表)我が国が平和な世界の実現のために果たしている役割を表現している。 (主学)日本と諸外国の暮らしをiPadを活用して調べ、違いと共通項をまとめる。	【日本と世界のつながり】 ・歴史の中のかかわりからみる物の交流 ・組織や文化交流のつながり ・世界の人々の暮らし	・歴史の中のかかわりからみる物の交流について確認し、プリントにまとめる。（知及び技に関する内容） ・組織や文化交流のつながりについて考える。（思判表力に関する内容） ・世界の人々の暮らしについてiPadを活用して調べ、日本と諸外国の違いをまとめる。（学・人に関する内容）
3学期	9	(知及技)社会参加するためのきまりや公共交通機関の役割・制度などを卒業後の生活と関連付けて理解することができる。(高2段階：ア（ア）㋐) (思・判・表)自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断することができる。(高2段階：ア（イ）㋐) (学・人)卒業後の生活がどのように変わるのか考えることができる。(高2段階：ア（ア）㋐)	(知・技)社会参加するためのきまりや公共交通機関の役割・制度などを卒業後の生活と関連付けて理解している。 (思・判・表)自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断している。 (主学)卒業後の生活がどのように変わるのか考えようとしている。	【卒業後の生活】 ・1日のスケジュールの違い ・交通手段や交通費 ・1ヶ月に必要なお金	・高校生活と社会生活の1日のスケジュールの違いついて考える。（学・人に関する内容） ・卒業後の生活においての交通手段や交通費について調べ、確認する。（知及び技に関する内容） ・社会に出た際にかかる1ヶ月に必要なお金について考える。（思判表力に関する内容）
	6	(知及技)時事問題に興味関心を示し、内容を理解することができる。（高2段階：オ（イ）㋑) (思判表力)着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、発表することができる。（高2段階：オ（イ）㋑) (学・人)時事問題を調べることができる。（高2段階：オ（イ）㋑)	(知・技)時事問題に興味関心を示し、内容を確認し、その記事について理解している。 (思・判・表)着目した時事問題を取り上げ、自分の意見をまとめ、表現している。 (主学)新聞や情報通信機器等を用いて時事問題を調べている。	【新聞を読もう】 ・新聞切り抜き ・コメント発表	・新聞を読み、関心を持った部分の切り抜きを行う。（知及び技に関する内容） ・切り抜いた新聞についてコメントを発表する。（学・人に関する内容）
留意点 引継ぎ等	・1学期に慰霊の日の授業を行う。 ・2学期に防災に関する授業を行う。 ・2学期に消費者教育講話を行う。（講話に伴い、事前学習も行う） ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。 ・授業プリント、発言、授業中の様子等から評価を行う。				

令和７年度　美里分教室 ３年（　Ⅱ課程A類型　）　数学科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
３／１０５	３学年　生徒１６名		なし

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質を理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。（高２段階） (思判表力）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考える力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表わす力を身に付ける。（高２段階） (学･人）数学的活動の楽しさや数学のよさがわかり、学習したことを振り返り、課題を解決しようとする態度を養う。

す・意式味がを表	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期（36）	14	（知及技）四則の混合した式や（　）を用いた式について理解し、正しく計算することができる。(高1段階Aコ(ア)㋐) （思判表力）問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。(高1段階Aコ(イ)㋐) （学･人）ペアーやグループ間で協力しながら問題を解決することができる。	（知・技）四則の混合した式や（　）を用いた式について、計算の順序に従って正しく計算している。 （思･判･表）「値段×個数＝合計」のように「ことばの式」を立て、数量の関係を式で表している。 （主学）数量関係における式や具体的な場面に関して作成した問題を、ペアーやグループ間で出題し合い、話し合いながら答えを導き出そうとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【A 数と計算】 コ　数量の関係を表す式 ・四則に関して成り立つ性質（交換法則、分配法則、結合法則） ・四則の混じった計算 ・数量の関係式を立てる	・加減乗除法に実際の数を当てはめて法則が成り立つかを確かめる。 ・数量関係を「ことばの式」で表すことで、計算の正しい順序について考える。 ・四則や（　）、累乗の混じった計算を正しい順序で計算過程をかく。 ・文章問題からキーワードを見つけ、適する演算を使って数量の関係式を立てる。
	6	（知及技）数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすることができる。(高1段階Aコ(ア)㋒) （思判表力）二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察することができる。(高1段階コ(イ)㋑) （学･人）二つの数量の関係を、□、△などを用いて表すことのよさについて、考えることができる。	（知・技）「値段×個数＝合計」などの「ことばの式」を、□、△などを用いて表している。また、□や△に数を当てはめて変わり方を調べている。 （思･判･表）□＝２＋△、□＝２×△、□＝△÷２などの式の△に、数を入れ、□と△の二つの数量がどのように変化しているか、表を用いて考えている。 （主学）二つの数量の関係を、□、△などを用いて表すことについて考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	・□、△を用いた二つの数量の関係式 ・□、△への代入、値調べ ・二つの数量の関係を表に整理 ・二つの数量の関係についての変化と特徴	・最初にあったあめ玉の個数から食べた個数と残りの個数など、身の回りの二つの数量関係を一旦図に表して考え、□と△で表す。 ・□と△に具体的な数を当てはめて変わり方を調べる。 ・数量関係の式から、□に入る数や△に入る数を求めたい場合に、演算がどのように変わるか図を参考に考える。
	16	（知及技）数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、χなどの文字を用いて式に表したり文字に数を当てはめて調べたりすることができる。(高2段階Aオ(ア)㋐) （思判表力）問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。(高2段階Aオ(イ)㋐) （学･人）文字を用いた式を活用することで、数量の関係や思考過程を簡潔に表現できるよさに気付くことができる。	（知・技）数量の関係を、a, χなどの文字を用いて式に表している。 （思･判･表）文字式で表された数量関係を、×や÷を省略して簡潔に表している。 （主学）文字を用いた式で表すことのよさについて考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	オ 数量の関係を表す式 ・文字を用いた式作り ・代入、式の意味 ・文字式の決まり ・文字式の簡単な計算	・既習事項の□や△の変わりに文字を用いた式で表す。 ・わからない数、求めたい数χに代入して、式が表す関係が成立していることを確かめる。 ・文字式の決まりに従って×を省略したり、÷を分数に直して簡潔に表す。

2学期（42）	14	（知及技）反比例の関係について理解することができる。(高2段階Cア(ア)㋒) （思判表力）伴って変わる二つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いて関係を表現して、変化や対応の特徴を見つけることができる。(高2段階Cア(イ)㋐) （学・人）日常生活の場面において、反比例の関係を見いだすことができる。	（知・技）二つの数量の一方が2倍、3倍になれば、それと対応する他方の数量が1/2倍、1/3倍、になることを理解している。 （思･判･表）目的に応じて、表や式、グラフを用い、変化や対応の特徴を考えている。 （主学）二つの数量の関係が比例または反比例かを判断しようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【C 変化と関係】 ア 伴って変わる２つの数量 ・比例の復習 ・反比例の関係の意味や性質 ・反比例の表とグラフ	・速さと時間や、長方形の面積の縦と横の長さ等、二つの数量の変わり方を表にまとめる。 ・比例と反比例を比べ、その違いを整理する。 ・反比例のグラフを描く
	14	（知及技）比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。(高２段階Cイ(ア)㋐) （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察することができる。(高2段階Cイ(イ)㋐) （学・人）日常生活において、比を活かすことができる。	（知・技）濃縮液１杯と水２杯、３杯と６杯を、１：２、３：６と表せ、同じ濃さを表す等しい比をつくることができている。 （思･判･表）濃縮液と水の割合を変えながら濃さについて調べ、自分好みのジュースの濃さを比で表している。 （主学）調理レシピをみて、人数分の分量を求めようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	イ 二つの数量の関係 ・比の意味と表し方 ・同じ濃さのジュース ・自分好みの濃さの割合 ・調理レシピの分量計算	・調味料の配合や異なる濃さのジュース作りを通して、小数でも比の表し方を知る。 ・１袋に含まれる2種類のお菓子の量を数えて比で表す。また、一方の数量から他方の数を求める。 ・調理レシピ１人分の分量から各自指定された人数分の分量を計算し、予算とフードロスを意識した材料の購入計画を立てる。 ・自身の購入計画のポイ
	14	（知及技）身の回りにある形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。(高2段階Bイ(ア)㋐) （思判表力）図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考えることができる。(高2段階Bイ(イ)㋐) （学･人）身の回りの具体的な形を考察の対象として取り上げ、多様な図形の見方を働かせることができる。	（知・技）具体的な形を、三角形や四角形のように測定しやすい形として捉え、面積を求めている。 （思･判･表）概形の捉え方によって、およその面積と実際の面積の値が異なることについて考えている。 （主学）教室や学校内などにある、身の回りの具体的な形を取り上げ、およその面積を求めようとしている。 【評価資料】活動、プリン、自己評価	【B 図形】 イ 身の回りにある形の概形やおよその面積 ・三角形、長方形の面積 ・具体的な形を概形として捉える ・概形の面積と実際の面積比べ	・三角形、長方形、平行四辺形、台形の面積の復習。 ・自身の手や足等を撮影し、その形の概形を学習した図形で分割し、およその面積を求める。 ・都道府県や世界の地図から概形の面積を求め、実際と面積と比べる。
3学期（27）	15	（知及技）立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。(高2段階B工(ア)㋑) （思判表力）体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察することができる。(高2段階B(イ)㋐) （学･人）既習の図形に着目して、体積の求め方について、考えることができる。	（知・技）直方体の体積を、一辺が1㎝の立方体として1段目を敷き詰め、重ねてできた個数の合計として捉え、「縦×横×高さ」で求めている。 （思･判･表）三角柱や円柱の底面の図形に着目し、実際に三角形や円を積み重ねてできた立体図形の体積の求め方について考えている。 （主学）三角柱以外の角柱についての体積を求める方法を考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	工 立体図形の体積 ・２つの直方体の体積比べ ・基準の大きさ 単位と測定の意味 ・直方体の体積 ・角柱、円柱の体積	・２つの直方体の体積を、１㎤の立方体で空間を埋めて数える。 ・三角柱や円柱の底面の図形の面積を求め、その図形を積み重ねてできた立体図形の体積を求める式を考える。 ・五角柱や六角柱などはどのようにして体積を求めることができるか考える。
	12	（知及技）起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。(高2段階Dイ(ア)㋐) （思判表力）事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。(高2段階Dイ(イ)㋐) （学･人）思考や表現方法の工夫に触れ、落ちや重なりがないように考えるよさに気付ける。	（知・技）起こりうる場合を、順序よく整理して数え上げている。 （思･判･表）起こりうる場合を整理する観点によって、１対１、樹形図、表を用いて、落ちや重なりがないように考えている。 （主学）樹形図や表など、思考の過程や表現について適した方法で考えようとしている。 【評価資料】活動、プリント、自己評価	【D データの活用】 イ 起こり得る場合 ・場合の数 ・数え上げの工夫 （列、樹形図、表）	・２人でじゃんけんした場合のグーチョキパーの出し方や、食事と飲み物の注文の組み合わせなどが何通りあるかを考える。 ・起こり得る全ての場合を見落としなく、重なりなく調べる方法として樹形図を用い、書き並べる。 ・バトミントンやバレーのの対戦を想定して、相
留意点 引継ぎ等	【数学的活動】※年間を通して取り組む （ア）日常の事象を数理的に捉え、問題を見だして解決し、解決の過程を振り返り、結果や方法を改善したり、日常生活に生かしたりする活動。 （イ）数学の学習場面から数学の問題を見致して解決し、解決過程を振り返り統合的・発展的に考察する活動。 （ウ）問題解決の過程や結果を、目的に応じて図や式などを用いて数学的に表現しあう活動。				

令和7年度 美里分教室　3年（Ⅱ課程A類型）　理科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	16名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。【高２段階】 (思判表力）観察・実験などを行い、解決の方法を考える力を養う。【高２段階】 (学･人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。【高２段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことがわかる。【中１段階】 (思判表力)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現することができる。【中１段階】 (学･人)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）磁石に引き付けられる物と引き付けられない物や、磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 (思･判･表)磁石を身の回りの物に近付けたときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気付き、磁石の性質についての疑問をもち、表現しようとしている。 (主学)磁石の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○磁石の性質	○磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる。 ○単元「磁石の性質」 ・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物 ・N極とS極の特徴 ・磁石が使われている製品
	4	(知及技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことがわかる。【高１段階】 (思判表力)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。【高１段階】 (学･人)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技）物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない、物が水に溶ける量には、限度があること、物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違うことを理解している。 (思･判･表)水や空気の体積や状態の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現しようとしている。 (主学)物の溶け方について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○物の溶け方	○物の溶け方について、溶ける量や様子に着目して、水の温度や量などの条件を制御しながら調べる。 ○単元「物の溶け方」 ・水に溶ける物の量。 ・水溶液の重さの変化 ・水の温度と物の溶ける量
	4	(知及技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることがわかる。【高２段階】 (思判表力)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができるを理解している。 (思･判･表)燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)燃焼の仕組みについて調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○燃焼の仕組み	○燃焼の仕組みについて、空気の変化に着目して、物の燃え方を多面的に調べる。 ○単元「燃焼の仕組み」 ・燃やす働きのある気体 ・物が燃えた後の空気 ・消火に必要なもの
	4	(知及技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることがわかる。【中１段階】 (思判表力)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現することができる。【中１段階】 (学･人)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【中１段階】	(知・技）電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や、電気を通す物と通さない物があることを理解している。 (思･判･表)乾電池と豆電球などをつないだときの様子について調べる中で，差異点や共通点に気付き，電気の回路についての疑問をもち，表現しようとしている。 (主学)電気回路について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の通り道	○電気の回路について、乾電池と豆電球などのつなぎ方と、乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら調べる。 ○単元「電気の通り道」 ・豆電球の明かりのつけ方 ・電気を通す物と通さない物 ・手作り乾電池

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2学期	5	(知及技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることがわかる。【高１段階】 (思判表力) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。【高１段階】 (学･人)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高１段階】	(知・技) 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを理解している。 (思･判･表) 電気の働きについて調べる中で、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現しようとしている。 (主学)電気の働きについて進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の働き	○電流の働きについて、電流の大きさや向きと乾電池につないだ物の様子に着目して、それらを関係付けて調べる。 ○単元「電気の働き」 ・乾電池の数と明るさ ・直列つなぎと並列つなぎ ・電池とモーターで動く自動車
	5	(知及技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることがわかる。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるがわかる。【高２段階】 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることや、光・音・熱・運動などに変換することができることを理解している。また、身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があるを理解している。 (思･判･表) 電気の性質や働きについて調べる中で、電気の量と働きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)電気の利用について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○電気の利用	○発電や蓄電，電気の変換について，電気の量や働きに着目して，それらを多面的に調べる。 ○単元「電気の利用」 ・火力発電所とモーター ・自然エネルギーを使う風力発電、太陽電池 ・電気製品を安全に使う
3学期	5	(知及技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることがわかる。【高２段階】 (思判表力)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。【高２段階】 (学･人)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 水溶液には、酸性・アルカリ性及び中性のものがあること、気体が溶けているものがあること、金属を変化させるものがあることを理解している。 (思･判･表)水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現しようとしている。 (主学)水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○水溶液の性質	○水溶液について、溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを多面的に調べる。 ○単元「水溶液の性質」 ・酸性とアルカリ性 ・リトマス紙の使い方 ・身の回りの水溶液調べ
	4	(知及技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることがわかる。【高２段階】 (思判表力)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現することできる。【高２段階】 (学･人)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かすことができる。【高２段階】	(知・技) 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることや、身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解している。 (思･判･表)てこの規則性について調べる中で，力を加える位置や力の大きさとてこの働きとの関係について，より妥当な考えをつくりだし，表現しようとしている。 (主学)てこの規則性について進んで調べ、学んだことを日常生活などに生かそうとしている。	○てこの規則性	○てこの規則性について，力を加える位置や力の大きさに着目して，てこの働きを多面的に調べる。 ○単元「てこの規則性」 ・力点、支店、作用点 ・てこのつりあい ・色々なてことその利用
通年を通して指導		単元名　植物の栽培 単元の目標　植物を栽培し、植物の種類や生育環境を比較し、生育状況の違いに気づくことができる。 【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　植物の栽培、観察 単元名　天気と気温 単元の目標　日々の天気や気温、湿度、雲の形、風向きなどを知る。【知・技】【思・判・表】【学・人】 単元内容　天気の観察			
留意点 引継ぎ等					

令和７年度 高等部　３年（Ⅱ課程 A 美里分教室）　音楽科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／３５	３学年　生徒１６名		MOUSA１　教育芸術社

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高２段階) (学･人)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(高２段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	【歌唱】 (知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高２段階：歌唱（ア）) (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌っている。 (思･判･表)歌唱表現の知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想や歌詞の内容にあった表現方法を工夫している。 (主学)表現活動に楽しんで取り組み、仲間と音楽のよさや楽しさを共有しようとしている。	『曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう』 『日本歌曲を通して、声の響きや言葉の特性を感じて歌おう』 『曲想や歌詞の内容を感じて歌おう』	『曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう』 『日本歌曲を通して、声の響きや言葉の特性を感じて歌おう』 A表現〔歌唱〕 (知識) (イ)㋐曲想と音楽の構造や歌詞との内容の関わりを理解する。 (技能) (ウ)㋑呼吸及び発音の仕方に気をつけて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身につける。 ㋒互いの歌声や副次的な旋律，伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身につける。 (思判表力) (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ・発声練習 ・校歌 ・「ヴォイストレーニング」 ・「翼をください」 ・「花」 『曲想や歌詞の内容を感じて歌おう』 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容、文化的背景との関わりを理解して歌う。(思判表力に関する活動)(主学に関する活動) 「いのちのリレー」、「月桃」 ※平和学習と関連付けて取り組む
		【器楽】 (知及技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高２段階：器楽（イ）㋑、（ウ）㋐) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高２段階：器楽（ア）) (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知及技) 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高２段階) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高２段階) (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	『ボディーパカッションを楽しもう』	『ボディパーカッションを楽しもう』 ・リズムを正確に捉え、曲想に合った音色や奏法、パフォーマンスなどの技能を身に付け、表現する。(知及技に関する活動)(思判表力に関する活動)(主学に関する活動) ボディーパカッション「クラップステップシアター」「Clap, Tap with CUPS！」

		【身体表現】 (知及技）曲想や音楽の構造と身体の動きと関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。（高２段階：身体表現(イ)㋑、㋐） (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。（高２段階：身体表現（ア） (学・人）表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）曲想と体の動きとの関わりについて理解し、曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現している。 (高2段階） (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫している。 (高2段階） (主学）歌詞の解釈を話し合ったり、自分の考えや意見をもって表現に生かそうとしている。	『歌詞に合わせた手話表現を考えよう』	『手話表現に挑戦しよう』 ・歌詞の内容理解とふさわしい手話表現を考える ・既習の手話表現を思い出し、言葉に当てはまる手話を考えたり、どの表現がふさわしいか話し合う。 (思判表力に関する活動）（主学に関する活動） ・インターネット等を使い、手話表現を調べ歌詞や曲想に合わせて表現を工夫する。 （知及技に関する活動）（主学に関する活動） 「校歌」、既習曲、「いのちのリレー」
		【創作】 (知及技）音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。（高２段階：創作（イ）㋑、（ウ）） (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。（高２段階：創作（ア） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴が生み出す面白さなどと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(高2段階） (思･判･表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創意工夫を生かした表現をしている。(高2段階） (主学)個人練習やパート練習などの表現活動を楽しみながら、主体的に取り組んでいる。	『イメージを表現した音楽を作ろう』	『イメージを表現した音楽を作ろう』 ・ｉｐａｄアプリ（Garageband）を使い、さまざまな音素材やその組合せで音楽をつくる。（知及技に関する活動） ・課題や条件に合わせたイメージをもって、音素材の選択や旋律などの音楽づくりに取り組む(思判表力に関する活動）(主学に関する活動）
		【歌唱】 (知及技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階：歌唱（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階） (主学)表現活動に楽しんで取り組み、仲間と音楽のよさや楽しさを共有しようとしている。	【歌唱、鑑賞】 ・ミュージカルナンバーを歌おう 【歌唱】 ・Ｊ－ＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	『ミュージカルナンバーを歌おう』 ・ミュージカル映画を鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情を理解して，イメージをもって歌う。ミュージカル映画：ザグレイテストショーマン(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 『Ｊ－ＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう』 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを感じて表現する。
2		【器楽】 (知及技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。（高１段階：器楽（イ）㋑、（ウ）㋑） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。（高１段階） (思･判･表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創意工夫した演奏をしている。(高2段階） (主学)個人練習やパート練習などの表現活動を楽しみながら、主体的に取り組んでいる。	『キーボードの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう』	『キーボードの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう』 キーボードの奏法、コードの押さえ方や姿勢など身体の使い方を知る。（知及技に関する活動） 曲に必要なコードを調べ、曲の雰囲気に合わせて演奏する(思判表力に関する活動）(主学に関する活動） 「ハッピーバースデイトゥーユー」など

学期	14	【創作】 （知及技）音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を理解し、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。（高２段階：創作（イ）㋑、（ウ）） (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。（高２段階：創作（ア） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴が生み出す面白さなどと関わらせて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 (思･判･表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創意工夫を生かした表現をしている。 (主学)個人練習やパート練習などの表現活動を楽しみながら、主体的に取り組んでいる。	『CMソングやサウンドロゴをつくってみよう』	『CMソングやサウンドロゴをつくってみよう』 ・ｉｐａｄアプリ（Garageband）を使い、さまざまな音素材やその組合せで音楽をつくる。（知及技に関する活動） ・課題や条件に合わせたイメージをもって、音素材の選択や旋律などの音楽づくりに取り組む(思判表力に関する活動）（主学に関する活動）
		【鑑賞】 (知及技）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解することができる。（高２段階：鑑賞（イ）㋑） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。（高２段階：鑑賞（ア）） (学･人)音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技）音楽の特徴を感じ取り、その背景となる文化や歴史との関わり知ることができる。(高2段階) (思･判･表)鑑賞についての知識やマナーを知り、曲や演奏のよさを自分の言葉で表現することができる。(高2段階) (主学)さまざまな音楽に興味関心を持って聴き、仲間とともに感想や解釈を話すことができる。	『世界の諸民族の音楽を知ろう』 『バレエを味わいながら鑑賞しよう』	『世界の諸民族の音楽を知ろう』 世界の諸民族の音楽の特徴や文化的・歴史的背景との関わりを知る。（知及技に関する活動） 鑑賞についての知識やマナーを知り、曲や演奏のよさを味わって聴く、自分の言葉で感想を発表する。(思判表力に関する活動）（主学に関する活動） 「アリラン」「ケチャ」 『バレエを味わいながら鑑賞する』 バレエのストーリーや場面ごとの音楽の変化を知る。（知及技に関する活動） 曲や演奏のよさを味わって聴き、自分の言葉で感想を発表する。(思判表力に関する活動）（主学に関する活動） バレエ「白鳥の湖」など
3学期		【歌唱】 (知及技）曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：歌唱（イ）㋐、（ウ）㋐） (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階：歌唱（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 (思･判･表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。（高２段階） (主学)表現活動に楽しんで取り組み、仲間と音楽のよさや楽しさを共有しようとしている。	【歌唱、鑑賞】 ・卒業ソングを歌おう 【歌唱】 ・Ｊ－ＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	『卒業ソングを歌おう』 ・卒業ソングの歌詞の内容、心情を理解して，イメージをもって歌う。(思判表力に関する活動）（主学に関する活動） 『Ｊ－ＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう』 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを感じて表現する。
	9	【器楽】 (知及技）多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。（高２段階：器楽（イ）㋑、（ウ）㋐） (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。（高２段階：器楽（ア）） (学･人)表現活動に楽しんで取り組み、さまざまな音楽に興味・関心を持って親しむことができる。	(知・技） 楽器の音色と演奏法について知り、曲想に合わせた表現で演奏している。(高2段階) (思･判･表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、演奏を工夫している。(高2段階) (主学）仲間と話し合って、自ら楽器や楽曲を選択し、演奏に取り組んでいる。	『器楽アンサンブルを楽しもう』	『器楽アンサンブルを楽しもう』 ・グループで相談し、楽曲、パートを決める。 (思判表力に関する活動）（主学に関する活動） ・曲に合った表現に必要な奏法を知る。 （知及技に関する活動） 曲：生徒が希望選択する。 楽器：三線、ギター、キーボード、マリンバ、ハンドベル、打楽器等から選択する。

		【鑑賞】 (知及技）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解することができる。（高２段階：鑑賞（イ）㋑） (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。（高２段階：鑑賞（ア）） (学･人)作曲家の生涯に興味関心を持って聴き、自分の感じたことや考えを仲間とともに共有することができる。	(知・技）音楽の特徴を感じ取り、その背景となる文化や歴史との関わり知ることができる。(高2段階） (思･判･表)鑑賞についての知識やマナーを知り、曲や演奏のよさを自分の言葉で表現することができる。(高2段階） (主学)作曲家の生涯に興味関心を持って聴き、自分の感じたことや考えを仲間とともに伝え合う。	『作曲家の生涯と作品をたどろう』	『作曲家の生涯と作品をたどろう』 ・作曲家について調べ、その生涯を知る。（知及技に関する活動） ・作品の背景や作曲家の思いを感じて、音楽のよさや美しさを鑑賞する。(思判表力に関する活動）（主学に関する活動） 「ベートーヴェン」交響曲、レクイエムなど
留意点 引継ぎ等		単元・題材の評価規準【評価資料】 授業中の発言、態度、ワークシートの記述、演奏練習への取り組み、活動の様子、演奏発表など、各学期毎に評価を行う。			

令和　7年度 高等部　美里分教室　3年（　Ⅱ課程A類型　）美術科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3年6組　8名 3年7組　8名		高校生の美術１（日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。（高等部１段階） (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高等部２段階） (学･人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高等部２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技）風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ)）	(知・技）風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、画材の特性を生かして表す。 (思･判･表)身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○私のみつけた風景	身近な場所や風景のイメージなどを基に、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、風景から感じ取ったよさや美しさなどを選んだ画材の特性を生かして表す。
	10	(知及技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わす。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高２段階：共通事項(ア)(イ)）	(知・技）色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。 (思･判･表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え構想を練ったり鑑賞している。 (主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○色彩	デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深める。
	10	(知及技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。 (思･判･表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○身近な素材と立体表現	素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。
2学期	16	(知及技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えたりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。 (思･判･表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を練ったり考えている。 (主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○版で表す	版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫や製版、刷りを工夫して表す。
	12	(知及技）画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。（高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)） (思判表力)目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の構想を練ったり鑑賞したりする。（高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)） (学･人)映像表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組む。（高２段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)）	(知・技）画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表している。 (思･判･表)目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の構想を練ったり鑑賞したりしている。 (主学)映像表現の特性を生かして表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○映像で伝えるメッセージ	目的や条件を基に、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、画面の構成や時間の効果などに着目して、映像メディア機器の特性を生かして表す。

3学期	8	(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考える。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。 (思・判・表)迫力や繊細さなど、作品の大きさがもたらす効果などについて考えている。 (主学)実物の大きさならではの迫力や先生さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○大きさを意識して	作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り､表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。 卒業式壁画制作に協力して取り組む。
	10	(知及技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深める。(高１段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア)) (思判表力)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考える。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)) (学・人)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))	(知・技) 美術の学習を通して造形的な見方・考え方を深めている。 (思・判・表)使う人の立場や用いる場面、作者の意図と創造的な工夫、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えている。 (主学)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。	○これからの私と美術	私たちの生活の中での美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「これからの美術と私」について１年間の学びとともに振り返る。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校外学習(学・人)社会における美術の働きなどについて理解を深める学習活動に主体的に取り組む。(高２段階：A表現ア(ア)、B鑑賞(ア)(イ))			

令和７年度 高等部 美里分教室　３年（　Ⅱ課程・Ａ類型　）保健体育科　年間指導計画

単位数／配当時数	対象生徒	担当者	教科書／副教材
３／105	３学年　１６名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的や状況に応じた技能を身に付けるようにする。(高２段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高２段階） (学･人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高２段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技）体ほぐし運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。（高２段階） (思判表力)体ほぐし運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)体ほぐし運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「体つくり運動」 ①集団行動 ②体つくり運動 ③新体力テスト	①姿勢（気をつけ、休め、礼） ①方向転換「右（左）向け一右（左）」、「回れ一右」 ①集合、整列、「前ならえ」 ②体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ、特体連ダンス） ②体力を高める運動（2分時間走のセット、縄跳び） ③握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走（男子：1500m、女子：1000m）、20mシャトルラン、短距離走（50m走、100m走）、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、走り幅跳び、走り高跳び ※4/18予定　体力テスト美里高と一緒に実施(５種目) 下記種目以外は授業で実施。 ①立ち幅跳び②反復横跳び③長座体前屈 ④上体起こし⑤ハンドボール投げ
	10	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	単元「球技」 ①バレーボール	オリエンテーション ・学習の進め方・見通し　ルールの説明 ○ パス練習 ・オーバーハンドパス　・アンダーハンドパス　・円陣パス ○サーブ練習 アンダーハンドサーブ、サイドハンドサーブ、フローターサーブ ○スパイク練習 ○課題別練習 ○ゲーム（６対６） ローテーションあり ※4/25予定　新入生歓迎球技大会に向けて全学年取り組む
	16	(知及技）水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 泳力テスト	単元「水泳」 ①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ ④バタフライ	①手と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ①安定したペースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ②手（逆ハート型）と足（カエル足）の動き、呼吸のバランス ②安定したペースで効率よく長く泳いだり、速く泳いだりする ③手（小指側から入水）と足の動き、呼吸のバランス（ローリング） ③安定したペースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ④手（ロングアームブル）と足（ドルフィンキック）の動き、呼吸のバランス ④安定したペースで効率よく泳ぐ（一定のスピード） ⑤単一の泳法や複数の泳法を使ってチームで競い合う
2学期	12	(知及技）武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。（高２段階） (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「武道」 ①空手	①礼法や基本動作（立ち方、受け、突き、蹴り等）の行い方 ①形や組手（相手を尊重する、ルールを守る）
		(知及技）ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。（高２段階） (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通した交流や発表をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「ダンス」 ①現代的なリズムのダンス	①リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊る ①ダイナミックなアクセントのある動き、個と群の動き

2学期	12	(知及技）器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。（高２段階） (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技をしている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「器械運動」 ①マット運動 ②跳び箱	①回転系 ・接転技群（背中をマットに接して回転する） ・ほん転技群（手や足の支えで回転する） ①巧技系 ・平均立ち技群（バランスを取りながら静止する） ②切り返し系 ・切り返し跳びグループ（跳び箱上に支持して回転方向を切り替えて跳び越す） ・回転跳びグループ（跳び箱上を回転しながら跳び越す） ①②自己に適した技を用いて演技
	18	(知及技）陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「陸上競技」 ①短距離走 ②リレー ③長距離走 ④走り幅跳び ⑤走り高跳び	①スタート、中間走、フィニッシュまでのつなぎ ①クラウチングスタート（スタートダッシュ） ②バトンパス（前走者と次走者の距離を長くする） ②テークオーバーゾーンの使い方 ③ペースの変化に対応して走る（リズミカルな腕振り、力みのないフォーム、ペース配分） ③インターバルランニング ④タイミングよく、腕・肩を引き上げ、力強く踏み切ること。 ④空中動作（そり跳びなど）と着地（脚を前に投げ出す） ⑤リズミカルな助走と力強い踏み切り（足裏全体で強く地面を押すようにキック） ⑤自己にあった跳び方（はさみ跳び、ベリーロール、背面跳び） ⑥立ち投げなどから砲丸をつきだして投げる ○11/8：美里高校内陸上 ○11月中旬：特体連体育大会有り　※選手以外は応援参加 ○12/20：美里高校内マラソン大会　（分教室全員参加） ※コース下見や試走予定（２回程度） ○2/7：特別支援学校体育大会 ※コース下見や試走予定（２回程度） ※選手以外は応援参加
3学期	18	(知及技）球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。（高２段階） (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） (学･人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。（高２段階）	(知・技）楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ※ 実技テスト	単元「球技」 ①バスケットボール（ゴール型） ②バドミントン（ネット型） ③ソフトボール（ベースボール型）	①ドリブル、パス、シュートの基本動作 ①作戦や状況に応じた連携プレイ（空間への進入などから攻防） ①ゲーム実践（状況に応じたボール操作、空間を埋めるなどの動き） ②フォアハンド、バックハンドのラケットの基本操作 ②空間への侵入などから攻防（クリアー、スマッシュ、ドロップなど） ②ゲーム実践（拾う、つなぐ、打つの一連の流れで攻撃を組み立てる） ③ボールを投げる、グローブで捕る、バットで打つなどの基本動作 ③ゲーム実践（安定したボール操作と状況に応じた守備）
	9	(知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけることができる。（高２段階） (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高２段階） （学・主）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営むことができる。	(知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身につけている。 (思･判･表)自他の課題を発見し、よりより解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。 (主学)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく活力ある生活を営もうとしている。 ※ ペーパーテスト	単元「保健」 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ②性意識と性行動の選択 ③応急手当	①生活習慣病との関わり、周囲の人々に与える影響、心身の健康を損ねる要因、正しい知識について ②心身の発達、性的成熟、異性への理解、性に関する正しい情報 ③手順について、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、ＡＥＤの使い方
留意点 引継ぎ等		・各単元については、生徒の実態や計画の進捗状況、また気候条件や施設利用状況により弾力的に実施する。 ・体育理論は、各単元とのつながりを考慮して、年間を通して実施する。 ・校外学習（生涯スポーツ）			

令和７年度 高等部　3年（Ⅱ課程A類型）　職業　トータルサービス　普通科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	3学年　１６人		「ひとりだちするための進路学習」

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。（高2段階） (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） (学･人) 職業を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際的な場面において活用し、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	72	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2Aア（ア)】 (知及技) ・目標を持って取り組み、その成果や自分や他者との役割及び他者と協力して取り組む。【高2Aア(イ)】 (知及技) ・用具の特性や扱い方を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高2イ（ア）エ】 （知及技） ・情報モラルについて理解し情報機器の特性や機能㊦お理解し、目的に応じて適切に操作することができる【高2Bア】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高2Aア（イ）ウ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高2Aア（イ）】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業 （自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・毎時間の作業の振り返りと自己評価	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動（除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動） (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、ブロアー）を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 （知及技） パソコンやiPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
2学期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2Aア（ア)】 (知及技) ・目標を持って取り組み、その成果や自分や他者との役割及び他者と協力して取り組む。【高2Aア(イ)】 (知及技) ・用具の特性や扱い方を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高2イ（ア）エ】 （知及技） ・情報モラルについて理解し情報機器の特性や機能㊦お理解し、目的に応じて適切に操作することができる【高2Bア】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高2Aア（イ）ウ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高2Aア（イ）】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・道具の名称と使用法がわかり大切に取り扱うことができる。 (知及技) ・ワークシートを用いて情報モラルを理解しているか確認する。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業 （自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・ベッドメイキング ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・情報機器の活用 ・毎時間の作業の振り返りと自己評価	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 (知及技) 帳合い作業、美化活動（除草、トイレ清掃、校舎内の清掃活動、福祉施設など公共施設等での清掃活動） (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、刈払機、掃除機、ホース、ブロアー）を知り、安全に気をつけながら使用することができる。 ・フラットシーツの三角折りメイク・枕カバー、ふとんカバー等のベッドメイキングについて、一人やペアで行う方法を知り、実践する。 （知及技） パソコンやiPadの基本的な操作を身につけるとともに、情報モラルについて学ぶ。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 (思判表力) ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ

3学期		(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2Aア（ア)】 (知及技) ・目標を持って取り組み、その成果や自分や他者との役割及び他者と協力して取り組む。【高2Aア(イ)】 (知及技) ・作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業し、習熟度を図る。【高2イ（ア）オ】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高2Aア（イ）ウ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高2Aア（イ）】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・作業に意欲を示し、他者と協力して作業に取り組もうとしている。 (知及技) ・技能検定の評価基準をもとに作業を進める。 (思判表) ・作業日誌へ記入し、自己評価する。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。	・職業について ・ビルメンテナンスの基本作業（自在ほうき、乾式モップ等） ・帳合い、校内外の美化活動 ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・毎時間の作業の振り返りと自己評価	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉使いなど社会人のとしての基礎を理解し身につける。 (知及技) ・作業道具の名前（熊手、剪定はさみ、カマ、草刈り機、掃除機、ホース、ブロアー）を知り安全に気をつけながら安全に使うことができる。 (知及技) ・技能検定（ビルメンテナンス）の乾式モップ、モップ、机ふきの正確性を高める。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・3学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等		【通年】 ・校内美化活動等:（知及技）自ら目標を設定し、その目標の手立てを講じたり、課題を解決しようとしたりする過程を通して、自分や他者との役割について考え、勤労の意義に対しての理解を深めるとともに、他者と協力して目標を達成しようとすることができる。(高2Aア（ア）　) ・各種検定等：（知及技）使用する道具の特性や安全な使用方法を知り、検定などの課題を遂行するために効果的に使用することができる。（高2Aイ（ア）㊀　） ・校外学習（施設見学、校外活動(洗車作業)）：（学・人）よりよい職業生活の実現や社会貢献に向けて、主体的・協働的に取り組む態度を養うことが出来る。（高2ウ）			

令和七年度 美里分教室　3年（Ⅱ課程A類型）　職業(農業)　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	3年　16名		ひとりだちするための　進路学習

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 　職業に対する関心を高め、働く上で求められる事柄などについて理解を深めるとともに、生産や生育活動に係る技能や職業生活に係る技能を身に付ける。（高2段階） (思判表力) 　将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） (学･人) 　生産や生育活動等を通して地域社会へ積極的に参加し、学習を通して習得した知識や技能を実際的な場面において活用し、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2Aア（ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高2イ（ア）ウ】 (知及技) ・農機具の危険性を知るとともに安全な取り扱いについて学ぶ。【高2イ（ア）エ】 (学・人) ・作業の意義を理解し皆と協力して作業を行うことの大切さを知る。【高2Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。【高2Aア（イ）ウ】	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・農機具の名称と使用方法が分かり、安全に道具を扱おうとしている。 (主学) ・自分の役割が分かり、皆と協力して作業をしている。 (思･判･表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・農機具の安全な取り扱いについて ・勤労と協働 ・授業の振り返りと自己評価 ・1学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (知及技) ・農機具の種類を知り、その危険性と安全な使用方法を学ぶ。 (学・人) ・仕事の意義を理解し作業を通じ協働作業の大切さを学ぶ。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
2学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりを理解する。【高2Aア（ア)】 (知及技) ・季節の野菜や草花を知りその栽培過程を学ぶ。【高2イ（ア）ウ】 (知及技) ・道具を適切に扱い、野菜の収穫調整袋詰めを行うことができる。【高2イ（ア）】 (学・人) 各行事の意義を理解し、皆と協力して作業に取り組むことができる。【高2Aア（イ）】 (思判表力) ・授業や学期を振り返って自己評価し、発表することができる。（高2Aイ（イ）ア　）	(知・技) ・職業の心得を唱和して内容を理解し、意識して作業に取り組もうとしている。 (知・技) ・野菜や草花の名称を覚え、栽培管理の方法を理解している。 (知・技) ・野菜の収穫調整袋詰めにおいて、道具を適切に扱い、丁寧な作業を行おうとしている。 (主学) ・各行事の意義の理解に努め、皆と協力して作業に取り組もうとしている。 (思･判･表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・職業について ・季節の野菜・草花の栽培 ・収穫と調整 ・各行事に向けた草花・野菜栽培 ・授業の振り返り ・２学期のまとめ	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること、場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身に付ける。 (知及技) ・季節の野菜や草花栽培（種まき・育苗・定植・収穫） (学・人）調理実習を計画し、興味のある栽培品目を剪定し、栽培管理を行う。 (知及技) ・収穫した野菜を規定量に計量し袋詰めを行う。 (学・人) ・校内外における販売学習や卒業式をイメージし野菜や草花の栽培を協力して行う。 (思判表力) ・授業や1学期を振り返り、自己評価を書き皆の前で発表を行う。
3学期	18	(知及技) ・接客やお金の計算など販売学習に必要な技能を学ぶ。【高2Aイ（ア）ア】 (学・人) ・次年度栽培する作物の種まき・畑の整備を通して、事前準備の重要性に気付く。【高2Aア（ウ）】 (知及技) ・情報機器を用いて体験したことを他者に伝えることができる。【高2Bイ】 (思判表力) ・1年間を振り返り自己評価を発表する。（高１段階）	(知・技) ・販売学習の目的を知り、接客マナーを通して、言葉遣いや金銭の計算など社会とのかかわりや自身の役割について考えて行動している。 (主学) ・１年の締めくくりとして、農場を整理し、次年度に引き継ぐために、見通しを持って行動している。 (知・技) ・必要な画像等を取り入れ、他者に伝わりやすいように工夫している。 (思判表) ・内容を丁寧に考え、作業日誌（1年を振り返って）に記入している。 【評価資料】活動の姿、提出物、自己評価	・販売学習にむけて ・次年度の準備 ・１年間のまとめ	(知及技) ・接客用語など言葉遣いの練習、金銭の計算など電卓を使用した計算練習を行う。 (学・人) ・野菜や草花の種まきや育苗、耕うんや畝立てなど次年度の準備に取り組む。 (知及技) ・画像を取り込みや文章を入力し、今年度学んだことをまとめる。 (思判表力) ・１年間を振り返り自己評価し、皆の前で発表を行う。
留意点引継ぎ等	【通年】 ・リメイク缶作り等の小物作り：（知及技）作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高1A㉙（ア）　） ・校内／校外販売：（知及技）接客用語を学び、丁寧に対応することができる。（高1Aイ㉑ア）　）・接客用語が使える。自分の役割が分かり、積極的に取り組むことができる。 ・校外学習（農場見学、地域へ野菜の提供）：（学・人）社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を育てる。（高1Aア（イ））・農家の栽培方法や流通の仕組みを知る。・主体的に他者の役に立とうとする気持ちを育む。			

令和７年度　　美里分教室３年（Ⅱ課程A類型)流通・サービス年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	３学年Ⅱ課程A類型 16名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事項について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高2段階） (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事項を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価、改善し表現する力を養う。(高2段階) (学･人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高2段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2段階A職業生活ア勤労の意義(ア)】 ・販売業務内容の理解を深め、販売の手順や方法など、販売業務に関する技術を身につける。【高2段階A職業生活イ職業(ア)ア】 ・校内販売において、商品を丁寧に扱い、見栄えよく陳列することができると共に、接客用語を使い、丁寧な接客を心掛けることができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ウ)】 (思判表力) ・自ら適切な目標や作業内容を見いだし、自己評価することができる。【高２段階A職業生活イ目標や成果・役割（ア）】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活イ職業(イ)㋐）】 (学・人) 役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(イ)】	(知・技) ・職業の心得を理解し内容を深めようとしている。 ・自ら身だしなみを整え、接客用語を適切な声量で唱和し、接客に生かそうとしている。 ・お客様の興味、関心が高まるように、売り場の雰囲気作りを工夫し、接客用語を使い、積極的に接客しようとしている。 (思判表) ・販売アンケートを実施し他者評価している。 ・作業日誌へ自ら考えた目標を記入し、自己評価している。 (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・物流についての知識を広める ・校内販売	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・身だしなみや接客のポイント（身だしなみチェック表、７大接客用語、お辞儀の仕方等） ・作業道具の名前（バッグシーラー、マルチラッパー等）が分かり、安全に気をつけながら使用することができる。 ・物流について興味を持ち社会における役割知る。 ・校内にて、野菜の販売を行う。 (思判表力) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (主学) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
2学期	28	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2段階A職業生活ア勤労の意義(ア)】 ・喫茶サービスの手順がわかり、質問に応じた回答をすることが出来、接客することができる。【高2段階A職業生活イ職業(ア)】 (思判表力) ・顧客のニーズに応じた、商品を仕入れ、よりよいサービスの提供について考えることができる。【高１段階A職業生活イ職業(ア)イ】 ・学期を振り返り自己の改善点を見いだし発表できる【高2段階A職業生活イ職業(イ)㋐）】 (学・人) ・役割を担い、責任を果たす意	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容を理解を深めようとしている。 ・接客の基礎・基本が分かり、接客用語を使ってオーダーを取り、お茶やコーヒーを出すことができる。 (思判表力) ・対象となる顧客を具体的にイメージし、製品を仕入れよりよいサービスを提供しようと工夫している。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・身だしなみについて ・基本的な接客用語と態度 ・お茶やコーヒーの出し方 ・本校職業班との連携 （窯業・木工班等からの仕入れ） ・作業に必要な道具の安全な取り扱いについて ・販売学習	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人としての基礎を理解し身につける。 ・身だしなみや接客のポイント（身だしなみチェック表、７大接客用語、お辞儀の仕方等） ・接客マナーを押さえたオーダーの取り方や、コーヒー等の出し方が分かり、実践することができる。 ・本校職業班の製品を把握し、仕入れを行い販売する。顧客の好みやニーズに関する調査を行い、次回の販売時には、よりよいサービスの提供ができる。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 （主学） ・2学期の振り返りを行うことで次へ

		義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(イ)			の目標と見通しを持つ。
3学期	18	(知及技) ・働く意義や目的を考え、職業の心得や働くうえでの決まりへの理解を深める。【高2段階A職業生活ア勤労の意義(ア)】 ・販売業務の内容と特徴を理解するとともに、販売の手順や方法の理解を深め、販売業務に関する技術を身につける。【高2段階A職業生活イ職業(ア)】 ・販売学習において、商品を丁寧に扱い、見栄えよく陳列することができると共に、接客用語を使い、丁寧な接客を心掛けることができる。【高1段階A職業生活ア勤労の意義(ウ)】 ・ラッピングの意義が分かり、ラッピングの技術を身につけることができる。【高1段階A職業生活イ職業(ア)ア】 (思判表力) ・自ら適切な目標や作業内容を見いだし、自己評価することができる。【高２段階A職業生活イ目標や成果・役割（ア）】 ・学期を振り返り自己の改善点を発表する【高1段階A職業生活イ職業(イ)㋐）】 (学・人）役割を担い、責任を果たす意義や地域社会へ貢献することの充実感及び成就感を実感することができる。【高1Aア(イ)】	(知・技) ・職業の心得を唱和し内容の理解を深めようとしている。 ・自ら身だしなみを整える意味を理解し、接客用語を適切な声量で唱和し、接客に生かそうとしている。 ・お客様の興味、関心が高まるように、売り場の雰囲気作りを工夫し、接客用語を使い、積極的に接客しようとしている。 ・ラッピングの仕方を覚え、丁寧に仕上げようと心掛けることができる。 (思判表) ・作業日誌へ自ら考えた目標を記入し、自己評価する。 ・1学期を振り返り、成果と次学期への課題を見つけることができる (学・人) 活動に関心を持ち、友達と協力して取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子・作業日誌	・職業について ・接客業の心構え ・販売学習 ・キャラメル包み ・斜め包み	(知及技) ・働くことの目的、意義を考え「職業の心得」を確認し、身なりや時間を守ること場に応じた言葉遣いなど社会人マナーの理解を深めている。 ・接客のポイント（７大接客用語、お辞儀の仕方等） (知及技) ・みさき市や校内にて、野菜の販売を行う。 ・ラッピングの意義を理解し、丁寧に作業することを意識しながら、基本的なラッピングをすることができる。 (主・学) ・実習日誌へ改善点、自己評価を記入する。 (思判表力) ・実習での取り組みを振り返りと課題を考えて発表することができる。 ・1学期の振り返りを行うことで次への目標と見通しを持つ。
留意点 引継ぎ等		・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。			

令和７年度　美里分教室　３年（Ⅱ課程Ａ類型）　家庭科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年　Ⅱ課程・A類型①8名 3年　Ⅱ課程・A類型②8名	仲村加奈子	くらしに役立つ家庭科 （東洋館出版社）

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考・判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（高2段階） (思判表力)家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（高2段階） (学･人）家族や地域の人々との関わりを通して、家族の一員としてよりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能について理解することができる。(高2段階：Bｵ(ｱ)) (思判表力)(学･人)家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。(高2段階：Bｵ(ｲ))	(知・技）住居の基本的な機能について理解することができる。 (思･判･表)家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、危険な場所に気づき、まとめることができる。 (主学)地域のルールや災害時の住居内の備えについて考え、実践しようとする。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【住生活と健康】 ・安全で快適な住まい ・住居の清掃 ・平面図 ・家族と住まう ・地域と住まう ・災害時の備え	・暮らしと空間の関係性や住まいの機能について確認する。 ・快適で衛生的な住まいを保つための清掃方法や手順について考える。 ・家族の構成と住空間について話合い、理想の平面図を選ぶことができる。 ・家庭内事故の発生場所や事例について動画を活用して学習し、対策法について話し合う。 ・地域のルールや災害時の行動・備えについて検索し、適切な行動を考え、発表する。
2学期	28	(知及技)購入方法や支払い方法の特徴がわかり、計画的な金銭管理の必要性について理解する。(高2段階：Cｱ(ｱ)㋐) (思判表力)売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対策について理解し、物資･サービスの選択に必要な情報の収集･整理ができる。(高1段階：Cｱ(ｱ)㋑) (学･人)身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫することができる。(高2段階：Cｲ(ｲ))	(知･技)適切な金銭の管理（収入と支出、やりくり）について理解することができる。 (思･判･表)契約のタイミングやその解消、生活とお金について情報を収集し、整理することができる。 (主学)持続可能な社会の実現のため、自分はどんな行動ができるかを考え、日常生活の中で実践しようとする。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【消費生活】 ・計画的な消費生活 ・金銭管理 ・一人暮らし ・雇用形態 ・消費者の基本的な権利と責任	・生活するうえで必要な支出について考え、計画的な管理の必要性（やりくり）について理解する。 ・様々な売買契約の仕組みや消費者の権利について理解し、一人暮らしを想定した様々なトラブルとその解決について考える。 ・SDGｓの目標やエシカルマーク、 企業が取り組むSDGｓについて調べ、自分にできることを話し合い、発表する。

		(知及技)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し実践することができる。（高2段階：Bｳ(ｱ)） (思判表力)衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができる。(高2段階：Bｳ(ｲ)) (学･人)布を用いた製作計画を考え、製作を工夫して行う事ができる。(高2段階：BI(ｲ))	(知･技)衣服の材料や状態に応じた手入れについて理解し実践している。 (思･判･表)衣服の材料や状態に応じて適切な手入れの方法を考え、実践している。 (主学)用途や個性に応じた作品を製作している。 [評価資料] ワークシート、活動の様子、製作物	【衣生活と健康】 ・衣服の素材 ・衣服の修理 ・衣服の再利用 ・布を用いた製作	・衣服を構成する繊維の種類と特徴を知り、場面に応じた素材の衣服について考える。 ・ボタン付けやすそあげなどの簡単な衣服の修理法や素材に応じた適切な手入れについて考える。 ・裁縫道具やミシンの安全な取り扱い方法について理解する。 ・縫う部分や順番を考え、「衣服のリメイク」
3 学 期	18	(知及技)自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。(高2段階：Bｱ(ｱ)) (思判表力)一日の献立について考え、工夫することができる。(高2段階：Bｱ(ｲ)) (学･人)食生活と健康について，課題に取り組んだり、改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践することができる。(第1段階：Bｲ(ｱ))	(知･技)健康な生活には、栄養バランスの良い食事が不可欠であることを理解することができる。 (思･判･表)これまでの食習慣の課題を見つけ、栄養バランスを考えたメニューを組み合わせて献立を立てることができる。 (主学)健康に良い食習慣について考え、学んだことを生活に生かそうとしている。 [評価資料] ワークシート、活動の様子	【食生活と健康】 ・食事摂取基準 ・ライフステージと食事 ・日本、世界、沖縄の食文化（行事食） ・簡単な日常食の調理	・日本人の食事摂取基準をもとに、自分の年代に必要な各種栄養素の種類や量を理解する。 ・健康と食生活には密接な関係があることを確認する。（献立：一汁三菜） ・五大栄養素の働きや含まれる食品について確認する。 ・食品衛生と安全管理について確認し、日常生活に潜む食の危険について話し合う。 ・調理器具の正しい取り扱いや調理室の使用法について理解する。 ・調理の工程を考えながら実習を行う。「様々な様式の献立」
留意点 引継ぎ等		・調理実習は、美里高校と時期を考慮し年間を通して行う。 ・被服実習は、調理実習と重ならないように時期を考慮して行う。 ・買い物学習は、感染症等の状況により時期を変更する可能性がある。			

令和７年度　　美里分教室3年（Ⅱ課程Ａ類型）外国語科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型　16名		プリント教材等

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身につけることができる。(高2段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。（高2段階） (学･人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。（高2段階）

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高２段階：イ(ｱ)) (学･人) 言語活動を通して、他者に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(知･技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句を用いて自分の気持ちや考えを伝えたり、相手に尋ねる。 (主学) 聞き手を意識して話す、または、読み手を意識して書く。英語を用いた積極的なコミュニケーションを行う。 評価資料：ワークシート、提出物、活動の観察	単元1 「自己紹介」 This is Me.	「自己紹介」 情報を整理しながら簡単な英語を使った自己紹介をする。教師やALTの自己紹介を聞く。 I'm ... I like... I'm good at... 「あいさつ」 適切な表現で友達や教師にあいさつをする。 Good morning. How are you? I'm good.
				単元2 「私の一日」 My Daily Routine	例題に沿って、自分の一日の流れを英語を使って書き、それをクラスで共有する。 I get up at.. What time do you go home?
				単元3 「道案内」 Directions	教師が設定した地図を元に目的地までの経路を英語で伝える。ALTと一緒に道案内に関する表現を復習し、その表現を使ったゲームをする。 Turn right / left. You will see ..
				単元4 「行きたい国」 Countries	画像や地図を通して様々な国名を知り、どこに行きたいか、テンプレートを活用しながら伝える。 Japan, Korea, England I want to go to ..
2学期	14	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高２段階：イ(ｱ)) (学・人) 外国の季節の行事について知り、外国の文化・風習に対する理解を深めることができる。(高２段階)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 場面に応じた挨拶ができる。学習した語句や表現を用いて自分の気持ちや考えを伝え、尋ねる。 (主学) 外国の文化について聞き、多文化への興味を示し、理解・質問する。 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元5「夏休み中のできごと」 My Summer	夏休みの課題を用いて、夏休みの思い出を過去形または簡単な表現を用いてクラスで共有する。 I went to .. I ate..
				単元6「オータムフェスティバル」 Autumn Festival	ハロウィンや感謝祭に関する話や活動を通して、英語圏の文化にふれる。 Happy Halloween. Thanks giving day.
				単元7「体調を伝えよう」 I feel…	病気や体調を表す語を学び、その場面にふさわしい表現を選択し、発音する。 I have a headache. I have a fever.
				単元8「ホリデーシーズン」 Holiday Season	海外の休暇期間の過ごし方や季節ごとの行事と日本の文化を比較する。 Holiday, Christmas, New Years day
3学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高２段階：ア(ア)㋐) (思判表力) 身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり，書いたりすることができる。(高２段階：イ(イ)) (学・人) 外国の文化・風習に対する理解を深め、日本文化と比較することができる。(高２段階)	(知・技) 語順や抑揚等の英語の特徴を掴み、語句の意味を理解しながら、文字を綴る。音声を模倣して発音する。 (思･判･表) 慣れ親しんだ語彙を使って自分の気持ちを伝える。簡易な表現やテンプレートを用いて感謝の気持ちを綴る。また、受け取った文章を読む。 (主学) 外国の文化について聞き、日本の文化との違いを理解・質問する 評価資料：活動の観察、ワークシート、課題、提出物	単元9「ハッピーニューイヤー」 Happy New Year	新年に関する異文化について聞き、日本の文化と比較する。新年のあいさつを交わしたり、新年の抱負を英語の未来形を用いてクラスで共有する事ができる。福笑いをする。 Happy new year. I will .. in this year.
				単元10「私の夢」 My Future	簡単な語句を用いて自分の目標や夢を書き、クラスで共有する。 I want to drive a car.
				単元11「Thank you, teacher!」	テンプレートや簡単な語句を用いてお世話になった友達や教師に感謝の気持ちを伝える。 Dear, from, sincerely

留意点 引継ぎ等	活動内容(思判表力)のウ①言語活動に関する事項の(ア)～(オ)(五つの領域)に関しては、全単元を通して取り組む。

令和 7年度 美里分教室　3年（　Ⅱ課程A類型　）　情報科　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	3学年　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思･判･表)思考･判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	
	(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。【高１段階】 (思判表力)　身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。【高１段階】 (学･人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。【高１段階】

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	6	(知及技) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度，情報セキュリティの重要性，情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知ることができる。（高1段階Aア（イ）） (思判表力) ・情報に関する身近で基本的な，法規や制度及びマナーの意義，情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて考えることができる。（高1段階Aイ（イ）） (学･人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知・技) ・基本的な法規や制度を知ることができる。 ・情報セキュリティについて知ることができる。 ・情報モラルの学習を行い、個人の責任について知る。 (思･判･表) ・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。 ・個人情報とは何か具体的に説明できる。 (主学) ・情報セキュリティについての理解を深めることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任を感じることができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	情報セキュリティに気をつける ・不正アクセスによる問題 ・法律の整備（不正アクス禁止法） ・自分の情報は自分で守る 情報モラル ・情報モラルとは ・相手を考えたコミュニケーション ・加害者にならないために ・炎上とネットいじめ（誹謗中傷） ・個人情報 ・ネット依存	・動画視聴（文科省　情報モラル⑪パスワードについて考えよう）情報を発信する責任、情報漏洩による不利益の大きさを知る。基本的な法規や制度を学び、被害者、加害者にならないよう情報モラルを身につける。 ・情報漏洩、不正アクセスに対する対策を学び、情報を守る責任について考える。 ・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人のを不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される（簡単に消すことはできない）。 ・SNSトラブル事例（動画）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。 ・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。 正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては年間を通して適宜取り上げ学習する。
2学期	7 7	(知及技) ・身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。（高1段階　Bア（イ）） (思判表力) ・コミュニケーションの目的に合わせて，必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。（高1段階　Bイ（イ）） (学･人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高１段階】	(知･技) ・身近に利用されている情報デザインについて学ぶことができる。 (思･判･表) ・インターネットを活用し必要な情報を集め編集、加工し出力することができる。目的に応じた表現方法を選択し自分なりにデザインを模索できる。 (主学) ・情報デザインについて理解を深め自分なりの表現方法を模索することができる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	・ユーザインタフェース ・ユニバーサルデザインの推進 ・クリスマスカード作成 ・年賀状作成 ・ポスター作成 ・分教室ロゴ作成	・身近なユニバーサルデザインを再確認（シャンプー、リンスの容器等）。アートとデザインの違いに気づき、デザインの目的を理解する。ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、などの違い、能力の有無、障がいの有無などによらず利用できるように設計されたもの。これからの共生型の社会にはユニバーサルデザインの考え方は欠かせない視点である。 テーマを決めて、伝えたいことを整理しよう。出来上がったカードで意図が伝わるか、学校内に貼りだして、ほかの生徒の意見を聞いてみよう。 ・色の三属性 ・視認性 ・識別性 正確な情報発信のために5W1Hを活用する。
3学期	5 4	(知及技) ・身近なデータを蓄積，管理，提供する基本的な方法，情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。（高1段階　Cア（イ）） (思判表力) ・情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。（高1段階　Cイ（イ）） (学･人) ･身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。【高1段階】	(知･技) ・身近な情報システムによるサービス提供に気づくことができる。POSシステムについて学ぶことができる。 (思･判･表) ・身近な電子商取引の特徴を知り、サービスの利用について考えることができる。 (主学) ・情報システムの仕組みを理解し様々なサービスを主体的に選択し利用できる。 〔評価資料〕 ・活動の様子　・タイピング ・作品、提出物	日常の中の情報システム ・電子商取引 ・POSシステム ・マーケティング ・電子商取引 ・マーケティング ・ICタグ	・電子商取引のルールを確認する。契約とはなにか。 ・電子マネー ・コンビニのカードやアプリとマーケティングの関係を知る。 ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。 ・電子マネー ・契約について ※消費者庁の学習動画:デジタル社会の消費生活を視聴し利便性と危険性を同時に学ぶ。
留意点					

令和7年度 美里分教室　　3年（Ⅱ課程 A類型）特別の教科　道徳　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型　16名		新訂　新しい道徳　3

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(A：自分自身に関する事)　望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B：人との関わりに関する事)　礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事)　法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり)　自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
		・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
		・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】	○命あるものを大切に（慰霊の日にむけて）	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。
		・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○礼儀正しく真心をもって	・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2学期	14	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一歩一歩努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
		・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】	○家族の幸せをもとめて	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。
		・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○郷土を愛する心	・沖縄の文化や自然にふれる。
		・社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【集団・社会】	○公共のために役立つこと	・自分のなりたい職業ややってみたいボランティアについて考える。
		・法やきまりの意義を理解し、進んでそれらを守り、自他の権利を大切にしようとすることができる。【集団社会・人】	○法や決まりを守って	・社会にあるマナーやきまりについて確認し、なぜ守らなければいけないのかを考える。
		・自由の大切さを理解し、自他の自由を尊重し、規律ある行動ができる。【人・集団社会】	○自由と自分勝手	・修学旅行に向けて、集団行動の大切さを考え、自分たちの楽しみが他の人に迷惑になっていないかを気づかせる。
		・①自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化	・男女それぞれの体と心の変化について理解し、相手のことを考える。
3学期	9	・②自分や異性の体と心の変化について理解できる。【自分・人】	○思春期の体と心の変化 ○性とどう向き合うか	・性に対して適切な意思決定や行動選択ができるようにする。
		・友達と信頼し学び合って友情を深め、人間関係を築いていくことができる。【人・集団】	○互いに信頼し学び合う	・友達との付き合い方について何を大事にしたいかを考える。
		・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
		・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り 「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等		・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。		

令和7年度　美里分教室　3年（Ⅱ課程 A類型）　総合的な探究の時間　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能　(思・判・表)思考・判断・表現　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）現場実習などの体験活動を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力）体験活動を通して、実生活や実社会と自己との関わりから課題を見いだし、課題に向き合おうとすることができる。また、活動内容をまとめ、場面に応じて表現することができる。 (学・人）体験活動に主体的・協働的に取り組むとともに、集団の中で話し合い課題を解決する力や能力を身につけることができる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 実習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 実習の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○前期校外実習の事前学習 ○前期校外実習の事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、後期に向けた目標をもつ。
2学期	14	(知及技) 実習の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えることができる。また、実習を振り返り、自己の目標や課題が達成できたかどうか理由を添えてまとめ、発表することができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 実習の目的・内容・役割などについて理解し、働く上で大切なことを理解して見通しをもって取り組んでいる。 (思・判・表) 働く意義や、働くために必要な力は何か考えて実習に取り組み、実習後の振り返りでは、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。	○後期校外実習の事前学習 ○後期校外実習の事後学習	○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習の内容を具体的にイメージする。 ○実習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○動画や静止画(パワーポイント)等視覚教材を活用して、実習での活動内容を振り返る。 ○各自の実習中の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。
3学期	9	(知及技) 学習発表会の目的について理解し、内容や役割などを確認し、見通しをもって取り組むことができる。 (思判表力) 学習発表会を振り返って成果を確認し、発表をすることができる。 (学・人) 勤労の意義を理解し、皆と協力し、意欲的に活動に取り組むことができる。	(知・技) 働く上で大切なことを理解しようとし、具体的に見通しをもって取り組もうとしている。 (思・判・表) 学習発表会を振り返り、自己の目標や課題を達成できたかどうか具体的にまとめ、発表しようとしている。 (主学) 働くことに興味をもち、教師や他の生徒とコミュニケーションをとりながら取り組もうとしている。 ○自己評価、作成物、活動の姿により評価する。	○学習発表会の事前学習 ○学習発表会の事後学習 ○進路学習	○視覚教材を活用して、学習発表会や販売学習の内容を具体的にイメージする。 ○学習発表会や販売学習における約束事を確認し、それらが将来働く上で大切な事柄と関連していることを確認する。 ○視覚教材を活用して、販売学習での活動内容を振り返る。 ○各自の活動内容について自己評価し、今後の目標をもつ。 ○職業について学ぶ。

留意点引継ぎ等	・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。

令和7年度　美里分教室　３年（Ⅱ課程 A類型）特別活動　年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	美里分教室3年 Ⅱ課程A類型　16名		

目標：(知及技)知識及び技能　　(思判表力)思考力、判断力、表現力等　　(学･人)学びに向かう力･人間性等
評価：(知・技)知識・技能　　(思･判･表)思考･判断・表現　　(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技）様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力）集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・健全な発達や健康の維持を目指す。 (学・人) ・集団活動の役割や意義を理解し、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いを通して人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (知及技）(学・人) ・防災についての理解を深めて、実践的な対応力を身に付ける。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式・終業式 ・身体測定 ・新入生歓迎球技大会 ・遠足 ・生徒総会 ・火災避難訓練 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式の参加する。 ・身体測定、内科検診、胸部レントゲン、心電図検査を受け、自身の健康状態を把握した上で維持していく方法を考える。 ・球技大会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・遠足に参加し、クラス間の親睦を図り、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・生徒会運営に係る決算報告と予算案の確認、意見要望等について考える。 ・火災避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
2学期	14	(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深める。 (知及技) ・災害についての理解を深めて、実践的な対応力を高める。 (学・人) ・異年齢集団による交流を通して、協働や喜びを共有しあい、よりよい人間関係を築こうとする。 (思判表力) ・生徒同士協力して学校生活の充実と向上を目指し、実践的に活動して資質・能力の向上を目指す。 (学・人) ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式、終業式 ・地震避難訓練 ・体育祭 ・生徒会役員選挙 ・特体連体育大会 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、終業式に参加する。 ・地震津波避難訓練に参加し、避難時の対応方法を学び、日頃からの防災意識を高める。 ・各種目、集団演技等に参加し、自己の役槍を果たし、美里高校生徒との交流・親睦を図る。 ・選挙について学ぶ。 ・記録への挑戦や成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
3学期	9	(学・人) ・体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めることができる。 ・運動に親しみ、体力の向上と積極的に取り組もうとする。 (思判表力)(学・人) ・日頃の学習成果を発表し、自分の役割を意識して最後までやり遂げることを目指すことができる。 (思判表力) ・支えてくれた後輩や先生方へ感謝の気持ちを込めて、生徒同士協力して活動することができる。 ・学習や活動を振り返り、自己の成長に気づき、自己評価を行い、目標を立てるなどして、進路選択につなげることができる。 （知及び技、思判表力、学・人）	・始業式、終了式、卒業式 ・特体連駅伝競走大会 ・３年生を送る会 ・個人目標、学期のまとめ	・始業式、修了式、卒業式に参加する。 ・成果を活かしたり、応援するなど、個々の立場で積極的に参加する。公共交通機関（路線バス）を使う機会をもつ。 ・３年生を送る会に参加し、分教室の団結を高め、美里高校生徒との交流を図る。 ・キャリアパスポートを活用しての目標立て、振り返り活動
留意点 引継ぎ等	○学校生活をよりよくするための課題を見出し解決するために話し合うことができる。（思考・判断・表現） ○役割を分担し協力して実践したり、話し合いを通して自分の意見や意思を示し、他者の意見を尊重することができる。（思考○判断○表現、学びに向かう人間性等） ○ホームルームで学級や学校生活での諸問題を話し合う。 ○社会生活を行う上での様々な事柄（自他の個性の理解と尊重、男女相互の理解と協力、国際理解と国際協力、青年期の悩みと課題等）に関する学習の実施。 ・通年を通して、校外での見学や体験学習を実施する。		